

# 成田市市民意識調査報告書

令和元年10月

成 田 市



はじめに

成田市では、平成 28 年 3 月に策定した「成田市総合計画『NARITA みらいプラン』」に基づき、目指すべき将来都市像である「住んでよし 働いてよし 訪れてよしの生涯を完結できる空の港まち なりた」の実現に向けて、「若者や子育て世代に魅力のあるまちづくり」「医療・福祉の充実したまちづくり」「空港と共に発展するまちづくり」という 3 つの基本姿勢を掲げ、未来を見据えた次世代に誇れるまちづくりを推進しています。

このような中、『NARITA みらいプラン』における第 1 期基本計画の計画期間が令和元年度をもって終了となりますことから、現在、新たな 4 年間の基本施策や取組方針等を示した第 2 期基本計画を策定しているところであります。

今回、計画策定にあたり実施いたしました市民意識調査の結果につきましては、市民の皆様のニーズ等を的確に把握するための資料として、さらには、今後の市政運営にあたって各種施策の充実を図っていくための貴重な基礎資料として活用させていただきます。

おわりに、本調査にご協力いただきました皆様に心から御礼を申し上げますとともに、これからのまちづくりにあたりまして、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年 10 月

成田市長 小泉 一成



# 目次

<b>第1部 全体概要</b> .....	<b>1</b>
1. 市民意識調査の実施概要 .....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査対象・抽出方法.....	1
(3) 調査内容.....	1
(4) 調査方法、調査期間.....	1
(5) 回収結果.....	1
(6) アンケート結果の集計と解析について.....	1
2. 回答者の属性について .....	2
(1) 性別.....	2
(2) 年齢.....	3
(3) 地区.....	4
(4) 職業.....	6
(5) 家族構成.....	7
(6) 住宅の種類.....	8
(7) 心配ごとや困っていること.....	9
(8) 成田市の居住状況.....	12
(9) 成田市に住んでからの年数.....	13
(10) 成田市への転入前に居住していた地域.....	14
3. 住みごちについて .....	15
(1) 住みごち.....	15
(2) 今後の居住希望.....	17
(3) 住み続けたい理由.....	21
(4) 市外に移り住みたい理由.....	24
(5) 成田市への誇りや愛着.....	25
(6) 成田らしいもの、成田で誇れるもの.....	26
<b>第2部 基本施策に関する調査結果</b> .....	<b>32</b>
1. 施策別満足度・重要度一覧 .....	32
(1) 現状の満足度.....	33
(2) 今後の重要度.....	34
(3) 加重平均値に基づく評価.....	35

2. 施策別満足度・重要度の分布状況 .....	36
<b>第3部 個別施策に関する調査結果 .....</b>	<b>38</b>
1. 住環境について .....	38
(1) 家庭における災害への備え（実施状況） .....	38
(2) 災害への備え .....	42
(3) 身の回りの犯罪等 .....	45
(4) 防犯対策 .....	50
(5) 環境保全の取り組み .....	54
(6) 自然環境を保護し、緑豊かなまちをつくるための市民と行政の取り組み .....	60
2. 保健・医療・福祉について .....	65
(1) 健康のために取り組んでいること .....	65
(2) 成田市における医療サービス .....	69
(3) 障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会の構築 .....	72
(4) 高齢化が進む中で、力を入れていく必要があること .....	76
(5) 理想の子ども的人数 .....	80
(6) 現在のお子様も含めて現状で予定している子ども的人数 .....	82
(7) 子どもを育てていく上で力を入れていく必要があること .....	86
3. 教育・文化について .....	91
(1) 小・中・義務教育学校における教育 .....	91
(2) 最近1年間で行った学習やスポーツ .....	95
(3) スポーツ振興 .....	100
(4) 2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とした地域活性化やレガシーの創出につなげる取り組み .....	105
4. 空港・都市基盤について .....	111
(1) 成田空港が立地することのメリット .....	111
(2) 成田空港の魅力を高め、地域で支えていくための取り組み .....	116
(3) 空港を活かしたまちづくりを進めるうえでの今後の取り組み .....	121
(4) 成田市内の都市基盤改善 .....	127
(5) 成田市の都市基盤の充実 .....	133
(6) 「雇用の場」の確保 .....	138
(7) 成田市の各産業の状況 .....	141
(8) 成田市の産業振興 .....	146
5. 自治体経営について .....	151

(1) 成田市に関する情報の入手手段.....	151
(2) 市政に対する関心度.....	155
(3) 市政に関心がない（または少ない）理由.....	158
(4) 成田市の市民と行政の協働のまちづくりの推進.....	161
(5) 現在参加している地域活動.....	166
(6) 日本人と外国人の住民がともに暮らしやすい社会.....	170
6. 成田市の発展方向について.....	175
(1) 今後の成田市のまち.....	175

(参考資料) 市民意識調査票



# 第1部 全体概要

## 1. 市民意識調査の実施概要

### (1) 調査の目的

市民ニーズや市民の普段の行動様式を的確に把握することで、現行の成田市総合計画「NARITA みらいプラン」第1期基本計画の進捗状況を把握し、第2期基本計画の策定に活用することを目的としています。

### (2) 調査対象・抽出方法

調査対象：成田市に居住する15歳以上の市民5,000名を無作為抽出

### (3) 調査内容

施策の相対的な位置づけを把握する「満足度・重要度調査」と、施策の進捗状況を把握する「進捗状況調査」の2種類の調査を実施しています。

### (4) 調査方法、調査期間

- ① 調査方法：市民意識調査票の郵送により配布、回収
- ② 調査期間：平成31年4月5日から同年4月22日

### (5) 回収結果

回収件数：2,176件（回収率43.5%）

### (6) アンケート結果の集計と解析について

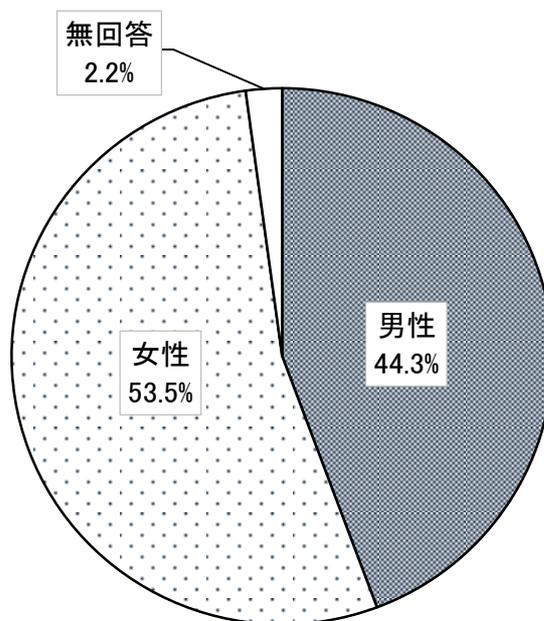
- ① 図表の数値は回答率を表しています。小数点第一位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ② 無効の回答は、少数のため無回答に含めています。
- ③ 有効回答数が少ない一部の地区については、地区別集計における回答比率が極端な結果となる場合があります。
- ④ 今回の市民意識調査について、前回調査（平成26年度に10,000名を対象として実施）と同じ設問は比較し、表及びグラフを掲載しています。  
また、選択肢において前回設けていない選択肢は「-」としています。
- ⑤ 満足度・重要度調査について
  - ✓満足度：「満足」1点、「やや満足」0.5点、「どちらとも言えない」0点、「やや不満」-0.5点、「不満」-1点と満足度に応じて得点を設定し、この得点に各々の回答者数を乗じて総得点を算出した上、その得点を回答者数で除した数値です。数値が大きいほど満足度が高く、小さいほど満足度が低いことを表しています。
  - ✓重要度：「重要」1点、「やや重要」0.5点、「どちらとも言えない」0点、「あまり重要ではない」-0.5点、「重要ではない」-1点と重要度に応じて得点を設定し、満足度と同様に算出した数値です。数値が大きいほど重要度が高く、小さいほど重要度が低いことを表しています。

## 2. 回答者の属性について

### (1) 性別

問1 あなたの性別と年齢、お住まいのご住所について、あてはまる番号をそれぞれ1つずつ○で囲んでください。

「男性」が44.3%、「女性」が53.5%と、回答者は女性の割合が多くなっています。

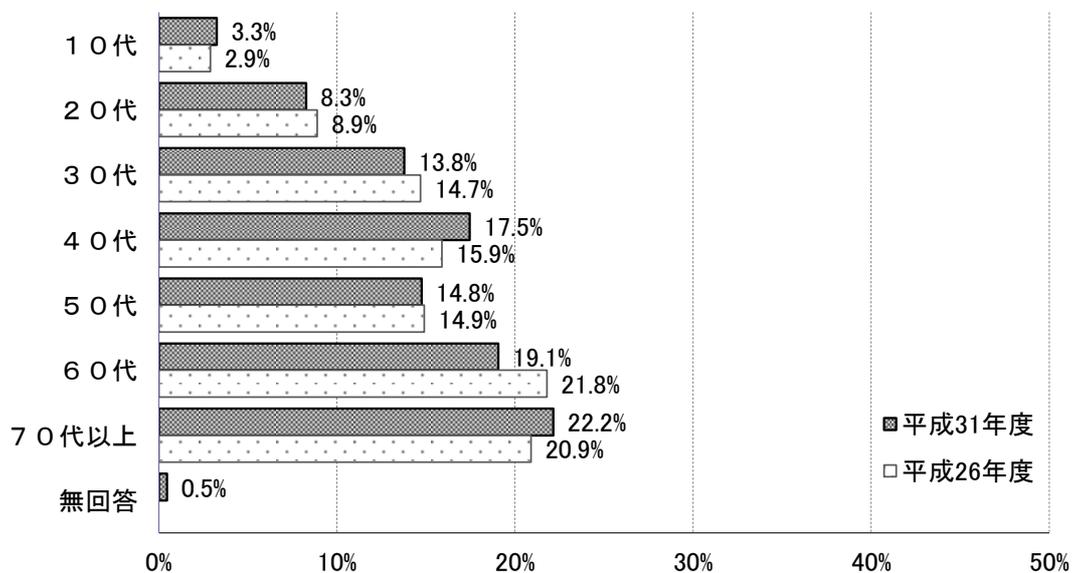


No.	選択肢	人数(人)	割合(%)
1	男性	964	44.3
2	女性	1,165	53.5
3	無回答	47	2.2
	合計	2,176	100.0

## (2) 年齢

問1 あなたの性別と年齢、お住まいのご住所について、あてはまる番号をそれぞれ1つずつ〇で囲んでください。

年齢は、「70代以上」が22.2%と最も多く、次いで「60代」19.1%、「40代」17.5%となっています。平成26年度調査結果と概ね同傾向を示しています。

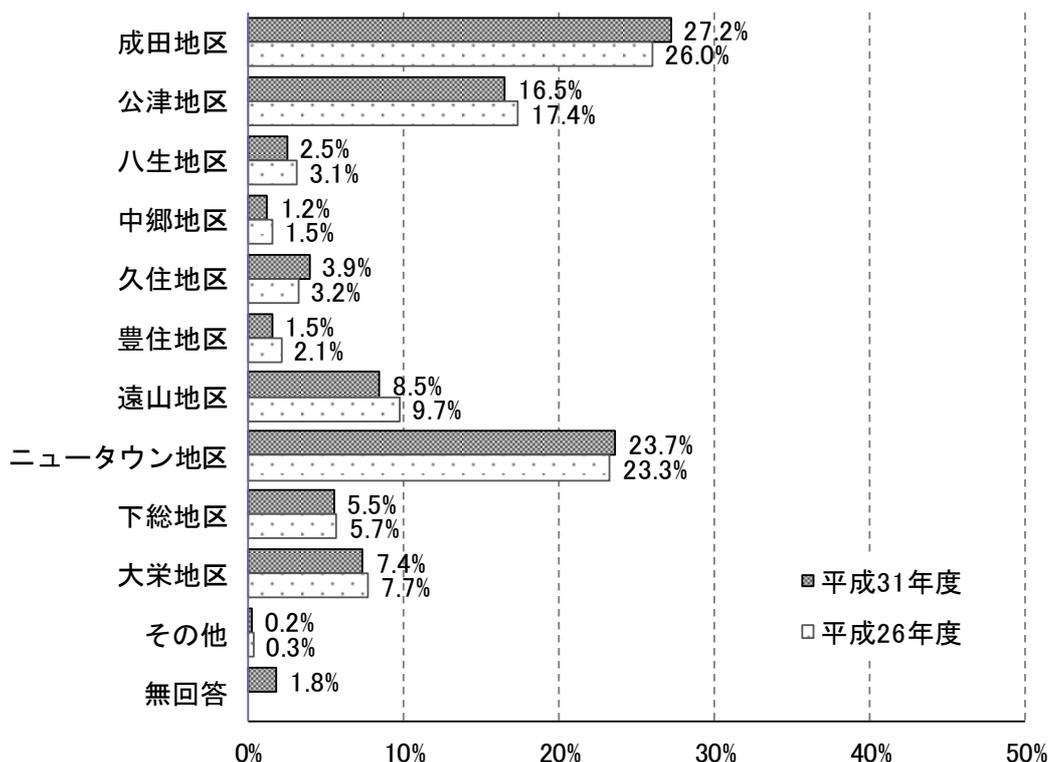


No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	10代	71	3.3	126	2.9
2	20代	180	8.3	389	8.9
3	30代	300	13.8	647	14.7
4	40代	380	17.5	698	15.9
5	50代	321	14.8	656	14.9
6	60代	415	19.1	957	21.8
7	70代以上	482	22.2	917	20.9
8	無回答	10	0.5	-	-
	合計	2,176	100.0	4,390	100.0

### (3) 地区

問1 あなたの性別と年齢、お住まいのご住所について、あてはまる番号をそれぞれ1つずつ〇で囲んでください。

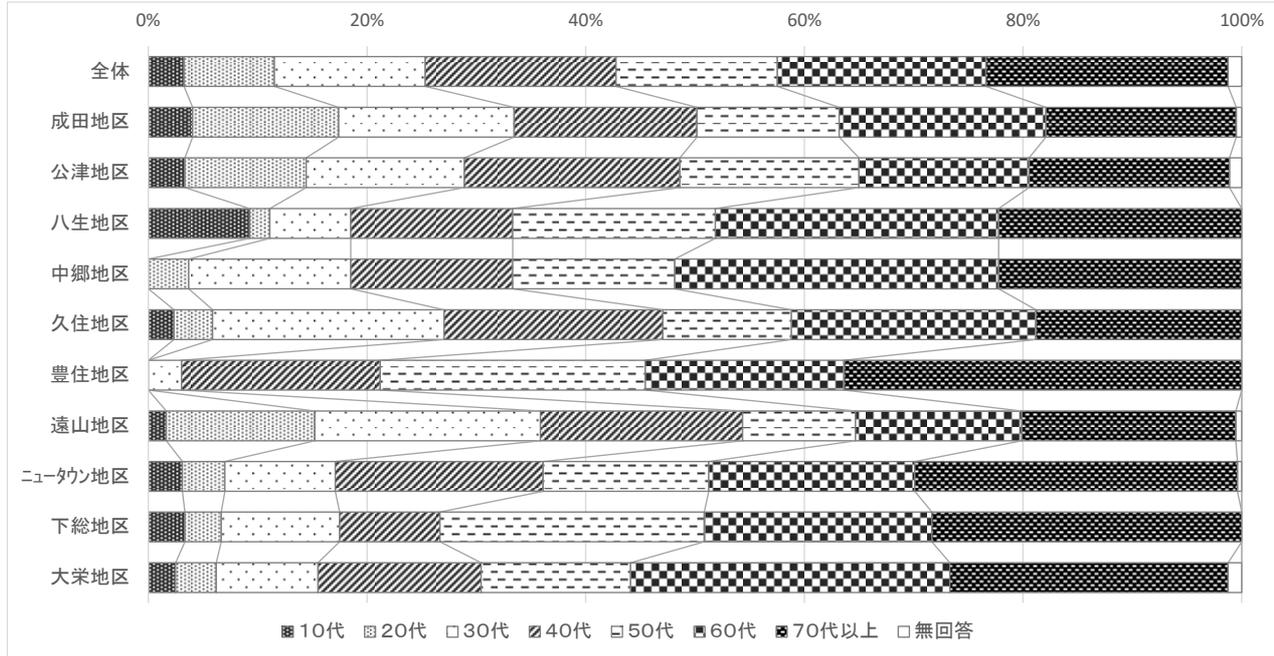
居住地区別にみると、「成田地区」が27.2%と最も多く、次いで「ニュータウン地区」23.7%、「公津地区」16.5%となっています。平成26年度調査結果と概ね同傾向を示しています。



No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合 (%)	人数(人)	割合 (%)
1	成田地区	592	27.2	1,128	26.0
2	公津地区	360	16.5	754	17.4
3	八生地区	54	2.5	133	3.1
4	中郷地区	27	1.2	66	1.5
5	久住地区	85	3.9	137	3.2
6	豊住地区	33	1.5	89	2.1
7	遠山地区	184	8.5	421	9.7
8	ニュータウン地区	515	23.7	1,010	23.3
9	下総地区	120	5.5	247	5.7
10	大栄地区	161	7.4	335	7.7
11	その他	5	0.2	13	0.3
12	無回答	40	1.8	-	-
	合計	2,176	100.0	4,333	100.0

<年代構成>

ほとんどの地区で60代以上が多いですが、特に大栄・豊住・中郷地区は60代以上が多くなっています。また、公津地区では40代が、遠山地区では30代が最も多く、60代以上は35%以下になっています。

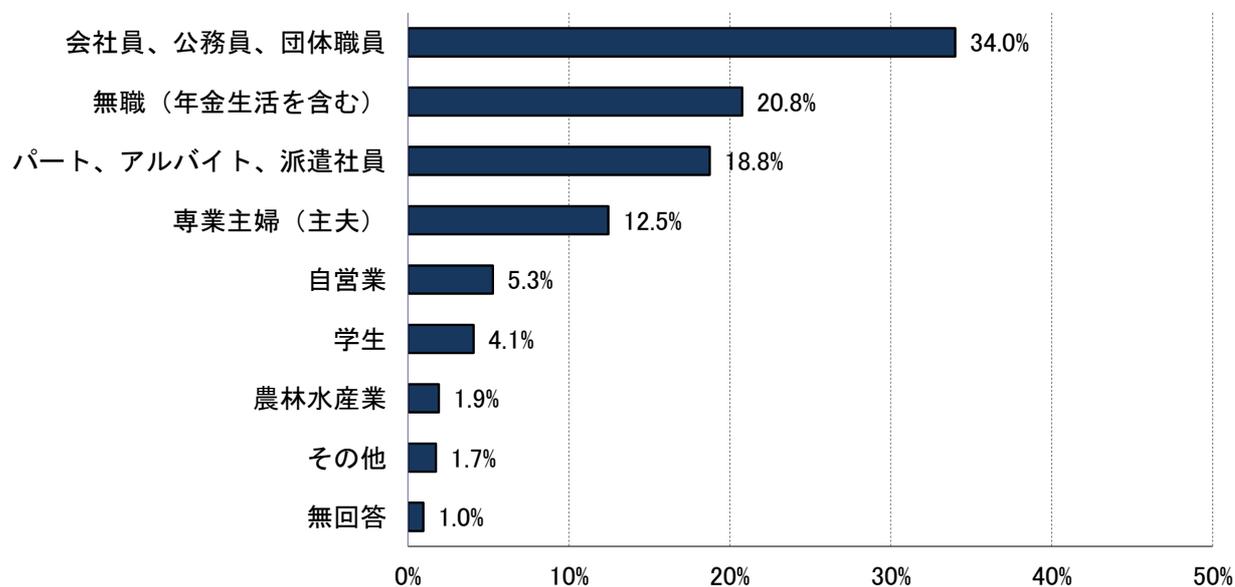


		全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
人数(人)	全体	2,176	71	180	300	380	321	415	482	27
	成田地区	592	24	79	95	99	77	112	103	3
	公津地区	360	12	40	52	71	59	56	66	4
	八生地区	54	5	1	4	8	10	14	12	0
	中郷地区	27	0	1	4	4	4	8	6	0
	久住地区	85	2	3	18	17	10	19	16	0
	豊住地区	33	0	0	1	6	8	6	12	0
	遠山地区	184	3	25	38	34	19	28	36	1
	ニュータウン地区	515	16	20	52	98	78	97	152	2
	下総地区	120	4	4	13	11	29	25	34	0
	大栄地区	161	4	6	15	24	22	47	41	2
	その他	5	0	0	1	3	1	0	0	0
	無回答	40	1	1	7	5	4	3	4	15
割合(%)	全体	100.0	3.3	8.3	13.8	17.5	14.8	19.1	22.2	1.2
	成田地区	100.0	4.1	13.3	16.0	16.7	13.0	18.9	17.4	0.5
	公津地区	100.0	3.3	11.1	14.4	19.7	16.4	15.6	18.3	1.1
	八生地区	100.0	9.3	1.9	7.4	14.8	18.5	25.9	22.2	0.0
	中郷地区	100.0	0.0	3.7	14.8	14.8	14.8	29.6	22.2	0.0
	久住地区	100.0	2.4	3.5	21.2	20.0	11.8	22.4	18.8	0.0
	豊住地区	100.0	0.0	0.0	3.0	18.2	24.2	18.2	36.4	0.0
	遠山地区	100.0	1.6	13.6	20.7	18.5	10.3	15.2	19.6	0.5
	ニュータウン地区	100.0	3.1	3.9	10.1	19.0	15.1	18.8	29.5	0.4
	下総地区	100.0	3.3	3.3	10.8	9.2	24.2	20.8	28.3	0.0
	大栄地区	100.0	2.5	3.7	9.3	14.9	13.7	29.2	25.5	1.2
	その他	100.0	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	100.0	2.5	2.5	17.5	12.5	10.0	7.5	10.0	37.5

#### (4) 職業

問2 あなたの職業について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

職業は、「会社員、公務員、団体職員」が 34.0%と最も多く、次いで「無職（年金生活を含む）」20.8%、「パート、アルバイト、派遣社員」18.8%となっています。

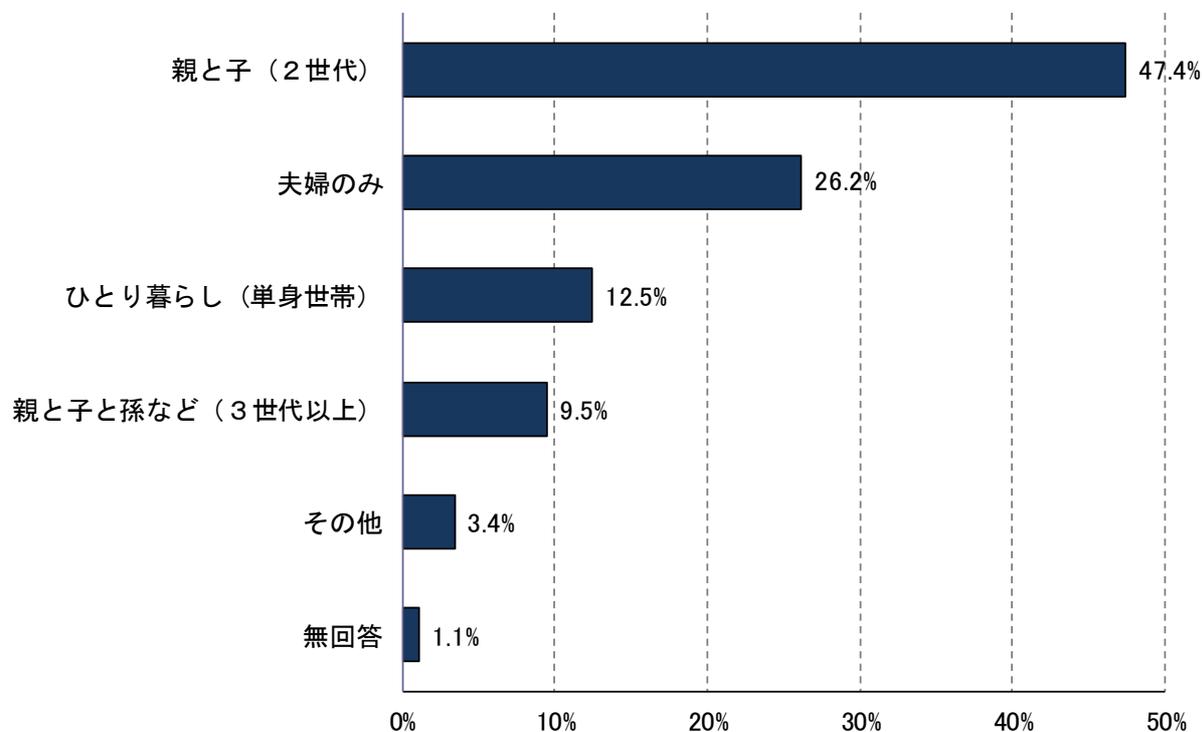


No.	選択肢	人数(人)	割合(%)
1	会社員、公務員、団体職員	740	34.0
2	無職(年金生活を含む)	452	20.8
3	パート、アルバイト、派遣社員	408	18.8
4	専業主婦(主夫)	271	12.5
5	自営業	115	5.3
6	学生	89	4.1
7	農林水産業	42	1.9
8	その他	38	1.7
9	無回答	21	1.0
	合計	2,176	100.0

## (5) 家族構成

問3 あなたの家族構成について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

家族構成は、「親と子（2世代）」が47.4%と最も多く、次いで「夫婦のみ」26.2%、「ひとり暮らし（単身世帯）」12.5%となっています。

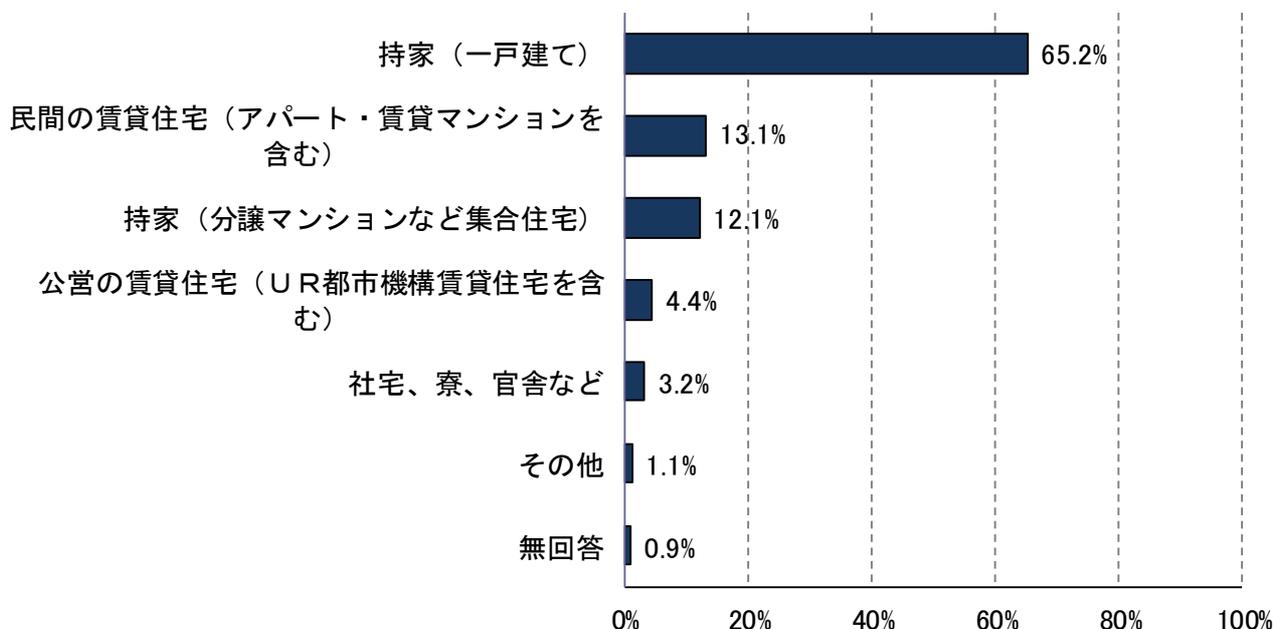


No.	選択肢	人数(人)	割合(%)
1	親と子(2世代)	1,032	47.4
2	夫婦のみ	570	26.2
3	ひとり暮らし(単身世帯)	271	12.5
4	親と子と孫など(3世代以上)	206	9.5
5	その他	74	3.4
6	無回答	23	1.1
	合計	2,176	100.0

## (6) 住宅の種類

問4 あなたの住んでいる住宅について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

居住している住宅の種類は、「持家（一戸建て）」が65.2%と最も多く、次いで「民間の賃貸住宅（アパート・賃貸マンションを含む）」13.1%、「持家（分譲マンションなど集合住宅）」12.1%となっています。

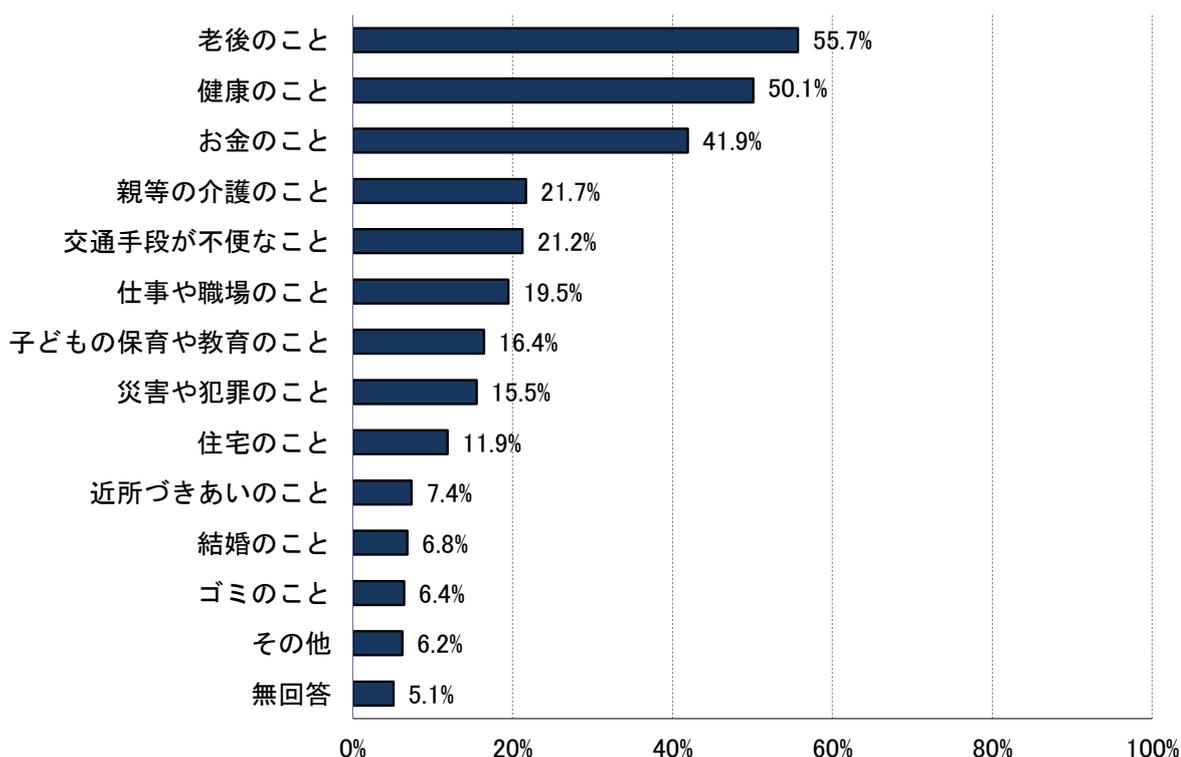


No.	選択肢	人数(人)	割合(%)
1	持家(一戸建て)	1,418	65.2
2	民間の賃貸住宅(アパート・賃貸マンションを含む)	286	13.1
3	持家(分譲マンションなど集合住宅)	263	12.1
4	公営の賃貸住宅(UR都市機構賃貸住宅を含む)	96	4.4
5	社宅、寮、官舎など	69	3.2
6	その他	24	1.1
7	無回答	20	0.9
	合計	2,176	100.0

## (7) 心配ごとや困っていること

問 5 あなたは、心配ごとや困っていることはありますか。あてはまる番号すべてを○で  
 囲んでください。

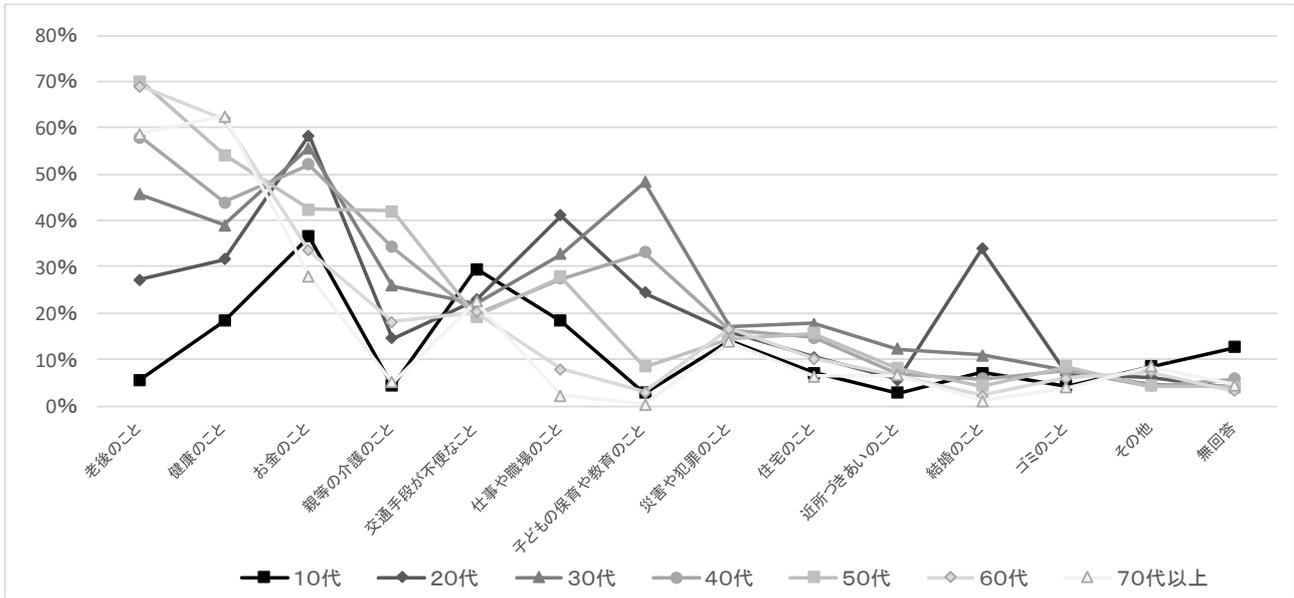
心配ごとや困っていることについては、「老後のこと」が 55.7%と最も多く、次いで「健康の  
 こと」50.1%、「お金のこと」41.9%となっています。



No.	選択肢	人数(人)	割合(%)
1	老後のこと	1,212	55.7
2	健康のこと	1,090	50.1
3	お金のこと	912	41.9
4	親等の介護のこと	472	21.7
5	交通手段が不便なこと	462	21.2
6	仕事や職場のこと	424	19.5
7	子どもの保育や教育のこと	357	16.4
8	災害や犯罪のこと	337	15.5
9	住宅のこと	258	11.9
10	近所づきあいのこと	160	7.4
11	結婚のこと	149	6.8
12	ゴミのこと	140	6.4
13	その他	135	6.2
14	無回答	111	5.1
	合計	2,176	100.0

<年代別集計>

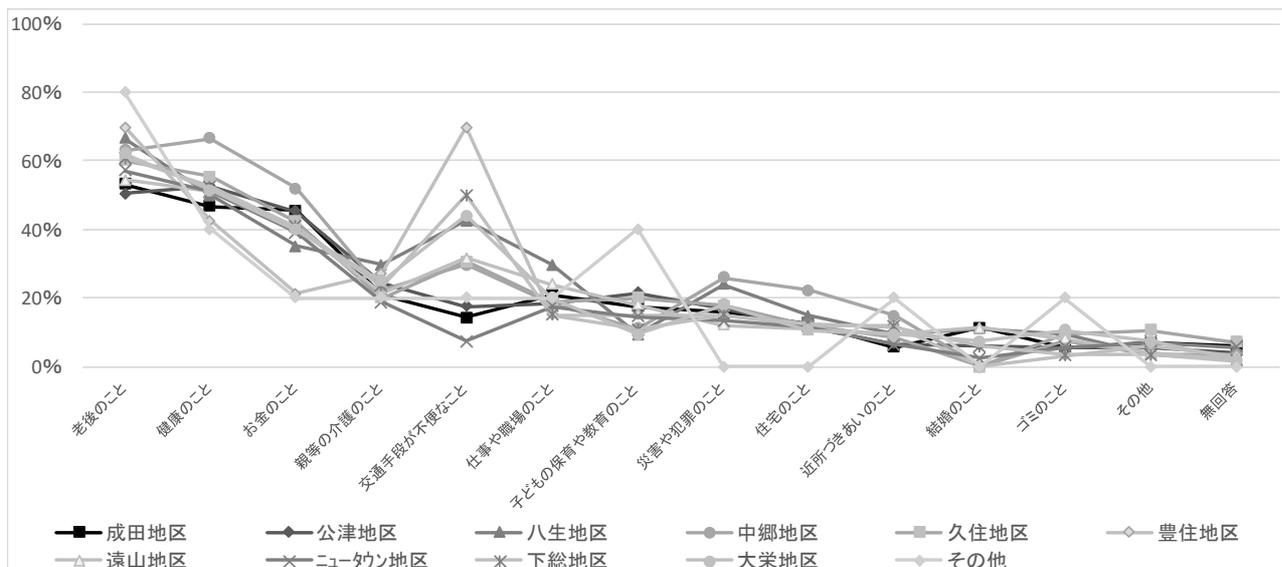
年代別でみると、10代から30代では「お金のこと」、40代から60代では「老後のこと」、70代以上では「健康のこと」が最も多くなっています。「健康のこと」「老後のこと」は、高い年代で多い傾向にあり、「仕事や職場のこと」「子どもの保育や教育のこと」などは低い年代で多くなっています。「交通手段が不便なこと」は、年代を問わず2~3割程度となっています。



		全体	老後のこと	健康のこと	お金のこと	親等の介護のこと	交通手段が不便なこと	仕事や職場のこと	子どもの保育や教育のこと	災害や犯罪のこと	住宅のこと	近所つきあいのこと	結婚のこと	ゴミのこと	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,212	1,090	912	472	462	424	357	337	258	160	149	140	135	111
	10代	71	4	13	26	3	21	13	2	10	5	2	5	3	6	9
	20代	180	49	57	105	26	41	74	44	29	19	10	61	12	11	7
	30代	300	137	117	167	78	66	98	145	51	53	37	33	23	14	12
	40代	380	220	167	198	130	75	104	126	62	56	26	22	29	16	22
	50代	321	225	174	136	135	62	89	27	46	50	26	14	27	14	13
	60代	415	286	257	139	75	84	33	12	69	42	27	9	25	30	13
	70代以上	482	283	301	135	24	108	11	1	66	31	32	5	19	41	22
	無回答	27	8	4	6	1	5	2	0	4	2	0	0	2	3	13
割合(%)	全体	100.0	55.7	50.1	41.9	21.7	21.2	19.5	16.4	15.5	11.9	7.4	6.8	6.4	6.2	5.1
	10代	100.0	5.6	18.3	36.6	4.2	29.6	18.3	2.8	14.1	7.0	2.8	7.0	4.2	8.5	12.7
	20代	100.0	27.2	31.7	58.3	14.4	22.8	41.1	24.4	16.1	10.6	5.6	33.9	6.7	6.1	3.9
	30代	100.0	45.7	39.0	55.7	26.0	22.0	32.7	48.3	17.0	17.7	12.3	11.0	7.7	4.7	4.0
	40代	100.0	57.9	43.9	52.1	34.2	19.7	27.4	33.2	16.3	14.7	6.8	5.8	7.6	4.2	5.8
	50代	100.0	70.1	54.2	42.4	42.1	19.3	27.7	8.4	14.3	15.6	8.1	4.4	8.4	4.4	4.0
	60代	100.0	68.9	61.9	33.5	18.1	20.2	8.0	2.9	16.6	10.1	6.5	2.2	6.0	7.2	3.1
	70代以上	100.0	58.7	62.4	28.0	5.0	22.4	2.3	0.2	13.7	6.4	6.6	1.0	3.9	8.5	4.6
	無回答	100.0	29.6	14.8	22.2	3.7	18.5	7.4	0.0	14.8	7.4	0.0	0.0	7.4	11.1	48.1

<地区別集計>

地区別にみると、どの地区においても「老後のこと」「健康のこと」が多くなっています。「交通手段が不便なこと」は、豊住・下総・大栄地区等で特に多くなっています。

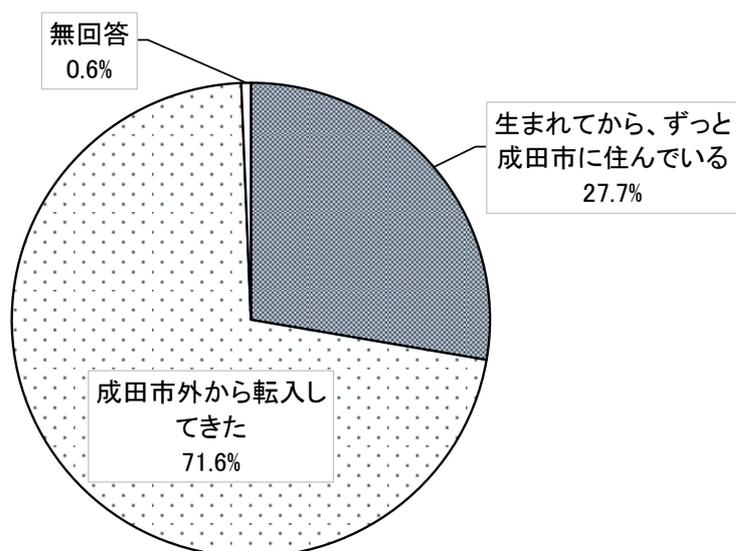


		全体	老後のこと	健康のこと	お金のこと	親等の介護のこと	交通手段が不便なこと	仕事や職場のこと	子どもの保育や教育のこと	災害や犯罪のこと	住宅のこと	近所づきあいのこと	結婚のこと	ゴミのこと	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,212	1,090	912	472	462	424	357	337	258	160	149	140	135	111
	成田地区	592	315	276	269	124	85	124	104	93	74	34	67	33	40	36
	公津地区	360	182	190	163	88	63	66	77	60	41	24	22	20	19	15
	八生地区	54	36	27	19	16	23	16	5	13	8	5	6	5	2	1
	中郷地区	27	17	18	14	6	8	5	3	7	6	4	0	2	1	1
	久住地区	85	51	47	36	17	26	16	17	15	10	7	0	8	9	6
	豊住地区	33	23	14	7	9	23	5	5	5	4	4	0	1	2	1
	遠山地区	184	100	94	75	39	58	44	33	22	20	17	21	15	7	4
	ニュータウン地区	515	294	263	201	97	38	90	75	69	60	33	13	29	36	29
	下総地区	120	73	63	49	28	60	18	13	18	15	14	7	4	4	2
	大栄地区	161	100	83	64	40	71	32	15	29	17	15	12	17	12	3
	その他	5	4	2	1	1	1	1	2	0	0	1	0	1	0	0
	無回答	40	17	13	14	7	6	7	8	6	3	2	1	5	3	13
割合(%)	全体	100.0	55.7	50.1	41.9	21.7	21.2	19.5	16.4	15.5	11.9	7.4	6.8	6.4	6.2	5.1
	成田地区	100.0	53.2	46.6	45.4	20.9	14.4	20.9	17.6	15.7	12.5	5.7	11.3	5.6	6.8	6.1
	公津地区	100.0	50.6	52.8	45.3	24.4	17.5	18.3	21.4	16.7	11.4	6.7	6.1	5.6	5.3	4.2
	八生地区	100.0	66.7	50.0	35.2	29.6	42.6	29.6	9.3	24.1	14.8	9.3	11.1	9.3	3.7	1.9
	中郷地区	100.0	63.0	66.7	51.9	22.2	29.6	18.5	11.1	25.9	22.2	14.8	0.0	7.4	3.7	3.7
	久住地区	100.0	60.0	55.3	42.4	20.0	30.6	18.8	20.0	17.6	11.8	8.2	0.0	9.4	10.6	7.1
	豊住地区	100.0	69.7	42.4	21.2	27.3	69.7	15.2	15.2	15.2	12.1	12.1	0.0	3.0	6.1	3.0
	遠山地区	100.0	54.3	51.1	40.8	21.2	31.5	23.9	17.9	12.0	10.9	9.2	11.4	8.2	3.8	2.2
	ニュータウン地区	100.0	57.1	51.1	39.0	18.8	7.4	17.5	14.6	13.4	11.7	6.4	2.5	5.6	7.0	5.6
	下総地区	100.0	60.8	52.5	40.8	23.3	50.0	15.0	10.8	15.0	12.5	11.7	5.8	3.3	3.3	1.7
	大栄地区	100.0	62.1	51.6	39.8	24.8	44.1	19.9	9.3	18.0	10.6	9.3	7.5	10.6	7.5	1.9
	その他	100.0	80.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	無回答	100.0	42.5	32.5	35.0	17.5	15.0	17.5	20.0	15.0	7.5	5.0	2.5	12.5	7.5	32.5

## (8) 成田市の居住状況

問6 あなたは、生まれてからずっと成田市に住んでいますか。それとも、成田市外から転入してきましたか。当てはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

居住状況については、「生まれてから、ずっと成田市に住んでいる」方が27.7%、「成田市外から転入してきた」方が71.6%となっています。



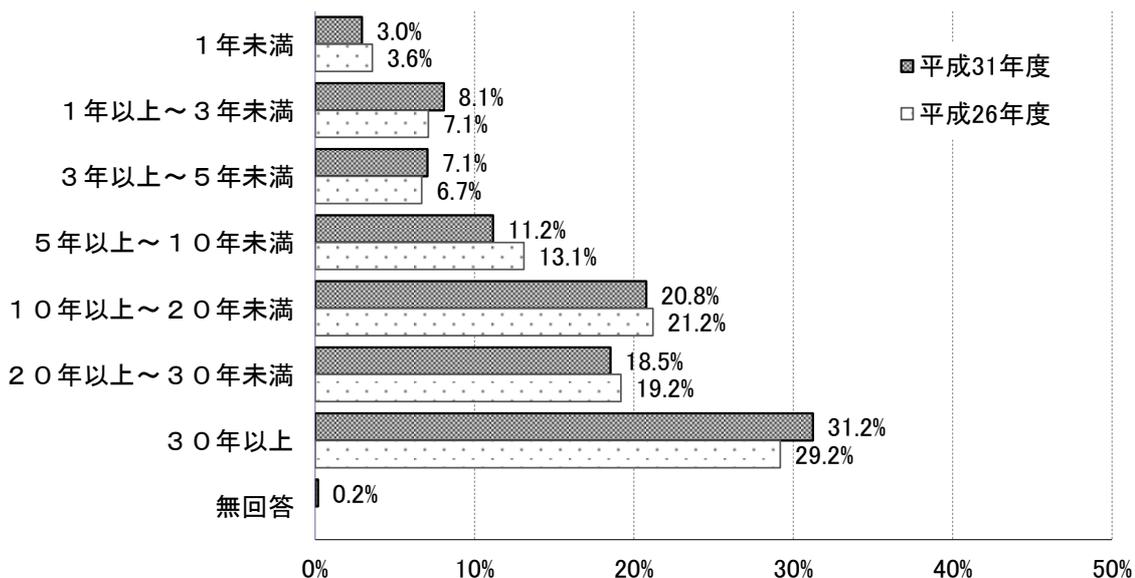
No.	選択肢	人数(人)	割合(%)
1	生まれてから、ずっと成田市に住んでいる	603	27.7
2	成田市外から転入してきた	1,559	71.6
3	無回答	14	0.6
	合計	2,176	100.0

## (9) 成田市に住んでからの年数

◆問6で「2」と答えた方におうかがいします

問6-① あなたは、成田市に住むようになってからどれくらいになりますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

成田市外から転入してきた方が成田市に住んでいる年数は、「30年以上」が31.2%と最も多く、次いで「10年以上～20年未満」20.8%、「20年以上～30年未満」18.5%となっています。平成26年度調査結果と概ね同傾向を示しています。

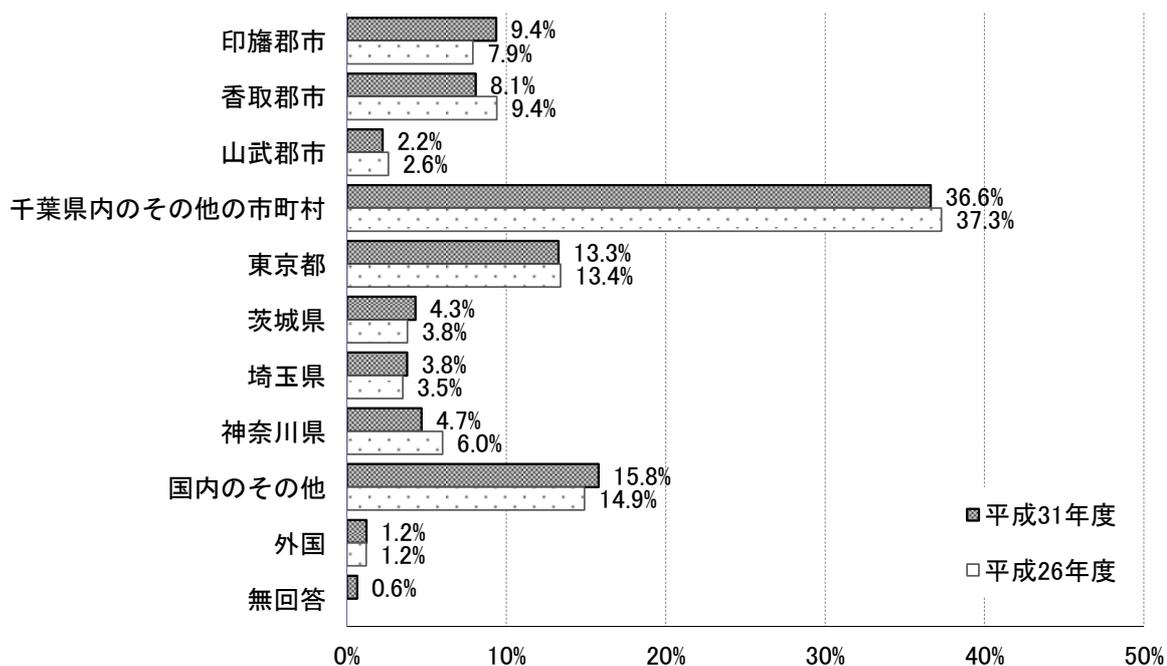


No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	1年未満	46	3.0	110	3.6
2	1年以上～3年未満	126	8.1	217	7.1
3	3年以上～5年未満	110	7.1	204	6.7
4	5年以上～10年未満	174	11.2	399	13.1
5	10年以上～20年未満	324	20.8	647	21.2
6	20年以上～30年未満	289	18.5	687	19.2
7	30年以上	487	31.2	892	29.2
8	無回答	3	0.2	-	-
	合計	1,559	100.0	3,056	100.0

(10) 成田市への転入前に居住していた地域

問6-② 成田市に転入する前はどこに住んでいましたか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

成田市外から転入してきた方が、転入前に住んでいた地域については、「千葉県内のその他の市町村」が36.6%と最も多く、次いで「国内のその他」15.8%、「東京都」13.3%となっています。平成26年度調査結果と概ね同傾向を示しています。



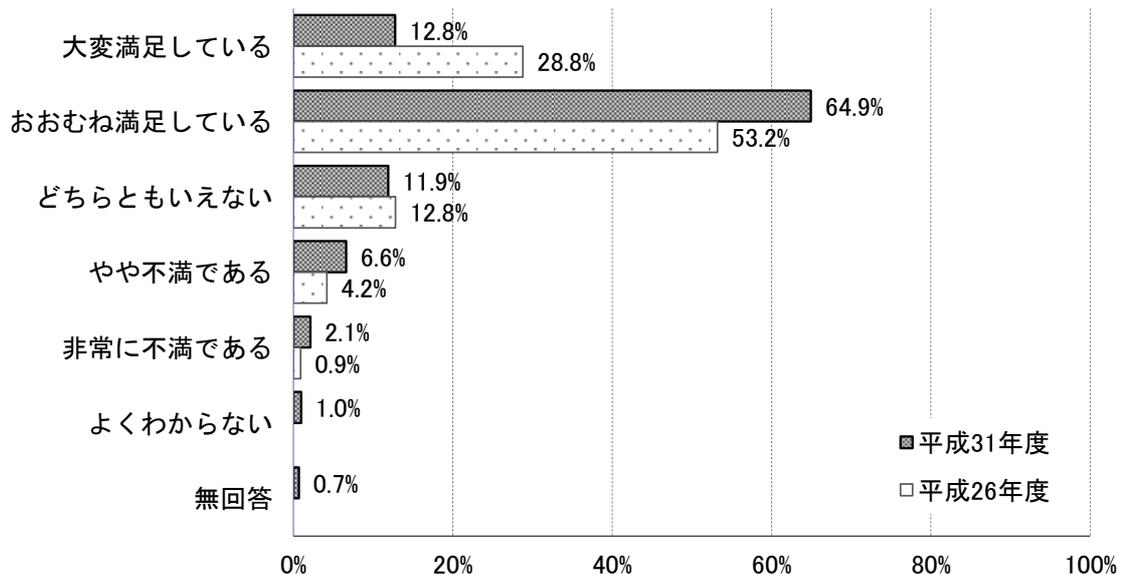
No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合 (%)	人数(人)	割合 (%)
1	印旛郡市	146	9.4	240	7.9
2	香取郡市	126	8.1	287	9.4
3	山武郡市	35	2.2	78	2.6
4	千葉県内のその他の市町村	571	36.6	1,135	37.3
5	東京都	207	13.3	409	13.4
6	茨城県	67	4.3	117	3.8
7	埼玉県	59	3.8	106	3.5
8	神奈川県	73	4.7	181	6.0
9	国内のその他	246	15.8	453	14.9
10	外国	19	1.2	35	1.2
11	無回答	10	0.6	-	-
	合計	1,559	100.0	3,041	100.0

### 3. 住みごちについて

#### (1) 住みごち

問7 あなたにとって、現在の成田市の住みごちはいかがですか。あてはまる番号を1から7まで○で囲んでください。

住みごちについては、「おおむね満足している」が64.9%と最も多く、次いで「大変満足している」12.8%、「どちらともいえない」11.9%となっています。市民の過半が成田市を「住み良い」と感じています。平成26年度調査との比較については、選択肢の文言を変更していることを考慮する必要があります。

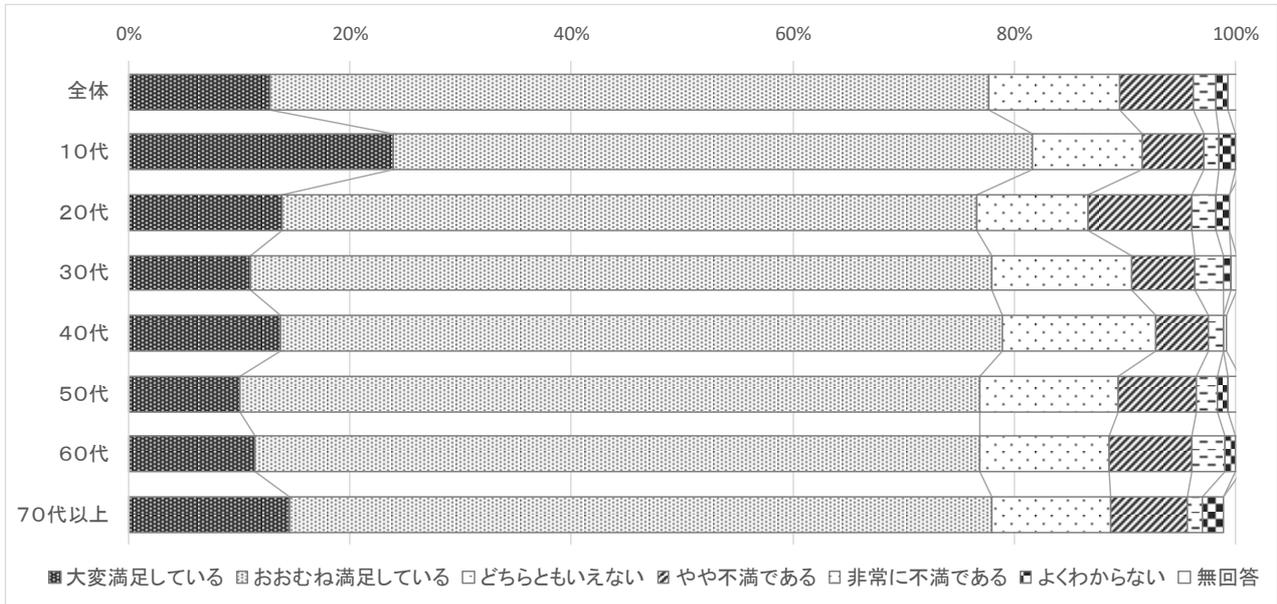


No.	選択肢	平成31年度		平成26年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	大満足している	278	12.8	1,270	28.8
2	おおむね満足している	1,413	64.9	2,344	53.2
3	どちらともいえない	259	11.9	566	12.8
4	やや不満である	144	6.6	184	4.2
5	非常に不満である	46	2.1	41	0.9
6	よくわからない	21	1.0	-	-
7	無回答	15	0.7	-	-
	合計	2,176	100.0	4,405	100.0

※平成26年度の選択肢は、「1. とても住みよい」「2. どちらかといえば住みよい」「4. どちらかといえば住みにくい」「5. とても住みにくい」となっています。

<年代別集計>

年代別にみると、どの年代においても「おおむね満足している」が過半を占めています。いずれの年代でも、成田市を住みごこちが良いと考えている方が多いことがわかります。

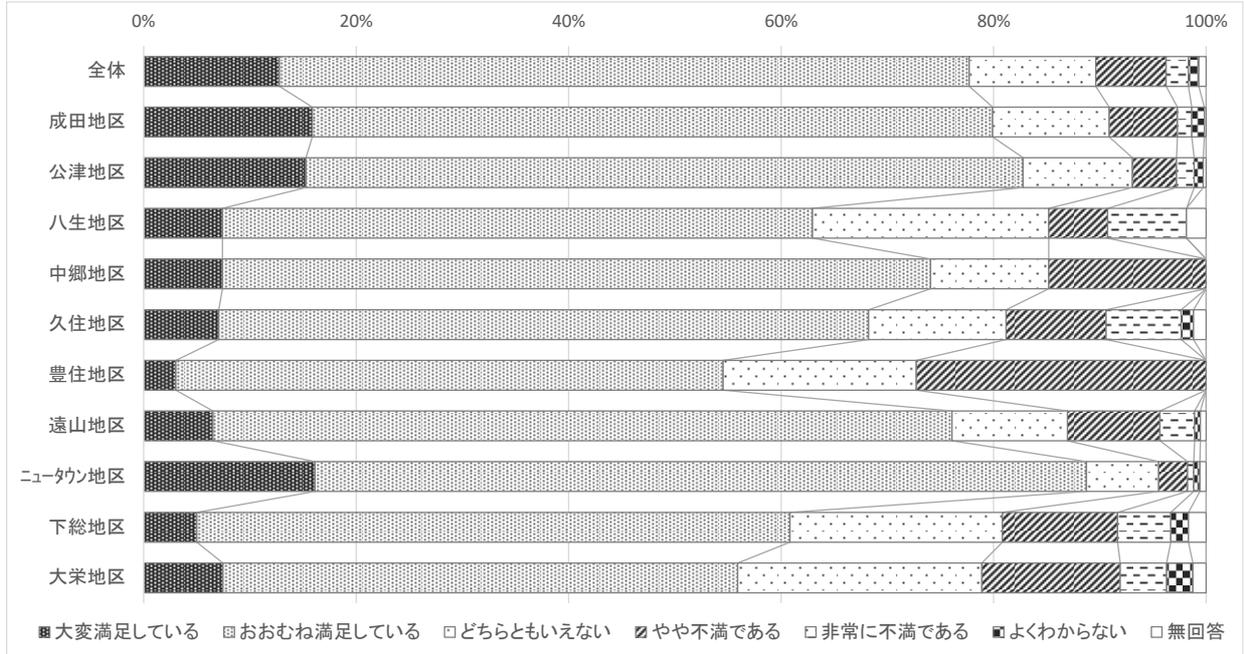


		全体	大変満足している	おおむね満足している	どちらともいえない	やや不満である	非常に不満である	よくわからない	無回答
人数(人)	全体	2,176	278	1,413	259	144	46	21	15
	10代	71	17	41	7	4	1	1	0
	20代	180	25	113	18	17	4	2	1
	30代	300	33	201	38	17	8	2	1
	40代	380	52	248	53	18	5	0	4
	50代	321	32	215	40	23	6	3	2
	60代	415	47	272	49	31	12	4	0
	70代以上	482	70	306	52	33	7	9	5
	無回答	27	2	17	2	1	3	0	2
割合(%)	全体	100.0	12.8	64.9	11.9	6.6	2.1	1.0	2.0
	10代	100.0	23.9	57.7	9.9	5.6	1.4	1.4	0.7
	20代	100.0	13.9	62.8	10.0	9.4	2.2	1.1	0.0
	30代	100.0	11.0	67.0	12.7	5.7	2.7	0.7	0.6
	40代	100.0	13.7	65.3	13.9	4.7	1.3	0.0	0.3
	50代	100.0	10.0	67.0	12.5	7.2	1.9	0.9	1.1
	60代	100.0	11.3	65.5	11.8	7.5	2.9	1.0	0.6
	70代以上	100.0	14.5	63.5	10.8	6.8	1.5	1.9	0.0
	無回答	100.0	7.4	63.0	7.4	3.7	11.1	0.0	1.0

<地区別集計>

地区別にみると、成田・公津・ニュータウン地区において、「大変満足している」が15%程度を占め、「おおむね満足している」と合わせると概ね8割以上が満足していると回答しています。一方、その他の地区では「大変満足している」は8%以下となっており、「おおむね満足している」と合わせても、6割に満たない地区もあります。

市街地において満足度が高くなっていることがわかります。

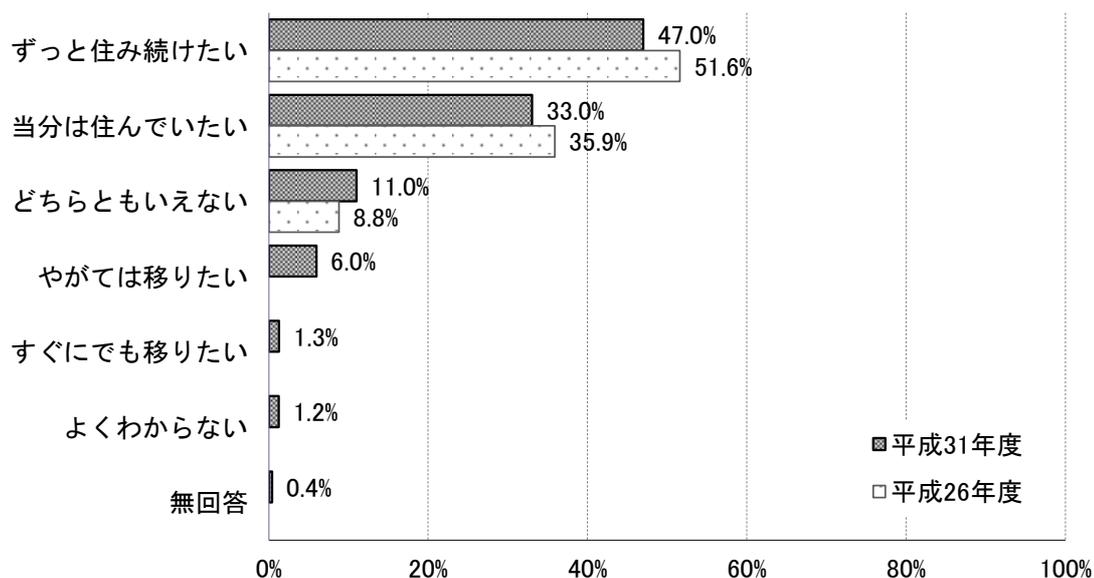


		全体	大変満足している	おおむね満足している	どちらともいえない	やや不満である	非常に不満である	よくわからない	無回答
人数	全体	2,176	278	1,413	259	144	46	21	15
	成田地区	592	94	379	65	38	8	7	1
	公津地区	360	55	243	37	15	6	3	1
	八生地区	54	4	30	12	3	4	0	1
	中郷地区	27	2	18	3	4	0	0	0
	久住地区	85	6	52	11	8	6	1	1
	豊住地区	33	1	17	6	9	0	0	0
	遠山地区	184	12	128	20	16	6	1	1
	ニュータウン地区	515	83	374	35	14	3	3	3
	下総地区	120	6	67	24	13	6	2	2
	大栄地区	161	12	78	37	21	7	4	2
	その他	5	0	4	1	0	0	0	0
	無回答	40	3	23	8	3	0	0	3
	割合(%)	全体	100.0	12.8	64.9	11.9	6.6	2.1	1.0
成田地区		100.0	15.9	64.0	11.0	6.4	1.4	1.2	0.2
公津地区		100.0	15.3	67.5	10.3	4.2	1.7	0.8	0.3
八生地区		100.0	7.4	55.6	22.2	5.6	7.4	0.0	1.9
中郷地区		100.0	7.4	66.7	11.1	14.8	0.0	0.0	0.0
久住地区		100.0	7.1	61.2	12.9	9.4	7.1	1.2	1.2
豊住地区		100.0	3.0	51.5	18.2	27.3	0.0	0.0	0.0
遠山地区		100.0	6.5	69.6	10.9	8.7	3.3	0.5	0.5
ニュータウン地区		100.0	16.1	72.6	6.8	2.7	0.6	0.6	0.6
下総地区		100.0	5.0	55.8	20.0	10.8	5.0	1.7	1.7
大栄地区		100.0	7.5	48.4	23.0	13.0	4.3	2.5	1.2
その他		100.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答		100.0	7.5	57.5	20.0	7.5	0.0	0.0	7.5

## (2) 今後の居住希望

問 8 あなたは、成田市に住み続けたいですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

今後も住み続けたいかについては、「ずっと住み続けたい」が47.0%と最も多く、次いで「当分は住んでいたい」33.0%、「どちらともいえない」11.0%となっています。市民の過半が成田市に「住み続けたい」と感じています。平成26年度調査結果と比較すると概ね同傾向を示していますが、「ずっと住み続けたい」「当分は住んでいたい」の合計は、平成26年度で87.5%ですが、平成31年度では80.0%と少し減少しています。



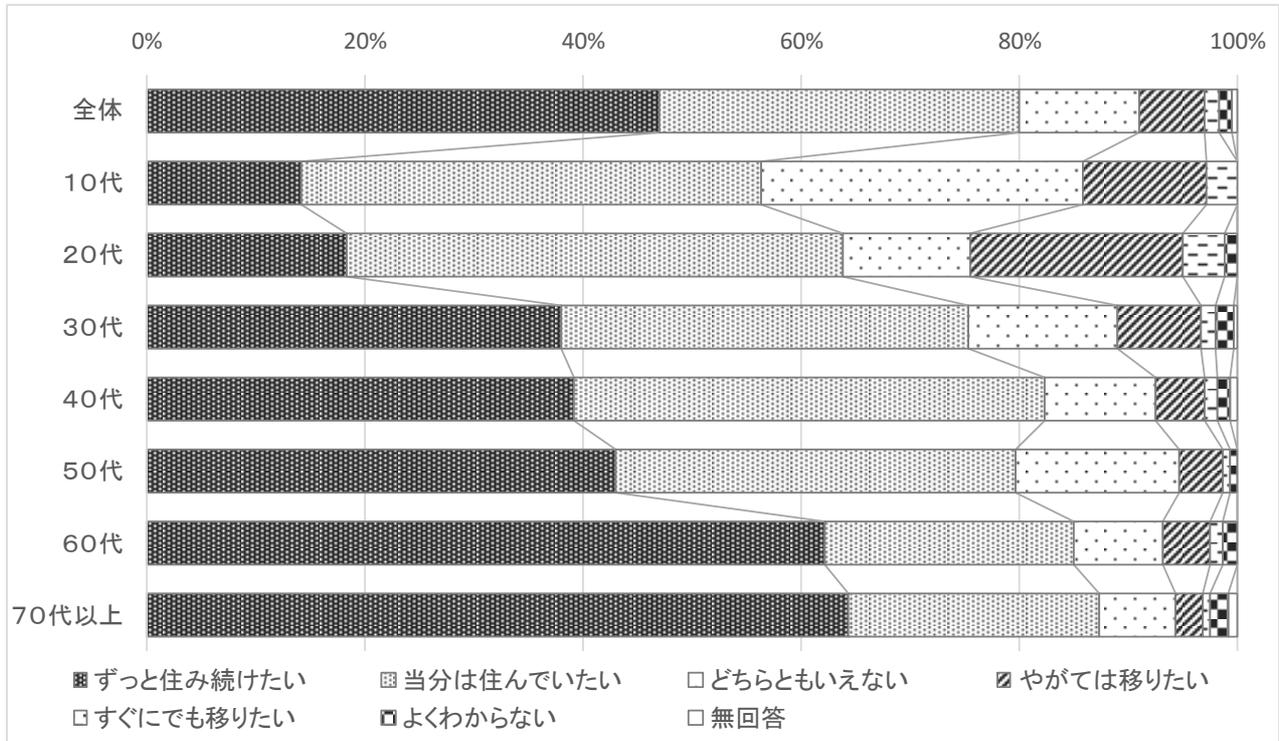
No.	選択肢	平成31年度		平成26年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	ずっと住み続けたい	1,023	47.0	2,279	51.6
2	当分は住んでいたい	719	33.0	1,584	35.9
3	どちらともいえない	240	11.0	389	8.8
4	やがては移りたい	130	6.0	-	-
5	すぐにでも移りたい	28	1.3	-	-
6	よくわからない	27	1.2	-	-
7	無回答	9	0.4	-	-
	合計	2,176	100.0	4,416	-

※平成26年度の調査では、「住み続けたくない」が164人(3.7%)となっています。

<年代別集計>

年代別にみると、10代、20代、40代において「当分は住んでいたい」、30代と50代以上において「ずっと住み続けたい」が最も多くなっており、ほとんどの方が成田市に住んでいたいと考えています。

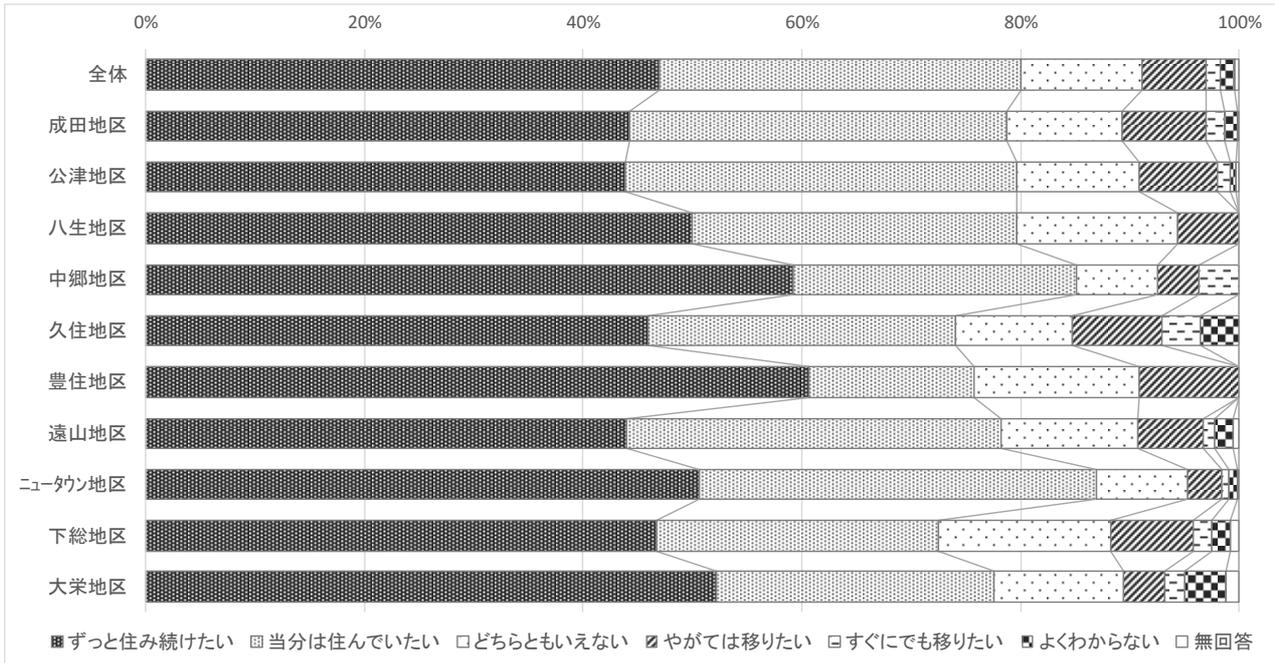
「ずっと住み続けたい」は、年代が高くなるほど多くなる傾向にあります。「やがては移りたい」は20代で最も多く19.4%となっています。



		全体	ずっと住み続けたい	当分は住んでいたい	どちらともいえない	やがては移りたい	すぐにでも移りたい	よくわからない	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,023	719	240	130	28	27	9
	10代	71	10	30	21	8	2	0	0
	20代	180	33	82	21	35	7	2	0
	30代	300	114	112	41	23	4	5	1
	40代	380	149	164	39	17	4	5	2
	50代	321	138	118	48	13	2	2	0
	60代	415	258	95	34	18	5	5	0
	70代以上	482	310	111	34	12	3	8	4
	無回答	27	11	7	2	4	1	0	2
割合(%)	全体	100.0	47.0	33.0	11.0	6.0	1.3	1.2	0.4
	10代	100.0	14.1	42.3	29.6	11.3	2.8	0.0	0.0
	20代	100.0	18.3	45.6	11.7	19.4	3.9	1.1	0.0
	30代	100.0	38.0	37.3	13.7	7.7	1.3	1.7	0.3
	40代	100.0	39.2	43.2	10.3	4.5	1.1	1.3	0.5
	50代	100.0	43.0	36.8	15.0	4.0	0.6	0.6	0.0
	60代	100.0	62.2	22.9	8.2	4.3	1.2	1.2	0.0
	70代以上	100.0	64.3	23.0	7.1	2.5	0.6	1.7	0.8
	無回答	100.0	40.7	25.9	7.4	14.8	3.7	0.0	7.4

<地区別集計>

地区別にみると、どの地区においても「ずっと住みたい」が最も多く、同傾向を示しています。



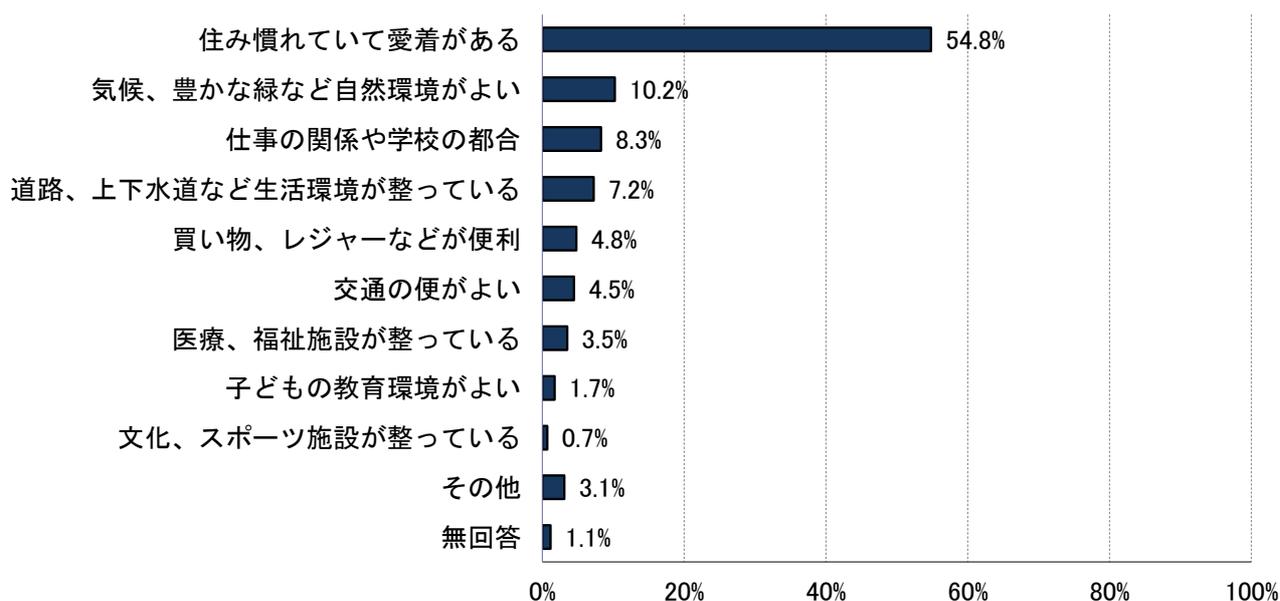
		全体	ずっと住 みたい	当分は住 んでいたい	どちらとも いえない	やがては 移りたい	すぐにも 移りたい	よくわか らない	無回答
人数 (人)	全体	2,176	1,023	719	240	130	28	27	9
	成田地区	592	262	204	63	45	10	7	1
	公津地区	360	158	129	40	26	4	2	1
	八生地区	54	27	16	8	3	0	0	0
	中郷地区	27	16	7	2	1	1	0	0
	久住地区	85	39	24	9	7	3	3	0
	豊住地区	33	20	5	5	3	0	0	0
	遠山地区	184	81	63	23	11	2	3	1
	ニュータウン地区	515	261	187	43	16	3	4	1
	下総地区	120	56	31	19	9	2	2	1
	大栄地区	161	84	41	19	6	3	6	2
	その他	5	1	3	1	0	0	0	0
	無回答	40	18	9	8	3	0	0	2
割合 (%)	全体	100.0	47.0	33.0	11.0	6.0	1.3	1.2	0.4
	成田地区	100.0	44.3	34.5	10.6	7.6	1.7	1.2	0.2
	公津地区	100.0	43.9	35.8	11.1	7.2	1.1	0.6	0.3
	八生地区	100.0	50.0	29.6	14.8	5.6	0.0	0.0	0.0
	中郷地区	100.0	59.3	25.9	7.4	3.7	3.7	0.0	0.0
	久住地区	100.0	45.9	28.2	10.6	8.2	3.5	3.5	0.0
	豊住地区	100.0	60.6	15.2	15.2	9.1	0.0	0.0	0.0
	遠山地区	100.0	44.0	34.2	12.5	6.0	1.1	1.6	0.5
	ニュータウン地区	100.0	50.7	36.3	8.3	3.1	0.6	0.8	0.2
	下総地区	100.0	46.7	25.8	15.8	7.5	1.7	1.7	0.8
	大栄地区	100.0	52.2	25.5	11.8	3.7	1.9	3.7	1.2
	その他	100.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	100.0	45.0	22.5	20.0	7.5	0.0	0.0	5.0

### (3) 住み続けたい理由

◆問8で「1」または「2」と答えた方におうかがいします。

問8-① 住み続けたい理由は何ですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

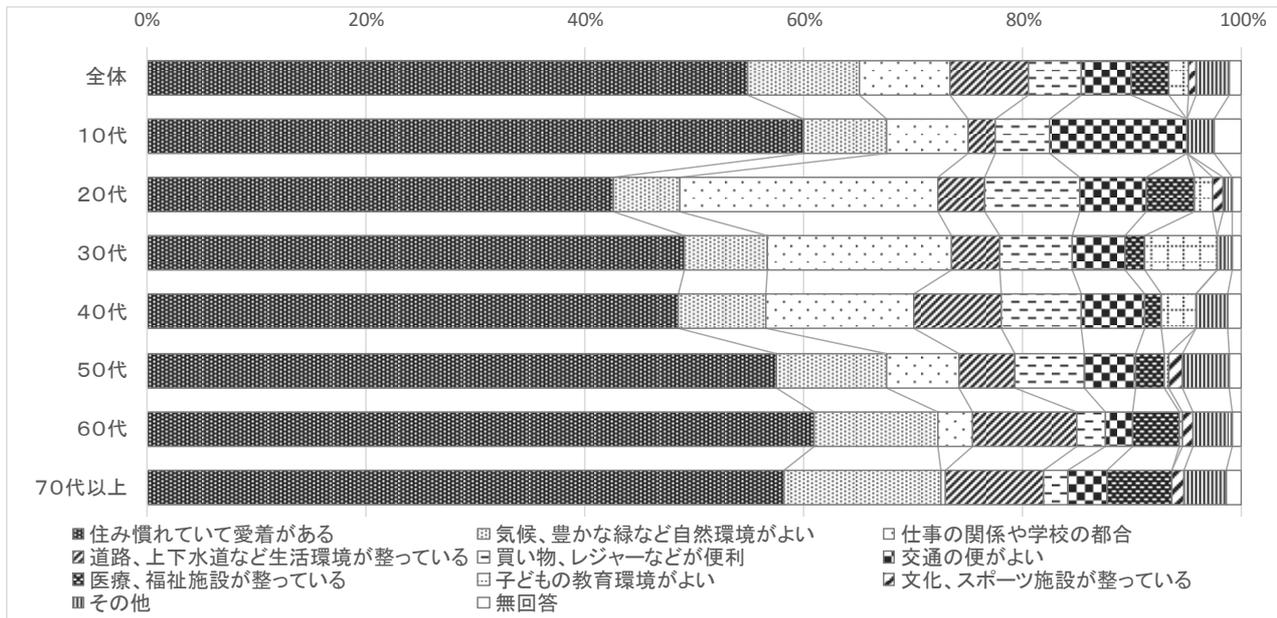
住み続けたい理由については、「住み慣れていて愛着がある」が 54.8%と最も多く、次いで「気候、豊かな緑など自然環境がよい」10.2%、「仕事の関係や学校の都合」8.3%となっています。



No.	選択肢	人数(人)	割合(%)
1	住み慣れていて愛着がある	955	54.8
2	気候、豊かな緑など自然環境がよい	178	10.2
3	仕事の関係や学校の都合	144	8.3
4	道路、上下水道など生活環境が整っている	126	7.2
5	買い物、レジャーなどが便利	84	4.8
6	交通の便がよい	78	4.5
7	医療、福祉施設が整っている	61	3.5
8	子どもの教育環境がよい	30	1.7
9	文化、スポーツ施設が整っている	12	0.7
10	その他	54	3.1
11	無回答	20	1.1
	合計	1,742	100.0

<年代別集計>

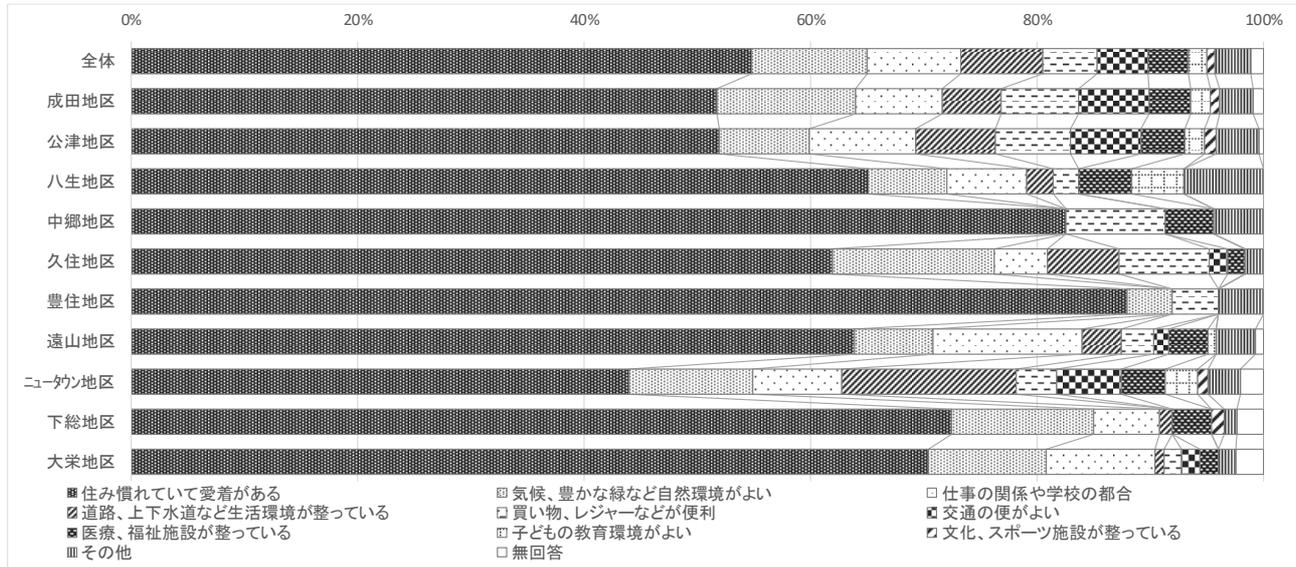
年代別にみると、どの年代においても「住み慣れていて愛着がある」が最も多くなっています。次いで、20～40代においては「仕事の関係や学校の都合」、50代以上では「気候、豊かな緑など自然環境がよい」が多くなっています。



		全体	住み慣れていて愛着がある	気候、豊かな緑など自然環境がよい	仕事の関係や学校の都合	道路、上下水道など生活環境が整っている	買い物、レジャーなどが便利	交通の便がよい	医療、福祉施設が整っている	子どもの教育環境がよい	文化、スポーツ施設が整っている	その他	無回答
人数(人)	全体	1,742	955	178	144	126	84	78	61	30	12	54	20
	10代	40	24	3	3	1	2	5	0	0	0	1	1
	20代	115	49	7	27	5	10	7	5	2	1	1	1
	30代	226	111	17	38	10	15	11	4	15	0	3	2
	40代	313	152	25	42	25	23	18	5	10	0	9	4
	50代	256	147	26	17	13	16	12	7	1	3	11	3
	60代	353	215	40	11	34	9	9	15	1	3	13	3
	70代以上	421	245	60	2	38	9	15	25	0	5	16	6
	無回答	18	12	0	4	0	0	1	0	1	0	0	0
割合(%)	全体	100.0	54.8	10.2	8.3	7.2	4.8	4.5	3.5	1.7	0.7	3.1	1.1
	10代	100.0	60.0	7.5	7.5	2.5	5.0	12.5	0.0	0.0	0.0	2.5	2.5
	20代	100.0	42.6	6.1	23.5	4.3	8.7	6.1	4.3	1.7	0.9	0.9	0.9
	30代	100.0	49.1	7.5	16.8	4.4	6.6	4.9	1.8	6.6	0.0	1.3	0.9
	40代	100.0	48.6	8.0	13.4	8.0	7.3	5.8	1.6	3.2	0.0	2.9	1.3
	50代	100.0	57.4	10.2	6.6	5.1	6.3	4.7	2.7	0.4	1.2	4.3	1.2
	60代	100.0	60.9	11.3	3.1	9.6	2.5	2.5	4.2	0.3	0.8	3.7	0.8
	70代以上	100.0	58.2	14.3	0.5	9.0	2.1	3.6	5.9	0.0	1.2	3.8	1.4
	無回答	100.0	66.7	0.0	22.2	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0

<地区別集計>

地区別にみると、どの地区においても「住み慣れていて愛着がある」が最も多くなっています。次いで、ほとんどの地区において「気候、豊かな緑など自然環境がよい」が多く、公津・遠山地区では「仕事の関係や学校の都合」、ニュータウン地区では「道路、上下水道など生活環境が整っている」が多くなっています。



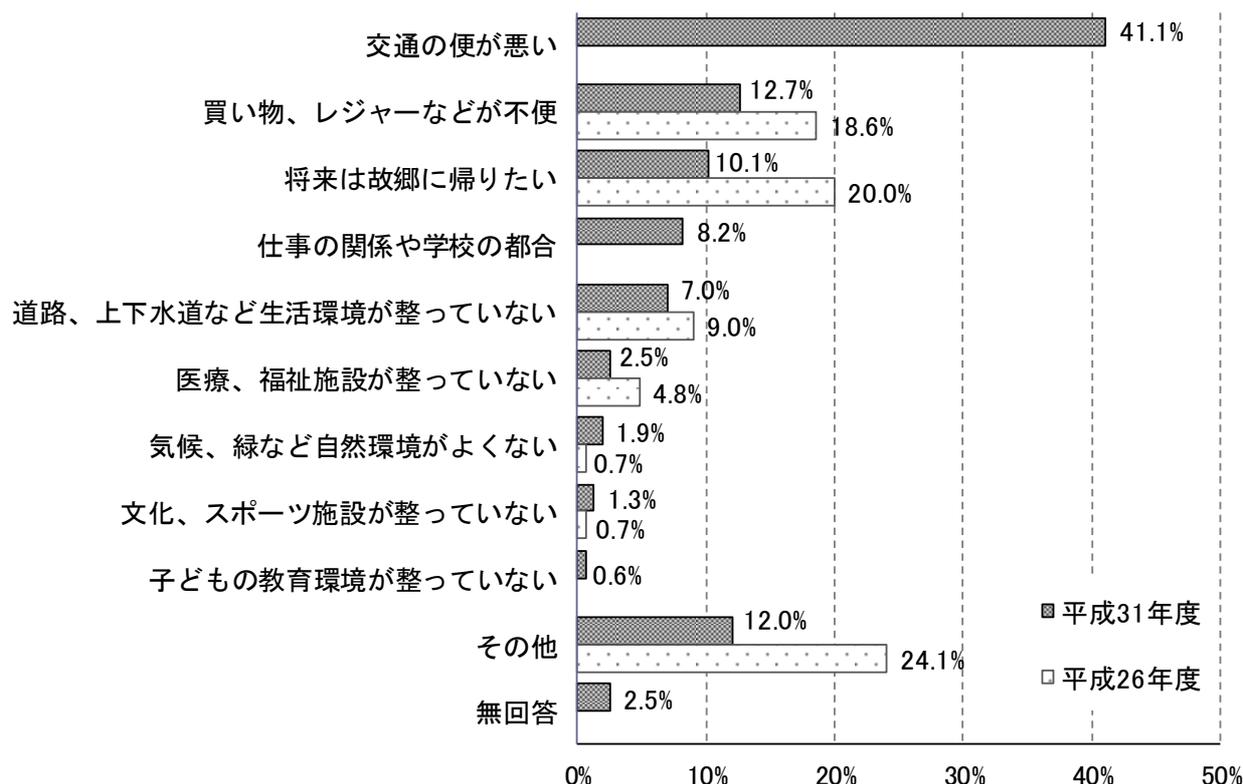
	全体	住み慣れていて愛着がある	境がよい	緑など自然環境がよい	気候、豊かな緑など自然環境がよい	学校の都合	仕事の関係や学校の都合	道路、上下水道など生活環境が整っている	買い物、レジャーなどが便利	交通の便がよい	医療、福祉施設が整っている	子どもの教育環境がよい	文化、スポーツ施設が整っている	その他	無回答
人数(人)	全体	1,742	955	178	144	126	84	78	61	30	12	54	20		
	成田地区	466	241	57	36	24	32	29	17	8	4	14	4		
	公津地区	287	149	23	27	20	19	18	11	5	3	11	1		
	八生地区	43	28	3	3	1	1	0	2	2	0	3	0		
	中郷地区	23	19	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0		
	久住地区	63	39	9	3	4	5	1	1	0	0	1	0		
	豊住地区	25	22	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0		
	遠山地区	144	92	10	19	5	4	2	5	1	0	5	1		
	ニュータウン地区	448	197	49	35	69	16	26	17	13	4	13	9		
	下総地区	87	63	11	5	1	0	0	3	0	1	1	2		
	大栄地区	125	88	13	12	1	2	2	2	0	0	2	3		
	その他	4	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0		
無回答	27	15	2	4	1	1	0	1	1	0	2	0			
割合(%)	全体	100.0	54.8	10.2	8.3	7.2	4.8	4.5	3.5	1.7	0.7	3.1	1.1		
	成田地区	100.0	51.7	12.2	7.7	5.2	6.9	6.2	3.6	1.7	0.9	3.0	0.9		
	公津地区	100.0	51.9	8.0	9.4	7.0	6.6	6.3	3.8	1.7	1.0	3.8	0.3		
	八生地区	100.0	65.1	7.0	7.0	2.3	2.3	0.0	4.7	4.7	0.0	7.0	0.0		
	中郷地区	100.0	82.6	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0	4.3	0.0	0.0	4.3	0.0		
	久住地区	100.0	61.9	14.3	4.8	6.3	7.9	1.6	1.6	0.0	0.0	1.6	0.0		
	豊住地区	100.0	88.0	4.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0		
	遠山地区	100.0	63.9	6.9	13.2	3.5	2.8	1.4	3.5	0.7	0.0	3.5	0.7		
	ニュータウン地区	100.0	44.0	10.9	7.8	15.4	3.6	5.8	3.8	2.9	0.9	2.9	2.0		
	下総地区	100.0	72.4	12.6	5.7	1.1	0.0	0.0	3.4	0.0	1.1	1.1	2.3		
	大栄地区	100.0	70.4	10.4	9.6	0.8	1.6	1.6	1.6	0.0	0.0	1.6	2.4		
	その他	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
無回答	100.0	55.6	7.4	14.8	3.7	3.7	0.0	3.7	3.7	0.0	7.4	0.0			

#### (4) 市外に移り住みたい理由

◆問8で「4」または「5」と答えた方におうかがいします。

問8-② 市外に移り住みたい理由は何ですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

市外に移り住みたい理由については、「交通の便が悪い」が41.1%と最も多く、次いで「買い物、レジャーなどが不便」12.7%、「将来は故郷に帰りたい」10.1%となっています。その他の回答としては、土地や税金が高い、子どもとの同居、生活環境（騒音など）などの意見が挙がっています。



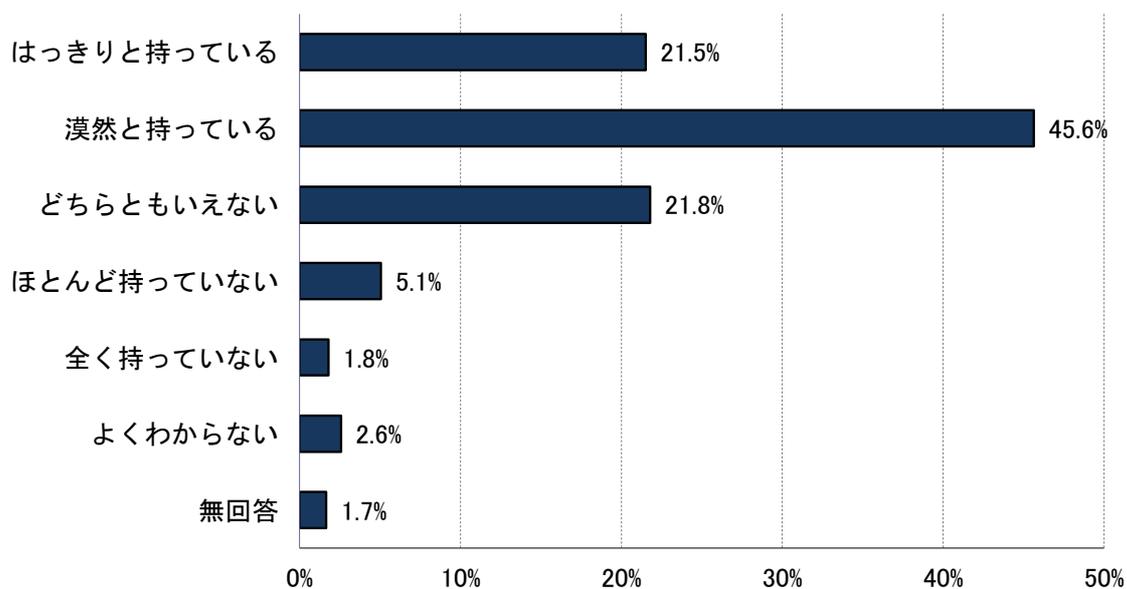
No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合 (%)	人数(人)	割合 (%)
1	交通の便が悪い	65	41.1	-	-
2	買い物、レジャーなどが不便	20	12.7	27	18.6
3	将来は故郷に帰りたい	16	10.1	29	20.0
4	仕事の関係や学校の都合	13	8.2	-	-
5	道路、上下水道など生活環境が整っていない	11	7.0	13	9.0
6	医療、福祉施設が整っていない	4	2.5	7	4.8
7	気候、緑など自然環境がよくない	3	1.9	1	0.7
8	文化、スポーツ施設が整っていない	2	1.3	1	0.7
9	子どもの教育環境が整っていない	1	0.6	-	-
10	その他	19	12.0	35	24.1
11	無回答	4	2.5	-	-
	合計	158	100.0	145	100.0

※平成 26 年度の調査では、「通勤や通学が不便」が 32 人 (22.1%) となっています。

## (5) 成田市への誇りや愛着

問 9 あなたは、成田市に誇りや愛着を持っていますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

成田市に誇りや愛着を持っているかについては、「漠然と持っている」が45.6%と最も多く、次いで「どちらともいえない」21.8%、「はっきりと持っている」21.5%となっています。

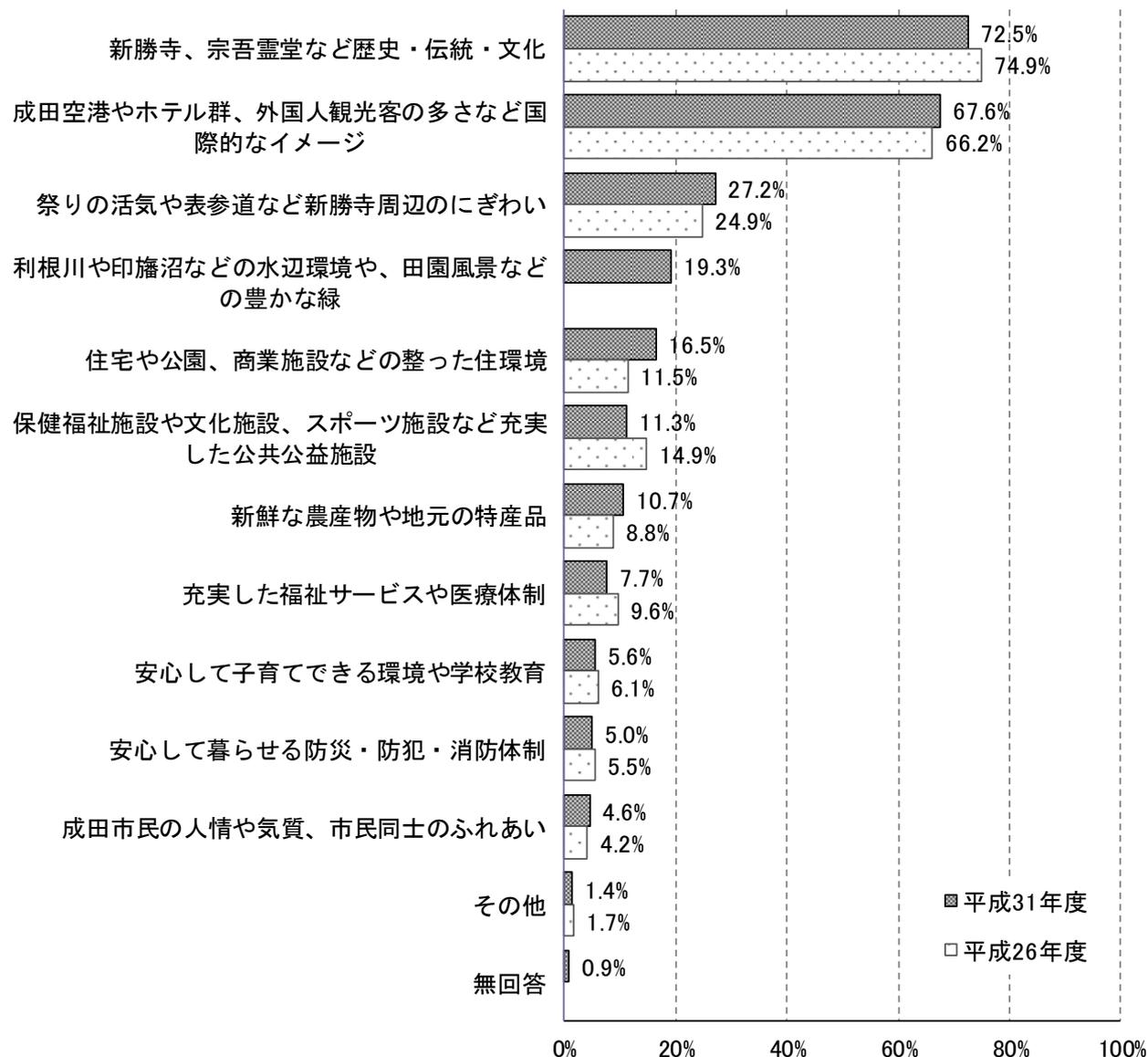


No.	選択肢	人数(人)	割合(%)
1	はっきりと持っている	468	21.5
2	漠然と持っている	993	45.6
3	どちらともいえない	474	21.8
4	ほとんど持っていない	110	5.1
5	全く持っていない	39	1.8
6	よくわからない	56	2.6
7	無回答	36	1.7
	合計	2,176	100.0

## (6) 成田らしいもの、成田で誇れるもの

問 10 成田らしいもの、成田で誇れるものは何ですか。あてはまる番号3つ以内を○で囲んでください。

成田らしいもの、成田で誇れるものについては、「新勝寺、宗吾霊堂など歴史・伝統・文化」が72.5%と最も多く、次いで「成田空港やホテル群、外国人観光客の多さなど国際的なイメージ」67.6%、「祭りの活気や表参道など新勝寺周辺のにぎわい」27.2%となっています。



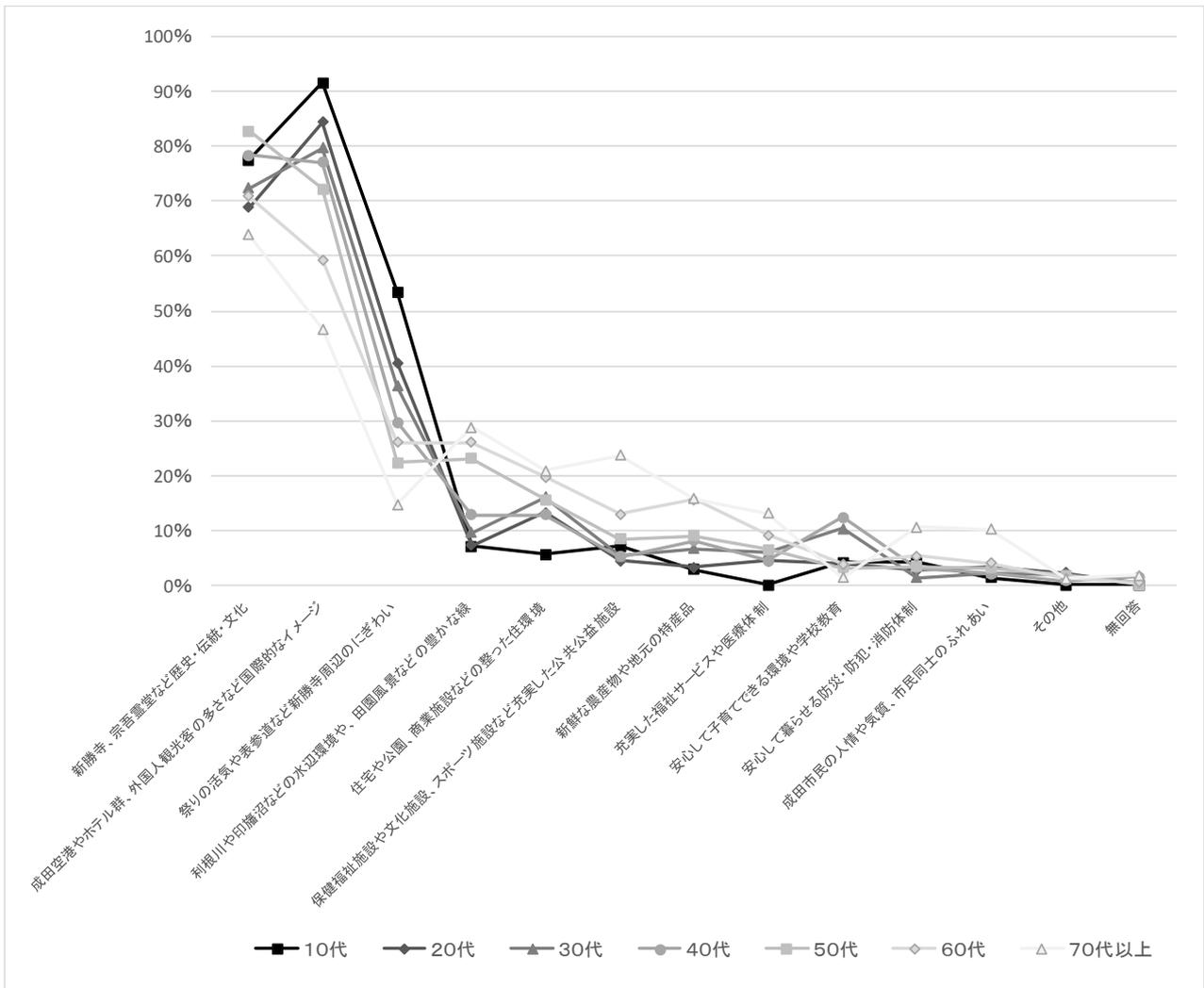
No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	新勝寺、宗吾霊堂など歴史・伝統・文化	1,578	72.5	3,255	74.9
2	成田空港やホテル群、外国人観光客の多さなど国際的なイメージ	1,470	67.6	2,877	66.2
3	祭りの活気や表参道など新勝寺周辺のにぎわい	592	27.2	1,082	24.9
4	利根川や印旛沼などの水辺環境や、田園風景などの豊かな緑	419	19.3	-	-
5	住宅や公園、商業施設などの整った住環境	359	16.5	500	11.5
6	保健福祉施設や文化施設、スポーツ施設など充実した公共公益施設	245	11.3	647	14.9
7	新鮮な農産物や地元の特産品	233	10.7	384	8.8
8	充実した福祉サービスや医療体制	167	7.7	419	9.6
9	安心して子育てできる環境や学校教育	121	5.6	264	6.1
10	安心して暮らせる防災・防犯・消防体制	109	5.0	238	5.5
11	成田市民の人情や気質、市民同士のふれあい	100	4.6	181	4.2
12	その他	30	1.4	76	1.7
13	無回答	20	0.9	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,344	-

※平成 26 年度の選択肢は、「3. 祭りの活気や表参道など新勝寺周辺のにぎやかさ」「5. 住宅が整然と建ち並び、生活利便施設の整った住環境」「7. 新鮮な農産物や加工食品などの特産品」「8. 福祉サービスや医療体制の充実」「9. 安心して子育てできる環境や学校教育の充実」「10. 安心して暮らせる防災・防犯・消防体制の充実」となっています。

また、平成 26 年度の調査では、「利根川や印旛沼、根木名川などのうるおいのある水辺環境」が 487 人（11.2%）、「田園風景や里山景観などの豊かな緑」が 988 人（22.7%）となっています。

<年代別集計>

年代別にみると、「成田空港やホテル群、外国人観光客の多さなど国際的なイメージ」「祭りの活気や表参道など新勝寺周辺のにぎわい」は、10代の割合が最も多く年代が上がるにつれ少なくなっています。

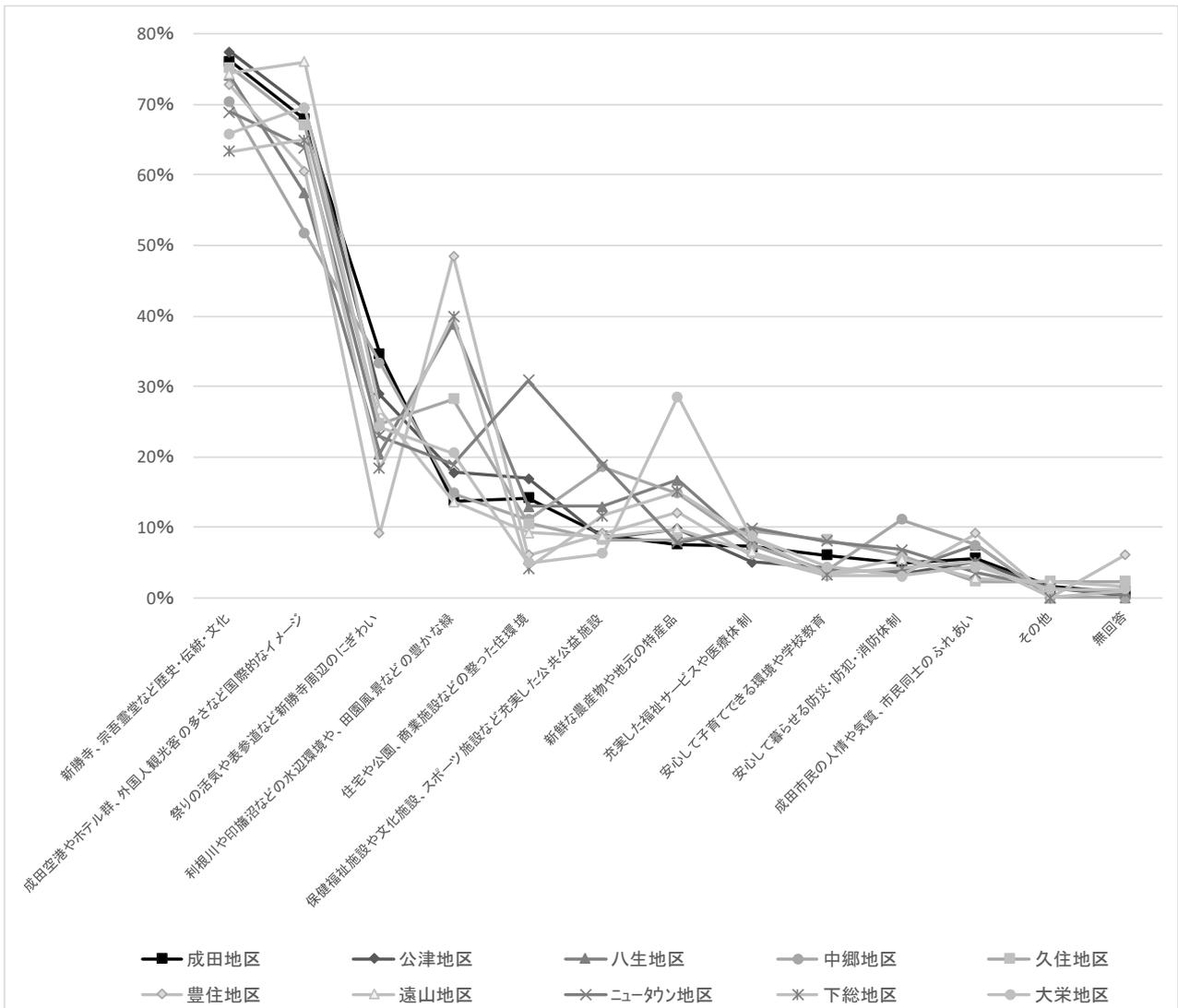


無回答	その他	成田市民の人情や気質、市民同士のふれあい	安心して暮らせる防災・防犯・消防体制	安心して子育てできる環境や学校教育	充実した福祉サービスや医療体制	新鮮な農産物や地元の特産品	保健福祉施設や文化施設、スポーツ施設など充実した公共公益施設	住宅や公園、商業施設などの整った住環境	利根川や印旛沼などの水辺環境や、田園風景などの豊かな緑	祭りの活気や表参道など新勝寺周辺のにぎわい	成田空港やホテル群、外国人観光客の多さなど国際的なイメージ	新勝寺、宗吾霊堂など歴史・伝統・文化	全体
-----	-----	----------------------	--------------------	-------------------	-----------------	---------------	--------------------------------	---------------------	-----------------------------	-----------------------	-------------------------------	--------------------	----

人数(人)	全体	2,176	1,578	1,470	592	419	359	245	233	167	121	109	100	30	20
	10代	71	55	65	38	5	4	5	2	0	3	3	1	0	0
	20代	180	124	152	73	13	24	8	6	8	7	5	6	4	0
	30代	300	217	239	109	29	48	16	20	18	31	4	7	6	1
	40代	380	298	293	113	49	49	20	31	17	47	12	8	3	6
	50代	321	266	232	72	74	50	27	29	21	10	11	10	6	0
	60代	415	294	246	108	108	82	54	65	38	16	22	17	5	2
	70代以上	482	308	225	71	139	101	114	76	63	7	51	49	6	9
	無回答	27	16	18	8	2	1	1	4	2	0	1	2	0	2
割合(%)	全体	100.0	72.5	67.6	27.2	19.3	16.5	11.3	10.7	7.7	5.6	5.0	4.6	1.4	0.9
	10代	100.0	77.5	91.5	53.5	7.0	5.6	7.0	2.8	0.0	4.2	4.2	1.4	0.0	0.0
	20代	100.0	68.9	84.4	40.6	7.2	13.3	4.4	3.3	4.4	3.9	2.8	3.3	2.2	0.0
	30代	100.0	72.3	79.7	36.3	9.7	16.0	5.3	6.7	6.0	10.3	1.3	2.3	2.0	0.3
	40代	100.0	78.4	77.1	29.7	12.9	12.9	5.3	8.2	4.5	12.4	3.2	2.1	0.8	1.6
	50代	100.0	82.9	72.3	22.4	23.1	15.6	8.4	9.0	6.5	3.1	3.4	3.1	1.9	0.0
	60代	100.0	70.8	59.3	26.0	26.0	19.8	13.0	15.7	9.2	3.9	5.3	4.1	1.2	0.5
	70代以上	100.0	63.9	46.7	14.7	28.8	21.0	23.7	15.8	13.1	1.5	10.6	10.2	1.2	1.9
	無回答	100.0	59.3	66.7	29.6	7.4	3.7	3.7	14.8	7.4	0.0	3.7	7.4	0.0	7.4

<地区別集計>

地区別にみると、どの地区においても「新勝寺、宗吾霊堂など歴史・伝統・文化」「成田空港やホテル群、外国人観光客の多さなど国際的なイメージ」が多くなっています。また、豊住・下総地区において「利根川や印旛沼などの水辺環境や、田園風景などの豊かな緑」が40%超、ニュータウン地区において「住宅や公園、商業施設などの整った住環境」が30.9%と他地区と比較して多くなっています。



		全体	新勝寺、宗吾霊堂など歴史・伝統・文化	成田空港やホテル群、外国人観光客の多さなど国際的なイメージ	祭りの活気や表参道など新勝寺周辺のにぎわい	利根川や印旛沼などの水辺環境や、田園風景などの豊かな緑	住宅や公園、商業施設などの整った住環境	保健福祉施設や文化施設、スポーツ施設など充実した公共公益施設	新鮮な農産物や地元の特産品	充実した福祉サービスや医療体制	安心して子育てできる環境や学校教育	安心して暮らせる防災・防犯・消防体制	成田市民の人情や気質、市民同士のふれあい	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,578	1,470	592	419	359	245	233	167	121	109	100	30	20
	成田地区	592	451	402	205	81	84	52	45	43	36	29	33	9	4
	公津地区	360	279	250	104	64	61	30	35	18	15	12	18	5	1
	八生地区	54	40	31	11	21	7	7	9	4	2	2	4	0	0
	中郷地区	27	19	14	9	4	3	5	4	2	1	3	2	0	0
	久住地区	85	64	57	21	24	9	7	7	8	7	5	2	2	2
	豊住地区	33	24	20	3	16	2	3	4	2	1	1	3	0	2
	遠山地区	184	137	140	49	25	17	16	18	12	6	10	5	4	3
	ニュータウン地区	515	355	329	118	97	159	97	40	51	41	35	18	7	3
	下総地区	120	76	78	22	48	5	14	18	10	4	5	6	0	1
	大栄地区	161	106	112	39	33	8	10	46	14	7	5	7	2	2
	その他	5	4	5	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	40	23	32	10	4	2	4	7	3	1	2	2	1	2
	割合(%)	全体	100.0	49.2	57.9	17.4	26.1	25.6	23.7	9.6	7.7	1.4	2.9	13.7	21.2
成田地区		100.0	76.2	67.9	34.6	13.7	14.2	8.8	7.6	7.3	6.1	4.9	5.6	1.5	0.7
公津地区		100.0	77.5	69.4	28.9	17.8	16.9	8.3	9.7	5.0	4.2	3.3	5.0	1.4	0.3
八生地区		100.0	74.1	57.4	20.4	38.9	13.0	13.0	16.7	7.4	3.7	3.7	7.4	0.0	0.0
中郷地区		100.0	70.4	51.9	33.3	14.8	11.1	18.5	14.8	7.4	3.7	11.1	7.4	0.0	0.0
久住地区		100.0	75.3	67.1	24.7	28.2	10.6	8.2	8.2	9.4	8.2	5.9	2.4	2.4	2.4
豊住地区		100.0	72.7	60.6	9.1	48.5	6.1	9.1	12.1	6.1	3.0	3.0	9.1	0.0	6.1
遠山地区		100.0	74.5	76.1	26.6	13.6	9.2	8.7	9.8	6.5	3.3	5.4	2.7	2.2	1.6
ニュータウン地区		100.0	68.9	63.9	22.9	18.8	30.9	18.8	7.8	9.9	8.0	6.8	3.5	1.4	0.6
下総地区		100.0	63.3	65.0	18.3	40.0	4.2	11.7	15.0	8.3	3.3	4.2	5.0	0.0	0.8
大栄地区		100.0	65.8	69.6	24.2	20.5	5.0	6.2	28.6	8.7	4.3	3.1	4.3	1.2	1.2
その他		100.0	80.0	100.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答		100.0	57.5	80.0	25.0	10.0	5.0	10.0	17.5	7.5	2.5	5.0	5.0	2.5	5.0

## 第2部 基本施策に関する調査結果

### 1. 施策別満足度・重要度一覧

成田市総合計画「NARITA みらいプラン」の中に掲げた44の施策について、現状の満足度と施策の重要度を軸とした評価を行い、優先順位付けのための分析を実施しました。

#### <満足度、今後の重要度の回答>

満足度		重要度	
回答の選択肢	加重平均の得点	回答の選択肢	加重平均の得点
満足	1.0	重要	1.0
やや満足	0.5	やや重要	0.5
どちらとも言えない	0.0	どちらとも言えない	0.0
やや不満	-0.5	あまり重要ではない	-0.5
不満	-1.0	重要ではない	-1.0

#### <加重平均値に基づく評価基準>

満足度		重要度	
回答の選択肢	加重平均値	回答の選択肢	加重平均値
満足	0.45以上	重要	0.45以上
やや満足	0.15以上 0.45未満	やや重要	0.15以上 0.45未満
どちらとも言えない	-0.15以上 0.15未満	どちらとも言えない	-0.15以上 0.15未満
やや不満	-0.45以上 -0.15未満	あまり重要ではない	-0.45以上 -0.15未満
不満	-0.45未満	重要ではない	-0.45未満

(1) 現状の満足度

		満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	無回答
加重平均単位		1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0	-
1	1-1-1 : 災害などに強いまちをつくる	6.4	29.5	51.7	8.1	2.3	2.1
2	1-1-2 : 犯罪や事故などが起こりにくいまちをつくる	7.6	36.8	39.1	12.1	2.4	2.1
3	1-2-1 : 空港と共生する生活環境を整える	12.5	29.3	42.7	8.5	4.3	2.8
4	1-2-2 : 空港周辺地域の振興を図る	7.4	22.2	58.0	6.4	2.8	3.4
5	1-3-1 : 住みやすく快適な生活環境を整える	6.4	26.5	48.1	13.6	3.4	2.1
6	1-3-2 : 水の安定供給と汚水処理の適正化を図る	12.3	32.7	42.0	7.2	3.5	2.3
7	1-3-3 : ごみ処理の適正化と環境衛生の向上に努める	16.4	40.6	34.1	5.1	1.5	2.3
8	1-3-4 : 地球環境にやさしいまちをつくる	7.5	25.2	57.8	5.7	1.6	2.3
9	2-1-1 : 子どもの健やかな成長を支援する	11.4	34.5	44.5	4.9	1.6	3.2
10	2-1-2 : 安定した子育てを支える基盤を整える	8.4	28.0	51.1	6.3	2.5	3.7
11	2-2-1 : 高齢者の生きがいづくりを支援する	7.2	26.2	56.7	6.2	1.3	2.5
12	2-2-2 : 高齢者が安心して生活できる体制を整える	5.7	22.8	56.0	10.2	2.9	2.3
13	2-2-3 : 障がいのある人の自立した生活を支援する	5.1	17.0	67.1	6.1	1.5	3.2
14	2-2-4 : 生活の安定を確保して自立・就労を支援する	4.7	19.3	65.3	5.1	2.2	3.5
15	2-2-5 : 社会保険制度を安定的に運用する	6.8	24.9	54.0	8.5	3.0	2.8
16	2-3-1 : 子どもから高齢者までみんなの健康づくりを支援する	13.7	38.2	39.3	4.6	1.3	2.8
17	2-3-2 : 地域医療体制の充実を図る	8.8	26.9	52.6	7.0	1.9	2.8
18	3-1-1 : 成田の未来をつくる義務教育を推進する	7.7	24.3	57.8	5.0	1.2	4.0
19	3-1-2 : 学校・家庭・地域が一体となった教育体制をつくる	5.0	20.1	65.3	4.5	1.1	4.0
20	3-1-3 : 幼児教育を推進する	5.0	19.3	66.3	4.2	1.1	4.0
21	3-1-4 : 青少年を健全に育成する	6.4	23.1	61.0	4.3	1.2	4.0
22	3-2-1 : 市民が学び成果を生かすまちづくりを推進する	8.7	27.6	55.3	3.8	1.1	3.5
23	3-2-2 : 成田の地域文化や伝統を学ぶ	7.2	24.7	59.1	4.5	0.8	3.7
24	3-2-3 : スポーツに親しめる環境をつくる	9.3	30.4	50.3	5.2	1.3	3.4
25	3-3-1 : 国際理解を促進する	7.1	23.0	58.8	6.3	1.2	3.6
26	3-3-2 : 国際交流を推進する	6.3	22.4	61.8	4.4	1.3	3.9
27	4-1-1 : 空港を生かしたまちづくりを推進する	6.8	27.1	52.1	8.3	2.0	3.8
28	4-1-2 : 空港を活用し新たな成田の魅力を開発する	5.4	19.9	62.5	6.9	1.5	3.9
29	4-2-1 : 地域特性を生かした土地利用と快適な市街地形成を図る	7.9	29.0	50.4	6.8	1.9	3.9
30	4-2-2 : 道路ネットワークと交通環境を整える	8.9	30.7	38.4	13.1	5.5	3.4
31	4-2-3 : 大学を活用したまちづくりを推進する	5.4	18.4	66.0	4.4	2.2	3.6
32	5-1-1 : 成田特有の観光資源の更なる活用を図る	14.9	38.8	38.9	3.3	1.0	3.1
33	5-1-2 : 魅力ある国際性豊かな観光地づくりを推進する	6.9	27.5	54.4	5.7	1.7	3.7
34	5-2-1 : 豊かな農林水産資源を次世代に引き継ぐ	5.5	19.4	62.1	6.8	2.6	3.6
35	5-2-2 : 安定した農業経営を支援する	5.1	17.0	64.8	7.0	2.4	3.7
36	5-3-1 : 商工業の活性化を図る	4.3	18.4	62.4	9.1	1.9	4.0
37	5-3-2 : 市民が快適に働くことのできる労働環境を整える	4.4	15.5	62.2	11.3	2.8	3.8
38	6-1-1 : 人権が尊重され男女が共に参画する社会をつくる	4.2	16.9	67.9	5.7	1.6	3.8
39	6-1-2 : コミュニティ活動を活性化する	5.2	20.8	64.3	4.5	1.3	4.0
40	6-1-3 : 市民との協働の仕組みをつくる	3.7	15.3	70.2	5.1	1.2	4.4
41	6-2-1 : 市民満足度を重視した行政サービスの向上を図る	10.3	34.4	42.0	7.3	2.2	3.8
42	6-2-2 : 効率的・効果的な行政運営に努める	4.1	20.0	61.6	7.9	2.4	4.0
43	6-2-3 : 情報の共有化によるまちづくりを推進する	7.0	28.4	53.4	5.4	2.0	3.7
44	6-2-4 : 広域連携を推進し、地域の一体的発展に努める	4.1	15.4	70.8	4.3	1.3	4.1

※網掛け部分は最も割合の高い回答を示す。

## (2) 今後の重要度

		重要	やや重要	どちらとも言えない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答
加重平均単位		1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0	-
1	1-1-1 : 災害などに強いまちをつくる	61.6	26.1	7.2	0.8	0.4	4.0
2	1-1-2 : 犯罪や事故などが起こりにくいまちをつくる	60.1	27.7	7.5	0.6	0.2	3.9
3	1-2-1 : 空港と共生する生活環境を整える	35.8	34.8	21.0	2.9	0.9	4.6
4	1-2-2 : 空港周辺地域の振興を図る	27.7	31.1	30.5	4.7	1.2	4.8
5	1-3-1 : 住みやすく快適な生活環境を整える	39.0	39.1	16.5	0.9	0.4	4.2
6	1-3-2 : 水の安定供給と汚水処理の適正化を図る	47.9	31.7	15.6	0.6	0.3	3.9
7	1-3-3 : ごみ処理の適正化と環境衛生の向上に努める	43.3	34.1	17.0	1.0	0.4	4.2
8	1-3-4 : 地球環境にやさしいまちをつくる	36.5	33.7	23.1	1.8	0.6	4.3
9	2-1-1 : 子どもの健やかな成長を支援する	52.2	27.2	15.7	0.5	0.3	4.1
10	2-1-2 : 安定した子育てを支える基盤を整える	48.8	29.0	17.0	0.7	0.4	4.2
11	2-2-1 : 高齢者の生きがいづくりを支援する	38.9	36.3	18.7	1.9	0.8	3.5
12	2-2-2 : 高齢者が安心して生活できる体制を整える	51.8	31.0	12.0	1.4	0.6	3.2
13	2-2-3 : 障がいのある人の自立した生活を支援する	39.8	34.9	20.4	0.9	0.4	3.6
14	2-2-4 : 生活の安定を確保して自立・就労を支援する	37.4	34.8	22.5	1.0	0.6	3.8
15	2-2-5 : 社会保険制度を安定的に運用する	44.3	32.6	17.6	1.4	0.5	3.6
16	2-3-1 : 子どもから高齢者までみんなの健康づくりを支援する	45.6	36.1	13.6	0.8	0.3	3.6
17	2-3-2 : 地域医療体制の充実を図る	42.0	32.4	19.2	2.1	0.7	3.5
18	3-1-1 : 成田の未来をつくる義務教育を推進する	33.0	37.3	22.7	1.5	0.7	4.7
19	3-1-2 : 学校・家庭・地域が一体となった教育体制をつくる	26.9	33.4	31.3	2.6	0.9	4.9
20	3-1-3 : 幼児教育を推進する	26.7	31.8	32.5	2.7	1.1	5.2
21	3-1-4 : 青少年を健全に育成する	27.2	36.0	28.1	2.6	0.9	5.2
22	3-2-1 : 市民が学び成果を生かすまちづくりを推進する	21.1	35.2	34.6	3.4	1.1	4.7
23	3-2-2 : 成田の地域文化や伝統を学ぶ	17.8	32.2	39.2	5.1	1.2	4.5
24	3-2-3 : スポーツに親しめる環境をつくる	19.2	38.3	32.7	4.4	1.0	4.5
25	3-3-1 : 国際理解を促進する	28.3	36.4	27.6	2.4	0.8	4.6
26	3-3-2 : 国際交流を推進する	22.0	34.0	34.0	4.0	1.4	4.7
27	4-1-1 : 空港を生かしたまちづくりを推進する	33.0	34.2	25.0	2.5	0.8	4.5
28	4-1-2 : 空港を活用し新たな成田の魅力を開発する	24.6	33.1	31.8	4.5	1.1	4.7
29	4-2-1 : 地域特性を生かした土地利用と快適な市街地形成を図る	26.7	36.3	27.6	3.5	1.2	4.7
30	4-2-2 : 道路ネットワークと交通環境を整える	44.3	33.5	15.9	1.6	0.6	4.1
31	4-2-3 : 大学を活用したまちづくりを推進する	19.1	29.0	39.4	5.8	2.3	4.4
32	5-1-1 : 成田特有の観光資源の更なる活用を図る	24.5	36.3	27.8	5.0	2.2	4.2
33	5-1-2 : 魅力ある国際性豊かな観光地づくりを推進する	25.8	38.3	27.6	2.9	0.9	4.5
34	5-2-1 : 豊かな農林水産資源を次世代に引き継ぐ	27.2	35.4	30.6	2.1	0.5	4.2
35	5-2-2 : 安定した農業経営を支援する	30.4	34.4	28.9	1.7	0.5	4.2
36	5-3-1 : 商工業の活性化を図る	24.6	38.7	28.6	2.0	0.7	5.2
37	5-3-2 : 市民が快適に働くことのできる労働環境を整える	33.5	36.2	23.5	1.4	0.2	5.2
38	6-1-1 : 人権が尊重され男女が共に参画する社会をつくる	28.3	35.0	29.8	1.5	0.6	4.8
39	6-1-2 : コミュニティ活動を活性化する	17.6	33.4	38.9	4.1	1.0	5.0
40	6-1-3 : 市民との協働の仕組みをつくる	15.2	29.9	44.2	4.0	1.2	5.5
41	6-2-1 : 市民満足度を重視した行政サービスの向上を図る	32.2	39.2	21.0	2.3	0.5	4.8
42	6-2-2 : 効率的・効果的な行政運営に努める	26.1	37.6	28.8	2.2	0.4	4.9
43	6-2-3 : 情報の共有化によるまちづくりを推進する	20.1	35.6	34.1	4.0	1.3	4.8
44	6-2-4 : 広域連携を推進し、地域の一体的発展に努める	16.2	28.9	44.8	3.6	1.3	5.3

※網掛け部分は最も割合の高い回答を示す。

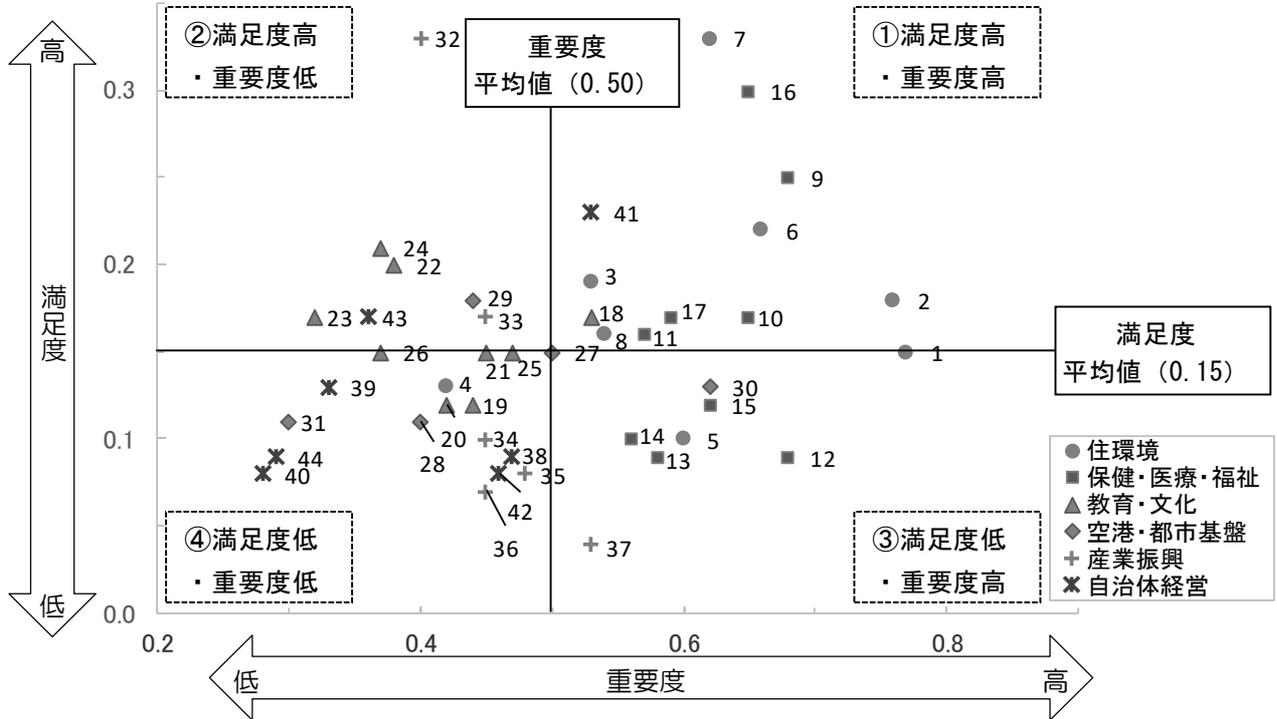
### (3) 加重平均値に基づく評価

#### 加重平均値に基づく評価

	施策名	満足度 加重 平均値	満足度に対する 評価	重要度 加重 平均値	重要度に対する 評価
1	1-1-1 : 災害などに強いまちをつくる	0.15	やや満足	0.77	重要
2	1-1-2 : 犯罪や事故などが起こりにくいまちをつくる	0.18	やや満足	0.76	重要
3	1-2-1 : 空港と共生する生活環境を整える	0.19	やや満足	0.53	重要
4	1-2-2 : 空港周辺地域の振興を図る	0.13	どちらとも言えない	0.42	やや重要
5	1-3-1 : 住みやすく快適な生活環境を整える	0.10	どちらとも言えない	0.60	重要
6	1-3-2 : 水の安定供給と汚水処理の適正化を図る	0.22	やや満足	0.66	重要
7	1-3-3 : ごみ処理の適正化と環境衛生の向上に努める	0.33	やや満足	0.62	重要
8	1-3-4 : 地球環境にやさしいまちをつくる	0.16	やや満足	0.54	重要
9	2-1-1 : 子どもの健やかな成長を支援する	0.25	やや満足	0.68	重要
10	2-1-2 : 安定した子育てを支える基盤を整える	0.17	やや満足	0.65	重要
11	2-2-1 : 高齢者の生きがいづくりを支援する	0.16	やや満足	0.57	重要
12	2-2-2 : 高齢者が安心して生活できる体制を整える	0.09	どちらとも言えない	0.68	重要
13	2-2-3 : 障がいのある人の自立した生活を支援する	0.09	どちらとも言えない	0.58	重要
14	2-2-4 : 生活の安定を確保して自立・就労を支援する	0.10	どちらとも言えない	0.56	重要
15	2-2-5 : 社会保険制度を安定的に運用する	0.12	どちらとも言えない	0.62	重要
16	2-3-1 : 子どもから高齢者までみんなの健康づくりを支援する	0.30	やや満足	0.65	重要
17	2-3-2 : 地域医療体制の充実を図る	0.17	やや満足	0.59	重要
18	3-1-1 : 成田の未来をつくる義務教育を推進する	0.17	やや満足	0.53	重要
19	3-1-2 : 学校・家庭・地域が一体となった教育体制をつくる	0.12	どちらとも言えない	0.44	やや重要
20	3-1-3 : 幼児教育を推進する	0.12	どちらとも言えない	0.42	やや重要
21	3-1-4 : 青少年を健全に育成する	0.15	やや満足	0.45	重要
22	3-2-1 : 市民が学び成果を生かすまちづくりを推進する	0.20	やや満足	0.38	やや重要
23	3-2-2 : 成田の地域文化や伝統を学ぶ	0.17	やや満足	0.32	やや重要
24	3-2-3 : スポーツに親しめる環境をつくる	0.21	やや満足	0.37	やや重要
25	3-3-1 : 国際理解を促進する	0.15	やや満足	0.47	重要
26	3-3-2 : 国際交流を推進する	0.15	やや満足	0.37	やや重要
27	4-1-1 : 空港を生かしたまちづくりを推進する	0.15	やや満足	0.50	重要
28	4-1-2 : 空港を活用し新たな成田の魅力を開発する	0.11	どちらとも言えない	0.40	やや重要
29	4-2-1 : 地域特性を生かした土地利用と快適な市街地形成を図る	0.18	やや満足	0.44	やや重要
30	4-2-2 : 道路ネットワークと交通環境を整える	0.13	どちらとも言えない	0.62	重要
31	4-2-3 : 大学を活用したまちづくりを推進する	0.11	どちらとも言えない	0.30	やや重要
32	5-1-1 : 成田特有の観光資源の更なる活用を図る	0.33	やや満足	0.40	やや重要
33	5-1-2 : 魅力ある国際性豊かな観光地づくりを推進する	0.17	やや満足	0.45	重要
34	5-2-1 : 豊かな農林水産資源を次世代に引き継ぐ	0.10	どちらとも言えない	0.45	重要
35	5-2-2 : 安定した農業経営を支援する	0.08	どちらとも言えない	0.48	重要
36	5-3-1 : 商工業の活性化を図る	0.07	どちらとも言えない	0.45	重要
37	5-3-2 : 市民が快適に働くことのできる労働環境を整える	0.04	どちらとも言えない	0.53	重要
38	6-1-1 : 人権が尊重され男女が共に参画する社会をつくる	0.09	どちらとも言えない	0.47	重要
39	6-1-2 : コミュニティ活動を活性化する	0.13	どちらとも言えない	0.33	やや重要
40	6-1-3 : 市民との協働の仕組みをつくる	0.08	どちらとも言えない	0.28	やや重要
41	6-2-1 : 市民満足度を重視した行政サービスの向上を図る	0.23	やや満足	0.53	重要
42	6-2-2 : 効率的・効果的な行政運営に努める	0.08	どちらとも言えない	0.46	重要
43	6-2-3 : 情報の共有化によるまちづくりを推進する	0.17	やや満足	0.36	やや重要
44	6-2-4 : 広域連携を推進し、地域の一体的発展に努める	0.09	どちらとも言えない	0.29	やや重要

## 2. 施策別満足度・重要度の分布状況

全施策における満足度・重要度の平均値を基準とし、44の施策を①満足度、重要度がともに高い施策、②満足度が高く重要度が低い施策、③満足度が低く重要度が高い施策、④満足度、重要度ともに低い施策の4つに分類し、各施策の満足度及び重要度の現状値を相対的に評価しました。



②満足度高・重要度低		①満足度高・重要度高	
21	青少年を健全に育成する	1	災害などに強いまちをつくる
22	市民が学び成果を生かすまちづくりを推進する	2	犯罪や事故などが起こりにくいまちをつくる
23	成田の地域文化や伝統を学ぶ	3	空港と共生する生活環境を整える
24	スポーツに親しめる環境をつくる	6	水の安定供給と汚水処理の適正化を図る
25	国際理解を促進する	7	ごみ処理の適正化と環境衛生の向上に努める
26	国際交流を推進する	8	地球環境にやさしいまちをつくる
29	地域特性を生かした土地利用と快適な市街地形成を図る	9	子どもの健やかな成長を支援する
32	成田特有の観光資源の更なる活用を図る	10	安定した子育てを支える基盤を整える
33	魅力ある国際性豊かな観光地づくりを推進する	11	高齢者の生きがいを支援する
43	情報の共有化によるまちづくりを推進する	16	子どもから高齢者までみんなの健康づくりを支援する
		17	地域医療体制の充実を図る
		18	成田の未来をつくる義務教育を推進する
		27	空港を生かしたまちづくりを推進する
		41	市民満足度を重視した行政サービスの向上を図る
④満足度低・重要度低		③満足度低・重要度高	
4	空港周辺地域の振興を図る	5	住みやすく快適な生活環境を整える
19	学校・家庭・地域が一体となった教育体制をつくる	12	高齢者が安心して生活できる体制を整える
20	幼児教育を推進する	13	障がいのある人の自立した生活を支援する
28	空港を活用し新たな成田の魅力を開発する	14	生活の安定を確保して自立・就労を支援する
31	大学を活用したまちづくりを推進する	15	社会保険制度を安定的に運用する
34	豊かな農林水産資源を次世代に引き継ぐ	30	道路ネットワークと交通環境を整える
35	安定した農業経営を支援する	37	市民が快適に働くことのできる労働環境を整える
36	商工業の活性化を図る		
38	人権が尊重され男女が共に参画する社会をつくる		
39	コミュニティ活動を活性化する		
40	市民との協働の仕組みをつくる		
42	効率的・効果的な行政運営に努める		
44	広域連携を推進し、地域の一体的発展に努める		

### ①満足度高・重要度高

相対的に満足度及び重要度が高い領域には、住環境の「7 ごみ処理の適正化と環境衛生の向上に努める」「6 水の安定供給と汚水処理の適正化を図る」など 6 施策、保健・医療・福祉の「16 子どもから高齢者までみんなの健康づくりを支援する」「9 子どもの健やかな成長を支援する」などの 5 施策、教育・文化の「18 成田の未来をつくる義務教育を推進する」、空港・都市基盤の「27 空港を生かしたまちづくりを推進する」、自治体経営の「41 市民満足度を重視した行政サービスの向上を図る」の計 14 施策が該当します。住環境及び子育て環境に関わる項目が多く該当しています。

この領域は相対的に、市民のニーズに即していることがうかがえ、今後も引き続き重点施策として、施策運営に取り組んでいく必要があります。

### ②満足度高・重要度低

相対的に満足度が高く重要度が低い領域では、教育・文化が「24 スポーツに親しめる環境をつくる」などの 6 施策、空港・都市基盤の「29 地域特性を生かした土地利用と快適な市街地形成を図る」、産業振興の「32 成田特有の観光資源の更なる活用を図る」など 2 施策、自治体経営の「43 情報の共有化によるまちづくりを推進する」の計 10 施策となっています。

この領域は相対的に、満足度に比べ重要度は低いと感じている施策であり、行政サービスが市民のニーズとバランスの取れた内容になっているのかという視点から、改めて施策内容について検討を行う必要があります。

### ③満足度低・重要度高

相対的に満足度が低く重要度が高い領域には、住環境の「5 住みやすく快適な生活環境を整える」、保健・医療・福祉の「12 高齢者が安心して生活できる体制を整える」「13 障がいのある人の自立した生活を支援する」などの 4 施策、空港・都市基盤の「30 道路ネットワークと交通環境を整える」、産業振興の「37 市民が快適に働くことのできる労働環境を整える」の計 7 施策が該当します。

この領域は相対的に、市民の高い期待が現れている施策であり、行政として期待に応えられるように事業の見直しを図る必要があります、相対的に優先順位の高い施策になります。

### ④満足度低・重要度低

相対的に満足度及び重要度が低い領域には、住環境の「4 空港周辺地域の振興を図る」、教育・文化の「20 幼児教育を推進する」などの 2 施策、空港・都市基盤の「31 大学を活用したまちづくりを推進する」などの 2 施策、産業振興の「36 商工業の活性化を図る」などの 3 施策、自治体経営の「40 市民との協働の仕組みをつくる」「44 広域連携を推進し、地域の一体的発展に努める」などの 5 施策の計 13 施策が該当します。

この領域は相対的に、市民の関心が低い施策であり、まずは市民の関心度を高める方策を検討していくとともに、事業目的に相応しいサービスができているのかなど事業内容全般を改めて検証する必要があります。

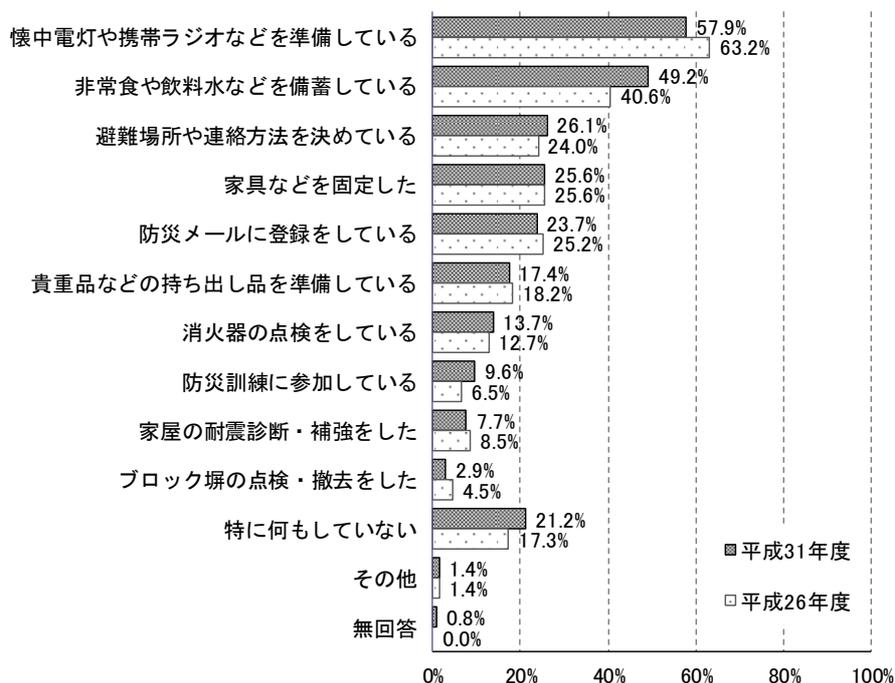
## 第3部 個別施策に関する調査結果

### 1. 住環境について

#### (1) 家庭における災害への備え（実施状況）

問 12 あなたのご家庭では、大地震などの災害に備えて、どのようなことをしていますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

家庭における災害への備えについては、「懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している」が57.9%と最も多く、次いで「非常食や飲料水などを備蓄している」49.2%、「避難場所や連絡方法を決めている」26.1%となっています。平成26年度調査結果と比較すると、概ね同傾向を示しますが、平成31年度では「非常食や飲料水などを備蓄している」が40.6%から49.2%に多くなった一方で、「特に何もしていない」が17.3%から21.2%に増加しています。

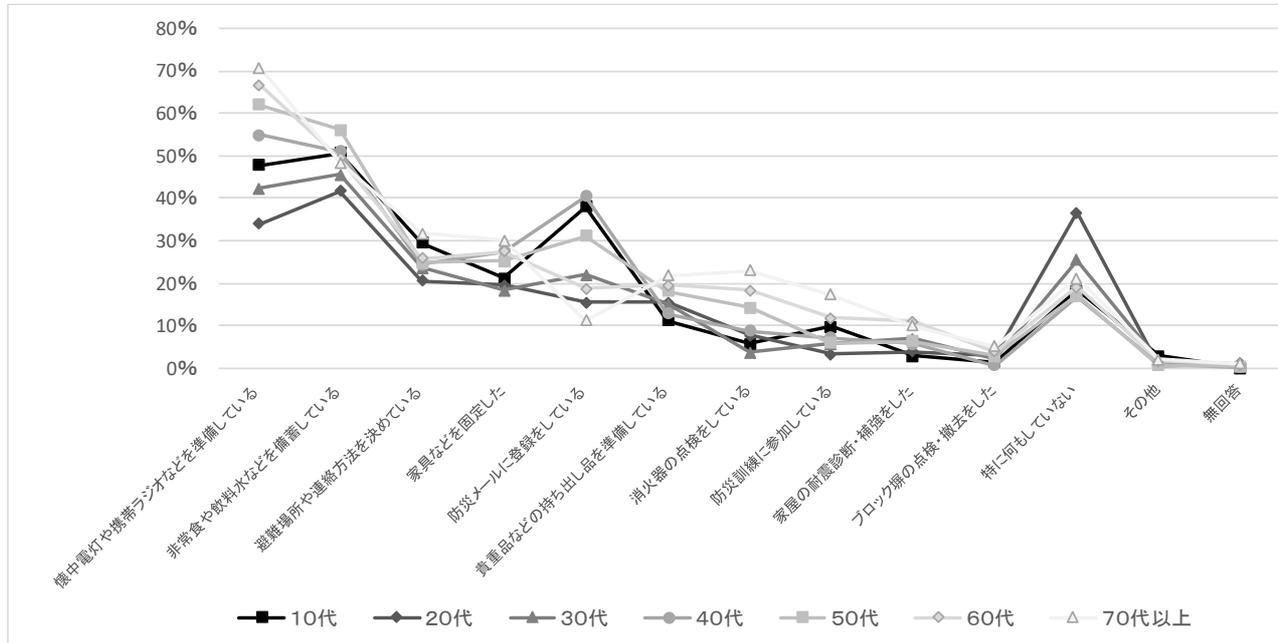


No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合 (%)	人数(人)	割合 (%)
1	懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している	1,259	57.9	2,784	63.2
2	非常食や飲料水などを備蓄している	1,071	49.2	1,788	40.6
3	避難場所や連絡方法を決めている	567	26.1	1,055	24.0
4	家具などを固定した	556	25.6	1,125	25.6
5	防災メールに登録をしている	516	23.7	1,111	25.2
6	貴重品などの持ち出し品を準備している	379	17.4	800	18.2
7	消火器の点検をしている	299	13.7	560	12.7
8	防災訓練に参加している	209	9.6	288	6.5
9	家屋の耐震診断・補強をした	167	7.7	376	8.5
10	ブロック塀の点検・撤去をした	64	2.9	200	4.5
11	特に何もしていない	461	21.2	760	17.3
12	その他	30	1.4	60	1.4
13	無回答	18	0.8	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,402	-

※平成26年度の選択肢は、「2. 非常食などを備蓄している」「6. 貴重品などの持ち出し品を備蓄している」「10. ブロック塀の点検をした」となっています。

<年代別集計>

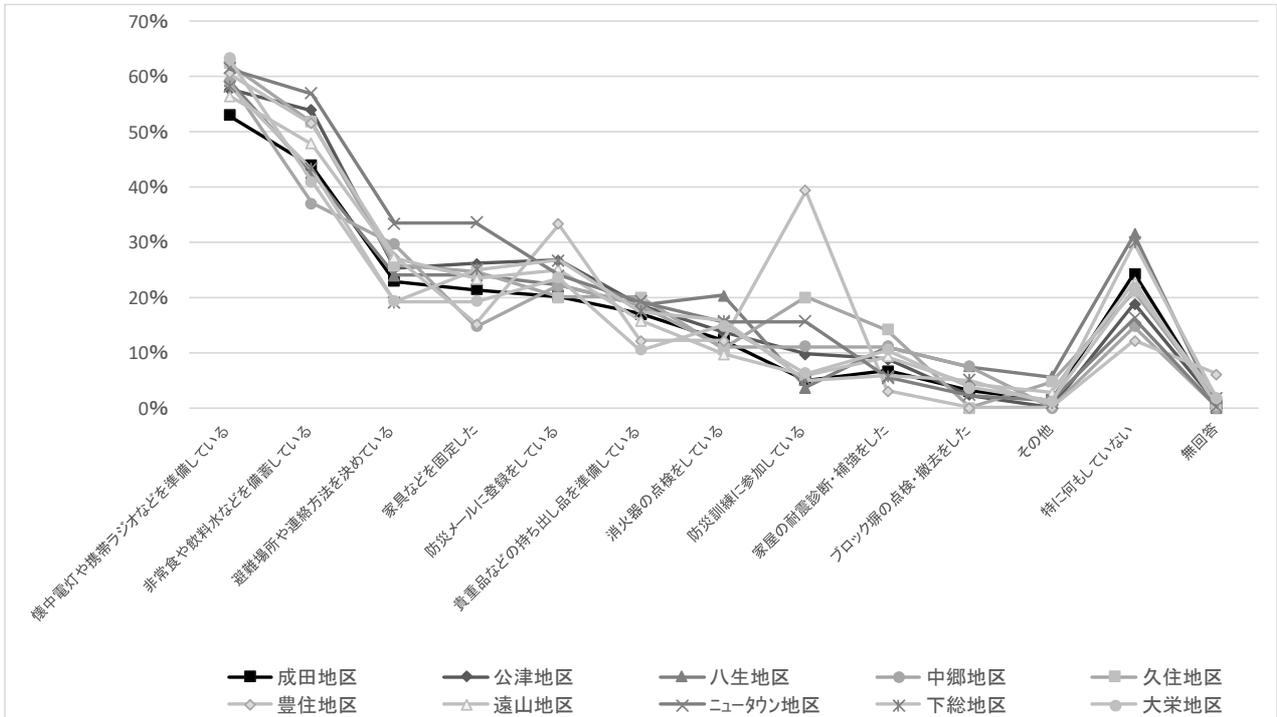
年代別にみると、どの年代においても「懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している」「非常食や飲料水などを備蓄している」が多くなっています。「防災メールに登録をしている」は10代、40代、50代で多く、「消火器の点検をしている」は50代以上で割合が高くなっています。また、「特に何もしていない」は20代が最も多くなっています。



		全体	準備している	懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している	非常食や飲料水などを備蓄している	避難場所や連絡方法を決めている	家具などを固定した	防災メールに登録をしている	貴重品などの持ち出し品を準備している	消火器の点検をしている	防災訓練に参加している	家屋の耐震診断・補強をした	ブロック塀の点検・撤去をした	特に何もしていない	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,259	1,071	567	556	516	379	299	209	167	64	461	30	18	
	10代	71	34	36	21	15	27	8	4	7	2	1	13	2	0	
	20代	180	61	75	37	35	28	28	14	6	7	5	66	1	2	
	30代	300	127	137	71	55	66	45	11	17	21	6	76	5	3	
	40代	380	209	194	93	104	154	49	33	27	22	2	64	3	1	
	50代	321	199	180	80	81	100	58	46	19	20	9	55	2	1	
	60代	415	277	205	107	114	78	81	76	49	46	16	79	7	3	
	70代以上	482	341	233	153	145	54	105	111	83	48	25	102	10	5	
無回答	27	11	11	5	7	9	5	4	1	1	0	6	0	3		
割合(%)	全体	100.0	57.9	49.2	26.1	25.6	23.7	17.4	13.7	9.6	7.7	2.9	21.2	1.4	0.8	
	10代	100.0	47.9	50.7	29.6	21.1	38.0	11.3	5.6	9.9	2.8	1.4	18.3	2.8	0.0	
	20代	100.0	33.9	41.7	20.6	19.4	15.6	15.6	7.8	3.3	3.9	2.8	36.7	0.6	1.1	
	30代	100.0	42.3	45.7	23.7	18.3	22.0	15.0	3.7	5.7	7.0	2.0	25.3	1.7	1.0	
	40代	100.0	55.0	51.1	24.5	27.4	40.5	12.9	8.7	7.1	5.8	0.5	16.8	0.8	0.3	
	50代	100.0	62.0	56.1	24.9	25.2	31.2	18.1	14.3	5.9	6.2	2.8	17.1	0.6	0.3	
	60代	100.0	66.7	49.4	25.8	27.5	18.8	19.5	18.3	11.8	11.1	3.9	19.0	1.7	0.7	
	70代以上	100.0	70.7	48.3	31.7	30.1	11.2	21.8	23.0	17.2	10.0	5.2	21.2	2.1	1.0	
無回答	100.0	40.7	40.7	18.5	25.9	33.3	18.5	14.8	3.7	3.7	0.0	22.2	0.0	11.1		

<地区別集計>

地区別にみると、概ね同傾向を示しています。ニュータウン地区において「避難場所や連絡方法を決めている」「家具などを固定した」が3割以上となっており、他地区より多くなっています。

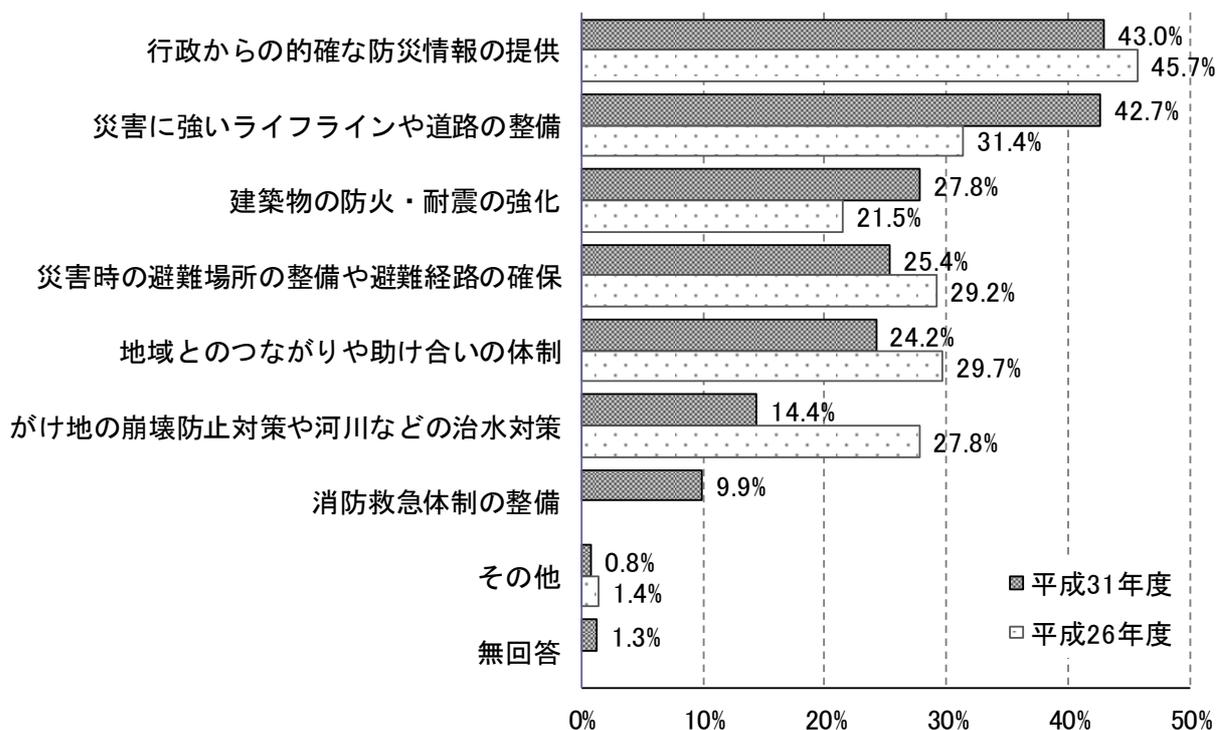


		全体	懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している	非常食や飲料水などを備蓄している	避難場所や連絡方法を決めている	家具などを固定した	防災メールに登録をしている	貴重品などの持ち出し品を準備している	消火器の点検をしている	防災訓練に参加している	家屋の耐震診断・補強をした	ブロック塀の点検・撤去をした	その他	特に何もしていない	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,259	1,071	567	556	516	379	299	209	167	64	30	461	18
	成田地区	592	314	260	136	127	120	101	73	30	40	18	8	144	3
	公津地区	360	208	194	91	94	96	67	49	35	32	8	0	68	2
	八生地区	54	32	23	13	13	12	10	11	2	6	4	3	17	0
	中郷地区	27	16	10	8	4	6	5	3	3	3	2	0	4	0
	久住地区	85	53	44	22	21	17	17	9	17	12	0	4	18	1
	豊住地区	33	20	17	9	5	11	4	4	13	1	0	0	4	2
	遠山地区	184	104	88	50	43	46	29	18	11	17	8	5	42	1
	ニュータウン地区	515	317	293	172	173	124	99	80	81	28	12	7	84	1
	下総地区	120	70	52	23	30	32	21	19	6	7	6	1	36	2
	大栄地区	161	102	66	31	31	38	17	24	10	17	6	2	35	3
	その他	5	4	4	0	2	3	1	0	0	0	0	0	1	0
	無回答	40	19	20	12	13	11	8	9	1	4	0	0	8	3
割合(%)	全体	100.0	57.9	49.2	26.1	25.6	23.7	17.4	13.7	9.6	7.7	2.9	1.4	21.2	0.8
	成田地区	100.0	53.0	43.9	23.0	21.5	20.3	17.1	12.3	5.1	6.8	3.0	1.4	24.3	0.5
	公津地区	100.0	57.8	53.9	25.3	26.1	26.7	18.6	13.6	9.7	8.9	2.2	0.0	18.9	0.6
	八生地区	100.0	59.3	42.6	24.1	24.1	22.2	18.5	20.4	3.7	11.1	7.4	5.6	31.5	0.0
	中郷地区	100.0	59.3	37.0	29.6	14.8	22.2	18.5	11.1	11.1	11.1	7.4	0.0	14.8	0.0
	久住地区	100.0	62.4	51.8	25.9	24.7	20.0	20.0	10.6	20.0	14.1	0.0	4.7	21.2	1.2
	豊住地区	100.0	60.6	51.5	27.3	15.2	33.3	12.1	12.1	39.4	3.0	0.0	0.0	12.1	6.1
	遠山地区	100.0	56.5	47.8	27.2	23.4	25.0	15.8	9.8	6.0	9.2	4.3	2.7	22.8	0.5
	ニュータウン地区	100.0	61.6	56.9	33.4	33.6	24.1	19.2	15.5	15.7	5.4	2.3	1.4	16.3	0.2
	下総地区	100.0	58.3	43.3	19.2	25.0	26.7	17.5	15.8	5.0	5.8	5.0	0.8	30.0	1.7
	大栄地区	100.0	63.4	41.0	19.3	19.3	23.6	10.6	14.9	6.2	10.6	3.7	1.2	21.7	1.9
	その他	100.0	80.0	80.0	0.0	40.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	無回答	100.0	47.5	50.0	30.0	32.5	27.5	20.0	22.5	2.5	10.0	0.0	0.0	20.0	7.5

## (2) 災害への備え

問 13 大地震や風水害などの災害に備えて、どのようなことが重要だと思いますか。あてはまる番号 2つ以内 を○で囲んでください。

災害に備えてどのようなことが重要だと思うかについては、「行政からの的確な防災情報の提供」が43.0%と最も多く、次いで「災害に強いライフラインや道路の整備」42.7%、「建築物の防火・耐震の強化」27.8%となっています。

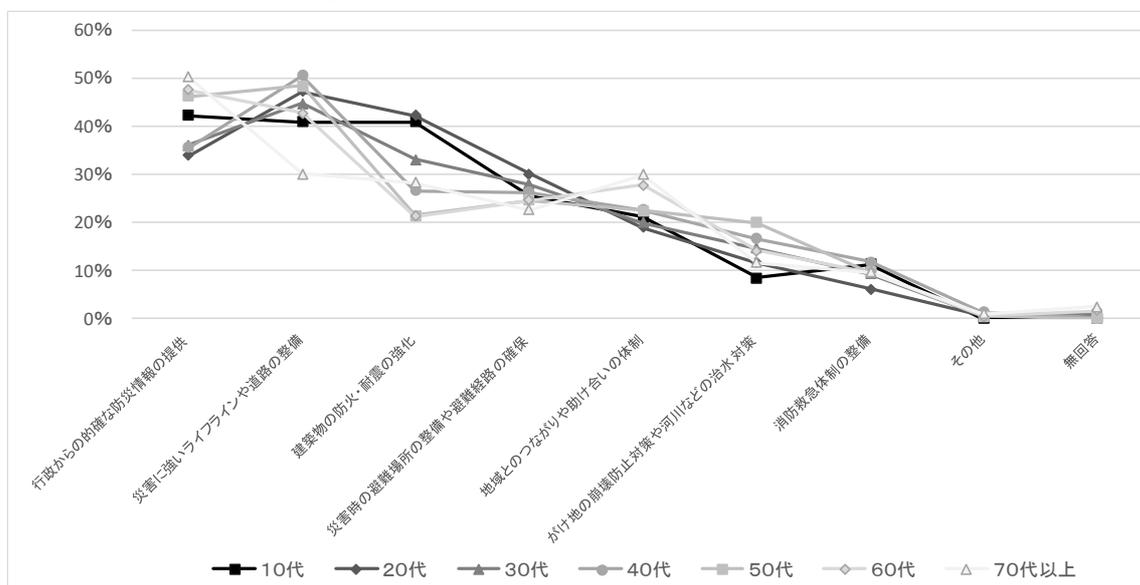


No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合 (%)	人数(人)	割合 (%)
1	行政からの的確な防災情報の提供	935	43.0	1,952	45.7
2	災害に強いライフラインや道路の整備	929	42.7	1,341	31.4
3	建築物の防火・耐震の強化	606	27.8	919	21.5
4	災害時の避難場所の整備や避難経路の確保	552	25.4	1,248	29.2
5	地域とのつながりや助け合いの体制	527	24.2	1,268	29.7
6	がけ地の崩壊防止対策や河川などの治水対策	314	14.4	1,188	27.8
7	消防救急体制の整備	216	9.9	-	-
8	その他	17	0.8	59	1.4
9	無回答	28	1.3	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,267	-

※平成 26 年度の選択肢は、「2. 災害に強い道路や街並みの整備」「3. 建築物の防火・耐震機能の強化」となっています。

<年代別集計>

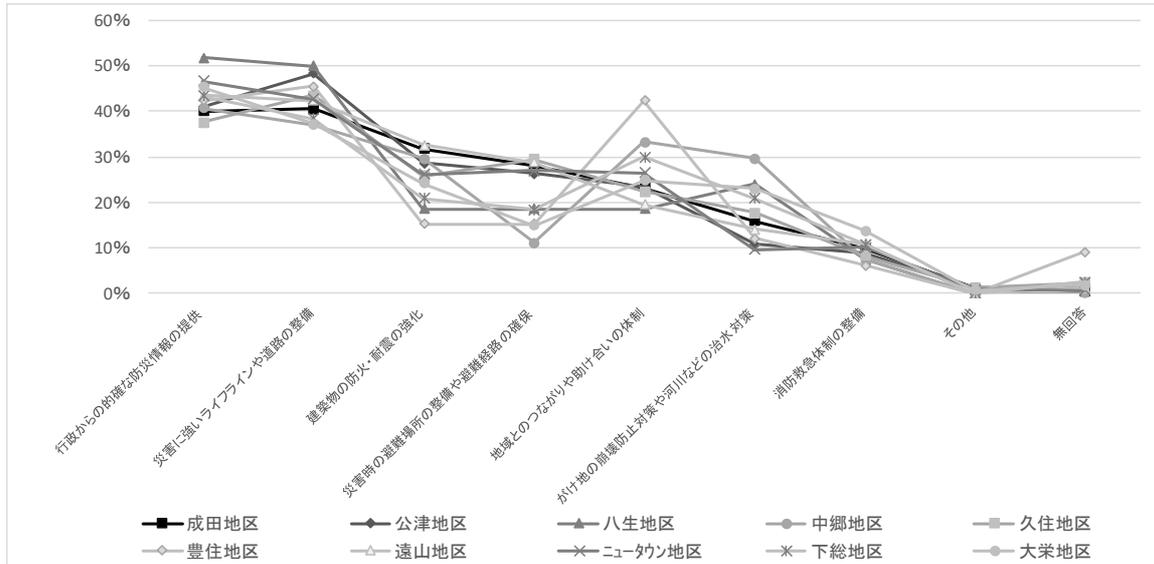
年代別にみると、「行政からの的確な防災情報の提供」「災害に強いライフラインや道路の整備」が多くなっています。また、10代、20代において「建築物の防火・耐震の強化」が多く、比較的若い年代でハード面の整備を重要視する傾向がみられます。一方で、高い年代で「地域とのつながりや助け合いの体制」が多くなっており、ソフト面の体制も重要視する傾向がみられます。「がけ地の崩壊防止対策や河川などの治水対策」は、どの年代においても2割を切っており、関心が低いことが分かります。



	全体	行政からの的確な防災情報の提供	災害に強いライフラインや道路の整備	建築物の防火・耐震の強化	災害時の避難場所の整備や避難経路の確保	地域とのつながりや助け合いの体制	がけ地の崩壊防止対策や河川などの治水対策	消防救急体制の整備	その他	無回答	
人数(人)	全体	2,176	935	929	606	552	527	314	216	17	28
	10代	71	30	29	29	18	15	6	8	0	0
	20代	180	61	85	76	54	34	21	11	1	1
	30代	300	108	134	99	84	60	44	28	2	4
	40代	380	135	192	101	100	86	63	45	5	1
	50代	321	148	155	69	79	72	64	31	2	0
	60代	415	197	177	88	102	115	59	40	2	7
	70代以上	482	242	145	136	109	144	56	47	5	12
	無回答	27	14	12	8	6	1	1	6	0	3
割合(%)	全体	100.0	43.0	42.7	27.8	25.4	24.2	14.4	9.9	0.8	1.3
	10代	100.0	42.3	40.8	40.8	25.4	21.1	8.5	11.3	0.0	0.0
	20代	100.0	33.9	47.2	42.2	30.0	18.9	11.7	6.1	0.6	0.6
	30代	100.0	36.0	44.7	33.0	28.0	20.0	14.7	9.3	0.7	1.3
	40代	100.0	35.5	50.5	26.6	26.3	22.6	16.6	11.8	1.3	0.3
	50代	100.0	46.1	48.3	21.5	24.6	22.4	19.9	9.7	0.6	0.0
	60代	100.0	47.5	42.7	21.2	24.6	27.7	14.2	9.6	0.5	1.7
	70代以上	100.0	50.2	30.1	28.2	22.6	29.9	11.6	9.8	1.0	2.5
	無回答	100.0	51.9	44.4	29.6	22.2	3.7	3.7	22.2	0.0	11.1

<地区別集計>

地区別にみると、どの地区においても「行政からの的確な防災情報の提供」「災害に強いライフラインや道路の整備」が多く、概ね同傾向を示しています。中郷・豊住・下総地区において「地域とのつながりや助け合いの体制」が多くなっています。

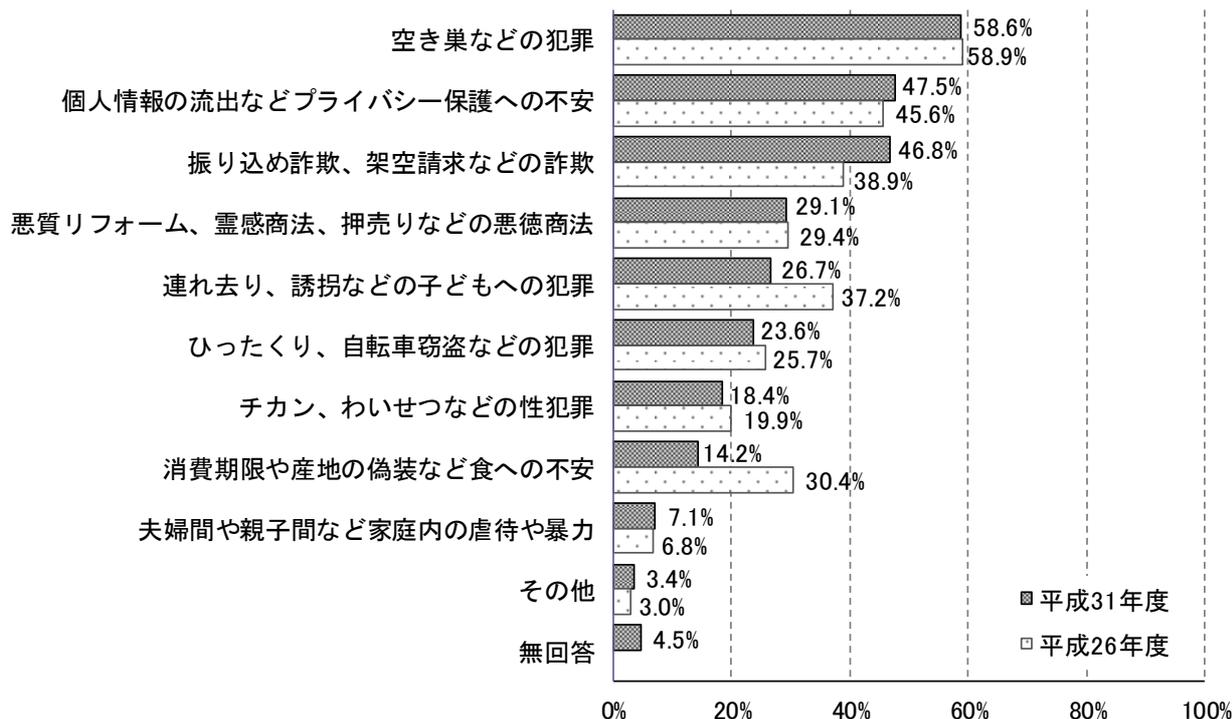


		全体	行政からの的確な 防災情報の提供	災害に強いライフラ インや道路の整備	震の強化	建築物の防火・耐	経路の確保	災害時の避難場 所の整備や避難	地域とのつながり や助け合いの体制	がけ地の崩壊防 止対策や河川な どの治水対策	消防救急体制の 整備	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	935	929	606	552	527	314	216	17	28		
	成田地区	592	237	240	188	167	137	94	58	7	3		
	公津地区	360	147	174	103	95	84	39	32	4	5		
	八生地区	54	28	27	10	10	10	13	4	0	1		
	中郷地区	27	11	10	8	3	9	8	2	0	0		
	久住地区	85	32	37	22	25	19	15	7	1	2		
	豊住地区	33	14	15	5	5	14	4	2	0	3		
	遠山地区	184	80	78	60	53	36	26	20	0	2		
	ニュータウン地区	515	240	220	135	139	136	49	52	4	3		
	下総地区	120	52	46	25	22	36	25	13	0	3		
	大栄地区	161	73	60	39	24	40	37	22	1	3		
	その他	5	2	4	0	1	1	1	1	0	0		
	無回答	40	19	18	11	8	5	3	3	0	3		
割合(%)	全体	100.0	43.0	42.7	27.8	25.4	24.2	14.4	9.9	0.8	1.3		
	成田地区	100.0	40.0	40.5	31.8	28.2	23.1	15.9	9.8	1.2	0.5		
	公津地区	100.0	40.8	48.3	28.6	26.4	23.3	10.8	8.9	1.1	1.4		
	八生地区	100.0	51.9	50.0	18.5	18.5	18.5	24.1	7.4	0.0	1.9		
	中郷地区	100.0	40.7	37.0	29.6	11.1	33.3	29.6	7.4	0.0	0.0		
	久住地区	100.0	37.6	43.5	25.9	29.4	22.4	17.6	8.2	1.2	2.4		
	豊住地区	100.0	42.4	45.5	15.2	15.2	42.4	12.1	6.1	0.0	9.1		
	遠山地区	100.0	43.5	42.4	32.6	28.8	19.6	14.1	10.9	0.0	1.1		
	ニュータウン地区	100.0	46.6	42.7	26.2	27.0	26.4	9.5	10.1	0.8	0.6		
	下総地区	100.0	43.3	38.3	20.8	18.3	30.0	20.8	10.8	0.0	2.5		
	大栄地区	100.0	45.3	37.3	24.2	14.9	24.8	23.0	13.7	0.6	1.9		
	その他	100.0	40.0	80.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0		
	無回答	100.0	47.5	45.0	27.5	20.0	12.5	7.5	7.5	0.0	7.5		

### (3) 身の回りの犯罪等

問 14 あなたの身の回りの犯罪等に関して、何か不安を感じることはありますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

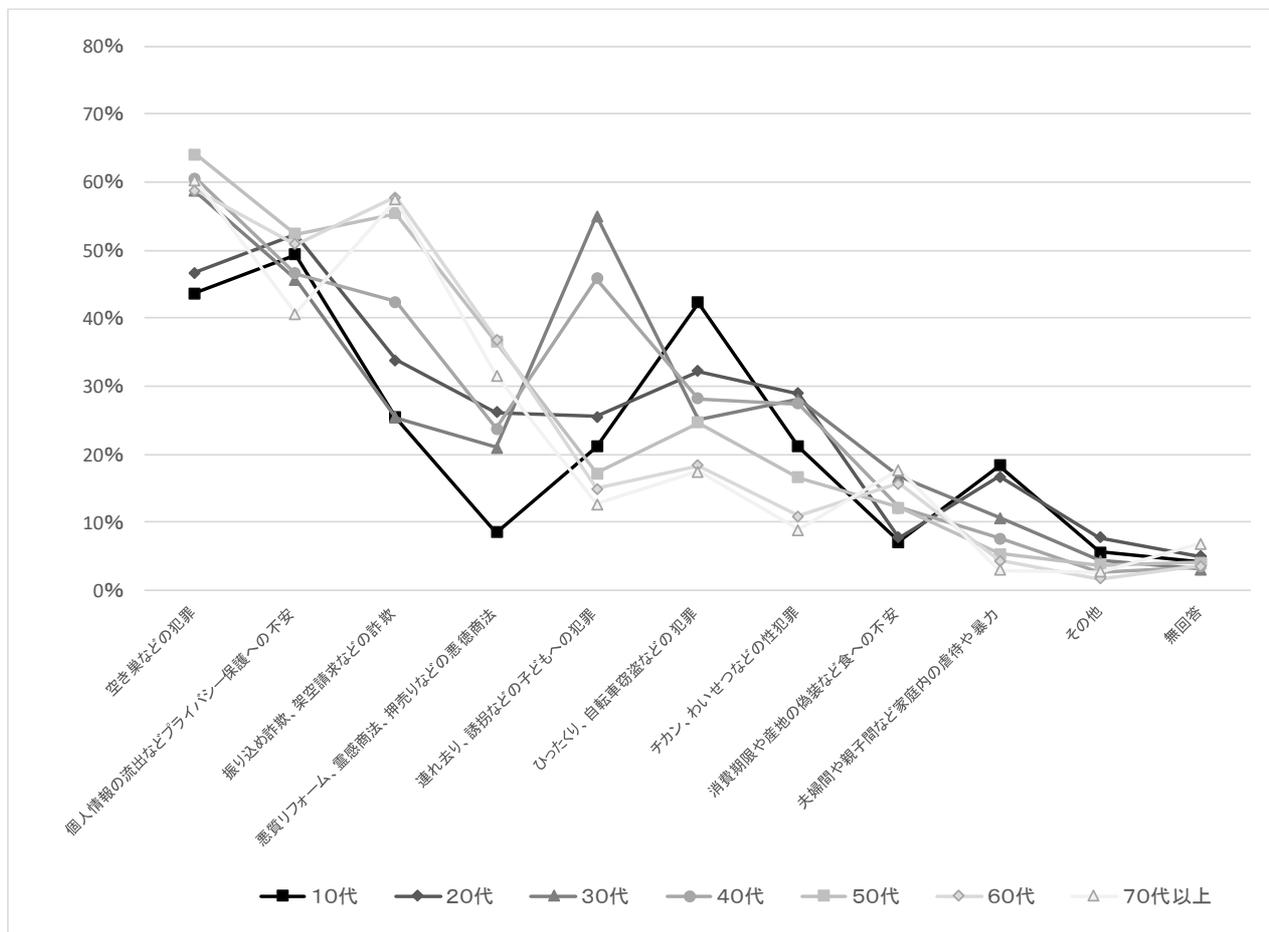
身の回りの犯罪等に関して不安を感じることは、「空き巣などの犯罪」が 58.6%と最も多く、次いで「個人情報の流出などプライバシー保護への不安」47.5%、「振り込め詐欺、架空請求などの詐欺」46.8%となっています。平成 26 年度と比較すると「連れ去り、誘拐などの子どもへの犯罪」「消費期限や産地の偽装など食への不安」は少なくなっていますが、「振り込め詐欺、架空請求などの詐欺」は増加しています。



No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	空き巣などの犯罪	1,276	58.6	2,517	58.9
2	個人情報の流出などプライバシー保護への不安	1,034	47.5	1,947	45.6
3	振り込め詐欺、架空請求などの詐欺	1,019	46.8	1,663	38.9
4	悪質リフォーム、靈感商法、押売りなどの悪徳商法	634	29.1	1,257	29.4
5	連れ去り、誘拐などの子どもへの犯罪	582	26.7	1,589	37.2
6	ひったくり、自転車窃盗などの犯罪	514	23.6	1,100	25.7
7	チカン、わいせつなどの性犯罪	400	18.4	849	19.9
8	消費期限や産地の偽装など食への不安	309	14.2	1,299	30.4
9	夫婦間や親子間など家庭内の虐待や暴力	154	7.1	290	6.8
10	その他	74	3.4	130	3.0
11	無回答	99	4.5	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,273	-

<年代別集計>

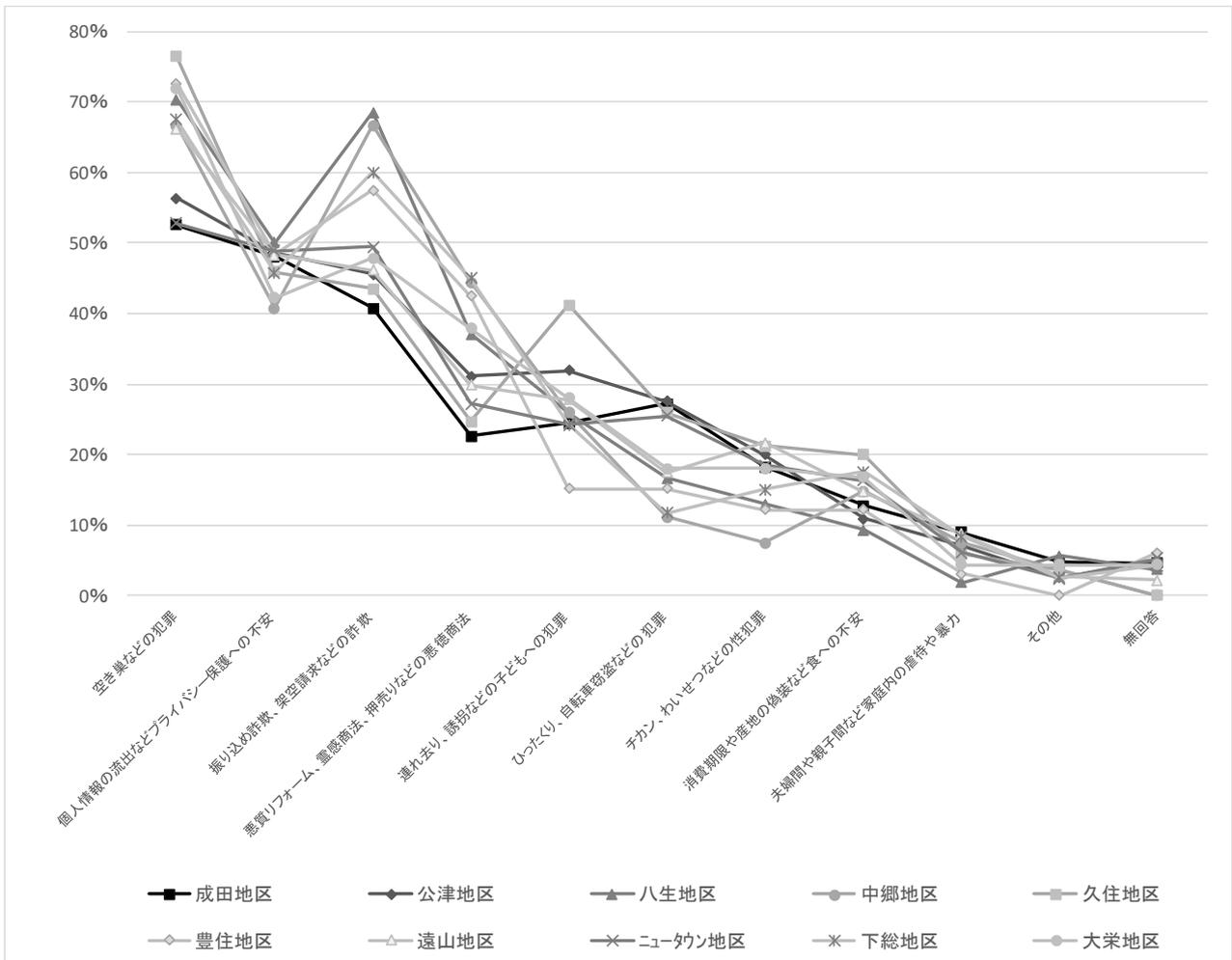
年代別にみると、どの年代においても「空き巣などの犯罪」または「個人情報の流出などプライバシー保護への不安」が最も多くなっています。10代、20代は「ひったくり、自転車窃盗などの犯罪」「夫婦間や親子間など家庭内の虐待や暴力」が多くなっています。30代、40代になると「連れ去り、誘拐などの子どもへの犯罪」「チカン、わいせつなどの性犯罪」など子どもに関する犯罪への関心が高く、50代以上になると「振り込め詐欺、架空請求などの詐欺」「悪質リフォーム、霊感商法、押売りなどの悪徳商法」が多くなっています。



		全体	空き巣などの犯罪	個人情報の流出などプライバシー保護への不安	振り込め詐欺、架空請求などの詐欺	悪質リフォーム、靈感商法、押売りなどの悪徳商法	連れ去り、誘拐などの子どもへの犯罪	ひったくり、自転車窃盗などの犯罪	チカン、わいせつなどの性犯罪	消費期限や産地の偽装など食への不安	夫婦間や親子間など家庭内の虐待や暴力	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,276	1,034	1,019	634	582	514	400	309	154	74	99
	10代	71	31	35	18	6	15	30	15	5	13	4	3
	20代	180	84	94	61	47	46	58	52	14	30	14	9
	30代	300	176	137	76	63	165	75	84	50	32	13	9
	40代	380	230	177	161	90	174	107	104	46	29	10	13
	50代	321	206	168	178	117	55	79	53	39	17	12	13
	60代	415	244	211	240	153	62	76	45	65	18	7	15
	70代以上	482	291	196	277	152	61	84	43	85	14	13	33
	無回答	27	14	16	8	6	4	5	4	5	1	1	4
割合(%)	全体	100.0	58.6	47.5	46.8	29.1	26.7	23.6	18.4	14.2	7.1	3.4	4.5
	10代	100.0	43.7	49.3	25.4	8.5	21.1	42.3	21.1	7.0	18.3	5.6	4.2
	20代	100.0	46.7	52.2	33.9	26.1	25.6	32.2	28.9	7.8	16.7	7.8	5.0
	30代	100.0	58.7	45.7	25.3	21.0	55.0	25.0	28.0	16.7	10.7	4.3	3.0
	40代	100.0	60.5	46.6	42.4	23.7	45.8	28.2	27.4	12.1	7.6	2.6	3.4
	50代	100.0	64.2	52.3	55.5	36.4	17.1	24.6	16.5	12.1	5.3	3.7	4.0
	60代	100.0	58.8	50.8	57.8	36.9	14.9	18.3	10.8	15.7	4.3	1.7	3.6
	70代以上	100.0	60.4	40.7	57.5	31.5	12.7	17.4	8.9	17.6	2.9	2.7	6.8
	無回答	100.0	51.9	59.3	29.6	22.2	14.8	18.5	14.8	18.5	3.7	3.7	14.8

<地区別集計>

地区別にみると、成田・公津・ニュータウン地区では、「空き巣などの犯罪」が比較的少ない一方、「ひったくり、自転車窃盗などの犯罪」が多くなっています。「振り込め詐欺、架空請求などの請求」は、八生・中郷・豊住・下総地区で多くなっています。

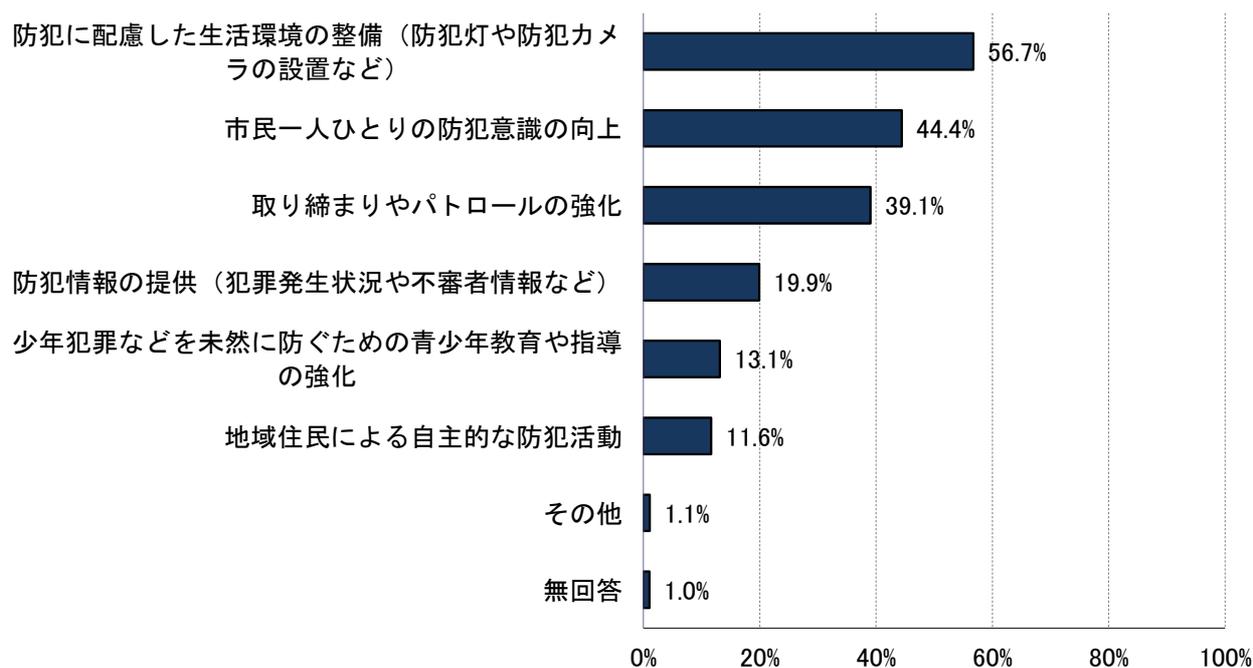


		全体	空き巣などの犯罪	個人情報 の流出など プライバシー 保護への 不安	振り込め詐欺、架空請求などの詐欺	悪質リフォーム、霊感商法、押売りなどの悪徳商法	連れ去り、誘拐などの子どもへの犯罪	ひったくり、自転車窃盗などの犯罪	チカン、わいせつなどの性犯罪	消費期限や産地の偽装など食への不安	夫婦間や親子間など家庭内の虐待や暴力	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,276	1,034	1,019	634	582	514	400	309	154	74	99
	成田地区	592	311	285	241	134	145	161	108	75	53	28	27
	公津地区	360	203	175	164	112	115	99	72	39	25	9	18
	八生地区	54	38	27	37	20	14	9	7	5	1	3	2
	中郷地区	27	18	11	18	12	7	3	2	4	2	1	0
	久住地区	85	65	39	37	21	35	22	18	17	5	3	0
	豊住地区	33	24	16	19	14	5	5	4	4	1	0	2
	遠山地区	184	122	89	85	55	51	32	40	27	16	5	4
	ニュータウン地区	515	272	252	255	140	125	131	95	84	31	12	27
	下総地区	120	81	55	72	54	29	14	18	21	10	3	5
	大栄地区	161	116	68	77	61	45	29	29	27	7	7	7
	その他	5	5	2	3	1	1	2	2	1	1	0	0
無回答	40	21	15	11	10	10	7	5	5	2	3	7	
割合(%)	全体	100.0	58.6	47.5	46.8	29.1	26.7	23.6	18.4	14.2	7.1	3.4	4.5
	成田地区	100.0	52.5	48.1	40.7	22.6	24.5	27.2	18.2	12.7	9.0	4.7	4.6
	公津地区	100.0	56.4	48.6	45.6	31.1	31.9	27.5	20.0	10.8	6.9	2.5	5.0
	八生地区	100.0	70.4	50.0	68.5	37.0	25.9	16.7	13.0	9.3	1.9	5.6	3.7
	中郷地区	100.0	66.7	40.7	66.7	44.4	25.9	11.1	7.4	14.8	7.4	3.7	0.0
	久住地区	100.0	76.5	45.9	43.5	24.7	41.2	25.9	21.2	20.0	5.9	3.5	0.0
	豊住地区	100.0	72.7	48.5	57.6	42.4	15.2	15.2	12.1	12.1	3.0	0.0	6.1
	遠山地区	100.0	66.3	48.4	46.2	29.9	27.7	17.4	21.7	14.7	8.7	2.7	2.2
	ニュータウン地区	100.0	52.8	48.9	49.5	27.2	24.3	25.4	18.4	16.3	6.0	2.3	5.2
	下総地区	100.0	67.5	45.8	60.0	45.0	24.2	11.7	15.0	17.5	8.3	2.5	4.2
	大栄地区	100.0	72.0	42.2	47.8	37.9	28.0	18.0	18.0	16.8	4.3	4.3	4.3
	その他	100.0	100.0	40.0	60.0	20.0	20.0	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0
無回答	100.0	52.5	37.5	27.5	25.0	25.0	17.5	12.5	12.5	5.0	7.5	17.5	

#### (4) 防犯対策

問 15 防犯対策についてどのようなことが重要だと思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

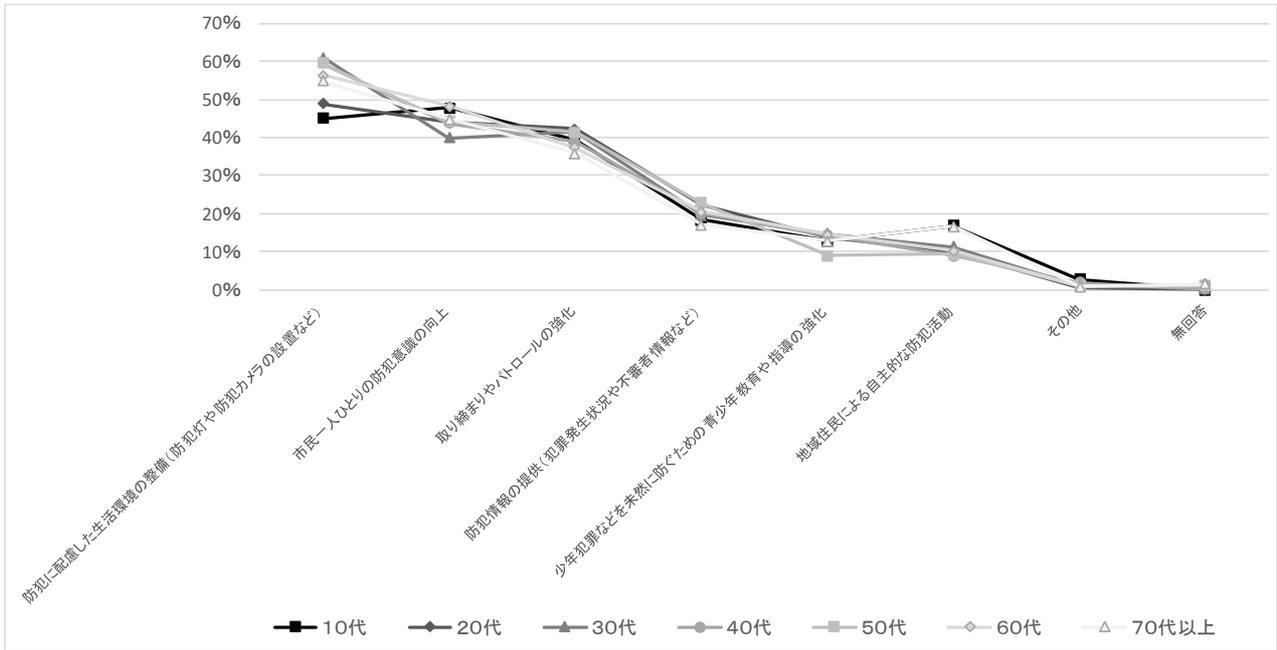
重要だと思う防犯対策については、「防犯に配慮した生活環境の整備（防犯灯や防犯カメラの設置など）」が 56.7%と最も多く、次いで「市民一人ひとりの防犯意識の向上」44.4%、「取り締まりやパトロールの強化」39.1%となっています。



No.	選択肢	人数(人)	割合(%)
1	防犯に配慮した生活環境の整備 (防犯灯や防犯カメラの設置など)	1,234	56.7
2	市民一人ひとりの防犯意識の向上	967	44.4
3	取り締まりやパトロールの強化	850	39.1
4	防犯情報の提供(犯罪発生状況や不審者情報など)	433	19.9
5	少年犯罪などを未然に防ぐための青少年教育や指導の強化	286	13.1
6	地域住民による自主的な防犯活動	253	11.6
7	その他	24	1.1
8	無回答	22	1.0
	合計	2,176	100.0

<年代別集計>

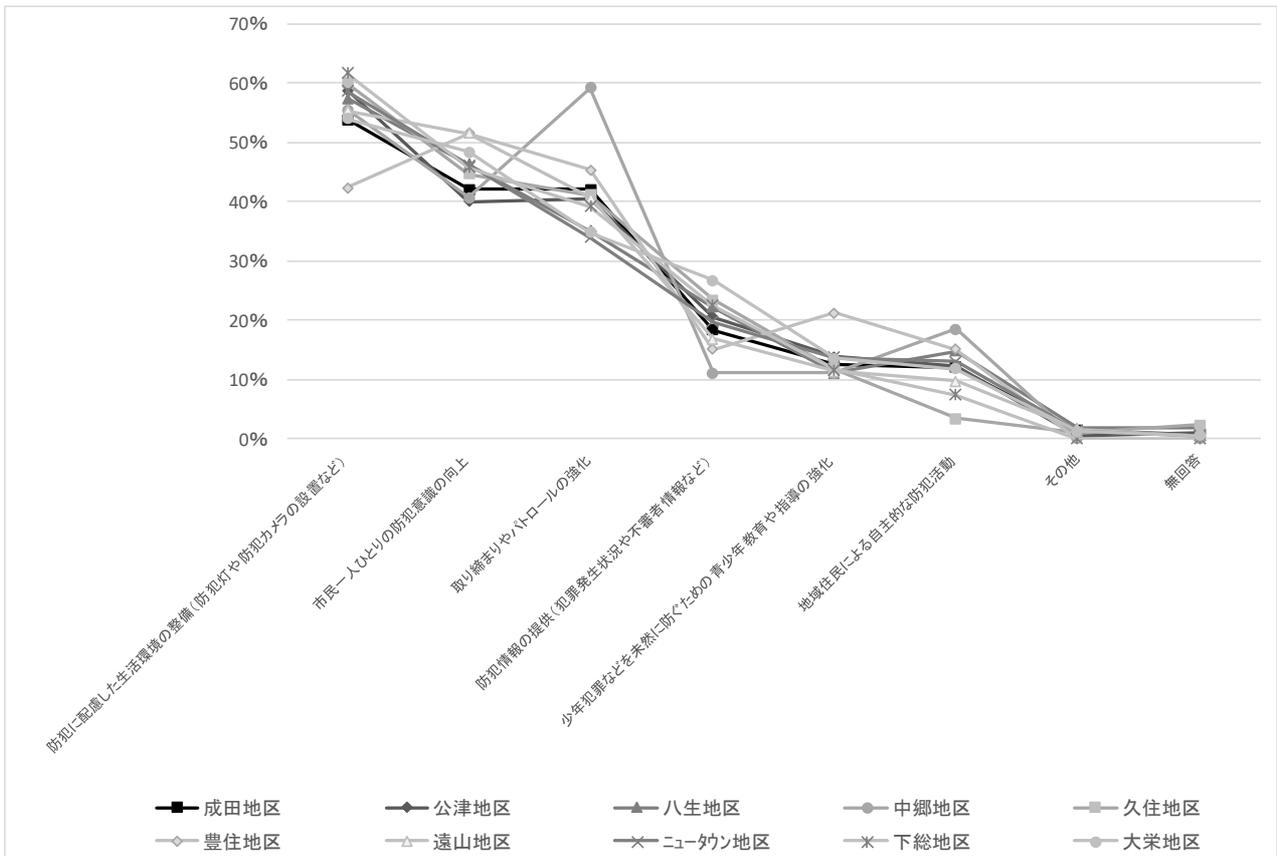
年代別にみると、ほとんどの年代で「防犯に配慮した生活環境の整備（防犯灯や防犯カメラの設置など）」が最も多く、概ね同傾向を示しています。また、「地域住民による自主的な防犯活動」は、10代と70代以上で多くなっています。



		全体	防犯に配慮した生活環境の整備(防犯灯や防犯カメラの設置など)	市民一人ひとりの防犯意識の向上	取り締まりやパトロールの強化	防犯情報の提供(犯罪発生状況や不審者情報など)	少年犯罪などを未然に防ぐための青少年教育や指導の強化	地域住民による自主的な防犯活動	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,234	967	850	433	286	253	24	21
	10代	71	32	34	28	13	9	12	2	0
	20代	180	88	79	76	40	25	18	1	0
	30代	300	183	120	125	59	44	34	3	1
	40代	380	226	166	148	76	54	34	7	1
	50代	321	191	142	133	73	29	30	3	3
	60代	415	234	200	155	85	60	42	4	6
	70代以上	482	265	216	173	82	62	80	4	7
	無回答	27	15	10	12	5	3	3	0	3
割合(%)	全体	100.0	56.7	44.4	39.1	19.9	13.1	11.6	1.1	1.0
	10代	100.0	45.1	47.9	39.4	18.3	12.7	16.9	2.8	0.0
	20代	100.0	48.9	43.9	42.2	22.2	13.9	10.0	0.6	0.0
	30代	100.0	61.0	40.0	41.7	19.7	14.7	11.3	1.0	0.3
	40代	100.0	59.5	43.7	38.9	20.0	14.2	8.9	1.8	0.3
	50代	100.0	59.5	44.2	41.4	22.7	9.0	9.3	0.9	0.9
	60代	100.0	56.4	48.2	37.3	20.5	14.5	10.1	1.0	1.4
	70代以上	100.0	55.0	44.8	35.9	17.0	12.9	16.6	0.8	1.5
	無回答	100.0	55.6	37.0	44.4	18.5	11.1	11.1	0.0	11.1

<地区別集計>

地区別にみると、多くの地区で「防犯に配慮した生活環境の整備（防犯灯や防犯カメラの設置など）」が多くなっており概ね同傾向を示していますが、中郷地区では「取り締まりやパトロールの強化」、豊住地区では「市民一人ひとりの防犯意識の向上」が多くなっています。

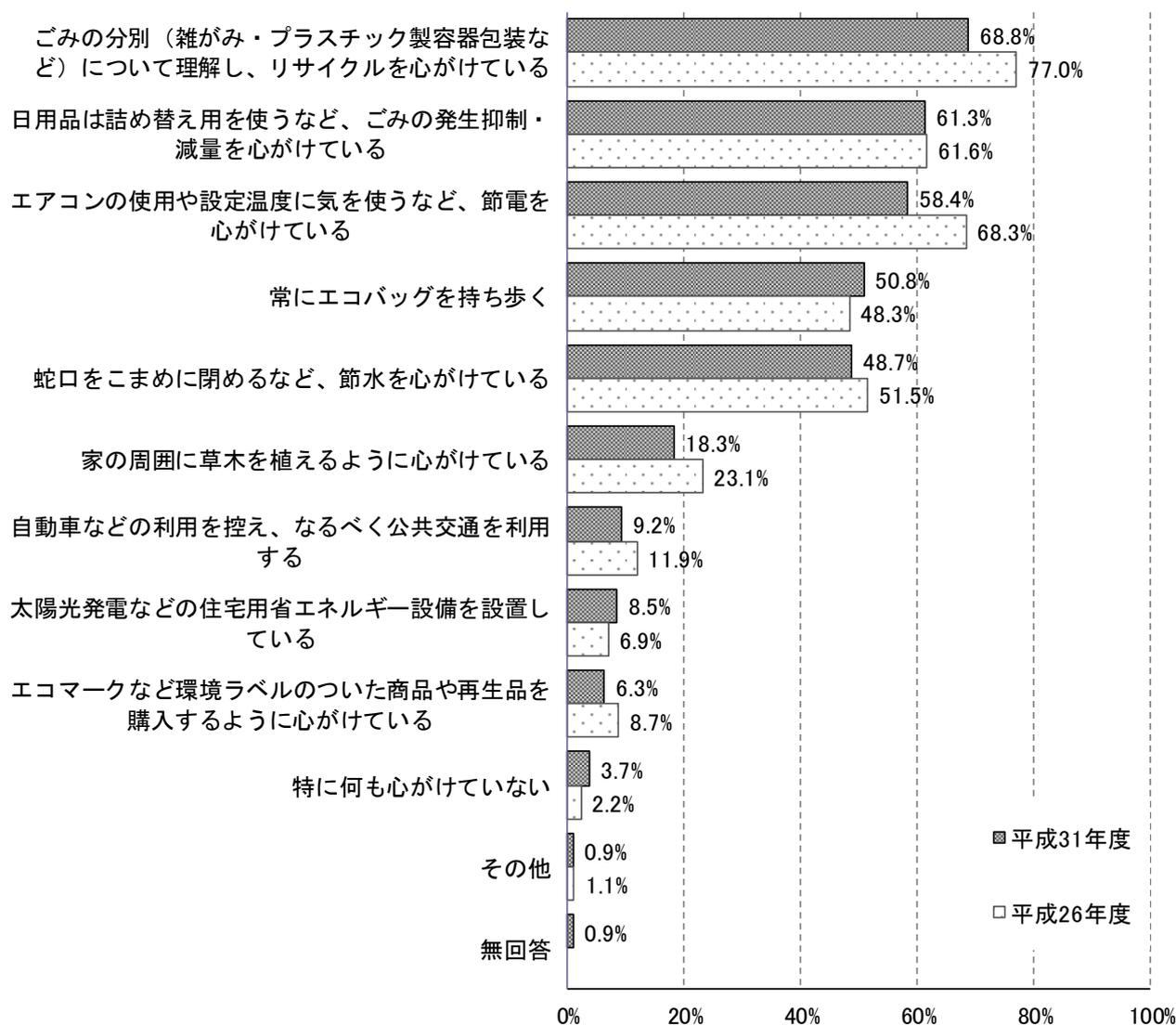


		全体	防犯に配慮した生活環境の整備 (防犯灯や防犯カメラの設置など)	市民一人ひとりの防犯意識の向上	取り締まりやパトロールの強化	防犯情報の提供(犯罪発生状況や 不審者情報など)	青少年教育や指導の強化	地域住民による自主的な防犯活動	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,234	967	850	433	286	253	24	21
	成田地区	592	319	249	249	109	75	72	8	5
	公津地区	360	212	144	146	74	50	44	2	4
	八生地区	54	31	25	19	12	6	8	1	1
	中郷地区	27	15	11	16	3	3	5	0	0
	久住地区	85	51	38	35	20	10	3	1	2
	豊住地区	33	14	17	15	5	7	5	0	0
	遠山地区	184	102	95	75	31	21	18	3	1
	ニュータウン地区	515	302	238	175	102	71	67	7	3
	下総地区	120	74	55	47	27	14	9	0	0
	大栄地区	161	87	78	56	43	22	19	2	1
	その他	5	2	3	3	0	0	1	0	0
	無回答	40	25	14	14	7	7	2	0	4
割合(%)	全体	100.0	56.7	44.4	39.1	19.9	13.1	11.6	1.1	1.0
	成田地区	100.0	53.9	42.1	42.1	18.4	12.7	12.2	1.4	0.8
	公津地区	100.0	58.9	40.0	40.6	20.6	13.9	12.2	0.6	1.1
	八生地区	100.0	57.4	46.3	35.2	22.2	11.1	14.8	1.9	1.9
	中郷地区	100.0	55.6	40.7	59.3	11.1	11.1	18.5	0.0	0.0
	久住地区	100.0	60.0	44.7	41.2	23.5	11.8	3.5	1.2	2.4
	豊住地区	100.0	42.4	51.5	45.5	15.2	21.2	15.2	0.0	0.0
	遠山地区	100.0	55.4	51.6	40.8	16.8	11.4	9.8	1.6	0.5
	ニュータウン地区	100.0	58.6	46.2	34.0	19.8	13.8	13.0	1.4	0.6
	下総地区	100.0	61.7	45.8	39.2	22.5	11.7	7.5	0.0	0.0
	大栄地区	100.0	54.0	48.4	34.8	26.7	13.7	11.8	1.2	0.6
	その他	100.0	40.0	60.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	無回答	100.0	62.5	35.0	35.0	17.5	17.5	5.0	0.0	10.0

## (5) 環境保全の取り組み

問 16 環境を保全するために、あなたが普段取り組んでいることは、次のうちどのようなことですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

環境保全のために普段取り組んでいることは、「ごみの分別（雑がみ・プラスチック製容器包装など）について理解し、リサイクルを心がけている」が68.8%と最も多く、次いで「日用品は詰め替え用を使うなど、ごみの発生抑制・減量を心がけている」61.3%、「エアコンの使用や設定温度に気を使うなど、節電を心がけている」58.4%となっています。平成26年度と比較すると「ごみの分別（雑がみ・プラスチック製容器包装など）について理解し、リサイクルを心がけている」と「エアコンの使用や設定温度に気を使うなど、節電を心がけている」に取り組んでいる割合が、やや減少しています。

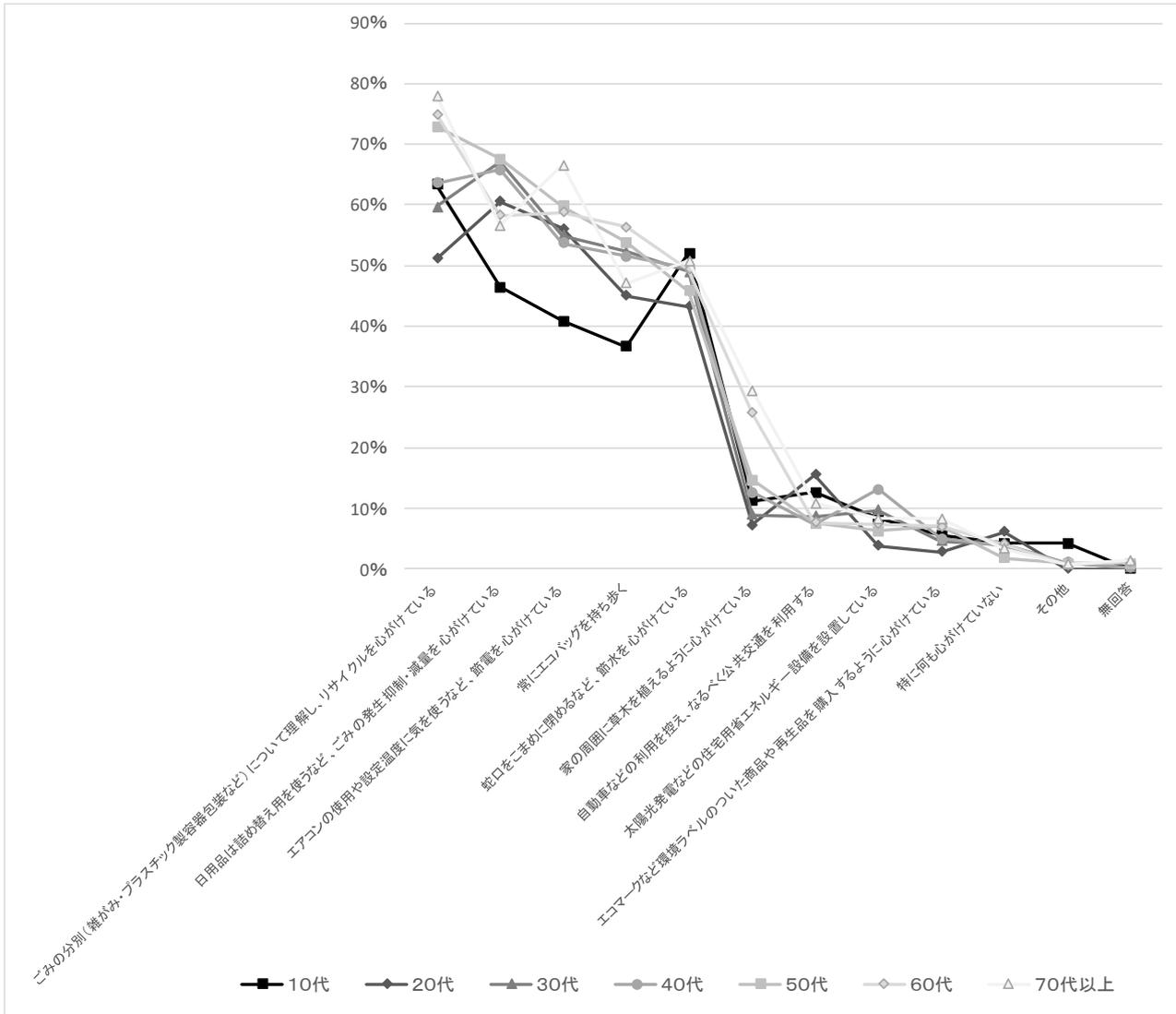


No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	ごみの分別(雑がみ・プラスチック製容器包装など)について理解し、リサイクルを心がけている	1,496	68.8	3,382	77.0
2	日用品は詰め替え用を使うなど、ごみの発生抑制・減量を心がけている	1,334	61.3	2,704	61.6
3	エアコンの使用や設定温度に気を使うなど、節電を心がけている	1,270	58.4	3,002	68.3
4	常にエコバッグを持ち歩く	1,105	50.8	2,124	48.3
5	蛇口をこまめに閉めるなど、節水を心がけている	1,060	48.7	2,264	51.5
6	家の周囲に草木を植えるように心がけている	398	18.3	1,014	23.1
7	自動車などの利用を控え、なるべく公共交通を利用する	201	9.2	522	11.9
8	太陽光発電などの住宅用省エネルギー設備を設置している	184	8.5	304	6.9
9	エコマークなど環境ラベルのついた商品や再生品を購入するように心がけている	137	6.3	384	8.7
10	特に何も心がけていない	80	3.7	96	2.2
11	その他	20	0.9	50	1.1
12	無回答	20	0.9	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,393	-

※平成 26 年度の選択肢は、「1. ごみを分別するなど、リサイクルを心がけている」「2. 日用品は詰め替え用を使うなど、ごみの発生抑制に心がけている」となっています。

<年代別集計>

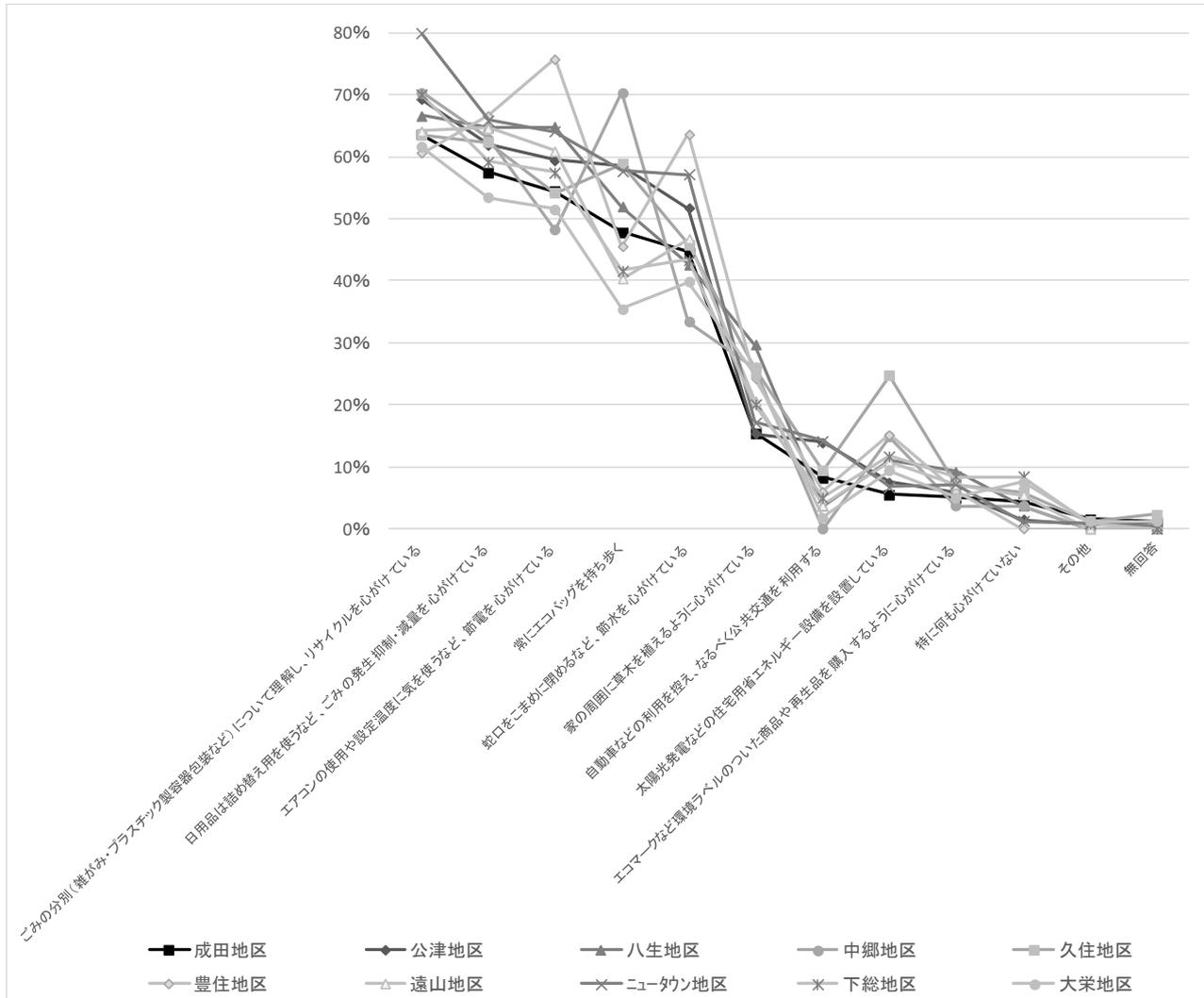
年代別にみると、「ごみの分別（雑がみ・プラスチック製容器包装など）について理解し、リサイクルを心がけている」「日用品は詰め替え用を使うなど、ごみの発生抑制・減量を心がけている」が多く、概ね同傾向を示しています。10代においては、「日用品は詰め替え用を使うなど、ごみの発生抑制・減量を心がけている」「エアコンの使用や設定温度に気を付けるなど、節電を心がけている」「常にエコバッグを持ち歩く」が他の年代より低くなっています。



		全体	ごみの分別(雑がみ・プラスチック製容器包装など)について理解し、リサイクルを心がけている	日用品は詰め替え用を使うなど、ごみの発生抑制・減量を心がけている	エアコンの使用や設定温度に気を使うなど、節電を心がけている	常にエコバッグを持ち歩く	蛇口をこまめに閉めるなど、節水を心がけている	家の周囲に草木を植えるように心がけている	自動車などの利用を控え、なるべく公共交通を利用する	太陽光発電などの住宅用省エネルギー設備を設置している	エコマークなど環境ラベルのついた商品や再生品を購入するように心がけている	特に何も心がけていない	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,496	1,334	1,270	1,105	1,060	398	201	184	137	80	20	20
	10代	71	45	33	29	26	37	8	9	6	4	3	3	0
	20代	180	92	109	101	81	78	13	28	7	5	11	0	0
	30代	300	179	201	165	157	147	27	26	29	14	12	3	1
	40代	380	242	250	204	196	188	48	28	50	19	14	4	1
	50代	321	234	217	192	173	147	47	24	20	23	6	3	3
	60代	415	311	242	244	234	205	107	32	31	29	17	3	5
	70代以上	482	376	273	321	227	245	142	52	40	40	16	4	7
	無回答	27	17	9	14	11	13	6	2	1	3	1	0	3
割合(%)	全体	100.0	68.8	61.3	58.4	50.8	48.7	18.3	9.2	8.5	6.3	3.7	0.9	0.9
	10代	100.0	63.4	46.5	40.8	36.6	52.1	11.3	12.7	8.5	5.6	4.2	4.2	0.0
	20代	100.0	51.1	60.6	56.1	45.0	43.3	7.2	15.6	3.9	2.8	6.1	0.0	0.0
	30代	100.0	59.7	67.0	55.0	52.3	49.0	9.0	8.7	9.7	4.7	4.0	1.0	0.3
	40代	100.0	63.7	65.8	53.7	51.6	49.5	12.6	7.4	13.2	5.0	3.7	1.1	0.3
	50代	100.0	72.9	67.6	59.8	53.9	45.8	14.6	7.5	6.2	7.2	1.9	0.9	0.9
	60代	100.0	74.9	58.3	58.8	56.4	49.4	25.8	7.7	7.5	7.0	4.1	0.7	1.2
	70代以上	100.0	78.0	56.6	66.6	47.1	50.8	29.5	10.8	8.3	8.3	3.3	0.8	1.5
	無回答	100.0	63.0	33.3	51.9	40.7	48.1	22.2	7.4	3.7	11.1	3.7	0.0	11.1

<地区別集計>

地区別にみると、「ごみの分別（雑がみ・プラスチック製容器包装など）について理解し、リサイクルを心がけている」「日用品は詰め替え用を使うなど、ごみの発生抑制・減量を心がけている」「エアコンの使用や設定温度に気を使うなど、節電を心がけている」が多く、概ね同傾向を示しています。

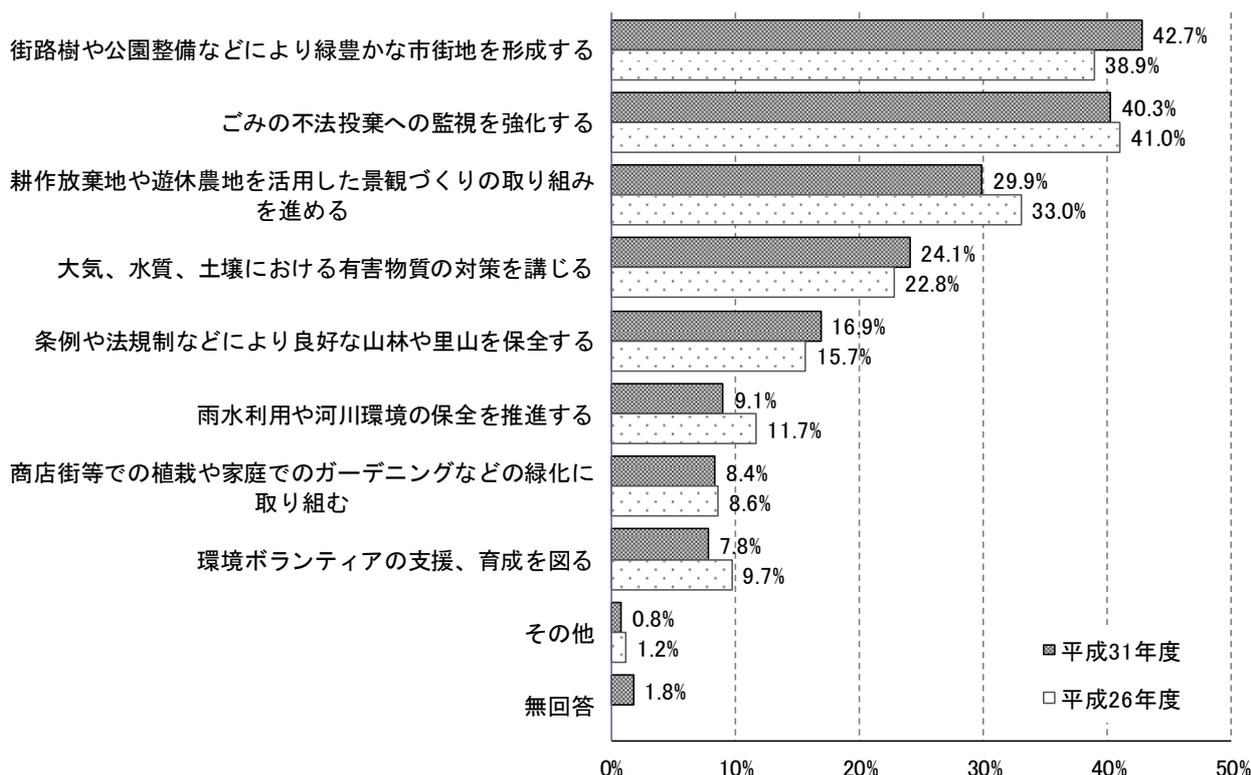


		全体	ごみの分別(雑がみ・プラスチック製容器包装など)について理解し、リサイクルを心がけている	日用品は詰め替え用を使うなど、ごみの発生抑制・減量を心がけている	エアコンの使用や設定温度に気を使うなど、節電を心がけている	常にエコバッグを持ち歩く	蛇口をこまめに閉めるなど、節水を心がけている	家の周囲に草木を植えるように心がけている	自動車などの利用を控え、なるべく公共交通を利用する	太陽光発電などの住宅用省エネルギー設備を設置している	エコマークなど環境ラベルのついた商品や再生品を購入するように心がけている	特に何も心がけていない	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,496	1,334	1,270	1,105	1,060	398	201	184	137	80	20	20
	成田地区	592	376	340	322	283	264	91	49	33	30	26	9	6
	公津地区	360	249	223	214	211	186	55	50	27	21	5	2	3
	八生地区	54	36	35	35	28	23	16	2	6	5	2	0	0
	中郷地区	27	19	17	13	19	9	7	0	4	1	1	0	0
	久住地区	85	54	53	46	50	39	22	8	21	6	5	1	2
	豊住地区	33	20	22	25	15	21	8	2	5	2	0	0	0
	遠山地区	184	118	119	112	74	86	38	7	20	13	10	0	1
	ニュータウン地区	515	411	339	330	297	294	88	73	35	37	6	5	2
	下総地区	120	84	71	69	50	52	24	6	14	10	10	1	0
	大栄地区	161	99	86	83	57	64	40	3	15	8	12	2	2
	その他	5	3	5	3	3	3	1	0	0	0	0	0	0
	無回答	40	27	24	18	18	19	8	1	4	4	3	0	4
割合(%)	全体	100.0	68.8	61.3	58.4	50.8	48.7	18.3	9.2	8.5	6.3	3.7	0.9	0.9
	成田地区	100.0	63.5	57.4	54.4	47.8	44.6	15.4	8.3	5.6	5.1	4.4	1.5	1.0
	公津地区	100.0	69.2	61.9	59.4	58.6	51.7	15.3	13.9	7.5	5.8	1.4	0.6	0.8
	八生地区	100.0	66.7	64.8	64.8	51.9	42.6	29.6	3.7	11.1	9.3	3.7	0.0	0.0
	中郷地区	100.0	70.4	63.0	48.1	70.4	33.3	25.9	0.0	14.8	3.7	3.7	0.0	0.0
	久住地区	100.0	63.5	62.4	54.1	58.8	45.9	25.9	9.4	24.7	7.1	5.9	1.2	2.4
	豊住地区	100.0	60.6	66.7	75.8	45.5	63.6	24.2	6.1	15.2	6.1	0.0	0.0	0.0
	遠山地区	100.0	64.1	64.7	60.9	40.2	46.7	20.7	3.8	10.9	7.1	5.4	0.0	0.5
	ニュータウン地区	100.0	79.8	65.8	64.1	57.7	57.1	17.1	14.2	6.8	7.2	1.2	1.0	0.4
	下総地区	100.0	70.0	59.2	57.5	41.7	43.3	20.0	5.0	11.7	8.3	8.3	0.8	0.0
	大栄地区	100.0	61.5	53.4	51.6	35.4	39.8	24.8	1.9	9.3	5.0	7.5	1.2	1.2
	その他	100.0	60.0	100.0	60.0	60.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	100.0	67.5	60.0	45.0	45.0	47.5	20.0	2.5	10.0	10.0	7.5	0.0	10.0

## (6) 自然環境を保護し、緑豊かなまちをつくるための市民と行政の取り組み

問 17 自然環境を保護し、緑豊かなまちをつくるために、市民と行政が取り組むべきことは、次のうちどれですか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

自然環境を保護し、緑豊かなまちをつくるために、市民と行政が取り組むべきことは、「街路樹や公園整備などにより緑豊かな市街地を形成する」が42.7%と最も多く、次いで「ごみの不法投棄への監視を強化する」40.3%、「耕作放棄地や遊休農地を活用した景観づくりの取り組みを進める」29.9%となっています。

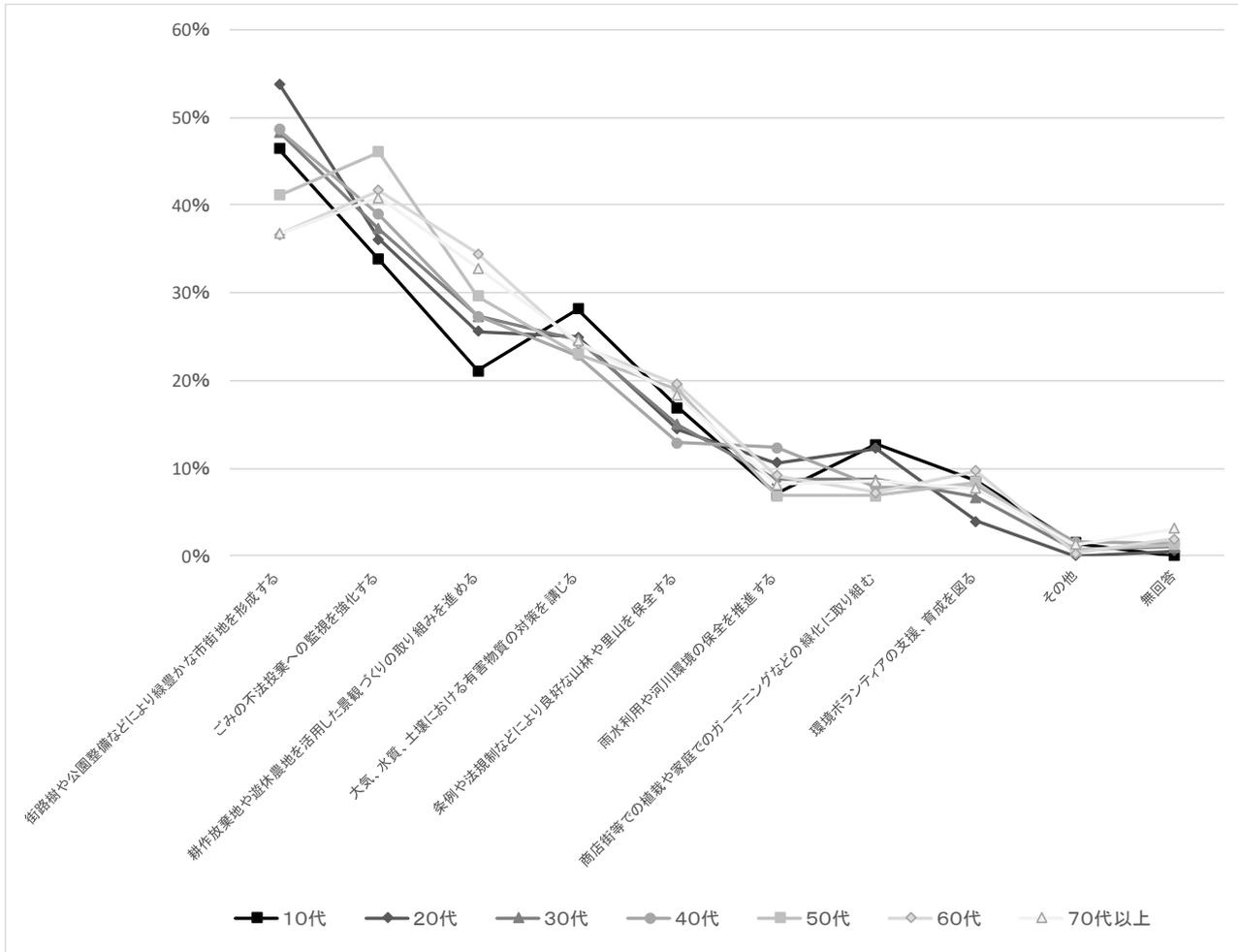


No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	街路樹や公園整備などにより緑豊かな市街地を形成する	930	42.7	1,639	38.9
2	ごみの不法投棄への監視を強化する	876	40.3	1,725	41.0
3	耕作放棄地や遊休農地を活用した景観づくりの取り組みを進める	651	29.9	1,391	33.0
4	大気、水質、土壌における有害物質の対策を講じる	524	24.1	960	22.8
5	条例や法規制などにより良好な山林や里山を保全する	367	16.9	662	15.7
6	雨水利用や河川環境の保全を推進する	197	9.1	494	11.7
7	商店街等での植栽や家庭でのガーデニングなどの緑化に取り組む	182	8.4	363	8.6
8	環境ボランティアの支援、育成を図る	170	7.8	408	9.7
9	その他	18	0.8	50	1.2
10	無回答	39	1.8	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,210	-

※平成 26 年度の選択肢は、「5. 条例や法規制などにより良好な樹林地や里山を保全する」となっています。

<年代別集計>

年代別にみると、概ね同傾向を示しています。「街路樹や公園整備などにより緑豊かな市街地を形成する」は40代以下で多く、高い年代で少なくなっています。一方、「ごみの不法投棄への監視を強化する」「耕作放棄地や遊休農地を活用した景観づくりの取り組みを進める」は、高い年代で多く、低い年代で少ない傾向にあります。

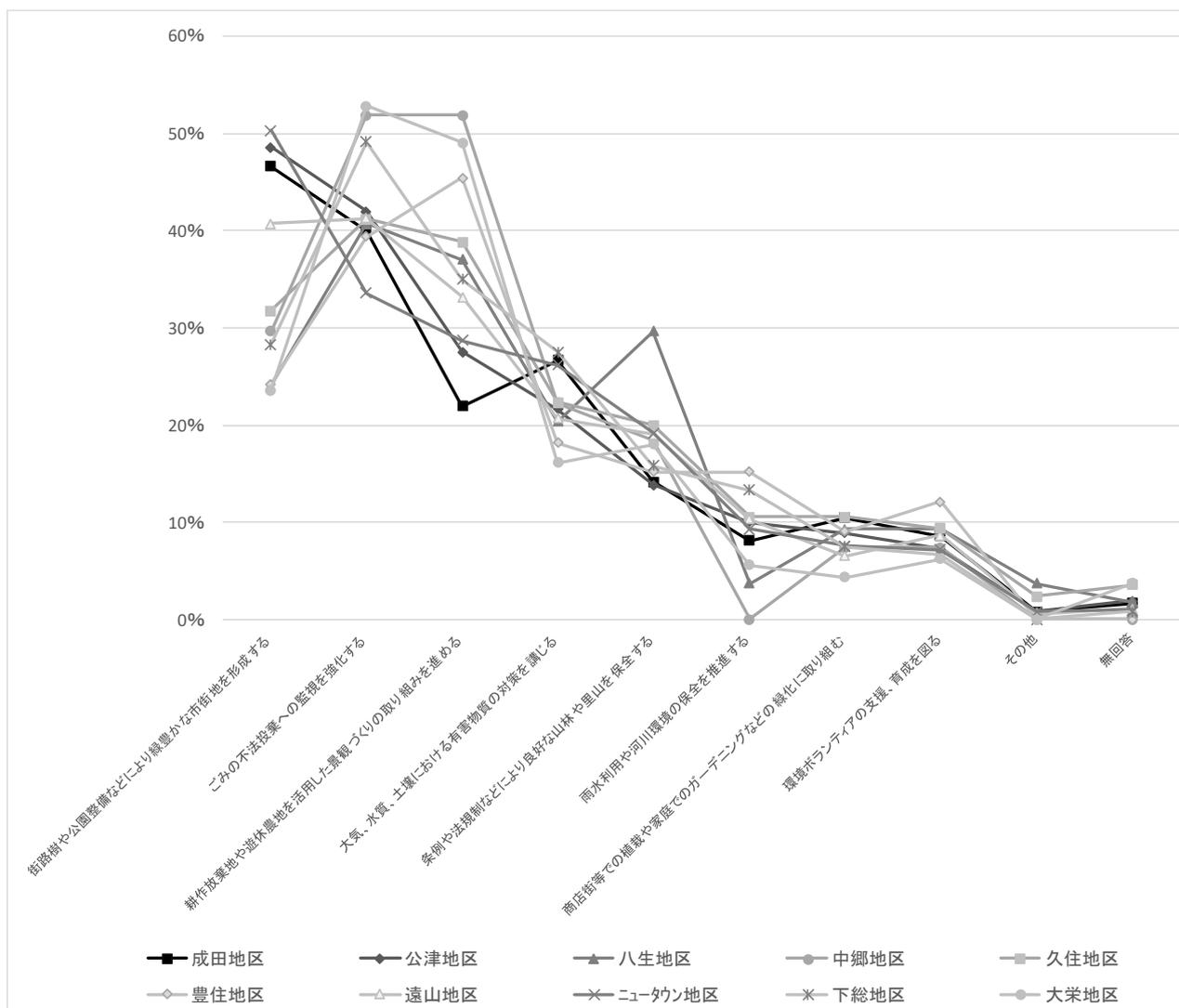


		全体	街路樹や公園整備などにより緑豊かな市街地を形成する	ごみの不法投棄への監視を強化する	耕作放棄地や遊休農地を活用した景観づくりの取り組みを進める	大気、水質、土壌における有害物質の対策を講じる	条例や法規制などにより良好な山林や里山を保全する	雨水利用や河川環境の保全を推進する	商店街等での植栽や家庭でのガーデニングなどの緑化に取り組む	環境ボランティアの支援、育成を図る	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	930	876	651	524	367	197	182	170	18	39
	10代	71	33	24	15	20	12	5	9	6	1	0
	20代	180	97	65	46	45	26	19	22	7	0	1
	30代	300	145	112	82	74	45	26	26	20	2	3
	40代	380	185	148	104	87	49	47	30	30	6	5
	50代	321	132	148	95	74	61	22	22	27	2	4
	60代	415	152	173	143	100	81	38	30	40	1	8
	70代以上	482	177	197	158	118	88	39	41	37	6	15
	無回答	27	9	9	8	6	5	1	2	3	0	3
割合(%)	全体	100.0	42.7	40.3	29.9	24.1	16.9	9.1	8.4	7.8	0.8	1.8
	10代	100.0	46.5	33.8	21.1	28.2	16.9	7.0	12.7	8.5	1.4	0.0
	20代	100.0	53.9	36.1	25.6	25.0	14.4	10.6	12.2	3.9	0.0	0.6
	30代	100.0	48.3	37.3	27.3	24.7	15.0	8.7	8.7	6.7	0.7	1.0
	40代	100.0	48.7	38.9	27.4	22.9	12.9	12.4	7.9	7.9	1.6	1.3
	50代	100.0	41.1	46.1	29.6	23.1	19.0	6.9	6.9	8.4	0.6	1.2
	60代	100.0	36.6	41.7	34.5	24.1	19.5	9.2	7.2	9.6	0.2	1.9
	70代以上	100.0	36.7	40.9	32.8	24.5	18.3	8.1	8.5	7.7	1.2	3.1
	無回答	100.0	33.3	33.3	29.6	22.2	18.5	3.7	7.4	11.1	0.0	11.1

<地区別集計>

地区別にみると、成田・公津・ニュータウン地区では「街路樹や公園整備などにより緑豊かな市街地を形成する」、それ以外の地区では、「ごみの不法投棄への監視を強化する」「耕作放棄地や遊休農地を活用した景観づくりの取り組みを進める」が多くなっています。

成田・公津・ニュータウン地区のような市街地では、公園整備等による緑豊かなまちづくりを重要と考える方が多いことがわかります。また、その他の地区に居住されている方は、遊休農地の活用による景観の整備や、ごみの不法投棄への対策を重要と考えている方が多いことがわかります。



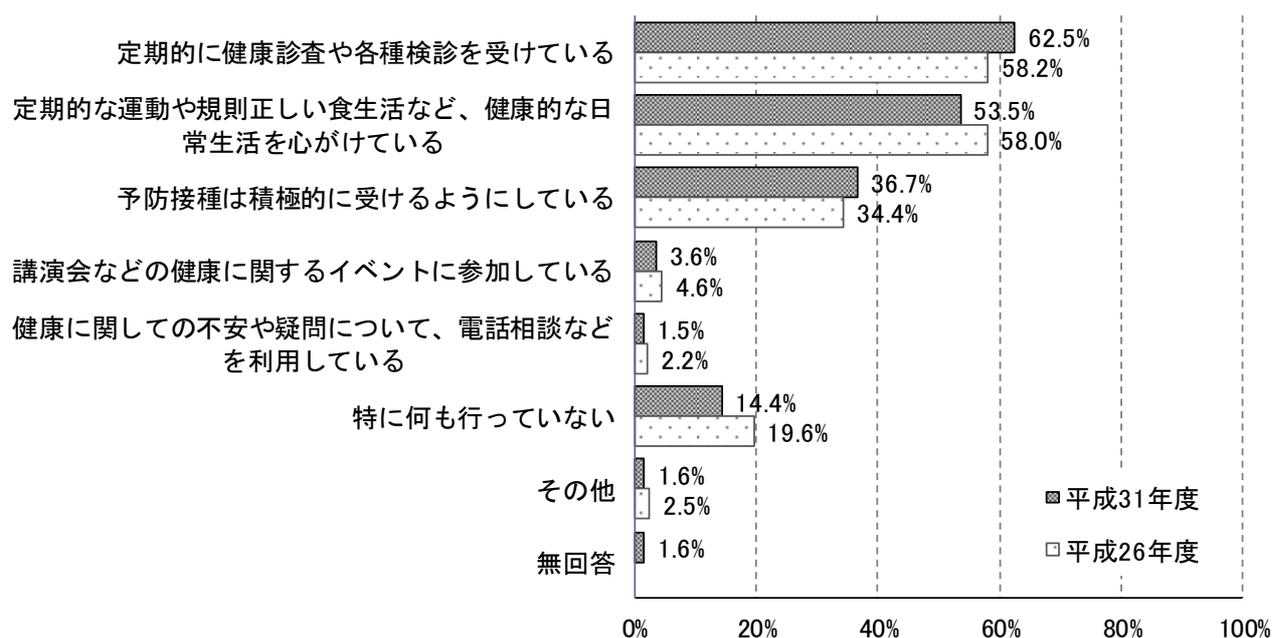
		全体	街路樹や公園整備などにより緑豊かな市街地を形成する	ごみの不法投棄への監視を強化する	耕作放棄地や遊休農地を活用した景観づくりの取り組みを進める	大気、水質、土壌における有害物質の対策を講じる	条例や法規制などにより良好な山林や里山を保全する	雨水利用や河川環境の保全を推進する	商店街等での植栽や家庭でのガーデニングなどの緑化に取り組む	環境ボランティアの支援、育成を図る	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	930	876	651	524	367	197	182	170	18	39
	成田地区	592	276	237	130	158	84	48	62	51	5	10
	公津地区	360	175	151	99	78	50	36	32	26	3	7
	八生地区	54	13	22	20	11	16	2	5	5	2	1
	中郷地区	27	8	14	14	6	5	0	2	2	0	0
	久住地区	85	27	35	33	19	17	9	9	8	2	3
	豊住地区	33	8	13	15	6	5	5	3	4	0	0
	遠山地区	184	75	76	61	38	35	19	12	16	1	2
	ニュータウン地区	515	259	173	148	135	99	48	39	37	4	5
	下総地区	120	34	59	42	33	19	16	9	8	0	1
	大栄地区	161	38	85	79	26	29	9	7	10	0	6
	その他	5	2	1	1	2	0	1	1	1	0	0
	無回答	40	15	10	9	12	8	4	1	2	1	4
割合(%)	全体	100.0	42.7	40.3	29.9	24.1	16.9	9.1	8.4	7.8	0.8	1.8
	成田地区	100.0	46.6	40.0	22.0	26.7	14.2	8.1	10.5	8.6	0.8	1.7
	公津地区	100.0	48.6	41.9	27.5	21.7	13.9	10.0	8.9	7.2	0.8	1.9
	八生地区	100.0	24.1	40.7	37.0	20.4	29.6	3.7	9.3	9.3	3.7	1.9
	中郷地区	100.0	29.6	51.9	51.9	22.2	18.5	0.0	7.4	7.4	0.0	0.0
	久住地区	100.0	31.8	41.2	38.8	22.4	20.0	10.6	10.6	9.4	2.4	3.5
	豊住地区	100.0	24.2	39.4	45.5	18.2	15.2	15.2	9.1	12.1	0.0	0.0
	遠山地区	100.0	40.8	41.3	33.2	20.7	19.0	10.3	6.5	8.7	0.5	1.1
	ニュータウン地区	100.0	50.3	33.6	28.7	26.2	19.2	9.3	7.6	7.2	0.8	1.0
	下総地区	100.0	28.3	49.2	35.0	27.5	15.8	13.3	7.5	6.7	0.0	0.8
	大栄地区	100.0	23.6	52.8	49.1	16.1	18.0	5.6	4.3	6.2	0.0	3.7
	その他	100.0	40.0	20.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	無回答	100.0	37.5	25.0	22.5	30.0	20.0	10.0	2.5	5.0	2.5	10.0

## 2. 保健・医療・福祉について

### (1) 健康のために取り組んでいること

問 18 あなたは、普段の生活の中で、健康のためにどのようなことに取り組んでいますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

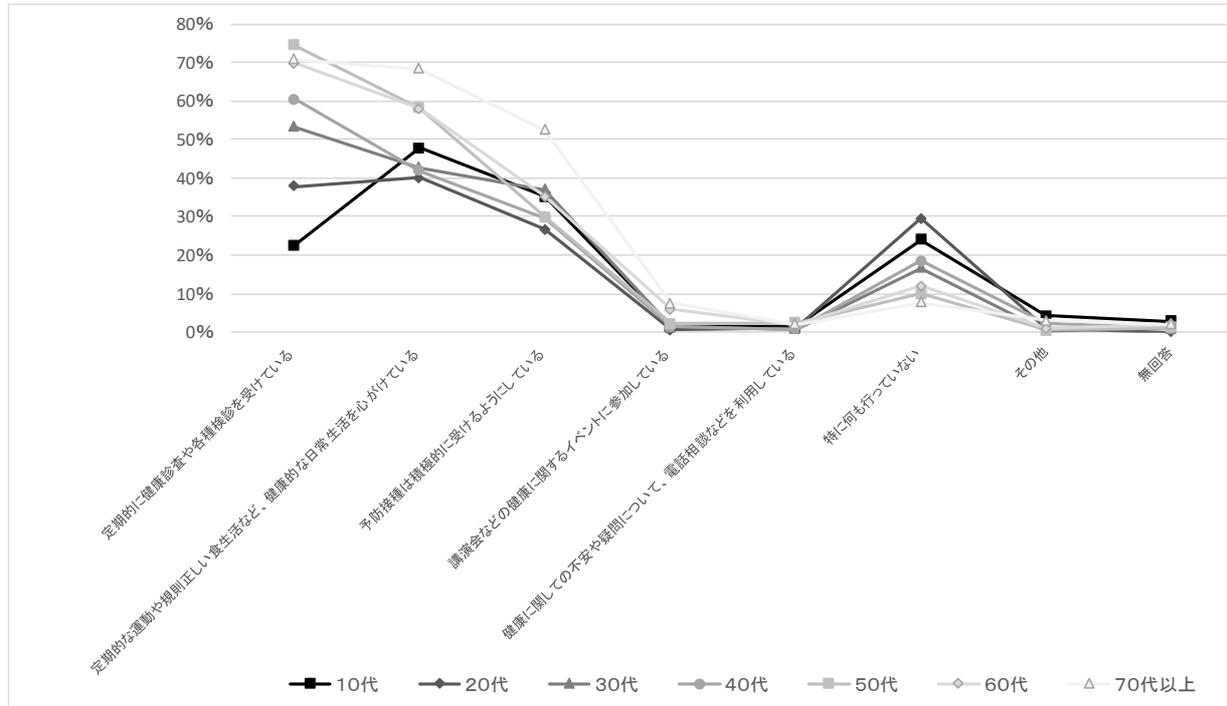
健康のために取り組んでいることは、「定期的に健康診査や各種検診を受けている」が62.5%と最も多く、次いで「定期的な運動や規則正しい食生活など、健康的な日常生活を心がけている」53.5%、「予防接種は積極的に受けるようにしている」36.7%となっています。平成26年度と比較すると概ね同傾向ですが、「特に何も行ってない」割合は減少しています。



No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合 (%)	人数(人)	割合 (%)
1	定期的に健康診査や各種検診を受けている	1,361	62.5	2,554	58.2
2	定期的な運動や規則正しい食生活など、健康的な日常生活を心がけている	1,165	53.5	2,549	58.0
3	予防接種は積極的に受けるようにしている	798	36.7	1,511	34.4
4	講演会などの健康に関するイベントに参加している	79	3.6	203	4.6
5	健康に関しての不安や疑問について、電話相談などを利用している	33	1.5	95	2.2
6	特に何も行ってない	313	14.4	862	19.6
7	その他	35	1.6	109	2.5
8	無回答	34	1.6	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,392	-

<年代別集計>

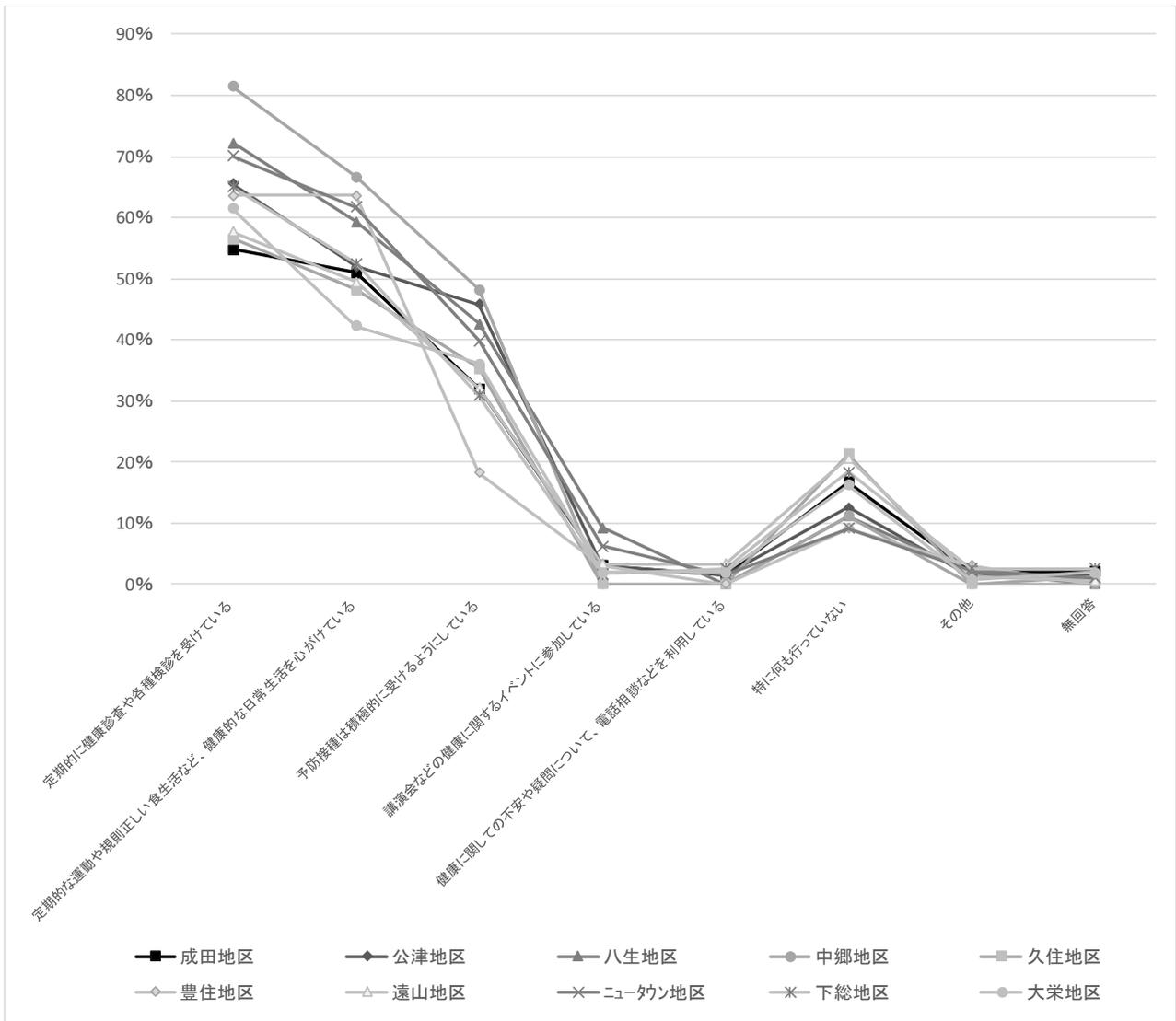
年代別にみると、「定期的に健康診査や各種検診を受けている」「定期的な運動や規則正しい食生活など、健康的な日常生活を心がけている」は、年代の高い方で多くなっています。「予防接種は積極的に受けるようにしている」は70代以上で半数程度と多くなっています。また、「特に何もしていない」割合は、10代、20代で多く、低い年代で健康のために取り組みができていないことがわかります。



		全体	定期的に健康診査や各種検診を受けている	定期的な運動や規則正しい食生活など、健康的な日常生活を心がけている	予防接種は積極的に受けるようにしている	講演会などの健康に関するイベントに参加している	健康に関しての不安や疑問について、電話相談などを利用している	特に何も行ってない	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,361	1,165	798	79	33	313	35	34
	10代	71	16	34	25	1	1	17	3	2
	20代	180	68	72	48	1	2	53	2	0
	30代	300	160	128	111	4	2	50	1	3
	40代	380	230	159	113	5	3	70	8	4
	50代	321	239	187	96	7	8	32	2	4
	60代	415	290	241	146	24	7	50	4	8
	70代以上	482	341	330	253	36	10	37	14	10
無回答	27	17	14	6	1	0	4	1	3	
割合(%)	全体	100.0	62.5	53.5	36.7	3.6	1.5	14.4	1.6	1.6
	10代	100.0	22.5	47.9	35.2	1.4	1.4	23.9	4.2	2.8
	20代	100.0	37.8	40.0	26.7	0.6	1.1	29.4	1.1	0.0
	30代	100.0	53.3	42.7	37.0	1.3	0.7	16.7	0.3	1.0
	40代	100.0	60.5	41.8	29.7	1.3	0.8	18.4	2.1	1.1
	50代	100.0	74.5	58.3	29.9	2.2	2.5	10.0	0.6	1.2
	60代	100.0	69.9	58.1	35.2	5.8	1.7	12.0	1.0	1.9
	70代以上	100.0	70.7	68.5	52.5	7.5	2.1	7.7	2.9	2.1
無回答	100.0	63.0	51.9	22.2	3.7	0.0	14.8	3.7	11.1	

<地区別集計>

地区別にみると、どの地区においても「定期的に健康診査や各種検診を受けている」「定期的な運動や規則正しい食生活など、健康的な日常生活を心がけている」が多く、同傾向を示しています。

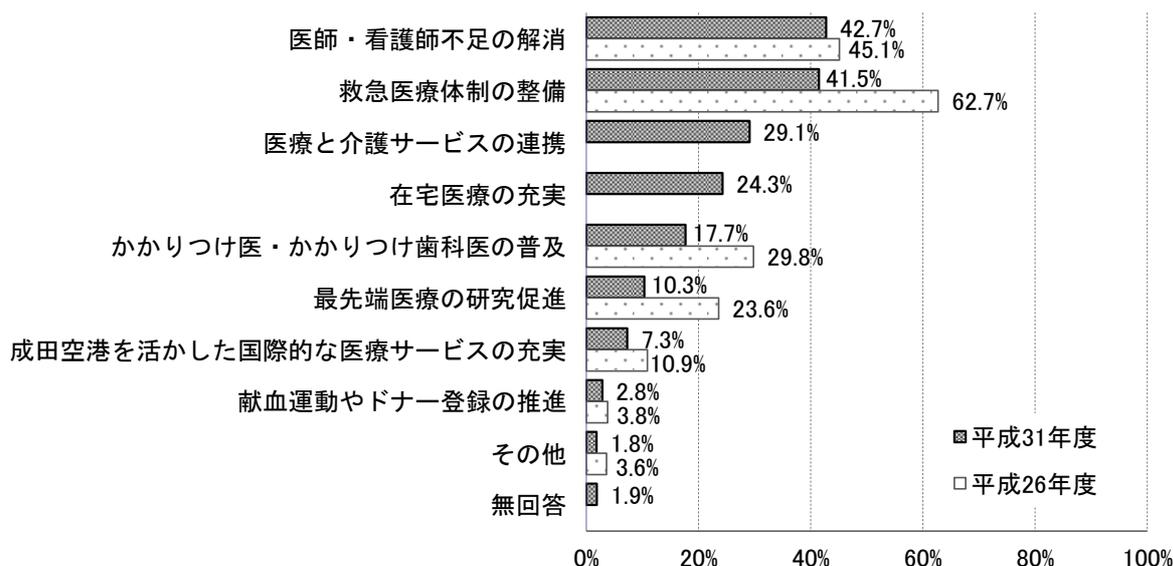


		全体	定期的に健康診査や各種検診を受けている	定期的な運動や規則正しい食生活など、健康的な日常生活を心がけている	予防接種は積極的に受けるようにしている	講演会などの健康に関するイベントに参加している	健康に関しての不安や疑問について、電話相談などを利用している	特に何も行っていない	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,361	1,165	798	79	33	313	35	34
	成田地区	592	324	302	189	18	8	99	11	12
	公津地区	360	236	187	165	11	5	45	4	5
	八生地区	54	39	32	23	5	0	6	1	0
	中郷地区	27	22	18	13	0	0	3	0	0
	久住地区	85	48	41	30	0	0	18	0	1
	豊住地区	33	21	21	6	1	0	3	1	0
	遠山地区	184	106	91	59	6	6	38	2	1
	ニュータウン地区	515	361	318	205	32	8	47	11	5
	下総地区	120	78	63	37	2	3	22	3	3
	大栄地区	161	99	68	58	3	3	26	1	3
	その他	5	2	2	0	0	0	2	0	0
	無回答	40	25	22	13	1	0	4	1	4
	割合(%)	全体	100.0	62.5	53.5	36.7	3.6	1.5	14.4	1.6
成田地区		100.0	54.7	51.0	31.9	3.0	1.4	16.7	1.9	2.0
公津地区		100.0	65.6	51.9	45.8	3.1	1.4	12.5	1.1	1.4
八生地区		100.0	72.2	59.3	42.6	9.3	0.0	11.1	1.9	0.0
中郷地区		100.0	81.5	66.7	48.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
久住地区		100.0	56.5	48.2	35.3	0.0	0.0	21.2	0.0	1.2
豊住地区		100.0	63.6	63.6	18.2	3.0	0.0	9.1	3.0	0.0
遠山地区		100.0	57.6	49.5	32.1	3.3	3.3	20.7	1.1	0.5
ニュータウン地区		100.0	70.1	61.7	39.8	6.2	1.6	9.1	2.1	1.0
下総地区		100.0	65.0	52.5	30.8	1.7	2.5	18.3	2.5	2.5
大栄地区		100.0	61.5	42.2	36.0	1.9	1.9	16.1	0.6	1.9
その他		100.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
無回答		100.0	62.5	55.0	32.5	2.5	0.0	10.0	2.5	10.0

## (2) 成田市における医療サービス

問 19 成田市における医療サービスのさらなる向上のために、あなたはどのようなことに力を入れていく必要があるとお考えですか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

医療サービス向上のために、力を入れていく必要があることは、「医師・看護師不足の解消」が 42.7%と最も多く、次いで「救急医療体制の整備」41.5%、「医療と介護サービスの連携」29.1%となっています。

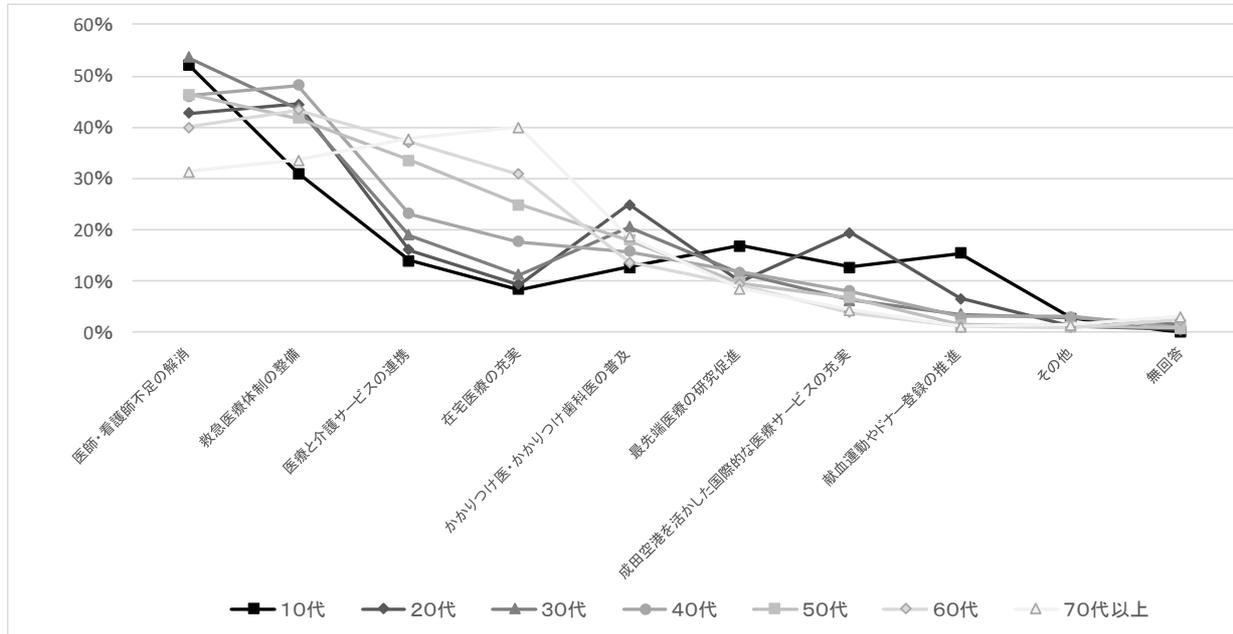


No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	医師・看護師不足の解消	930	42.7	1,933	45.1
2	救急医療体制の整備	902	41.5	2,686	62.7
3	医療と介護サービスの連携	633	29.1	-	-
4	在宅医療の充実	528	24.3	-	-
5	かかりつけ医・かかりつけ歯科医の普及	385	17.7	1,276	29.8
6	最先端医療の研究促進	225	10.3	1,011	23.6
7	成田空港を活かした国際的な医療サービスの充実	159	7.3	469	10.9
8	献血運動やドナー登録の推進	62	2.8	161	3.8
9	その他	40	1.8	156	3.6
10	無回答	41	1.9	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,287	-

※平成 26 年度の選択肢は、「1. 医師不足の解消」となっています。

<年代別集計>

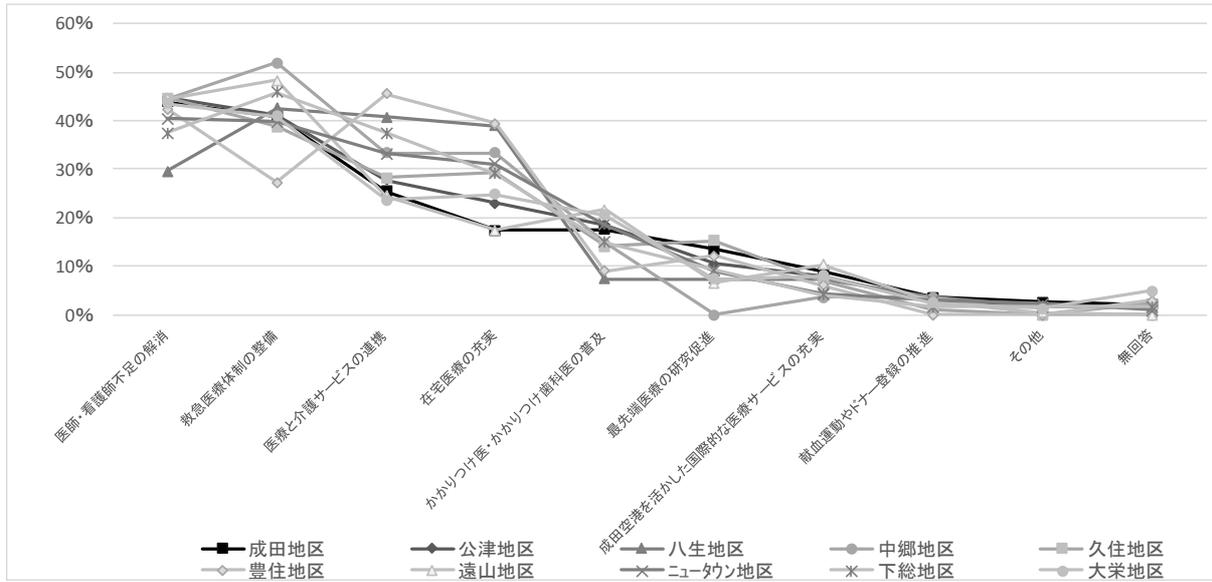
年代別にみると、「医師・看護師不足の解消」「救急医療体制の整備」が全体的に多く、「医療と介護サービスの連携」「在宅医療の充実」は、年代が高いほど多くなっています。一方で、「かかりつけ医・かかりつけ歯科医の普及」「成田空港を活かした国際的な医療サービスの充実」は20代で、「最先端医療の研究促進」は10代で多くなっています。



		全体	医師・看護師不足の解消	救急医療体制の整備	医療と介護サービスの連携	在宅医療の充実	かかりつけ医・かかりつけ歯科医の普及	最先端医療の研究促進	成田空港を活かした国際的な医療サービスの充実	献血運動やドナー登録の推進	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	930	902	633	528	385	225	159	62	40	41
	10代	71	37	22	10	6	9	12	9	11	2	0
	20代	180	77	80	29	17	45	18	35	12	2	1
	30代	300	161	131	57	34	62	35	19	11	9	5
	40代	380	175	183	88	67	60	45	31	12	12	4
	50代	321	149	134	108	80	58	31	22	5	4	3
	60代	415	166	180	154	128	57	39	16	5	4	10
	70代以上	482	151	162	182	193	90	41	21	6	7	15
	無回答	27	14	10	5	3	4	4	6	0	0	3
割合(%)	全体	100.0	42.7	41.5	29.1	24.3	17.7	10.3	7.3	2.8	1.8	1.9
	10代	100.0	52.1	31.0	14.1	8.5	12.7	16.9	12.7	15.5	2.8	0.0
	20代	100.0	42.8	44.4	16.1	9.4	25.0	10.0	19.4	6.7	1.1	0.6
	30代	100.0	53.7	43.7	19.0	11.3	20.7	11.7	6.3	3.7	3.0	1.7
	40代	100.0	46.1	48.2	23.2	17.6	15.8	11.8	8.2	3.2	3.2	1.1
	50代	100.0	46.4	41.7	33.6	24.9	18.1	9.7	6.9	1.6	1.2	0.9
	60代	100.0	40.0	43.4	37.1	30.8	13.7	9.4	3.9	1.2	1.0	2.4
	70代以上	100.0	31.3	33.6	37.8	40.0	18.7	8.5	4.4	1.2	1.5	3.1
	無回答	100.0	51.9	37.0	18.5	11.1	14.8	14.8	22.2	0.0	0.0	11.1

<地区別集計>

地区別にみると、ほとんどの地区において「医師・看護師不足の解消」「救急医療体制の整備」が多くなっています。

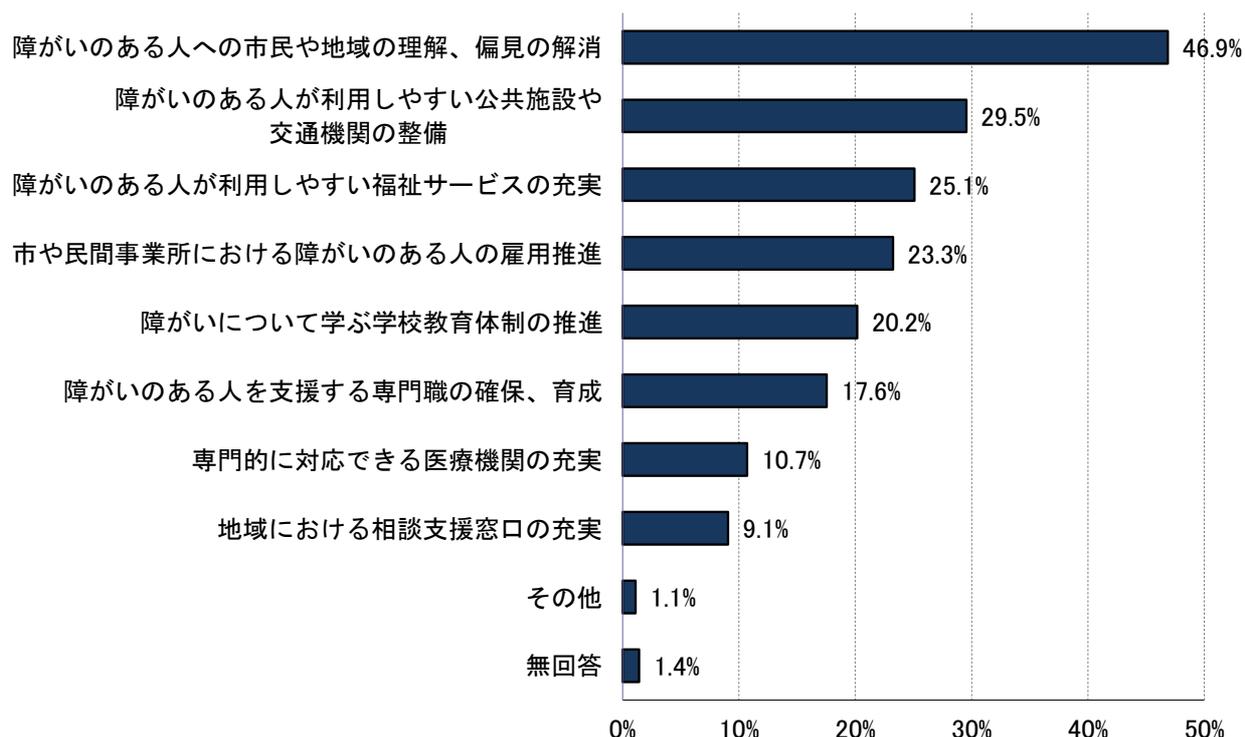


		全体	医師・看護師不足の解消	救急医療体制の整備	医療と介護サービスの連携	在宅医療の充実	かかりつけ医・かかりつけ歯科医の普及	最先端医療の研究促進	成田空港を活かした国際的な医療サービスの充実	献血運動やドナー登録の推進	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	930	902	633	528	385	225	159	62	40	41
	成田地区	592	260	242	151	103	104	80	54	21	16	13
	公津地区	360	161	148	100	83	67	38	29	10	6	6
	八生地区	54	16	23	22	21	4	4	4	2	1	1
	中郷地区	27	12	14	9	9	4	0	1	1	0	0
	久住地区	85	38	33	24	25	12	13	6	1	0	2
	豊住地区	33	14	9	15	13	3	4	2	0	0	1
	遠山地区	184	82	89	45	32	40	12	19	5	1	0
	ニュータウン地区	515	208	205	171	160	96	47	23	15	12	5
	下総地区	120	45	55	45	35	18	11	5	2	2	2
	大栄地区	161	70	66	38	40	33	12	13	4	2	8
	その他	5	4	1	1	1	2	0	0	1	0	0
無回答	40	20	17	12	6	2	4	3	0	0	3	
割合(%)	全体	100.0	42.7	41.5	29.1	24.3	17.7	10.3	7.3	2.8	1.8	1.9
	成田地区	100.0	43.9	40.9	25.5	17.4	17.6	13.5	9.1	3.5	2.7	2.2
	公津地区	100.0	44.7	41.1	27.8	23.1	18.6	10.6	8.1	2.8	1.7	1.7
	八生地区	100.0	29.6	42.6	40.7	38.9	7.4	7.4	7.4	3.7	1.9	1.9
	中郷地区	100.0	44.4	51.9	33.3	33.3	14.8	0.0	3.7	3.7	0.0	0.0
	久住地区	100.0	44.7	38.8	28.2	29.4	14.1	15.3	7.1	1.2	0.0	2.4
	豊住地区	100.0	42.4	27.3	45.5	39.4	9.1	12.1	6.1	0.0	0.0	3.0
	遠山地区	100.0	44.6	48.4	24.5	17.4	21.7	6.5	10.3	2.7	0.5	0.0
	ニュータウン地区	100.0	40.4	39.8	33.2	31.1	18.6	9.1	4.5	2.9	2.3	1.0
	下総地区	100.0	37.5	45.8	37.5	29.2	15.0	9.2	4.2	1.7	1.7	1.7
	大栄地区	100.0	43.5	41.0	23.6	24.8	20.5	7.5	8.1	2.5	1.2	5.0
	その他	100.0	80.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
無回答	100.0	50.0	42.5	30.0	15.0	5.0	10.0	7.5	0.0	0.0	7.5	

### (3) 障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会の構築

問 20 障がいのある人もない人もともに暮らしやすい社会を築くために、あなたはどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

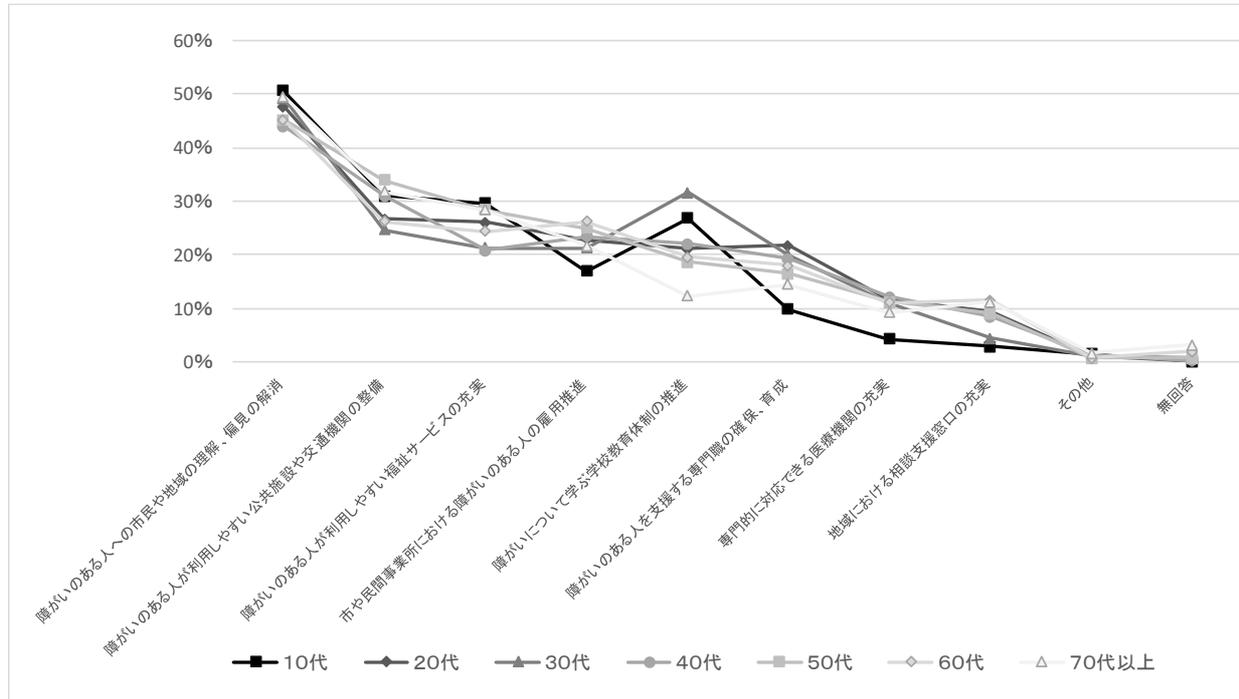
障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会の構築のために、力を入れていく必要があることは、「障がいのある人への市民や地域の理解、偏見の解消」が46.9%と最も多く、次いで「障がいのある人が利用しやすい公共施設や交通機関の整備」29.5%、「障がいのある人が利用しやすい福祉サービスの充実」25.1%となっています。



No.	選択肢	人数(人)	割合(%)
1	障がいのある人への市民や地域の理解、偏見の解消	1,020	46.9
2	障がいのある人が利用しやすい公共施設や交通機関の整備	643	29.5
3	障がいのある人が利用しやすい福祉サービスの充実	546	25.1
4	市や民間事業所における障がいのある人の雇用推進	506	23.3
5	障がいについて学ぶ学校教育体制の推進	439	20.2
6	障がいのある人を支援する専門職の確保、育成	382	17.6
7	専門的に対応できる医療機関の充実	233	10.7
8	地域における相談支援窓口の充実	197	9.1
9	その他	24	1.1
10	無回答	31	1.4
	回答者数	2,176	100.0

<年代別集計>

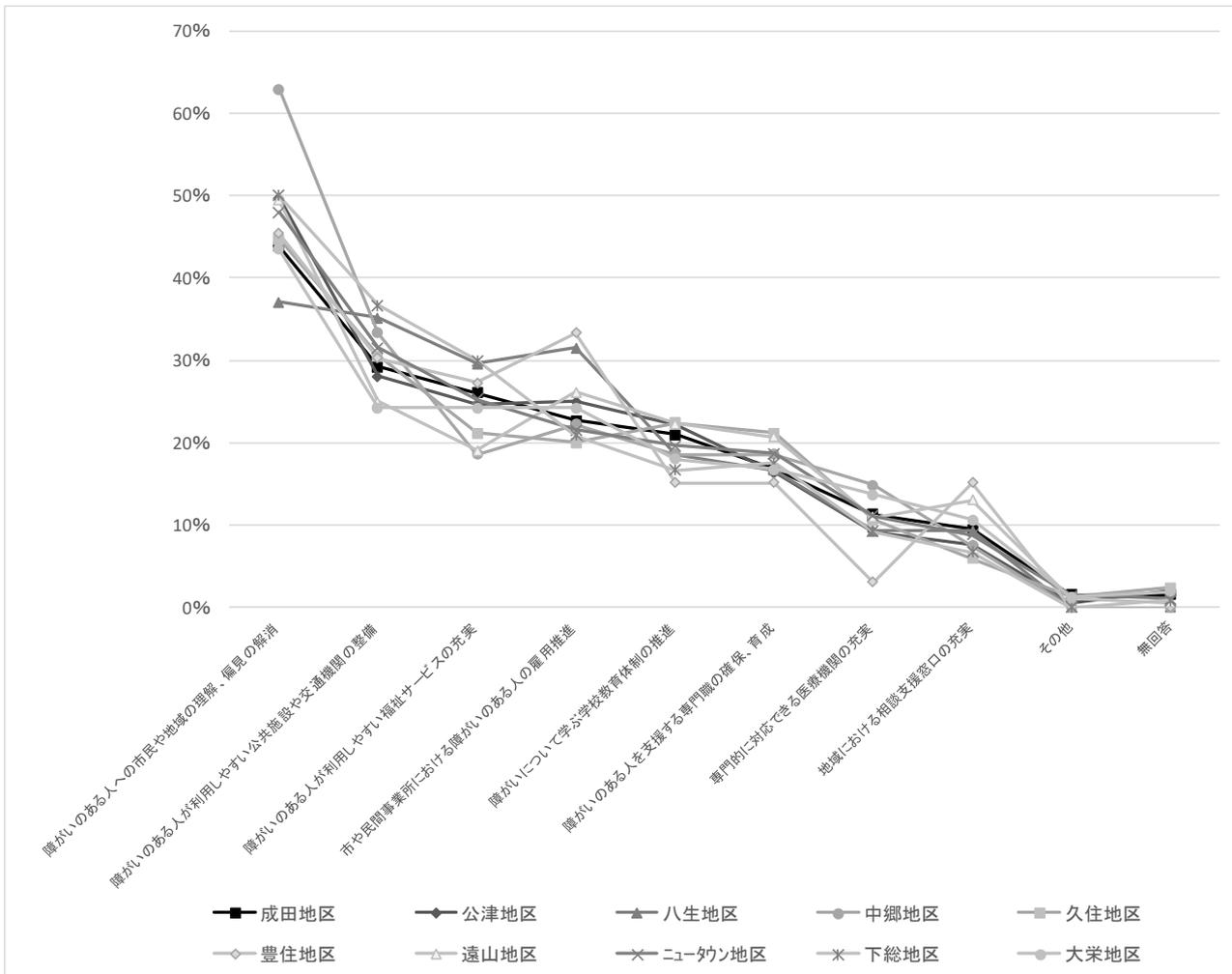
年代別にみると、どの年代においても「障がいのある人への市民や地域の理解、偏見の解消」が最も多く、概ね同傾向を示しています。また、「障がいについて学ぶ学校教育体制の推進」は低い年代で多く、高い年代で少なくなっています。



		全体	障がいのある人への市民や地域の理解、偏見の解消	障がいのある人が利用しやすい公共施設や交通機関の整備	障がいのある人が利用しやすい福祉サービスの充実	障がいのある人の雇用推進	市や民間事業所における障がいのある人の雇用推進	障がいについて学ぶ学校教育体制の推進	障がいのある人を支援する専門職の確保、育成	障がいのある人を支援する専門的に対応できる医療機関の充実	地域における相談支援窓口の充実	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,020	643	546	506	439	382	233	197	24	31	
	10代	71	36	22	21	12	19	7	3	2	1	0	
	20代	180	86	48	47	41	38	39	21	17	2	0	
	30代	300	148	74	64	64	95	60	33	13	3	2	
	40代	380	167	118	79	89	84	73	46	32	5	1	
	50代	321	145	109	91	80	60	53	36	29	2	2	
	60代	415	188	109	101	109	81	75	46	48	3	8	
	70代以上	482	239	153	137	105	59	70	44	54	8	15	
	無回答	27	11	10	6	6	3	5	4	2	0	3	
割合(%)	全体	100.0	46.9	29.5	25.1	23.3	20.2	17.6	10.7	9.1	1.1	1.4	
	10代	100.0	50.7	31.0	29.6	16.9	26.8	9.9	4.2	2.8	1.4	0.0	
	20代	100.0	47.8	26.7	26.1	22.8	21.1	21.7	11.7	9.4	1.1	0.0	
	30代	100.0	49.3	24.7	21.3	21.3	31.7	20.0	11.0	4.3	1.0	0.7	
	40代	100.0	43.9	31.1	20.8	23.4	22.1	19.2	12.1	8.4	1.3	0.3	
	50代	100.0	45.2	34.0	28.3	24.9	18.7	16.5	11.2	9.0	0.6	0.6	
	60代	100.0	45.3	26.3	24.3	26.3	19.5	18.1	11.1	11.6	0.7	1.9	
	70代以上	100.0	49.6	31.7	28.4	21.8	12.2	14.5	9.1	11.2	1.7	3.1	
	無回答	100.0	40.7	37.0	22.2	22.2	11.1	18.5	14.8	7.4	0.0	11.1	

<地区別集計>

地区別にみると、どの地区においても「障がいのある人への市民や地域の理解、偏見の解消」が最も多く、概ね同傾向を示しています。

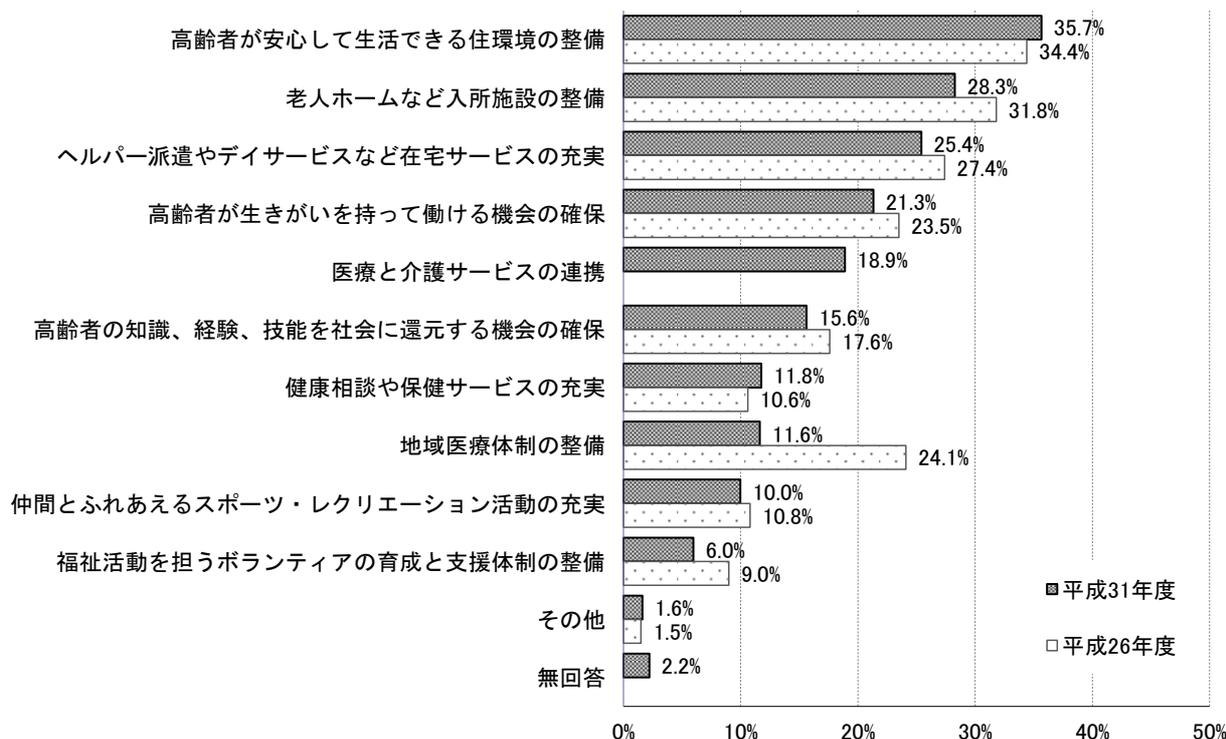


		全体	障がいのある人への市民や地域の理解、偏見の解消	障がいのある人が利用しやすい公共施設や交通機関の整備	障がいのある人が利用しやすい福祉サービスの充実	市や民間事業所における障がいのある人の雇用推進	障がいについて学ぶ学校教育体制の推進	障がいのある人を支援する専門職の確保、育成	専門的に対応できる医療機関の充実	地域における相談支援窓口の充実	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,020	643	546	506	439	382	233	197	24	31
	成田地区	592	260	173	154	134	124	99	67	56	9	9
	公津地区	360	179	101	89	90	80	59	33	27	2	7
	八生地区	54	20	19	16	17	10	9	5	5	0	0
	中郷地区	27	17	9	5	6	5	5	4	2	0	0
	久住地区	85	38	26	18	17	19	18	9	5	1	2
	豊住地区	33	15	10	9	11	5	5	1	5	0	0
	遠山地区	184	91	46	35	48	41	38	20	24	2	1
	ニュータウン地区	515	247	162	130	111	101	96	57	45	7	5
	下総地区	120	60	44	36	25	20	21	11	8	0	1
	大栄地区	161	70	39	39	39	29	27	22	17	2	3
	その他	5	2	3	2	0	1	0	1	0	0	0
無回答	40	21	11	13	8	4	5	3	3	1	3	
割合(%)	全体	100.0	46.9	29.5	25.1	23.3	20.2	17.6	10.7	9.1	1.1	1.4
	成田地区	100.0	43.9	29.2	26.0	22.6	20.9	16.7	11.3	9.5	1.5	1.5
	公津地区	100.0	49.7	28.1	24.7	25.0	22.2	16.4	9.2	7.5	0.6	1.9
	八生地区	100.0	37.0	35.2	29.6	31.5	18.5	16.7	9.3	9.3	0.0	0.0
	中郷地区	100.0	63.0	33.3	18.5	22.2	18.5	18.5	14.8	7.4	0.0	0.0
	久住地区	100.0	44.7	30.6	21.2	20.0	22.4	21.2	10.6	5.9	1.2	2.4
	豊住地区	100.0	45.5	30.3	27.3	33.3	15.2	15.2	3.0	15.2	0.0	0.0
	遠山地区	100.0	49.5	25.0	19.0	26.1	22.3	20.7	10.9	13.0	1.1	0.5
	ニュータウン地区	100.0	48.0	31.5	25.2	21.6	19.6	18.6	11.1	8.7	1.4	1.0
	下総地区	100.0	50.0	36.7	30.0	20.8	16.7	17.5	9.2	6.7	0.0	0.8
	大栄地区	100.0	43.5	24.2	24.2	24.2	18.0	16.8	13.7	10.6	1.2	1.9
	その他	100.0	40.0	60.0	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
無回答	100.0	52.5	27.5	32.5	20.0	10.0	12.5	7.5	7.5	2.5	7.5	

#### (4) 高齢化が進む中で、力を入れていく必要があること

問 21 高齢化が進むなかで、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。  
あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

高齢化が進むなかで、力を入れていく必要があることは、「高齢者が安心して生活できる住環境の整備」が35.7%と最も多く、次いで「老人ホームなど入所施設の整備」28.3%、「ヘルパー派遣やデイサービスなど在宅サービスの充実」25.4%となっています。

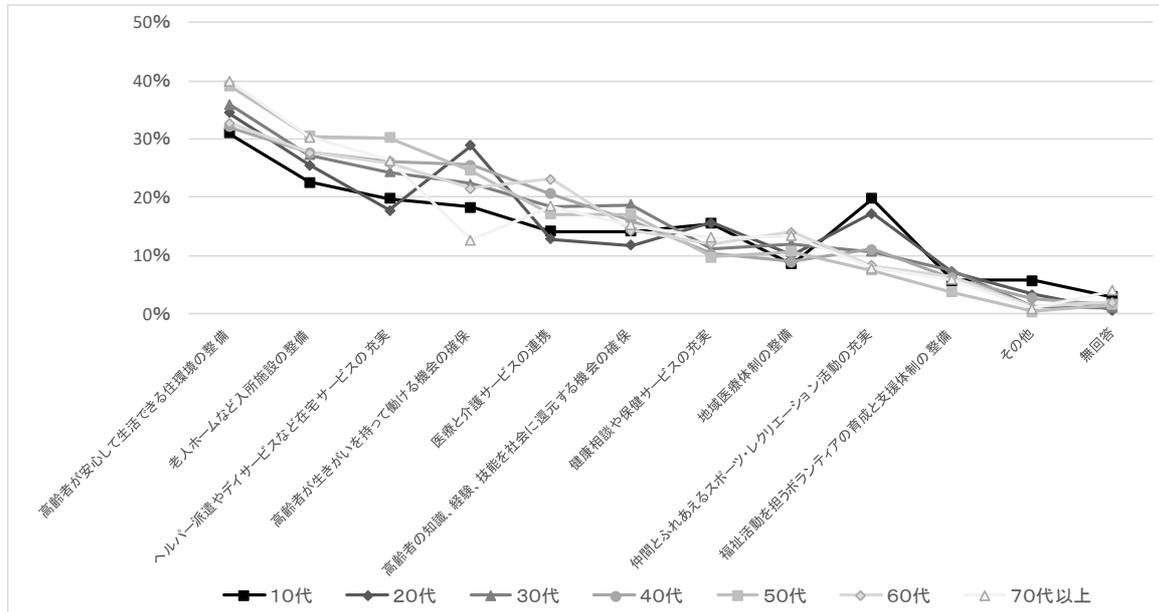


No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	高齢者が安心して生活できる住環境の整備	776	35.7	1,430	34.4
2	老人ホームなど入所施設の整備	615	28.3	1,320	31.8
3	ヘルパー派遣やデイサービスなど在宅サービスの充実	553	25.4	1,140	27.4
4	高齢者が生きがいを持って働ける機会の確保	464	21.3	976	23.5
5	医療と介護サービスの連携	411	18.9	-	-
6	高齢者の知識、経験、技能を社会に還元する機会の確保	340	15.6	733	17.6
7	健康相談や保健サービスの充実	256	11.8	439	10.6
8	地域医療体制の整備	253	11.6	1,001	24.1
9	仲間とふれあえるスポーツ・レクリエーション活動の充実	217	10.0	448	10.8
10	福祉活動を担うボランティアの育成と支援体制の整備	130	6.0	376	9.0
11	その他	35	1.6	64	1.5
12	無回答	48	2.2	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,155	-

<年代別集計>

年代別にみると、どの年代においても「高齢者が安心して生活できる住環境の整備」が最も多く、概ね同傾向を示しています。

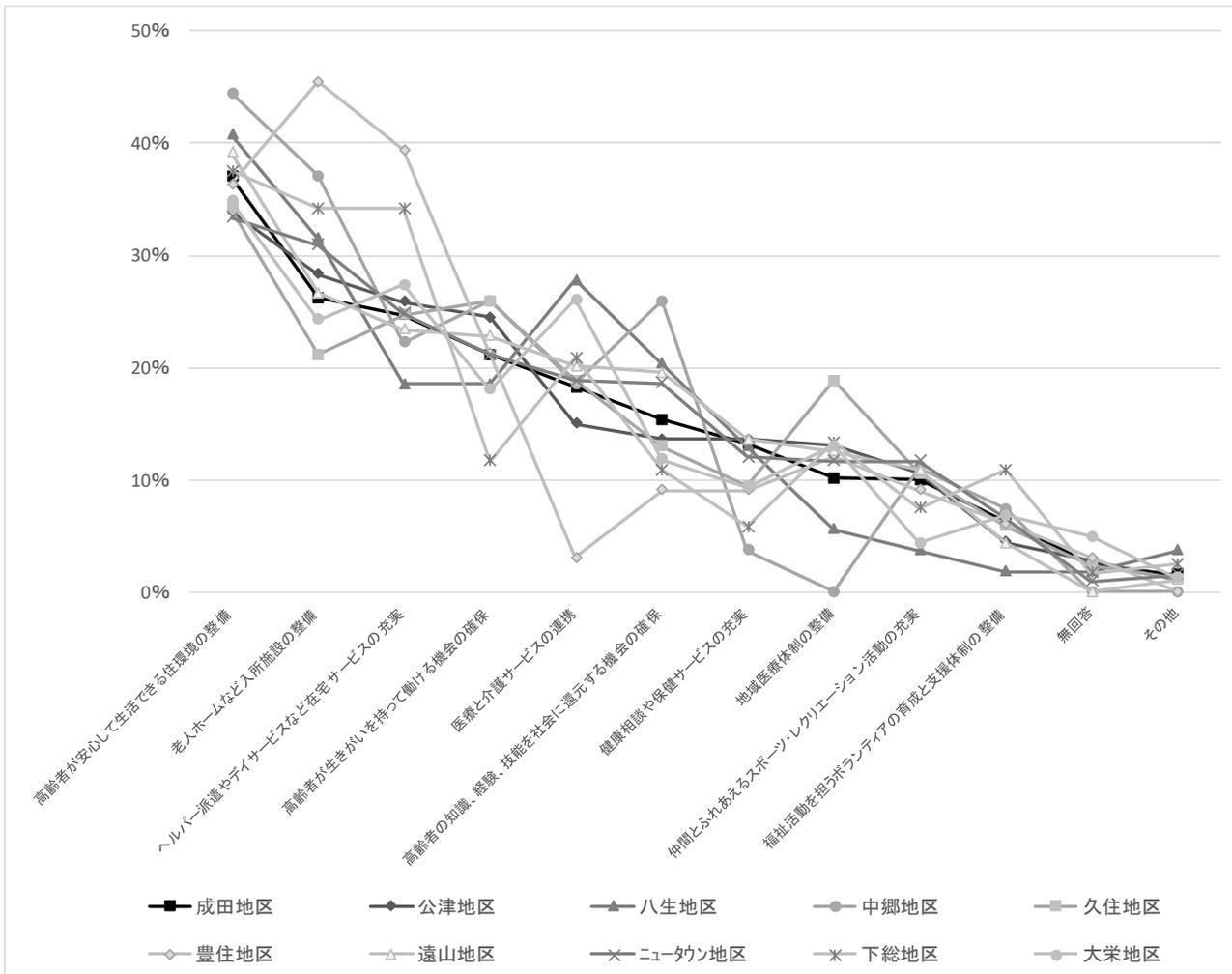
年代が低い方は高齢者の雇用やスポーツ・レクリエーション活動等の機会を増やすことが重要と考えているのに対し、年代の高い方は、安心して暮らせる在宅医療や医療・介護サービスの整備が重要であると考えていることがわかります。



		全体	住環境の整備	高齢者が安心して生活できる	老人ホームなど入所施設の整備	ヘルパー派遣やデイサービスなど在宅サービスの充実	高齢者が生きがいを持って働ける機会の確保	医療と介護サービスの連携	健康相談や保健サービスの確保	健康相談や保健サービスの充実	地域医療体制の整備	仲間とふれあえるスポーツ・レクリエーション活動の充実	福祉活動を行うボランティアの育成と支援体制の整備	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	776	615	553	464	411	340	256	253	217	130	35	48	
	10代	71	22	16	14	13	10	10	11	6	14	4	4	2	
	20代	180	62	46	32	52	23	21	28	18	31	13	6	1	
	30代	300	108	82	73	67	55	56	33	36	32	22	4	3	
	40代	380	122	105	99	97	78	61	39	34	42	23	10	6	
	50代	321	126	98	97	79	55	55	31	34	24	12	1	5	
	60代	415	136	115	107	89	96	59	50	58	34	26	5	8	
	70代以上	482	193	146	127	61	89	73	63	64	38	28	4	19	
	無回答	27	7	7	4	6	5	5	1	3	2	2	1	4	
割合(%)	全体	100.0	35.7	28.3	25.4	21.3	18.9	15.6	11.8	11.6	10.0	6.0	1.6	2.2	
	10代	100.0	31.0	22.5	19.7	18.3	14.1	14.1	15.5	8.5	19.7	5.6	5.6	2.8	
	20代	100.0	34.4	25.6	17.8	28.9	12.8	11.7	15.6	10.0	17.2	7.2	3.3	0.6	
	30代	100.0	36.0	27.3	24.3	22.3	18.3	18.7	11.0	12.0	10.7	7.3	1.3	1.0	
	40代	100.0	32.1	27.6	26.1	25.5	20.5	16.1	10.3	8.9	11.1	6.1	2.6	1.6	
	50代	100.0	39.3	30.5	30.2	24.6	17.1	17.1	9.7	10.6	7.5	3.7	0.3	1.6	
	60代	100.0	32.8	27.7	25.8	21.4	23.1	14.2	12.0	14.0	8.2	6.3	1.2	1.9	
	70代以上	100.0	40.0	30.3	26.3	12.7	18.5	15.1	13.1	13.3	7.9	5.8	0.8	3.9	
	無回答	100.0	25.9	25.9	14.8	22.2	18.5	18.5	3.7	11.1	7.4	7.4	3.7	14.8	

<地区別集計>

地区別にみると、ほとんどの地区で「高齢者が安心して生活できる住環境の整備」が最も多くなっています。また、豊住・下総地区では「老人ホームなど入所施設の整備」「ヘルパー派遣やデイサービスなど在宅サービスの充実」が多くなっています。

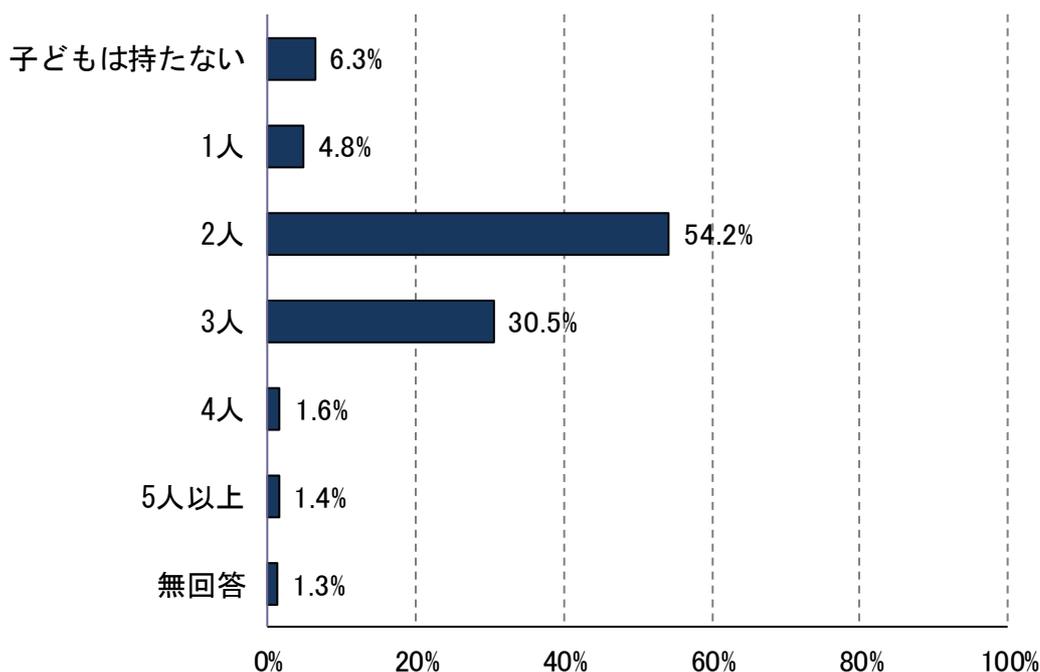


		全体	高齢者が安心して生活できる住環境の整備	老人ホームなど入所施設の整備	ヘルパー派遣やデイサービスなど在宅サービスの充実	高齢者が生きがいを持って働ける機会の確保	医療と介護サービスの連携	高齢者の知識、経験、技能を社会に還元する機会の確保	健康相談や保健サービスの充実	地域医療体制の整備	仲間とふれあえるスポーツ・レクリエーション活動の充実	福祉活動を担うボランティアの育成と支援体制の整備	無回答	その他
人数(人)	全体	2,176	776	615	553	464	411	340	256	253	217	130	48	35
	成田地区	592	219	155	146	125	108	91	78	60	59	37	15	9
	公津地区	360	122	102	93	88	54	49	49	47	38	16	10	4
	八生地区	54	22	17	10	10	15	11	7	3	2	1	1	2
	中郷地区	27	12	10	6	7	5	7	1	0	3	2	0	0
	久住地区	85	29	18	21	22	16	11	8	16	9	5	2	1
	豊住地区	33	12	15	13	7	1	3	3	4	3	2	1	0
	遠山地区	184	72	49	43	42	37	36	25	23	20	8	0	2
	ニュータウン地区	515	172	159	128	109	97	96	62	60	60	34	5	8
	下総地区	120	45	41	41	14	25	13	7	16	9	13	2	3
	大栄地区	161	56	39	44	29	42	19	15	21	7	11	8	2
	その他	5	1	1	2	0	2	1	0	1	1	1	0	0
	無回答	40	14	9	6	11	9	3	1	2	6	0	4	4
割合(%)	全体	100.0	35.7	28.3	25.4	21.3	18.9	15.6	11.8	11.6	10.0	6.0	2.2	1.6
	成田地区	100.0	37.0	26.2	24.7	21.1	18.2	15.4	13.2	10.1	10.0	6.3	2.5	1.5
	公津地区	100.0	33.9	28.3	25.8	24.4	15.0	13.6	13.6	13.1	10.6	4.4	2.8	1.1
	八生地区	100.0	40.7	31.5	18.5	18.5	27.8	20.4	13.0	5.6	3.7	1.9	1.9	3.7
	中郷地区	100.0	44.4	37.0	22.2	25.9	18.5	25.9	3.7	0.0	11.1	7.4	0.0	0.0
	久住地区	100.0	34.1	21.2	24.7	25.9	18.8	12.9	9.4	18.8	10.6	5.9	2.4	1.2
	豊住地区	100.0	36.4	45.5	39.4	21.2	3.0	9.1	9.1	12.1	9.1	6.1	3.0	0.0
	遠山地区	100.0	39.1	26.6	23.4	22.8	20.1	19.6	13.6	12.5	10.9	4.3	0.0	1.1
	ニュータウン地区	100.0	33.4	30.9	24.9	21.2	18.8	18.6	12.0	11.7	11.7	6.6	1.0	1.6
	下総地区	100.0	37.5	34.2	34.2	11.7	20.8	10.8	5.8	13.3	7.5	10.8	1.7	2.5
	大栄地区	100.0	34.8	24.2	27.3	18.0	26.1	11.8	9.3	13.0	4.3	6.8	5.0	1.2
	その他	100.0	20.0	20.0	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	無回答	100.0	35.0	22.5	15.0	27.5	22.5	7.5	2.5	5.0	15.0	0.0	10.0	10.0

## (5) 理想の子どもの人数

問 22 あなたにとって、理想の子どもの数（結婚や妊娠・出産、子育てに関する希望が叶うとした場合の子どもの数）は何人ですか。あてはまる番号を一つだけ○で囲んでください。

理想の子どもの数は、「2人」が54.2%と最も多く、次いで「3人」30.5%、「子どもは持たない」6.3%となっています。

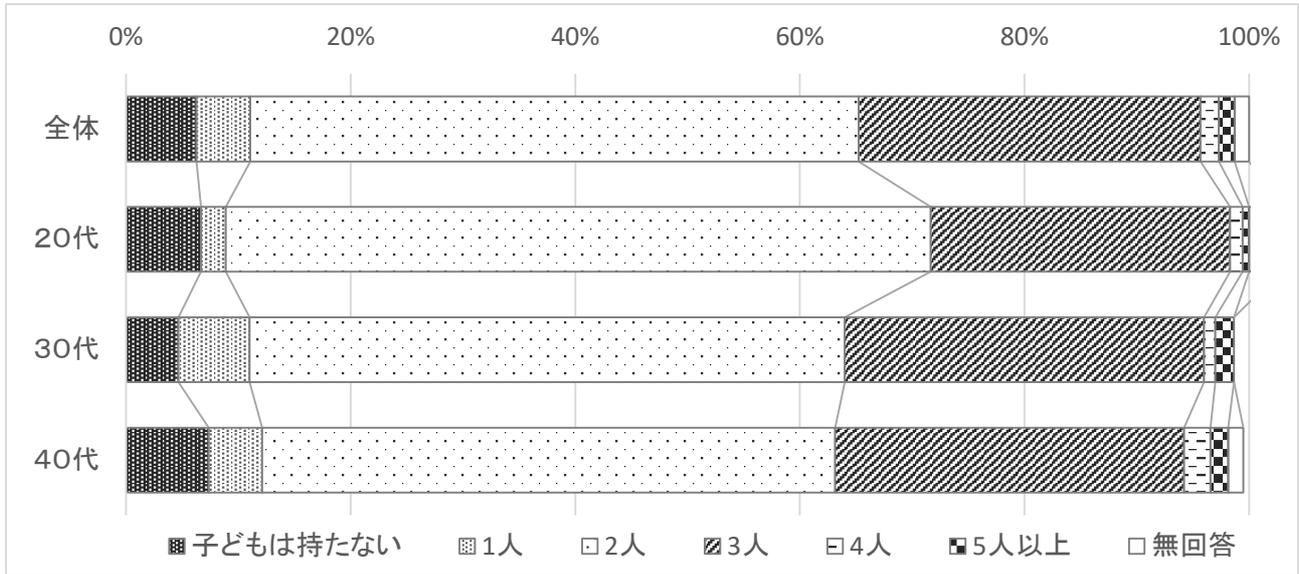


No.	選択肢	人数(人)	割合 (%)
1	子どもは持たない	54	6.3
2	1人	41	4.8
3	2人	466	54.2
4	3人	262	30.5
5	4人	14	1.6
6	5人以上	12	1.4
7	無回答	11	1.3
	合計	860	100.0

※上表は、20代～40代の回答結果になります。

<年代別集計>

年代別にみると、全年代において「2人」「3人」を望む割合が8割以上と大半を占めています。

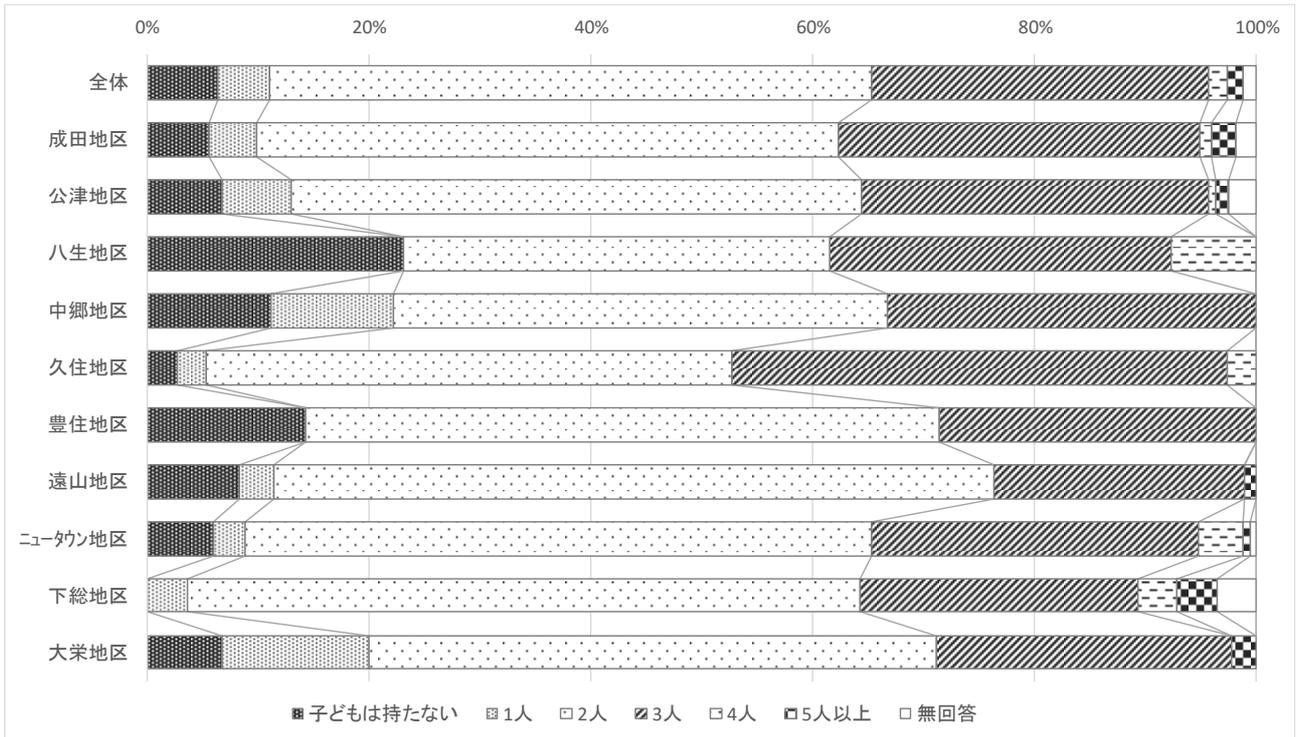


		全体	子どもは持たない	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
人数(人)	全体	860	54	41	466	262	14	12	11
	20代	180	12	4	113	48	2	1	0
	30代	300	14	19	159	96	3	5	4
	40代	380	28	18	194	118	9	6	7
割合(%)	全体	100.0	6.3	4.8	54.2	30.5	1.6	1.4	1.3
	20代	100.0	6.7	2.2	62.8	26.7	1.1	0.6	2.8
	30代	100.0	4.7	6.3	53.0	32.0	1.0	1.7	0.0
	40代	100.0	7.4	4.7	51.1	31.1	2.4	1.6	1.3

※上表は、20代～40代の回答結果になります。

<地区別集計>

地区別にみると、どの地区においても「2人」「3人」が最も多く、7~8割を占めています。



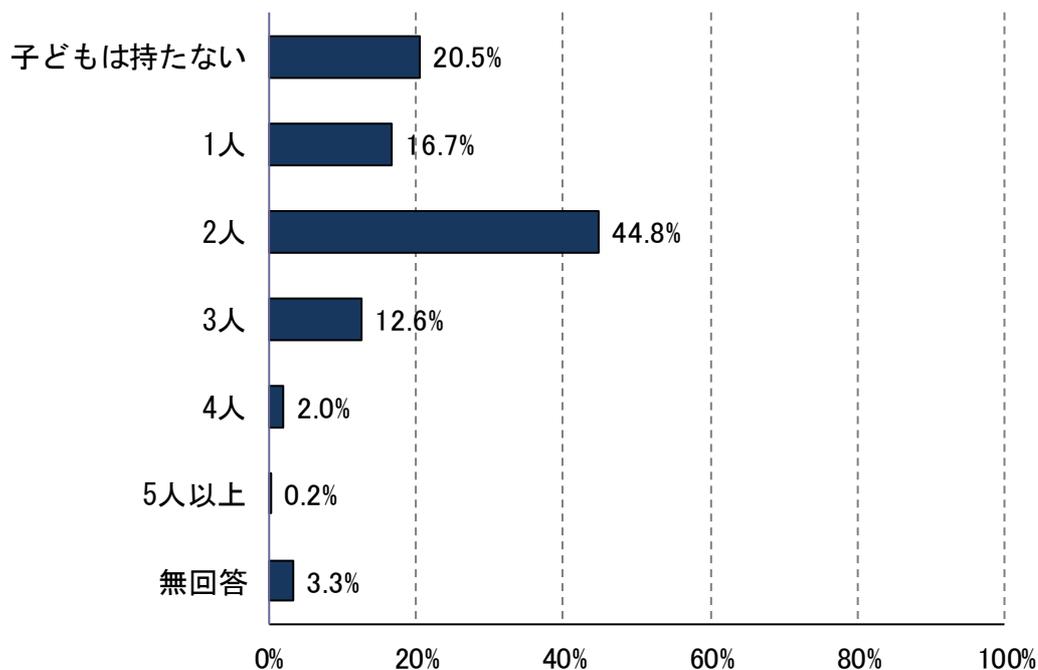
		全体	子どもは持たない	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
人数(人)	全体	860	54	41	466	262	14	12	11
	成田地区	273	15	12	143	89	3	6	5
	公津地区	163	11	10	84	51	1	2	4
	八生地区	13	3	0	5	4	1	0	0
	中郷地区	9	1	1	4	3	0	0	0
	久住地区	38	1	1	18	17	1	0	0
	豊住地区	7	1	0	4	2	0	0	0
	遠山地区	97	8	3	63	22	0	1	0
	ニュータウン地区	170	10	5	96	50	7	1	1
	下総地区	28	0	1	17	7	1	1	1
	大栄地区	45	3	6	23	12	0	1	0
	その他	4	0	0	2	2	0	0	0
	無回答	13	1	2	7	3	0	0	0
	割合(%)	全体	100.0	6.3	4.8	54.2	30.5	1.6	1.4
成田地区		100.0	5.5	4.4	52.4	32.6	1.1	2.2	1.8
公津地区		100.0	6.7	6.1	51.5	31.3	0.6	1.2	2.5
八生地区		100.0	23.1	0.0	38.5	30.8	7.7	0.0	0.0
中郷地区		100.0	11.1	11.1	44.4	33.3	0.0	0.0	0.0
久住地区		100.0	2.6	2.6	47.4	44.7	2.6	0.0	0.0
豊住地区		100.0	14.3	0.0	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0
遠山地区		100.0	8.2	3.1	64.9	22.7	0.0	1.0	0.0
ニュータウン地区		100.0	5.9	2.9	56.5	29.4	4.1	0.6	0.6
下総地区		100.0	0.0	3.6	60.7	25.0	3.6	3.6	3.6
大栄地区		100.0	6.7	13.3	51.1	26.7	0.0	2.2	0.0
その他		100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
無回答		100.0	7.7	15.4	53.8	23.1	0.0	0.0	0.0

※上表は、20代~40代の回答結果になります。

## (6) 現在のお子様も含めて現状で予定している子どもの人数

問 23 あなたにとって、現在のお子様も含めて、現状で予定している子どもの数は何人ですか。あてはまる番号を一つだけ○で囲んでください。

現在のお子様も含めて、現状で予定している子どもの数は、「2人」が44.8%と最も多く、次いで「子どもは持たない」20.5%、「1人」16.7%となっています。

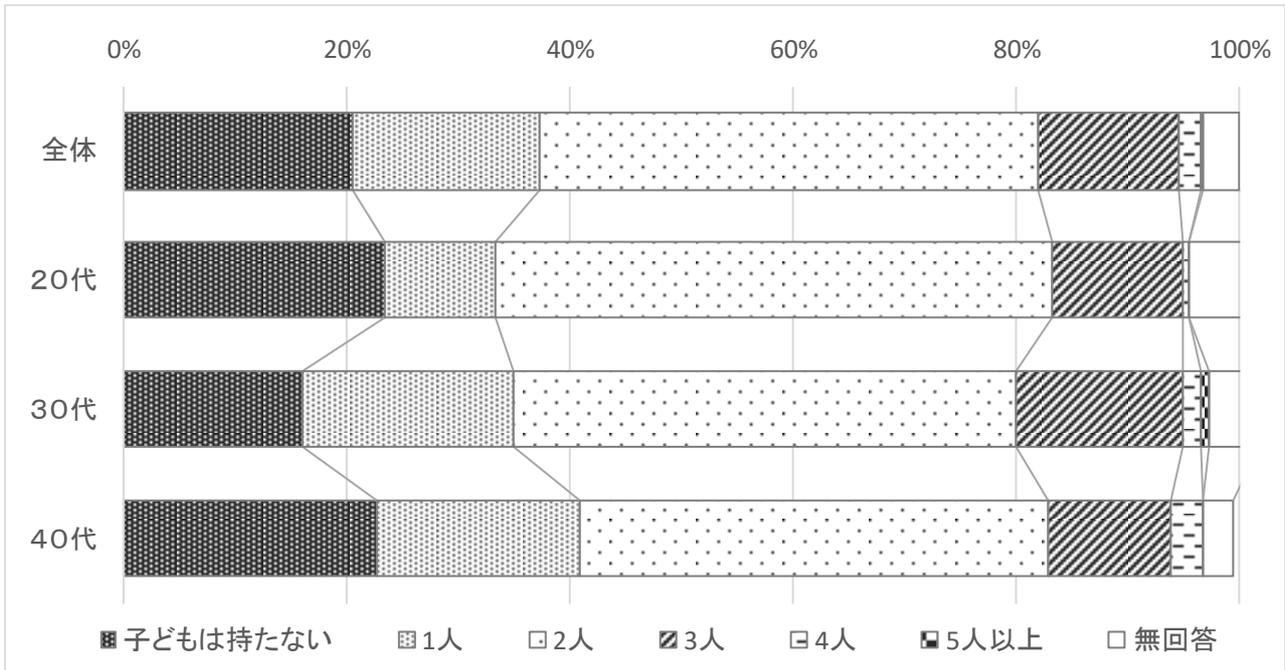


No.	選択肢	人数(人)	割合(%)
1	子どもは持たない	176	20.5
2	1人	144	16.7
3	2人	385	44.8
4	3人	108	12.6
5	4人	17	2.0
6	5人以上	2	0.2
7	無回答	28	3.3
	合計	860	100.0

※上表は、20代～40代の回答結果になります。

<年代別集計>

年代別にみると、「2人」が最も多く概ね同傾向を示します。理想の子どもの数と比較すると、2~3人が少なく、「子どもは持たない」及び「1人」が多くなっており、現実では理想ほど子どもを持ってない現状がうかがえます。

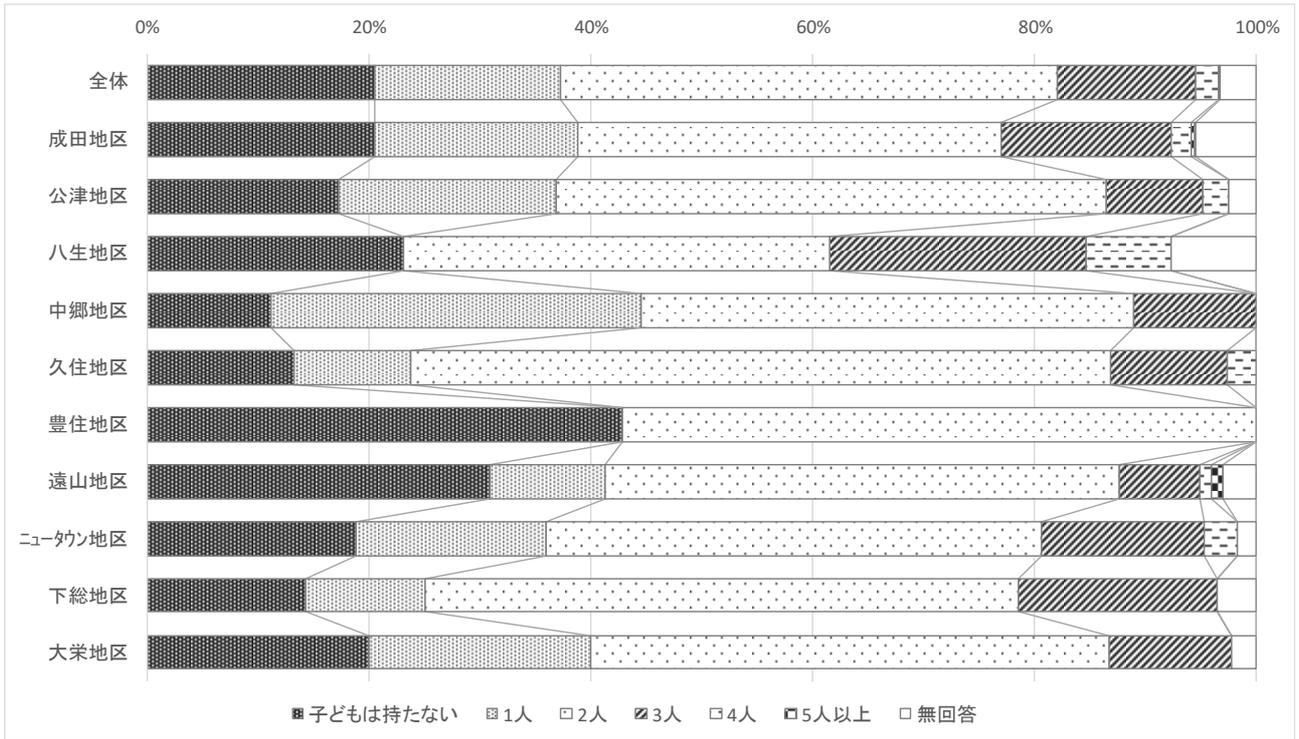


		全体	子どもは持たない	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
人数(人)	全体	860	176	144	385	108	17	2	28
	20代	180	42	18	90	21	1	0	8
	30代	300	48	57	135	45	5	2	8
	40代	380	86	69	160	42	11	0	12
割合(%)	全体	100.0	20.5	16.7	44.8	12.6	2.0	0.2	3.3
	20代	100.0	23.3	10.0	50.0	11.7	0.6	0.0	14.1
	30代	100.0	16.0	19.0	45.0	15.0	1.7	0.7	4.4
	40代	100.0	22.6	18.2	42.1	11.1	2.9	0.0	2.7

※上表は、20代~40代の回答結果になります。

<地区別集計>

地区別にみると、概ね同傾向を示しています。「子どもは持たない」は豊住・遠山地区で多くなっています。

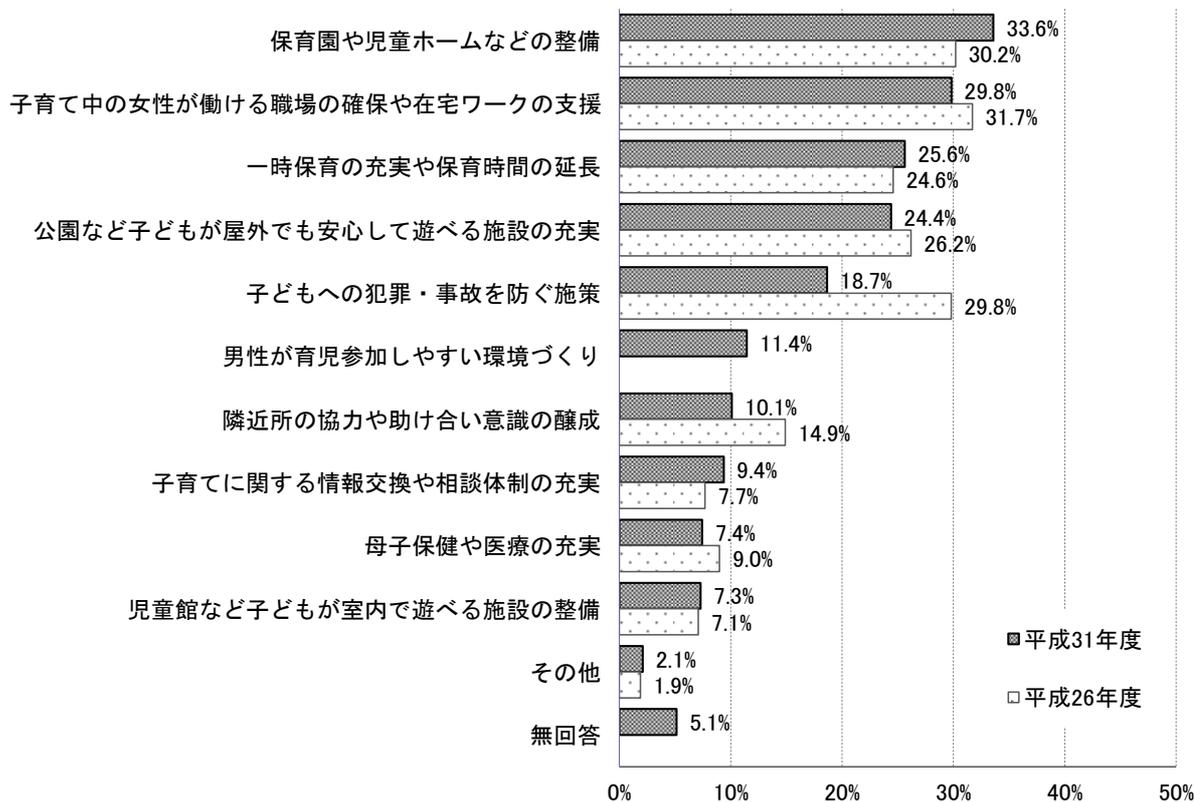


		全体	子どもは持たない	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
人数(人)	全体	860	176	144	385	108	17	2	28
	成田地区	273	56	50	104	42	5	1	15
	公津地区	163	28	32	81	14	4	0	4
	八生地区	13	3	0	5	3	1	0	1
	中郷地区	9	1	3	4	1	0	0	0
	久住地区	38	5	4	24	4	1	0	0
	豊住地区	7	3	0	4	0	0	0	0
	遠山地区	97	30	10	45	7	1	1	3
	ニュータウン地区	170	32	29	76	25	5	0	3
	下総地区	28	4	3	15	5	0	0	1
	大栄地区	45	9	9	21	5	0	0	1
	その他	4	2	1	0	1	0	0	0
	無回答	13	3	3	6	1	0	0	0
割合(%)	全体	100.0	20.5	16.7	44.8	12.6	2.0	0.2	3.3
	成田地区	100.0	20.5	18.3	38.1	15.4	1.8	0.4	5.5
	公津地区	100.0	17.2	19.6	49.7	8.6	2.5	0.0	2.5
	八生地区	100.0	23.1	0.0	38.5	23.1	7.7	0.0	7.7
	中郷地区	100.0	11.1	33.3	44.4	11.1	0.0	0.0	0.0
	久住地区	100.0	13.2	10.5	63.2	10.5	2.6	0.0	0.0
	豊住地区	100.0	42.9	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	遠山地区	100.0	30.9	10.3	46.4	7.2	1.0	1.0	3.1
	ニュータウン地区	100.0	18.8	17.1	44.7	14.7	2.9	0.0	1.8
	下総地区	100.0	14.3	10.7	53.6	17.9	0.0	0.0	3.6
	大栄地区	100.0	20.0	20.0	46.7	11.1	0.0	0.0	2.2
	その他	100.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	100.0	23.1	23.1	46.2	7.7	0.0	0.0	0.0

## (7) 子どもを育てていく上で力を入れていく必要があること

問 24 子どもを育てていく上で、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。あてはまる番号**2つ以内**を○で囲んでください。

子どもを育てていく上で力を入れていく必要があることは、「保育園や児童ホームなどの整備」が 33.6%と最も多く、次いで「子育て中の女性が働ける職場の確保や在宅ワークの支援」29.8%、「一時保育の充実や保育時間の延長」25.6%となっています。



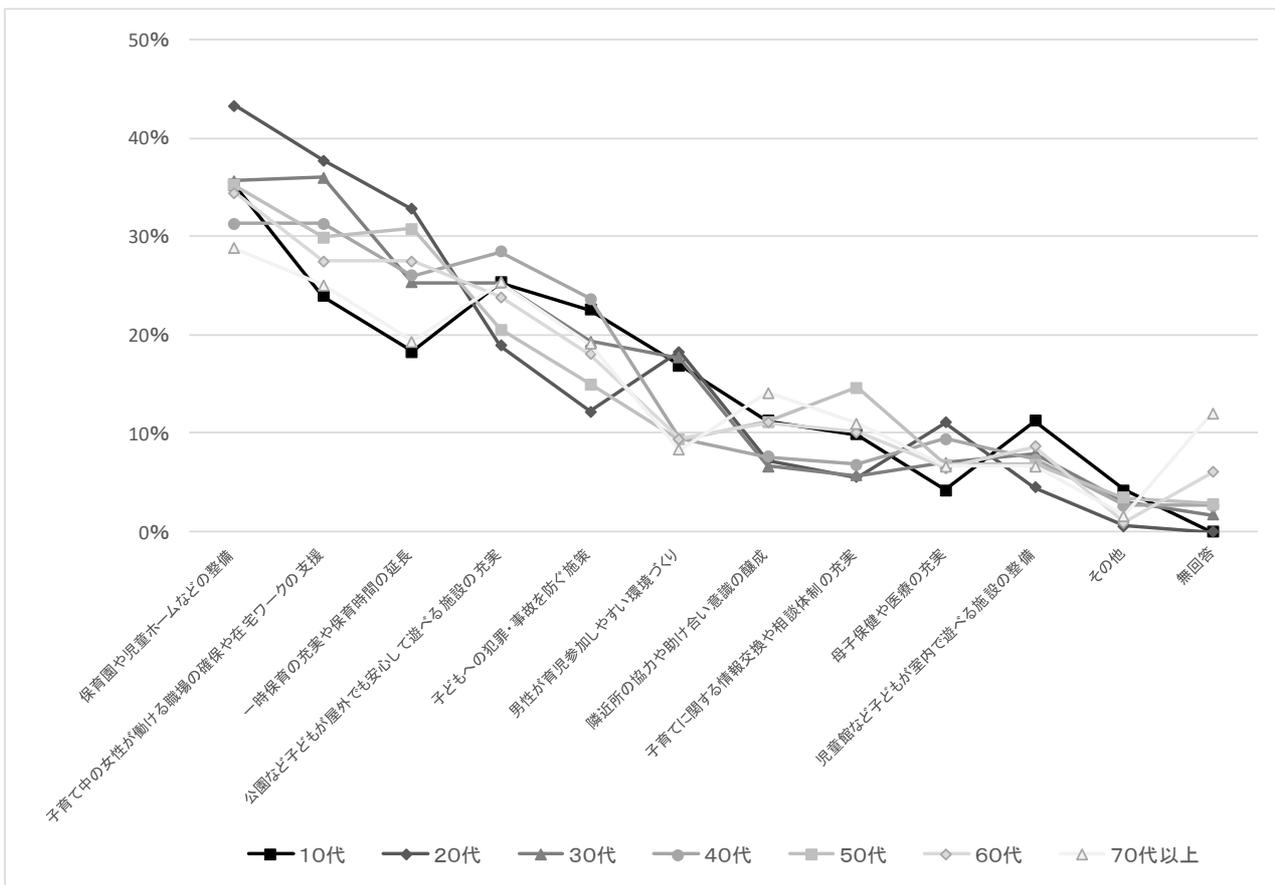
No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合 (%)	人数(人)	割合 (%)
1	保育園や児童ホームなどの整備	731	33.6	1,298	30.2
2	子育て中の女性が働ける職場の確保や在宅ワークの支援	649	29.8	1,361	31.7
3	一時保育の充実や保育時間の延長	558	25.6	1,059	24.6
4	公園など子どもが屋外でも安心して遊べる施設の充実	531	24.4	1,126	26.2
5	子どもへの犯罪・事故を防ぐ施策	406	18.7	1,282	29.8
6	男性が育児参加しやすい環境づくり	249	11.4	-	-
7	隣近所の協力や助け合い意識の醸成	220	10.1	641	14.9
8	子育てに関する情報交換や相談体制の充実	204	9.4	332	7.7
9	母子保健や医療の充実	162	7.4	386	9.0
10	児童館など子どもが室内で遊べる施設の整備	159	7.3	306	7.1
11	その他	46	2.1	83	1.9
12	無回答	112	5.1	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,300	-

※平成 26 年度の選択肢は、「1. 保育園や児童ホームの整備」となっています。

<年代別集計>

年代別にみると、多くの年代で「保育園や児童ホームなどの整備」が最も多くなっています。「子育て中の女性が働ける職場の確保や在宅ワークの支援」は20代と30代で多く、一方、「公園など子どもが屋外でも安心して遊べる施設の充実」「子どもへの犯罪・事故を防ぐ施策」は20代が少なく、40代で比較的多くなっています。また、「男性が育児参加しやすい環境づくり」は30代以下で多くなっています。

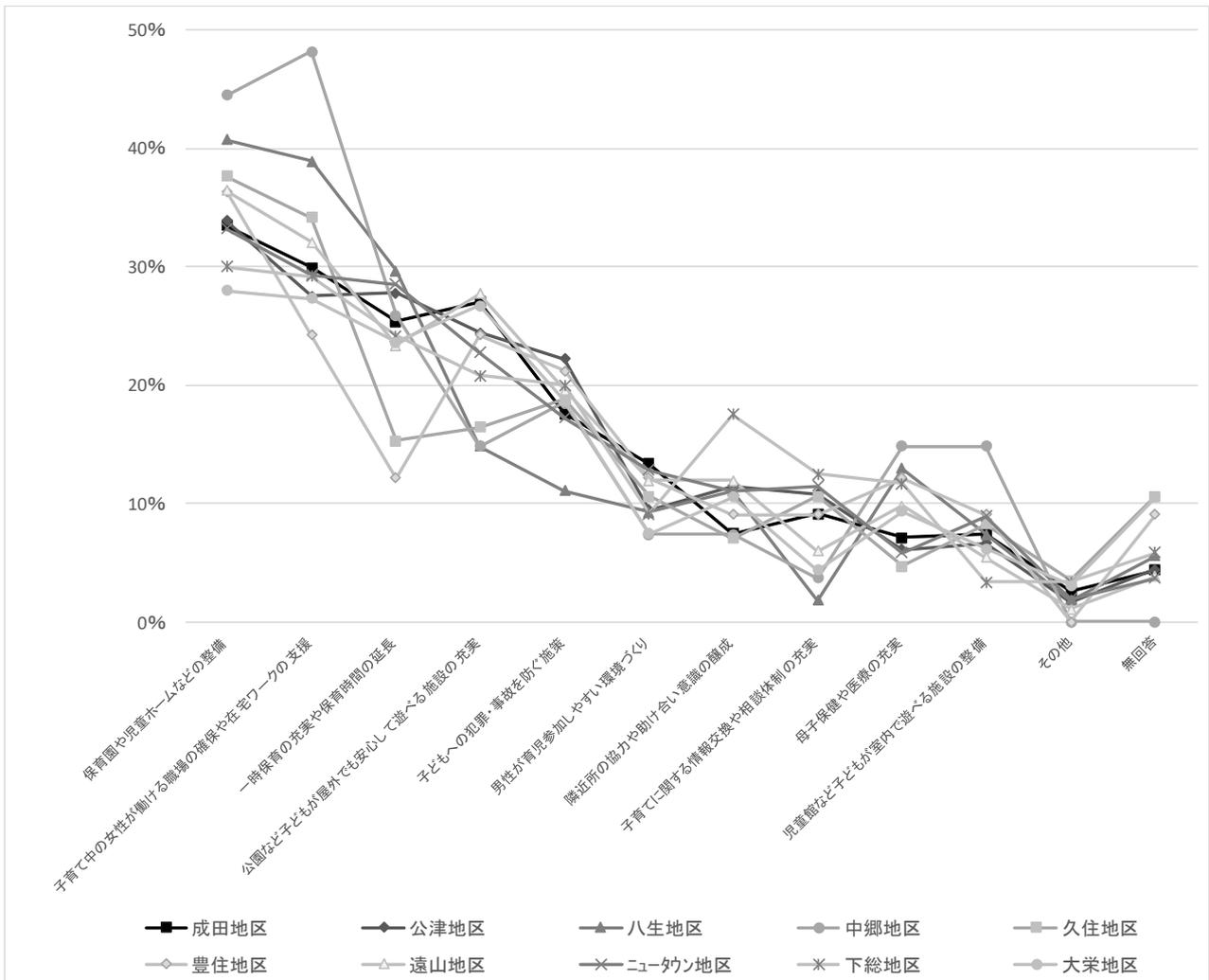
低い年代で、女性が働きながら子育てしやすい環境づくりや男性への育児参加等への意識が高くなっていることがわかります。



		全体	保育園や児童ホームなどの整備	子育て中の女性が働ける職場の確保や在宅ワークの支援	一時保育の充実や保育時間の延長	公園など子どもが屋外でも安心して遊べる施設の充実	子どもへの犯罪・事故を防ぐ施策	男性が育児参加しやすい環境づくり	隣近所の協力や助け合い意識の醸成	子育てに関する情報交換や相談体制の充実	母子保健や医療の充実	児童館など子どもが室内で遊べる施設の整備	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	731	649	558	531	406	249	220	204	162	159	46	112
	10代	71	25	17	13	18	16	12	8	7	3	8	3	0
	20代	180	78	68	59	34	22	33	13	10	20	8	1	0
	30代	300	107	108	76	76	58	53	20	17	21	24	9	5
	40代	380	119	119	99	108	90	36	29	26	36	28	10	10
	50代	321	113	96	99	66	48	30	36	47	22	22	11	9
	60代	415	143	114	114	99	75	39	46	42	27	36	4	25
	70代以上	482	139	121	93	122	92	40	68	53	32	32	8	58
	無回答	27	7	6	5	8	5	6	0	2	1	1	0	5
割合(%)	全体	100.0	33.6	29.8	25.6	24.4	18.7	11.4	10.1	9.4	7.4	7.3	2.1	5.1
	10代	100.0	35.2	23.9	18.3	25.4	22.5	16.9	11.3	9.9	4.2	11.3	4.2	0.0
	20代	100.0	43.3	37.8	32.8	18.9	12.2	18.3	7.2	5.6	11.1	4.4	0.6	0.0
	30代	100.0	35.7	36.0	25.3	25.3	19.3	17.7	6.7	5.7	7.0	8.0	3.0	1.7
	40代	100.0	31.3	31.3	26.1	28.4	23.7	9.5	7.6	6.8	9.5	7.4	2.6	2.6
	50代	100.0	35.2	29.9	30.8	20.6	15.0	9.3	11.2	14.6	6.9	6.9	3.4	2.8
	60代	100.0	34.5	27.5	27.5	23.9	18.1	9.4	11.1	10.1	6.5	8.7	1.0	6.0
	70代以上	100.0	28.8	25.1	19.3	25.3	19.1	8.3	14.1	11.0	6.6	6.6	1.7	12.0
	無回答	100.0	25.9	22.2	18.5	29.6	18.5	22.2	0.0	7.4	3.7	3.7	0.0	18.5

<地区別集計>

地区別にみると、どの地区においても「保育園や児童ホームなどの整備」「子育て中の女性が働ける職場の確保や在宅ワークの支援」が多く、概ね同傾向を示しています。



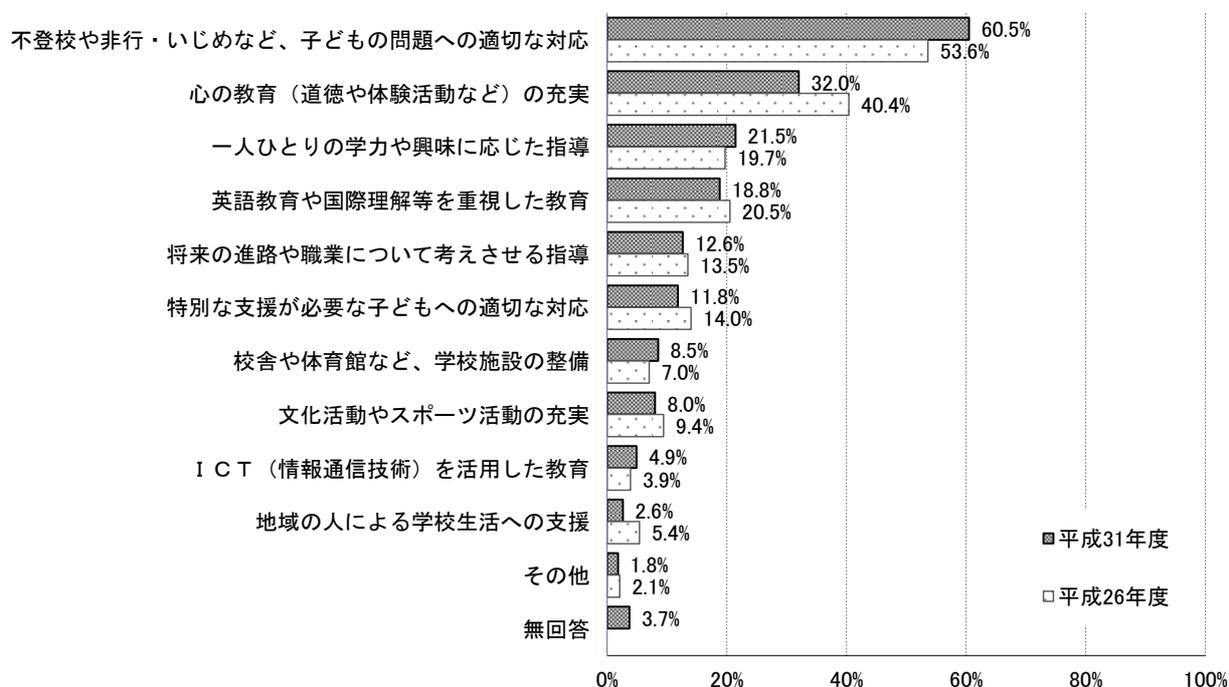
		全体	保育園や児童ホームなどの整備	子育て中の女性が働ける職場の確保や在宅ワークの支援	一時保育の充実や保育時間の延長	公園など子どもが屋外でも安心して遊べる施設の充実	子どもへの犯罪・事故を防ぐ施策	男性が育児参加しやすい環境づくり	隣近所の協力や助け合い意識の醸成	子育てに関する情報交換や相談体制の充実	母子保健や医療の充実	児童館など子どもが室内で遊べる施設の整備	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	731	649	558	531	406	249	220	204	162	159	46	112
	成田地区	592	198	177	150	160	104	79	44	54	42	44	15	26
	公津地区	360	122	99	100	88	80	34	41	39	22	24	6	16
	八生地区	54	22	21	16	8	6	5	6	1	7	4	1	3
	中郷地区	27	12	13	7	4	5	2	2	1	4	4	0	0
	久住地区	85	32	29	13	14	16	9	6	9	4	7	3	9
	豊住地区	33	12	8	4	8	7	4	3	3	4	3	0	3
	遠山地区	184	67	59	43	51	36	22	22	11	18	10	2	7
	ニュータウン地区	515	171	151	147	117	89	66	57	59	30	46	10	19
	下総地区	120	36	35	29	25	24	11	21	15	14	4	4	7
	大栄地区	161	45	44	38	43	30	12	17	7	15	10	5	17
	その他	5	2	1	2	1	1	0	0	2	0	1	0	0
	無回答	40	12	12	9	12	8	5	1	3	2	2	0	5
割合(%)	全体	100.0	33.6	29.8	25.6	24.4	18.7	11.4	10.1	9.4	7.4	7.3	2.1	5.1
	成田地区	100.0	33.4	29.9	25.3	27.0	17.6	13.3	7.4	9.1	7.1	7.4	2.5	4.4
	公津地区	100.0	33.9	27.5	27.8	24.4	22.2	9.4	11.4	10.8	6.1	6.7	1.7	4.4
	八生地区	100.0	40.7	38.9	29.6	14.8	11.1	9.3	11.1	1.9	13.0	7.4	1.9	5.6
	中郷地区	100.0	44.4	48.1	25.9	14.8	18.5	7.4	7.4	3.7	14.8	14.8	0.0	0.0
	久住地区	100.0	37.6	34.1	15.3	16.5	18.8	10.6	7.1	10.6	4.7	8.2	3.5	10.6
	豊住地区	100.0	36.4	24.2	12.1	24.2	21.2	12.1	9.1	9.1	12.1	9.1	0.0	9.1
	遠山地区	100.0	36.4	32.1	23.4	27.7	19.6	12.0	12.0	6.0	9.8	5.4	1.1	3.8
	ニュータウン地区	100.0	33.2	29.3	28.5	22.7	17.3	12.8	11.1	11.5	5.8	8.9	1.9	3.7
	下総地区	100.0	30.0	29.2	24.2	20.8	20.0	9.2	17.5	12.5	11.7	3.3	3.3	5.8
	大栄地区	100.0	28.0	27.3	23.6	26.7	18.6	7.5	10.6	4.3	9.3	6.2	3.1	10.6
	その他	100.0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	無回答	100.0	30.0	30.0	22.5	30.0	20.0	12.5	2.5	7.5	5.0	5.0	0.0	12.5

### 3. 教育・文化について

#### (1) 小・中・義務教育学校における教育

問 25 小・中・義務教育学校における教育において、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

義務教育学校における教育において力を入れていく必要があることは、「不登校や非行・いじめなど、子どもの問題への適切な対応」が60.5%と最も多く、次いで「心の教育（道徳や体験活動など）の充実」32.0%、「一人ひとりの学力や興味に応じた指導」21.5%となっています。平成26年度と比較すると概ね同傾向を示していますが、「不登校や非行・いじめなど、子どもの問題への適切な対応」が増加し、「心の教育（道徳や体験活動など）の充実」が減少しています。

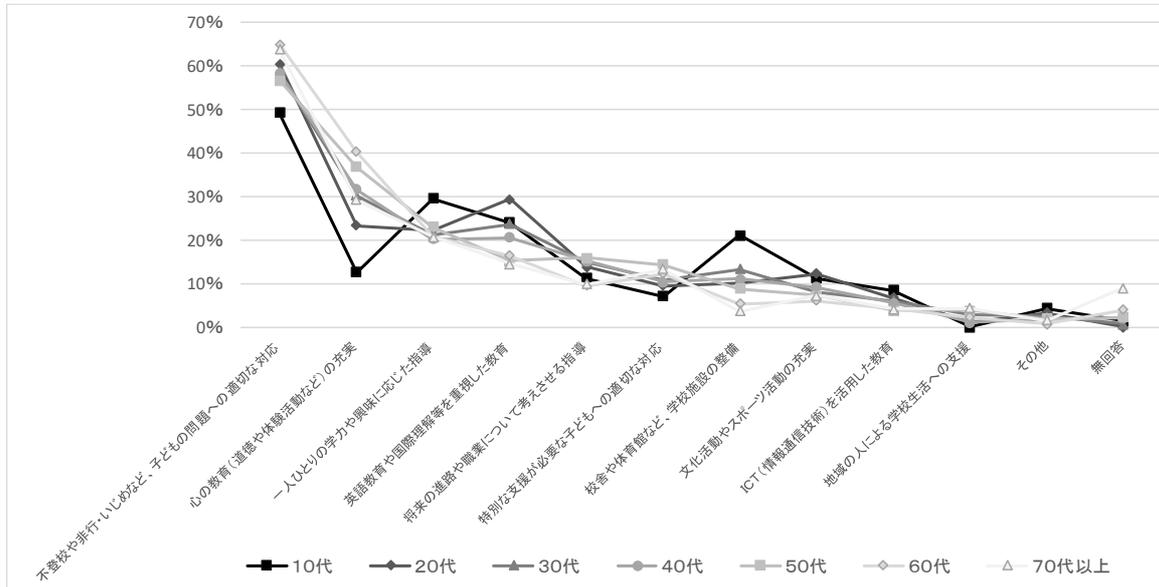


No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	不登校や非行・いじめなど、子どもの問題への適切な対応	1,316	60.5	2,258	53.6
2	心の教育(道徳や体験活動など)の充実	697	32.0	1,705	40.4
3	一人ひとりの学力や興味に応じた指導	467	21.5	829	19.7
4	英語教育や国際理解等を重視した教育	409	18.8	863	20.5
5	将来の進路や職業について考えさせる指導	275	12.6	571	13.5
6	特別な支援が必要な子どもへの適切な対応	257	11.8	590	14.0
7	校舎や体育館など、学校施設の整備	185	8.5	296	7.0
8	文化活動やスポーツ活動の充実	174	8.0	395	9.4
9	ICT(情報通信技術)を活用した教育	107	4.9	165	3.9
10	地域の人による学校生活への支援	57	2.6	226	5.4
11	その他	39	1.8	88	2.1
12	無回答	81	3.7	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,216	-

※平成26年度の選択肢は、「6. 特別な支援が必要な子どもの早期発見と適切な対応」となっています。

<年代別集計>

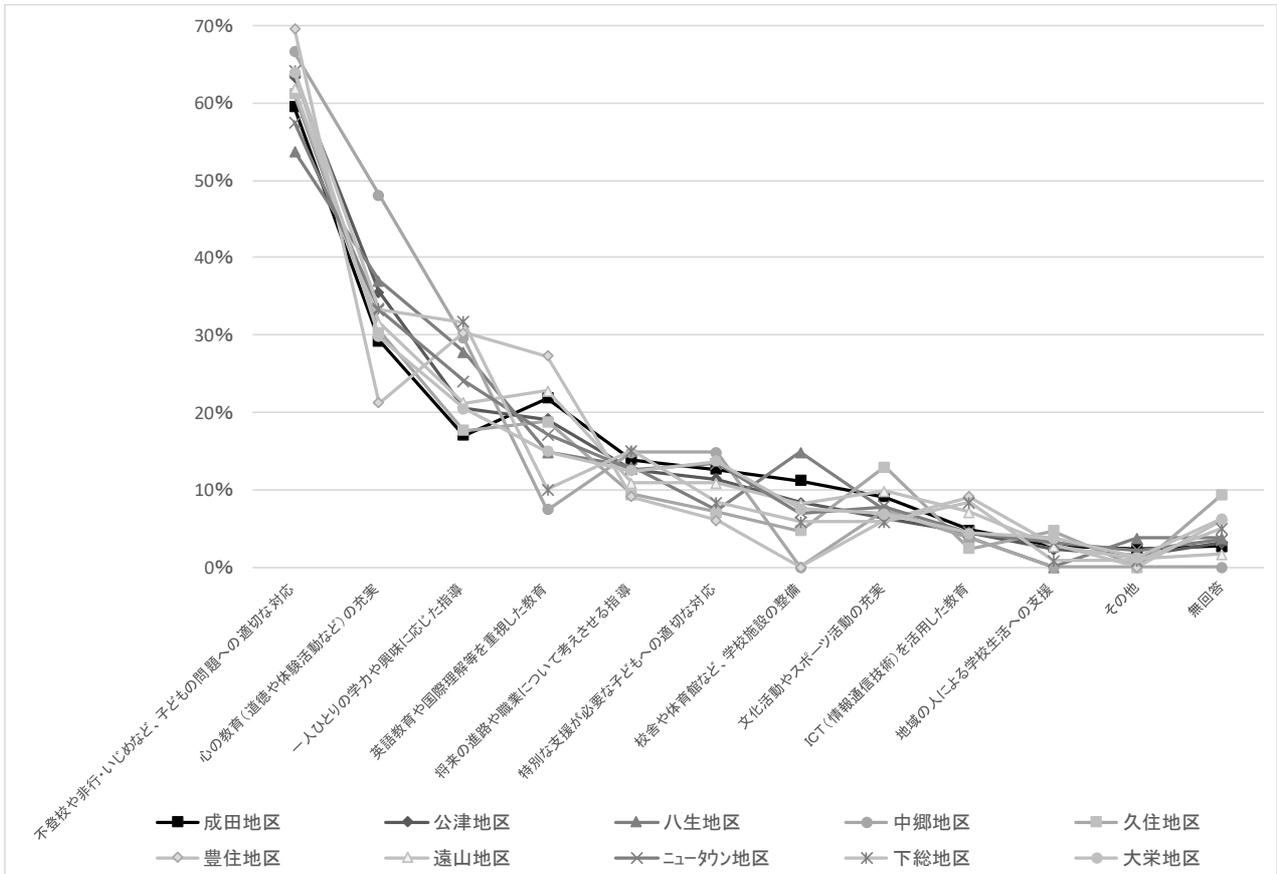
年代別にみると、どの年代においても「不登校や非行・いじめなど、子どもの問題への適切な対応」が最も多くなっています。「英語教育や国際理解等を重視した教育」「校舎や体育館など、学校施設の整備」は低い年代で多く年代が上がると低くなっています。一方、「心の教育（道徳や体験活動など）の充実」は低い年代で少なく、年代が高いと多くなる傾向にあります。



		全体	不登校や非行・いじめなど、子どもの問題への適切な対応	心の教育（道徳や体験活動など）の充実	一人ひとりの学力や興味に応じた指導	英語教育や国際理解等を重視した教育	将来の進路や職業について考えさせる指導	特別な支援が必要な子どもへの適切な対応	校舎や体育館など、学校施設の整備	文化活動やスポーツ活動の充実	ICT（情報通信技術）を活用した教育	地域の人による学校生活への支援	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,316	697	467	409	275	257	185	174	107	57	39	81
	10代	71	35	9	21	17	8	5	15	8	6	0	3	1
	20代	180	109	42	40	53	25	17	18	22	12	2	6	0
	30代	300	176	91	63	71	45	32	40	24	18	8	7	2
	40代	380	222	120	77	78	58	39	42	35	21	4	7	8
	50代	321	182	118	74	49	51	46	28	23	12	12	6	7
	60代	415	270	167	86	68	39	51	22	25	17	9	3	16
	70代以上	482	308	141	100	70	47	64	17	35	20	21	7	43
無回答	27	14	9	6	3	2	3	3	2	1	1	0	4	
割合(%)	全体	100.0	60.5	32.0	21.5	18.8	12.6	11.8	8.5	8.0	4.9	2.6	1.8	3.7
	10代	100.0	49.3	12.7	29.6	23.9	11.3	7.0	21.1	11.3	8.5	0.0	4.2	1.4
	20代	100.0	60.6	23.3	22.2	29.4	13.9	9.4	10.0	12.2	6.7	1.1	3.3	0.0
	30代	100.0	58.7	30.3	21.0	23.7	15.0	10.7	13.3	8.0	6.0	2.7	2.3	0.7
	40代	100.0	58.4	31.6	20.3	20.5	15.3	10.3	11.1	9.2	5.5	1.1	1.8	2.1
	50代	100.0	56.7	36.8	23.1	15.3	15.9	14.3	8.7	7.2	3.7	3.7	1.9	2.2
	60代	100.0	65.1	40.2	20.7	16.4	9.4	12.3	5.3	6.0	4.1	2.2	0.7	3.9
	70代以上	100.0	63.9	29.3	20.7	14.5	9.8	13.3	3.5	7.3	4.1	4.4	1.5	8.9
無回答	100.0	51.9	33.3	22.2	11.1	7.4	11.1	11.1	7.4	3.7	3.7	0.0	14.8	

<地区別集計>

地区別にみると、概ね同傾向を示しています。

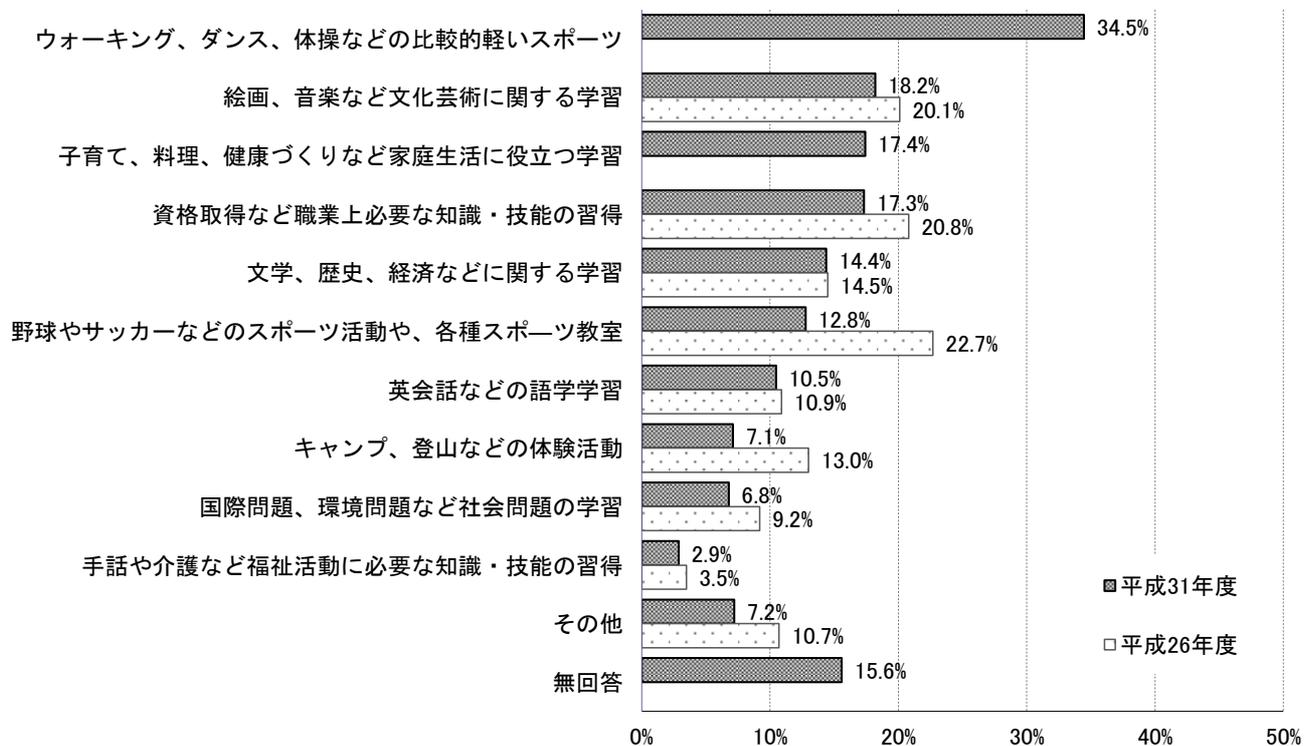


		全体	不登校や非行・いじめなどの適切な対応	心の教育(道徳や体験活動など)の充実	一人ひとりの学力や興味に応じた指導	英語教育や国際理解等を重視した教育	将来の進路や職業について考えさせる指導	特別な支援が必要な子どもへの適切な対応	校舎や体育館など、学校施設の整備	文化活動やスポーツ活動の充実	ICT(情報通信技術)を活用した教育	地域の人による学校生活への支援	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,316	697	467	409	275	257	185	174	107	57	39	81
	成田地区	592	352	173	101	129	82	75	66	54	28	16	14	16
	公津地区	360	228	128	74	69	45	41	30	23	16	8	5	11
	八生地区	54	29	20	15	8	7	4	8	4	2	0	2	2
	中郷地区	27	18	13	8	2	4	4	0	2	1	0	0	0
	久住地区	85	52	26	15	16	8	6	4	11	2	4	0	8
	豊住地区	33	23	7	10	9	3	2	0	2	3	1	0	2
	遠山地区	184	114	58	39	42	20	20	15	18	13	5	2	3
	ニュータウン地区	515	296	171	124	88	65	69	36	40	23	16	11	18
	下総地区	120	77	40	38	12	18	10	7	7	10	1	1	6
	大栄地区	161	103	48	33	24	20	22	12	11	7	6	2	10
	その他	5	4	0	2	2	1	0	1	0	0	0	0	0
	無回答	40	20	13	8	8	2	4	6	2	2	0	2	5
割合(%)	全体	100.0	60.5	32.0	21.5	18.8	12.6	11.8	8.5	8.0	4.9	2.6	1.8	3.7
	成田地区	100.0	59.5	29.2	17.1	21.8	13.9	12.7	11.1	9.1	4.7	2.7	2.4	2.7
	公津地区	100.0	63.3	35.6	20.6	19.2	12.5	11.4	8.3	6.4	4.4	2.2	1.4	3.1
	八生地区	100.0	53.7	37.0	27.8	14.8	13.0	7.4	14.8	7.4	3.7	0.0	3.7	3.7
	中郷地区	100.0	66.7	48.1	29.6	7.4	14.8	14.8	0.0	7.4	3.7	0.0	0.0	0.0
	久住地区	100.0	61.2	30.6	17.6	18.8	9.4	7.1	4.7	12.9	2.4	4.7	0.0	9.4
	豊住地区	100.0	69.7	21.2	30.3	27.3	9.1	6.1	0.0	6.1	9.1	3.0	0.0	6.1
	遠山地区	100.0	62.0	31.5	21.2	22.8	10.9	10.9	8.2	9.8	7.1	2.7	1.1	1.6
	ニュータウン地区	100.0	57.5	33.2	24.1	17.1	12.6	13.4	7.0	7.8	4.5	3.1	2.1	3.5
	下総地区	100.0	64.2	33.3	31.7	10.0	15.0	8.3	5.8	5.8	8.3	0.8	0.8	5.0
	大栄地区	100.0	64.0	29.8	20.5	14.9	12.4	13.7	7.5	6.8	4.3	3.7	1.2	6.2
	その他	100.0	80.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	100.0	50.0	32.5	20.0	20.0	5.0	10.0	15.0	5.0	5.0	0.0	5.0	12.5

## (2) 最近1年間で行った学習やスポーツ

問 26 最近1年くらいの間に、あなたが行った学習やスポーツはどのようなものですか。  
あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

最近1年間で行った学習やスポーツは、「ウォーキング、ダンス、体操などの比較的軽いスポーツ」が34.5%と最も多く、次いで「絵画、音楽など文化芸術に関する学習」18.2%、「子育て、料理、健康づくりなど家庭生活に役立つ学習」17.4%となっています。

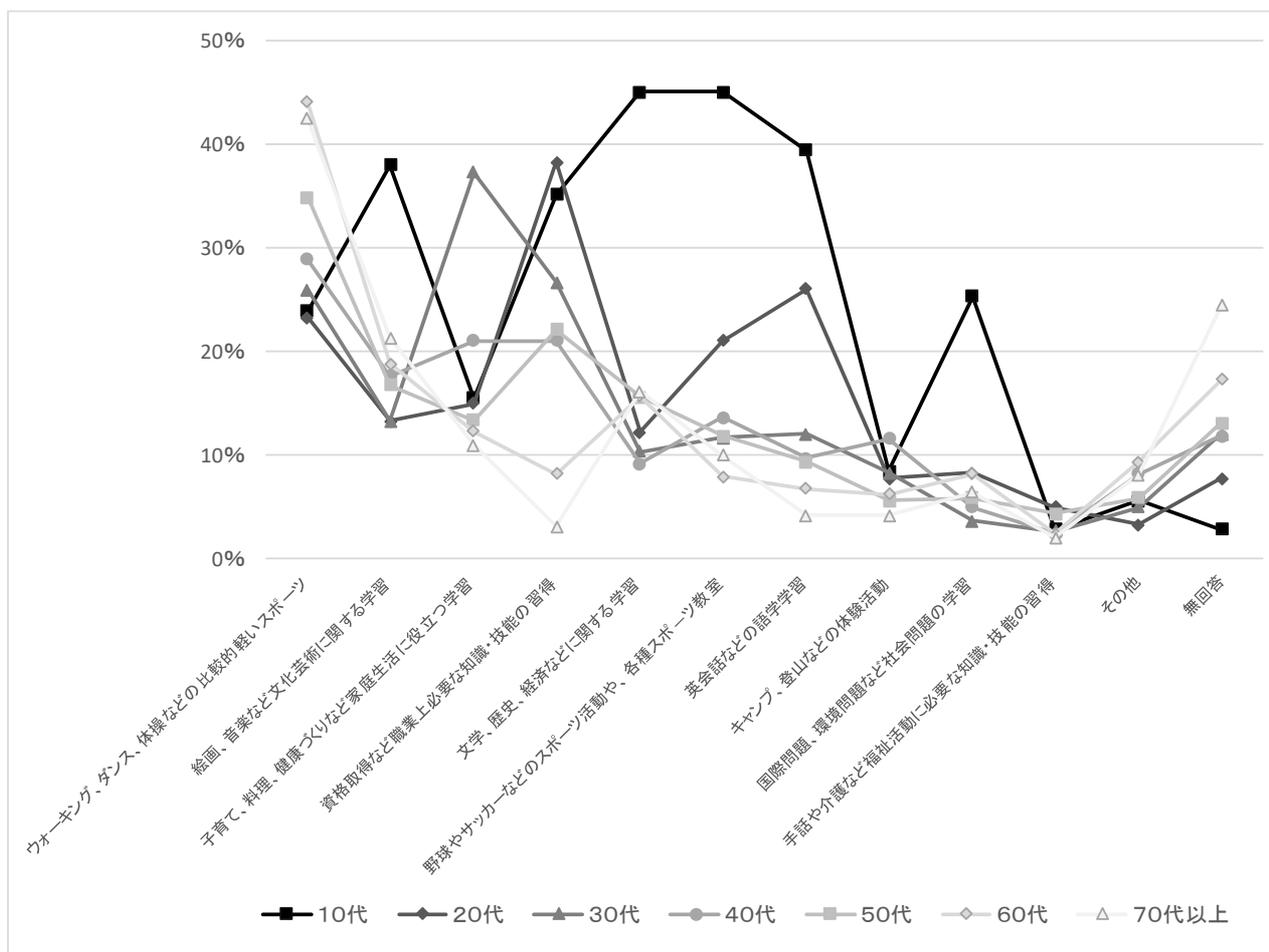


No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	ウォーキング、ダンス、体操などの比較的軽いスポーツ	750	34.5	-	-
2	絵画、音楽など文化芸術に関する学習	396	18.2	731	20.1
3	子育て、料理、健康づくりなど家庭生活に役立つ学習	379	17.4	-	-
4	資格取得など職業上必要な知識・技能の習得	377	17.3	756	20.8
5	文学、歴史、経済などに関する学習	313	14.4	529	14.5
6	野球やサッカーなどのスポーツ活動や、各種スポーツ教室	278	12.8	826	22.7
7	英会話などの語学学習	228	10.5	395	10.9
8	キャンプ、登山などの体験活動	155	7.1	474	13.0
9	国際問題、環境問題など社会問題の学習	148	6.8	336	9.2
10	手話や介護など福祉活動に必要な知識・技能の習得	63	2.9	126	3.5
11	その他	157	7.2	389	10.7
12	無回答	339	15.6	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,562	-

※平成26年度の選択肢は、「2. 絵画、音楽、ダンスなど文化芸術に関する学習」「3. 料理、編み物など家庭生活に役立つ学習」「4. 仕事に関連した資格取得など職業上必要な知識・技能の習得」「5. 科学、文学、歴史など教育的な学習」「6. 各種スポーツ教室、野球、サッカーなどのスポーツ観戦」「8. キャンプ、登山、ハイキングなどの体験活動」となっています。

<年代別集計>

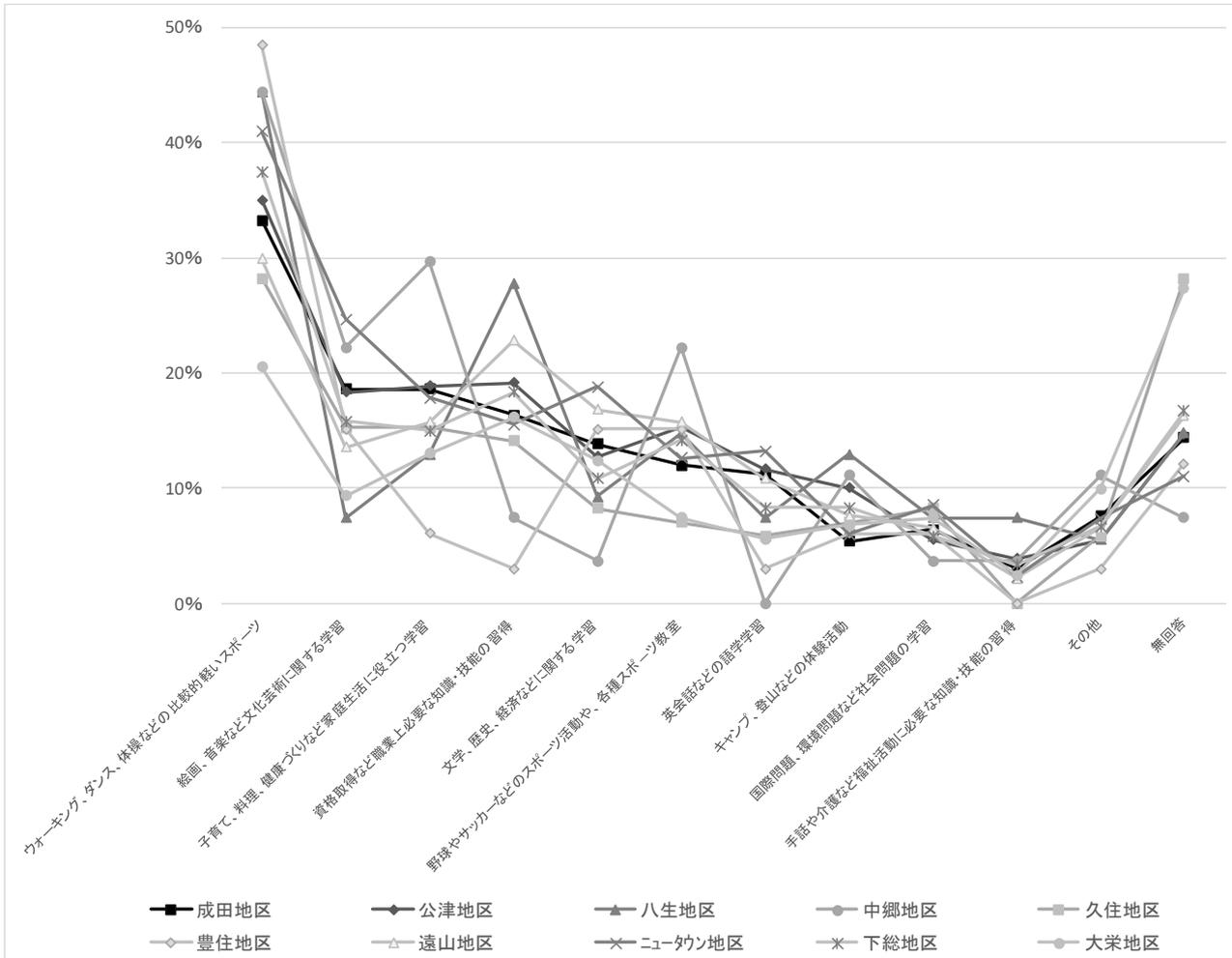
年代別にみると、10代では「文学、歴史、経済などに関する学習」「野球やサッカーなどのスポーツ活動や、各種スポーツ教室」「英会話などの語学学習」等、学校における学習の延長線上の内容が多くなっています。また、10代、20代は「資格取得など職業上必要な知識・技能の習得」等の仕事に関連する内容も多くなっています。30代、40代になると仕事に関連する内容だけでなく「子育て、料理、健康づくりなど家庭生活に役立つ学習」も多くなります。「ウォーキング、ダンス、体操などの比較的軽いスポーツ」は、40代以上で多くなっており、特に高い年代の方が多く参加していることがわかります。



		全体	ウォーキング、ダンス、体操などの比較的軽いスポーツ	絵画、音楽など文化芸術に関する学習	子育て、料理、健康づくりなど家庭生活に役立つ学習	資格取得など職業上必要な知識・技能の習得	文学、歴史、経済などに関する学習	野球やサッカーなどのスポーツ活動や、各種スポーツ教室	英会話などの語学学習	キャンプ、登山などの体験活動	国際問題、環境問題など社会問題の学習	手話や介護など福祉活動に必要な知識・技能の習得	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	750	396	379	377	313	278	228	155	148	63	157	339
	10代	71	17	27	11	25	32	32	28	6	18	2	4	2
	20代	180	42	24	27	69	22	38	47	14	15	9	6	14
	30代	300	78	40	112	80	31	35	36	25	11	8	15	36
	40代	380	110	67	80	80	35	52	37	44	19	9	31	45
	50代	321	112	54	43	71	50	38	30	18	19	14	19	42
	60代	415	183	78	51	34	65	33	28	26	34	10	39	72
	70代以上	482	205	103	53	15	78	48	20	20	31	10	39	118
	無回答	27	3	3	2	3	0	2	2	2	1	1	4	10
割合(%)	全体	100.0	34.5	18.2	17.4	17.3	14.4	12.8	10.5	7.1	6.8	2.9	7.2	15.6
	10代	100.0	23.9	38.0	15.5	35.2	45.1	45.1	39.4	8.5	25.4	2.8	5.6	2.8
	20代	100.0	23.3	13.3	15.0	38.3	12.2	21.1	26.1	7.8	8.3	5.0	3.3	7.8
	30代	100.0	26.0	13.3	37.3	26.7	10.3	11.7	12.0	8.3	3.7	2.7	5.0	12.0
	40代	100.0	28.9	17.6	21.1	21.1	9.2	13.7	9.7	11.6	5.0	2.4	8.2	11.8
	50代	100.0	34.9	16.8	13.4	22.1	15.6	11.8	9.3	5.6	5.9	4.4	5.9	13.1
	60代	100.0	44.1	18.8	12.3	8.2	15.7	8.0	6.7	6.3	8.2	2.4	9.4	17.3
	70代以上	100.0	42.5	21.4	11.0	3.1	16.2	10.0	4.1	4.1	6.4	2.1	8.1	24.5
	無回答	100.0	11.1	11.1	7.4	11.1	0.0	7.4	7.4	7.4	3.7	3.7	14.8	37.0

<地区別集計>

地区別にみると、どの地区においても「ウォーキング、ダンス、体操などの比較的軽いスポーツ」が最も多くなっています。その他は、差はありますが「絵画、音楽など文化芸術に関する学習」「子育て、料理、健康づくりなど家庭生活に役立つ学習」「資格取得など職業上必要な知識・技能の習得」も多い傾向にあります。

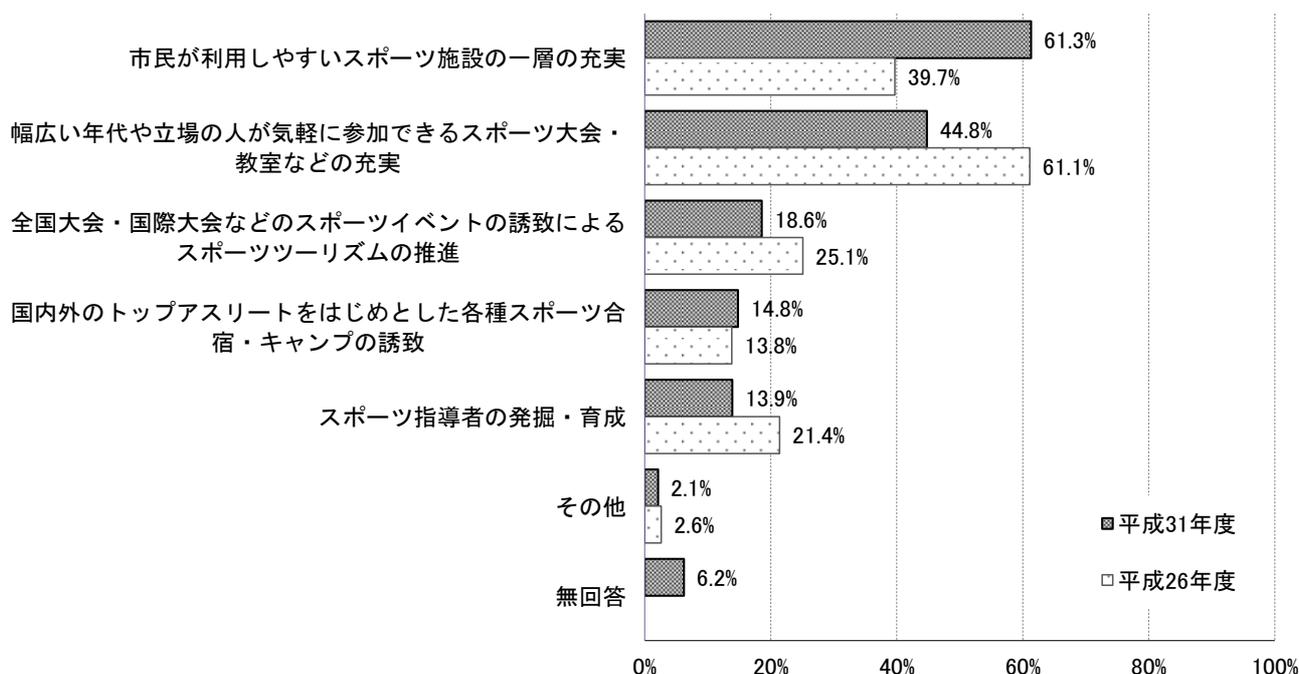


		全体	ウォーキング、ダンス、体操などの比較的軽いスポーツ	絵画、音楽など文化芸術に関する学習	子育て、料理、健康づくりなど家庭生活に役立つ学習	資格取得など職業上必要な知識・技能の習得	文学、歴史、経済などに関する学習	野球やサッカーなどのスポーツ活動や、各種スポーツ教室	英会話などの語学学習	キャンプ、登山などの体験活動	国際問題、環境問題など社会問題の学習	手話や介護など福祉活動に必要な知識・技能の習得	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	750	396	379	377	313	278	228	155	148	63	157	339
	成田地区	592	197	110	110	97	82	71	66	32	38	18	45	85
	公津地区	360	126	66	68	69	46	55	42	36	20	14	20	53
	八生地区	54	24	4	7	15	5	8	4	7	4	4	3	8
	中郷地区	27	12	6	8	2	1	6	0	3	1	1	3	2
	久住地区	85	24	13	13	12	7	6	5	6	7	0	5	24
	豊住地区	33	16	5	2	1	5	5	1	2	2	0	1	4
	遠山地区	184	55	25	29	42	31	29	20	14	12	4	12	30
	ニュータウン地区	515	211	127	92	80	97	65	68	31	44	12	38	57
	下総地区	120	45	19	18	22	13	17	10	10	7	4	8	20
	大栄地区	161	33	15	21	26	20	12	9	11	12	4	16	44
	その他	5	3	1	3	0	1	0	0	0	1	0	1	0
	無回答	40	4	5	8	11	5	4	3	2	1	2	5	12
割合(%)	全体	100.0	34.5	18.2	17.4	17.3	14.4	12.8	10.5	7.1	6.8	2.9	7.2	15.6
	成田地区	100.0	33.3	18.6	18.6	16.4	13.9	12.0	11.1	5.4	6.4	3.0	7.6	14.4
	公津地区	100.0	35.0	18.3	18.9	19.2	12.8	15.3	11.7	10.0	5.6	3.9	5.6	14.7
	八生地区	100.0	44.4	7.4	13.0	27.8	9.3	14.8	7.4	13.0	7.4	7.4	5.6	14.8
	中郷地区	100.0	44.4	22.2	29.6	7.4	3.7	22.2	0.0	11.1	3.7	3.7	11.1	7.4
	久住地区	100.0	28.2	15.3	15.3	14.1	8.2	7.1	5.9	7.1	8.2	0.0	5.9	28.2
	豊住地区	100.0	48.5	15.2	6.1	3.0	15.2	15.2	3.0	6.1	6.1	0.0	3.0	12.1
	遠山地区	100.0	29.9	13.6	15.8	22.8	16.8	15.8	10.9	7.6	6.5	2.2	6.5	16.3
	ニュータウン地区	100.0	41.0	24.7	17.9	15.5	18.8	12.6	13.2	6.0	8.5	2.3	7.4	11.1
	下総地区	100.0	37.5	15.8	15.0	18.3	10.8	14.2	8.3	8.3	5.8	3.3	6.7	16.7
	大栄地区	100.0	20.5	9.3	13.0	16.1	12.4	7.5	5.6	6.8	7.5	2.5	9.9	27.3
	その他	100.0	60.0	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	無回答	100.0	10.0	12.5	20.0	27.5	12.5	10.0	7.5	5.0	2.5	5.0	12.5	30.0

### (3) スポーツ振興

問 27 あなたは、スポーツの振興を進めるうえで、どのようなことに力を入れるべきであるとお考えですか。あてはまる番号**2つ以内**を○で囲んでください。

スポーツ振興を進めるうえで力を入れるべきことは、「市民が利用しやすいスポーツ施設の一層の充実」が61.3%と最も多く、次いで「幅広い年代や立場の人が気軽に参加できるスポーツ大会・教室などの充実」44.8%、「全国大会・国際大会などのスポーツイベントの誘致によるスポーツツーリズムの推進」18.6%となっています。

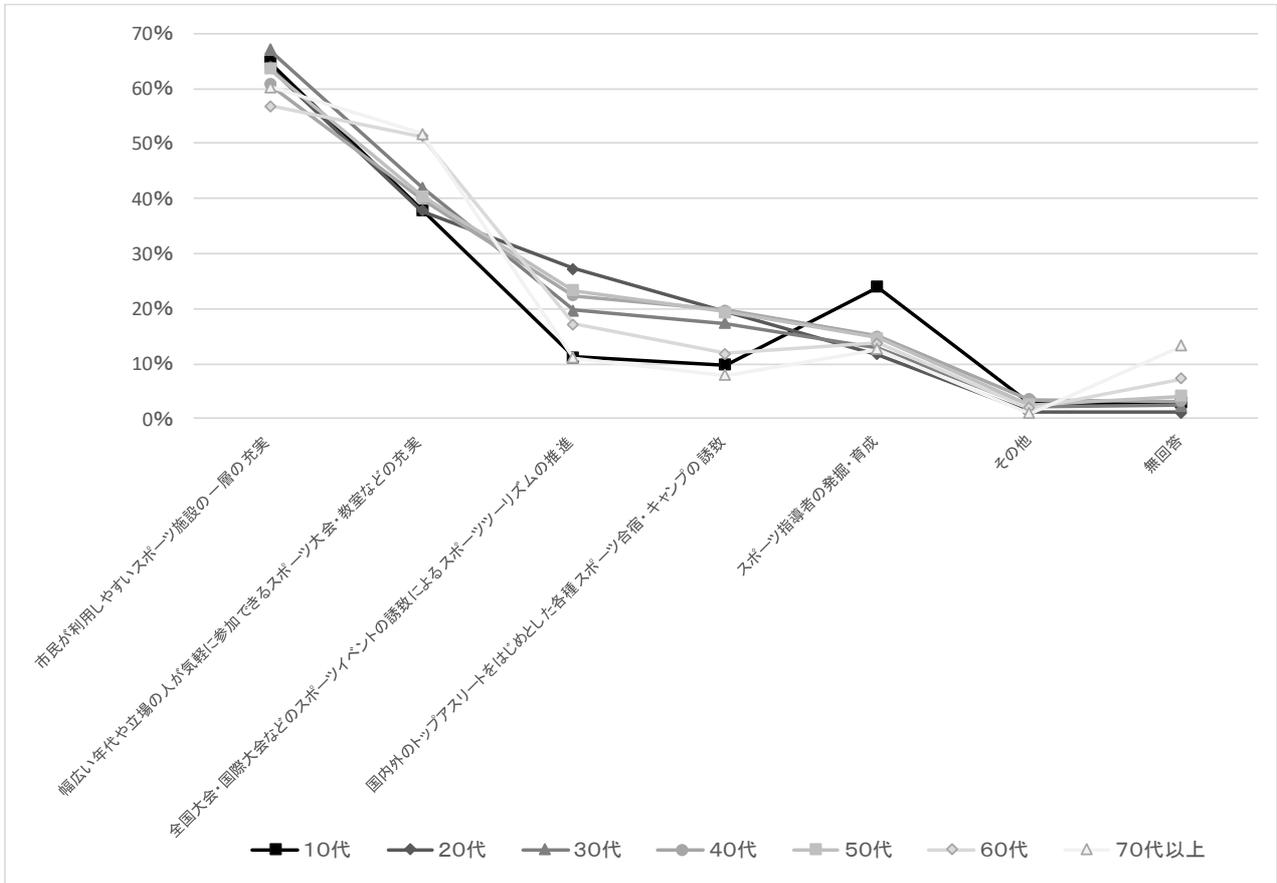


No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	市民が利用しやすいスポーツ施設の一層の充実	1,334	61.3	1,658	39.7
2	幅広い年代や立場の人が気軽に参加できるスポーツ大会・教室などの充実	975	44.8	2,549	61.1
3	全国大会・国際大会などのスポーツイベントの誘致によるスポーツツーリズムの推進	404	18.6	1,049	25.1
4	国内外のトップアスリートをはじめとした各種スポーツ合宿・キャンプの誘致	322	14.8	577	13.8
5	スポーツ指導者の発掘・育成	302	13.9	892	21.4
6	その他	46	2.1	108	2.6
7	無回答	135	6.2	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,173	-

※平成 26 年度の選択肢は、「1. スポーツ施設の一層の充実」「2. 幅広い年代や立場の人が気軽にスポーツを楽しめるような機会の創出」「3. 全国大会・国際大会などのトップレベルのスポーツイベントの誘致」「4. 国内外のトップアスリートをはじめとした各種スポーツ合宿の誘致」「5. スポーツ指導者の育成」となっています。

<年代別集計>

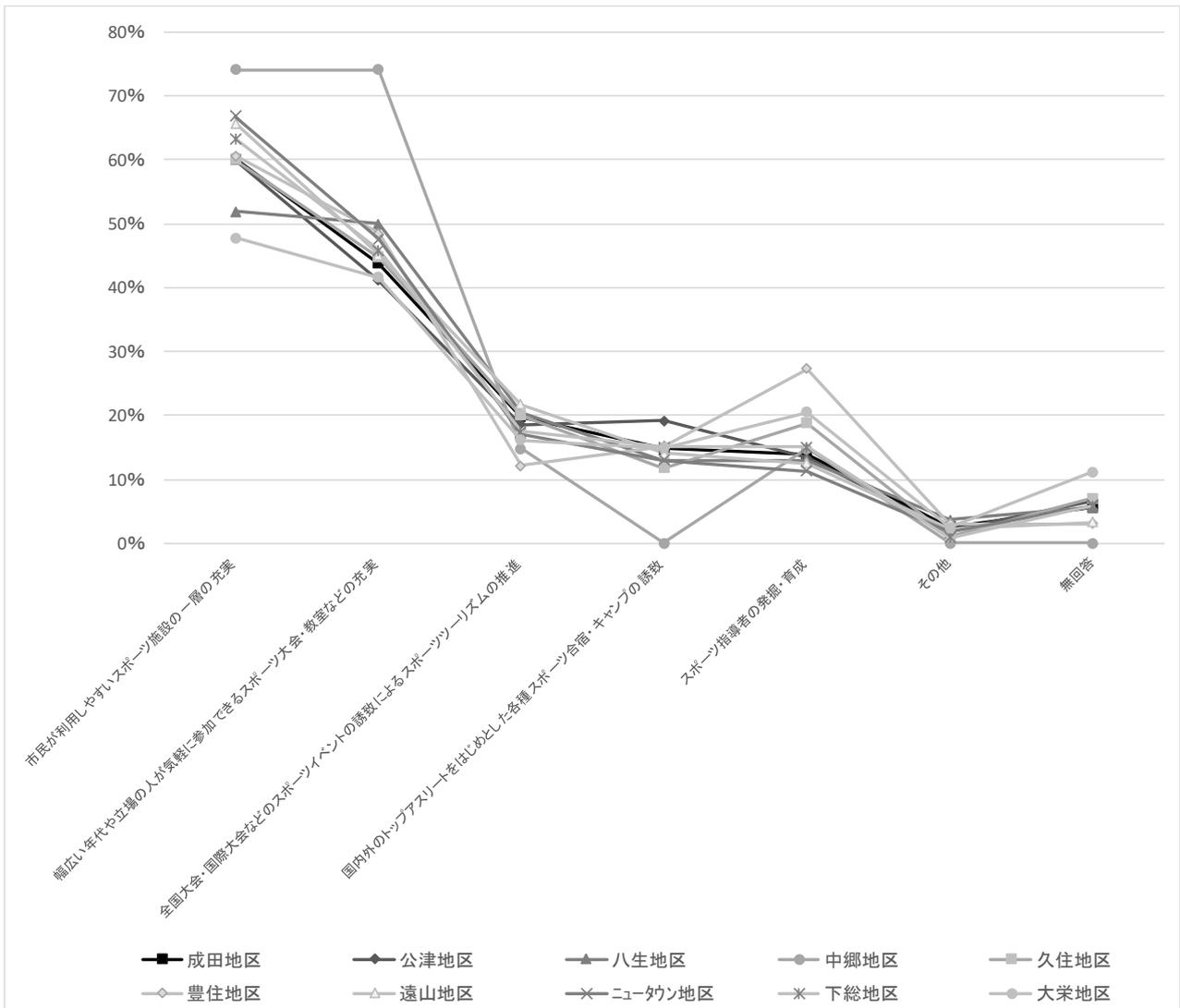
年代別にみると、概ね同傾向を示しています。「幅広い年代や立場の人が気軽に参加できるスポーツ大会・教室などの充実」は60代以上で多くっており、年代の低い方より、年代が高い方のほうがスポーツをする機会をより求めていることがわかります。



		全体	市民が利用しやすいスポーツ施設の一層の充実	幅広い年代や立場の人が気軽に参加できるスポーツ大会・教室などの充実	全国大会・国際大会などのスポーツイベントの誘致によるスポーツツーリズムの推進	国内外のトップアスリートをはじめとした各種スポーツ合宿・キャンプの誘致	スポーツ指導者の発掘・育成	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,334	975	404	322	302	46	135
	10代	71	46	27	8	7	17	2	2
	20代	180	115	68	49	35	21	2	2
	30代	300	201	126	59	52	39	6	7
	40代	380	231	152	85	75	57	13	12
	50代	321	204	130	75	62	47	8	13
	60代	415	236	213	71	49	57	8	30
	70代以上	482	291	250	53	38	61	5	64
	無回答	27	10	9	4	4	3	2	5
割合(%)	全体	100.0	61.3	44.8	18.6	14.8	13.9	2.1	6.2
	10代	100.0	64.8	38.0	11.3	9.9	23.9	2.8	2.8
	20代	100.0	63.9	37.8	27.2	19.4	11.7	1.1	1.1
	30代	100.0	67.0	42.0	19.7	17.3	13.0	2.0	2.3
	40代	100.0	60.8	40.0	22.4	19.7	15.0	3.4	3.2
	50代	100.0	63.6	40.5	23.4	19.3	14.6	2.5	4.0
	60代	100.0	56.9	51.3	17.1	11.8	13.7	1.9	7.2
	70代以上	100.0	60.4	51.9	11.0	7.9	12.7	1.0	13.3
	無回答	100.0	37.0	33.3	14.8	14.8	11.1	7.4	18.5

<地区別集計>

地区別にみると、概ね同傾向を示しています。また、「スポーツ指導者の発掘・育成」は豊住・大栄地区で多くなっています。

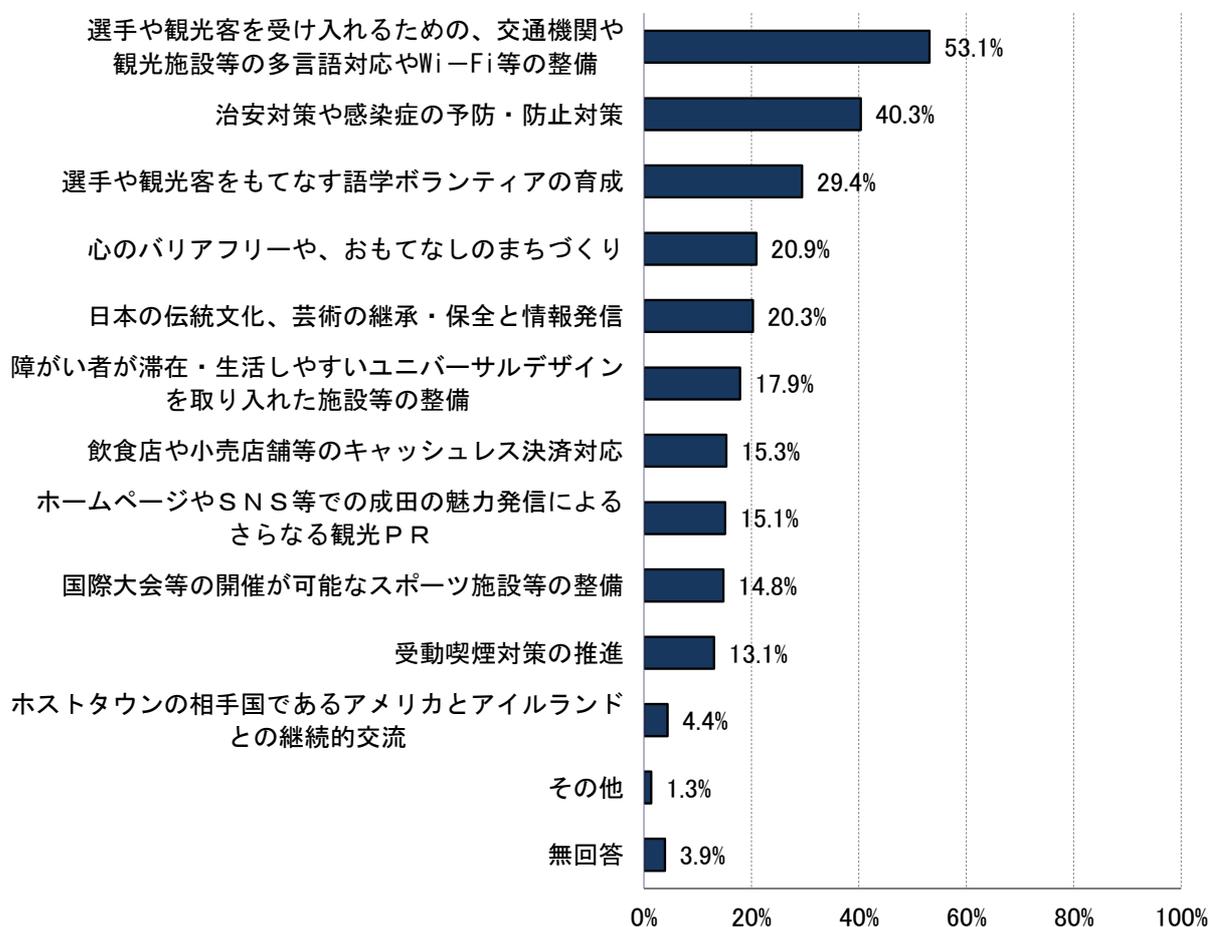


		全体	市民が利用しやすいスポーツ施設の一層の充実	幅広い年代や立場の人が気軽に参加できるスポーツ大会・教室などの充実	全国大会・国際大会などのスポーツイベントの誘致によるスポーツツーリズムの推進	国内外のトップアスリートをはじめとした各種スポーツ合宿・キャンプの誘致	スポーツ指導者の発掘・育成	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,334	975	404	322	302	46	136
	成田地区	592	356	259	117	88	82	15	34
	公津地区	360	216	148	67	69	48	7	24
	八生地区	54	28	27	11	7	7	2	3
	中郷地区	27	20	20	4	0	4	0	0
	久住地区	85	51	38	17	10	16	1	6
	豊住地区	33	20	16	4	5	9	1	1
	遠山地区	184	121	83	40	26	23	4	6
	ニュータウン地区	515	344	245	88	67	58	9	31
	下総地区	120	76	55	21	18	18	1	7
	大栄地区	161	77	67	26	24	33	4	18
	その他	5	4	3	2	0	1	0	0
	無回答	40	21	14	7	8	3	2	6
割合(%)	全体	100.0	61.3	44.8	18.6	14.8	13.9	2.1	6.3
	成田地区	100.0	60.1	43.8	19.8	14.9	13.9	2.5	5.7
	公津地区	100.0	60.0	41.1	18.6	19.2	13.3	1.9	6.7
	八生地区	100.0	51.9	50.0	20.4	13.0	13.0	3.7	5.6
	中郷地区	100.0	74.1	74.1	14.8	0.0	14.8	0.0	0.0
	久住地区	100.0	60.0	44.7	20.0	11.8	18.8	1.2	7.1
	豊住地区	100.0	60.6	48.5	12.1	15.2	27.3	3.0	3.0
	遠山地区	100.0	65.8	45.1	21.7	14.1	12.5	2.2	3.3
	ニュータウン地区	100.0	66.8	47.6	17.1	13.0	11.3	1.7	6.0
	下総地区	100.0	63.3	45.8	17.5	15.0	15.0	0.8	5.8
	大栄地区	100.0	47.8	41.6	16.1	14.9	20.5	2.5	11.2
	その他	100.0	80.0	60.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	無回答	100.0	52.5	35.0	17.5	20.0	7.5	5.0	15.0

(4) 2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とした地域活性化やレガシーの創出につなげる取り組み

問 28 2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を間近に控えていますが、開催を契機とした地域活性化やレガシー（遺産）の創出につなげる取り組みとして、市はどのようなことに力を入れるべきであるとお考えですか。あてはまる番号 **3つ以内**を○で囲んでください。

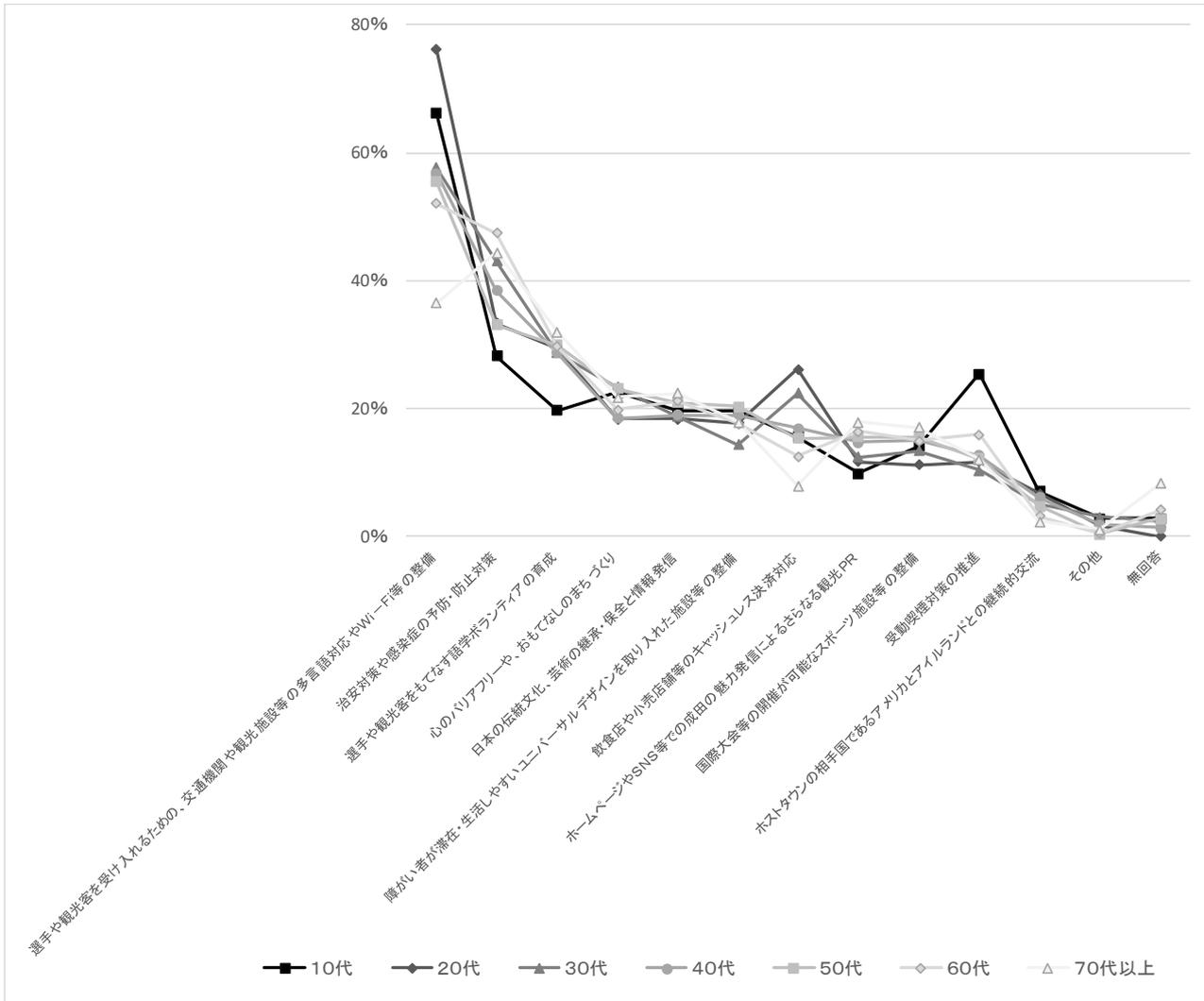
2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とした地域活性化やレガシーの創出につなげる取り組みとして、市が力を入れるべきことは、「選手や観光客を受け入れるための、交通機関や観光施設等の多言語対応やWi-Fi等の整備」が53.1%と最も多く、次いで「治安対策や感染症の予防・防止対策」40.3%、「選手や観光客をもてなす語学ボランティアの育成」29.4%となっています。



No.	選択肢	人数(人)	割合(%)
1	選手や観光客を受け入れるための、交通機関や観光施設等の多言語対応やWi-Fi等の整備	1,156	53.1
2	治安対策や感染症の予防・防止対策	878	40.3
3	選手や観光客をもてなす語学ボランティアの育成	640	29.4
4	心のバリアフリーや、おもてなしのまちづくり	455	20.9
5	日本の伝統文化、芸術の継承・保全と情報発信	441	20.3
6	障がい者が滞在・生活しやすいユニバーサルデザインを取り入れた施設等の整備	389	17.9
7	飲食店や小売店舗等のキャッシュレス決済対応	334	15.3
8	ホームページやSNS等での成田の魅力発信によるさらなる観光PR	329	15.1
9	国際大会等の開催が可能なスポーツ施設等の整備	322	14.8
10	受動喫煙対策の推進	284	13.1
11	ホストタウンの相手国であるアメリカとアイルランドとの継続的交流	96	4.4
12	その他	29	1.3
13	無回答	85	3.9
	回答者数	2,176	100.0

<年代別集計>

年代別にみると、ほとんどの年代において「選手や観光客を受け入れるための、交通機関や観光施設等の多言語対応やWi-Fi等の整備」が最も多く、特に低い年代で多くなっています。高い年代では、「治安対策や感染症の予防・防止対策」が多くなっています。また、「飲食店や小売店舗等のキャッシュレス決済対応」は、20代、30代で多くなっています。

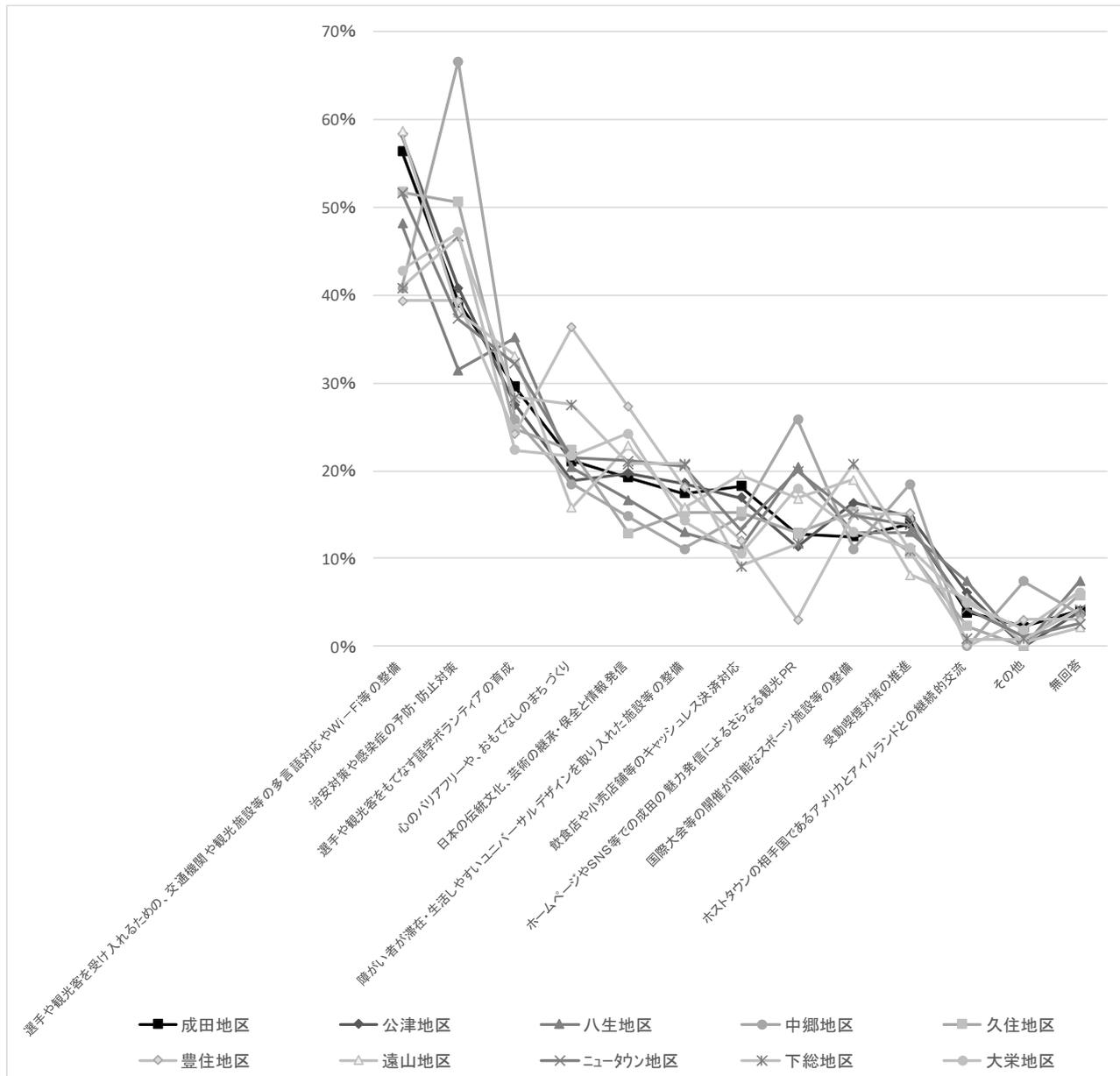


無回答	その他	ホストタウンの相手国であるアメリカとアイルランドとの継続的交流	受動喫煙対策の推進	国際大会等の開催が可能なスポーツ施設等の整備	ホームページやSNS等での成田の魅力発信によるさらなる観光PR	飲食店や小売店舗等のキャッシュレス決済対応	障がい者が滞在・生活しやすいユニバーサルデザインを取り入れた施設等の整備	日本の伝統文化、芸術の継承・保全と情報発信	心のバリアフリーや、おもてなしのまちづくり	選手や観光客をもてなす語学ボランティアの育成	治安対策や感染症の予防・防止対策	選手や観光客を受け入れるための、交通機関や観光施設等の多言語対応やWiFi等の整備	全体
-----	-----	---------------------------------	-----------	------------------------	---------------------------------	-----------------------	--------------------------------------	-----------------------	-----------------------	------------------------	------------------	---	----

		人数(人)																											
		全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答										
割合(%)	全体	2,176	1,156	878	640	455	441	389	334	329	322	284	96	29	85	100.0	53.1	40.3	29.4	20.9	20.3	17.9	15.3	15.1	14.8	13.1	4.4	1.3	3.9
	10代	71	47	20	14	16	14	14	11	7	10	18	5	2	2	100.0	66.2	28.2	19.7	22.5	19.7	19.7	15.5	9.9	14.1	25.4	7.0	2.8	2.8
	20代	180	137	60	53	33	33	32	47	21	20	21	12	3	0	100.0	76.1	33.3	29.4	18.3	18.3	17.8	26.1	11.7	11.1	11.7	6.7	1.7	0.0
	30代	300	173	129	86	70	56	43	67	37	40	31	15	9	7	100.0	57.7	43.0	28.7	23.3	18.7	14.3	22.3	12.3	13.3	10.3	5.0	3.0	2.3
	40代	380	216	146	109	70	72	72	64	56	57	48	23	7	5	100.0	56.8	38.4	28.7	18.4	18.9	18.9	16.8	14.7	15.0	12.6	6.1	1.8	1.3
	50代	321	178	106	96	74	67	65	49	50	50	39	15	1	9	100.0	55.5	33.0	29.9	23.1	20.9	20.2	15.3	15.6	15.6	12.1	4.7	0.3	2.8
	60代	415	216	197	123	82	88	73	52	68	62	66	13	2	17	100.0	52.0	47.5	29.6	19.8	21.2	17.6	12.5	16.4	14.9	15.9	3.1	0.5	4.1
	70代以上	482	176	214	154	105	108	86	38	86	82	58	11	5	40	100.0	36.5	44.4	32.0	21.8	22.4	17.8	7.9	17.8	17.0	12.0	2.3	1.0	8.3
	無回答	27	13	6	5	5	3	4	6	4	1	3	2	0	5	100.0	48.1	22.2	18.5	18.5	11.1	14.8	22.2	14.8	3.7	11.1	7.4	0.0	18.5

<地区別集計>

地区別にみると、どの地区においても「選手や観光客を受け入れるための、交通機関や観光施設等の多言語対応やWi-Fi等の整備」「治安対策や感染症の予防・防止対策」が多く、概ね同傾向を示しています。



全体	選手や観光客を受け入れるための、交通機関や観光施設等の多言語対応やWiFi等の整備	治安対策や感染症の予防・防止対策	選手や観光客をもてなす語学ボランティアの育成	心のバリアフリーや、おもてなしのまちづくり	日本の伝統文化、芸術の継承・保全と情報発信	障がい者が滞在・生活しやすいユニバーサルデザインを取り入れた施設等の整備	飲食店や小売店舗等のキャッシュレス決済対応	ホームページやSNS等での成田の魅力発信によるさらなる観光PR	国際大会等の開催が可能なスポーツ施設等の整備	受動喫煙対策の推進	ホストタウンの相手国であるアメリカとアイルランドとの継続的交流	その他	無回答
----	---	------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------	--------------------------------------	-----------------------	---------------------------------	------------------------	-----------	---------------------------------	-----	-----

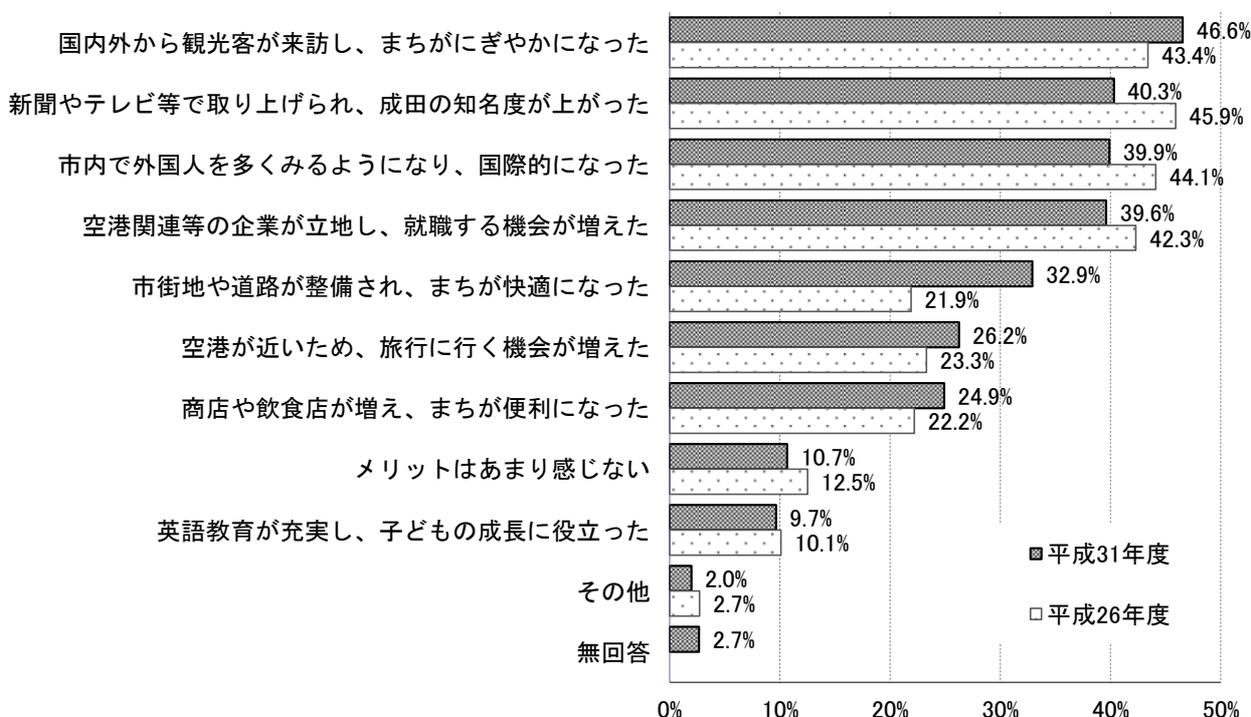
人数(人)	全体	2,176	1,156	878	640	455	441	389	334	329	322	284	96	29	85	
	成田地区	592	334	232	175	125	114	103	108	76	74	83	23	13	24	
	公津地区	360	210	147	99	68	71	67	61	41	59	53	22	0	14	
	八生地区	54	26	17	19	11	9	7	6	11	7	7	4	0	4	
	中郷地区	27	11	18	7	5	4	3	4	7	3	5	0	2	1	
	久住地区	85	44	43	21	19	11	13	13	11	13	9	2	0	5	
	豊住地区	33	13	13	8	12	9	6	4	1	5	5	0	1	1	
	遠山地区	184	108	70	61	29	42	29	36	31	35	15	10	1	4	
	ニュータウン地区	515	266	192	166	111	109	106	68	103	77	71	22	6	13	
	下総地区	120	49	56	34	33	25	25	11	14	25	13	1	1	5	
	大栄地区	161	69	76	36	35	39	23	17	29	21	18	8	3	10	
	その他	5	2	4	2	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	
	無回答	40	24	10	12	7	7	7	7	6	4	2	4	3	2	4
	割合(%)	全体	100.0	53.1	40.3	29.4	20.9	20.3	17.9	15.3	15.1	14.8	13.1	4.4	1.3	3.9
成田地区		100.0	56.4	39.2	29.6	21.1	19.3	17.4	18.2	12.8	12.5	14.0	3.9	2.2	4.1	
公津地区		100.0	58.3	40.8	27.5	18.9	19.7	18.6	16.9	11.4	16.4	14.7	6.1	0.0	3.9	
八生地区		100.0	48.1	31.5	35.2	20.4	16.7	13.0	11.1	20.4	13.0	13.0	7.4	0.0	7.4	
中郷地区		100.0	40.7	66.7	25.9	18.5	14.8	11.1	14.8	25.9	11.1	18.5	0.0	7.4	3.7	
久住地区		100.0	51.8	50.6	24.7	22.4	12.9	15.3	15.3	12.9	15.3	10.6	2.4	0.0	5.9	
豊住地区		100.0	39.4	39.4	24.2	36.4	27.3	18.2	12.1	3.0	15.2	15.2	0.0	3.0	3.0	
遠山地区		100.0	58.7	38.0	33.2	15.8	22.8	15.8	19.6	16.8	19.0	8.2	5.4	0.5	2.2	
ニュータウン地区		100.0	51.7	37.3	32.2	21.6	21.2	20.6	13.2	20.0	15.0	13.8	4.3	1.2	2.5	
下総地区		100.0	40.8	46.7	28.3	27.5	20.8	20.8	9.2	11.7	20.8	10.8	0.8	0.8	4.2	
大栄地区		100.0	42.9	47.2	22.4	21.7	24.2	14.3	10.6	18.0	13.0	11.2	5.0	1.9	6.2	
その他		100.0	40.0	80.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	
無回答		100.0	60.0	25.0	30.0	17.5	17.5	17.5	15.0	10.0	5.0	10.0	7.5	5.0	10.0	

## 4. 空港・都市基盤について

### (1) 成田空港が立地することのメリット

問 29 成田空港が立地することについて、どのようなメリットがあると思いますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

成田空港が立地することのメリットは、「国内外から観光客が来訪し、まちがにぎやかになった」が46.6%と最も多く、次いで「新聞やテレビ等で取り上げられ、成田の知名度が上がった」40.3%、「市内で外国人を多くみるようになり、国際的になった」39.9%となっています。平成26年度と比較すると、「市街地や道路が整備され、まちが快適になった」が大きく増加しています。

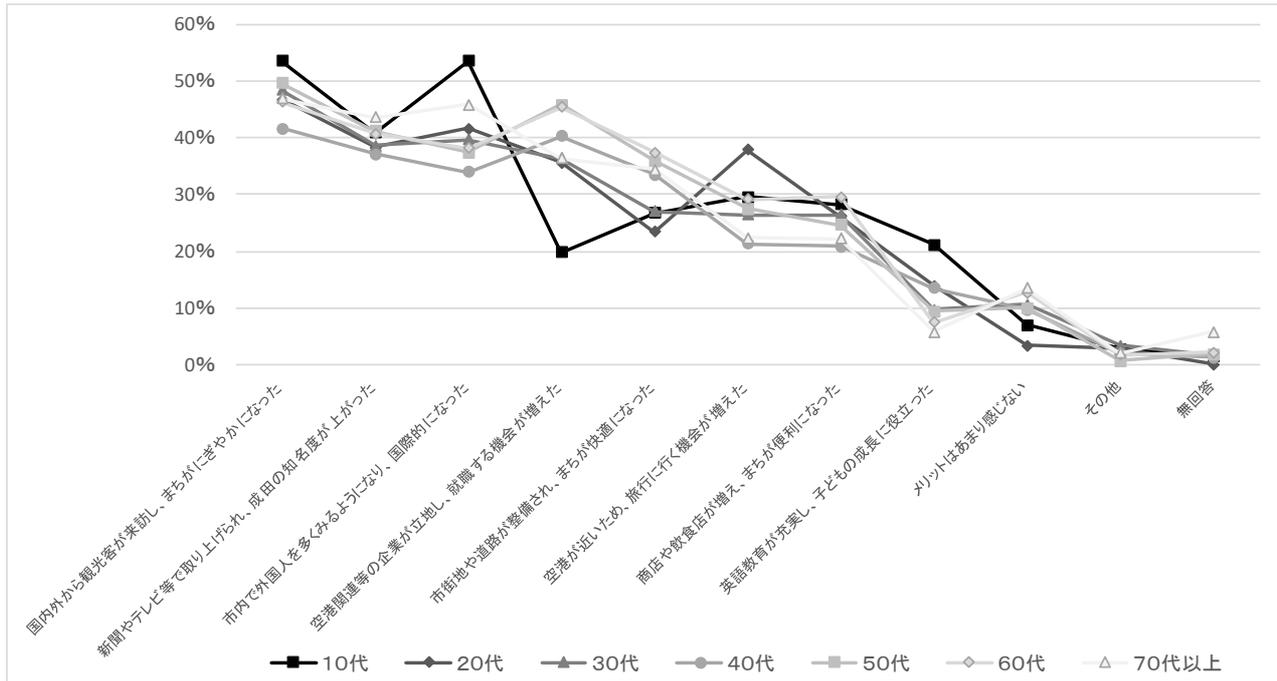


No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	国内外から観光客が来訪し、まちがにぎやかになった	1,013	46.6	1,877	43.4
2	新聞やテレビ等で取り上げられ、成田の知名度が上がった	877	40.3	1,983	45.9
3	市内で外国人を多くみるようになり、国際的になった	868	39.9	1,904	44.1
4	空港関連等の企業が立地し、就職する機会が増えた	862	39.6	1,828	42.3
5	市街地や道路が整備され、まちが快適になった	716	32.9	948	21.9
6	空港が近いため、旅行に行く機会が増えた	571	26.2	1,006	23.3
7	商店や飲食店が増え、まちが便利になった	542	24.9	961	22.2
8	メリットはあまり感じない	232	10.7	540	12.5
9	英語教育が充実し、子どもの成長に役立った	210	9.7	435	10.1
10	その他	43	2.0	116	2.7
11	無回答	58	2.7	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,322	-

※平成 26 年度の選択肢は、「1. 国内外から空港利用客が来訪し、まちがにぎやかになった」「5. 市街地から道路が整備され、まちが快適になった」となっています。

<年代別集計>

年代別にみると、どの年代においても「国内外から観光客が来訪し、まちがにぎやかになった」が最も多く、同傾向を示しています。

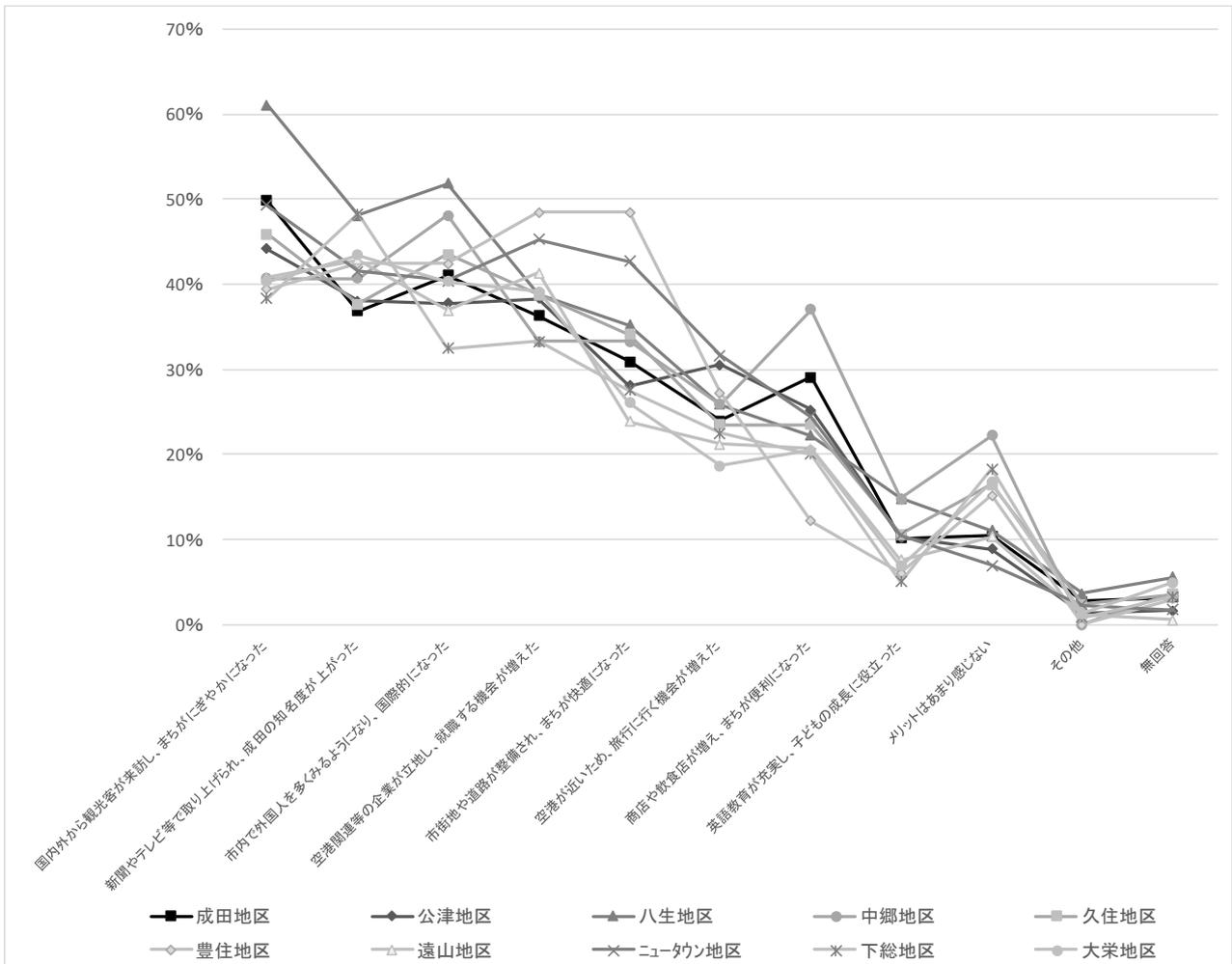


		全体	まちがにぎやかになった	国内外から観光客が来訪し、成田の知名度が上がった	新聞やテレビ等で取り上げられ、国際的になった	市内で外国人を多くみるようになり、国際的になった	空港関連等の企業が立地し、就職する機会が増えた	市街地や道路が整備され、まちが快適になった	空港が近いので、旅行に行く機会が増えた	商店や飲食店が増え、まちが便利になった	英語教育が充実し、子どもの成長に役立った	メリットはあまり感じない	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,013	877	868	862	716	571	542	210	232	43	58	
	10代	71	38	29	38	14	19	21	20	15	5	2	1	
	20代	180	84	69	75	64	42	68	47	25	6	5	0	
	30代	300	145	116	119	109	81	79	79	29	32	10	5	
	40代	380	158	141	129	153	127	81	79	51	37	7	5	
	50代	321	159	132	120	147	115	88	79	30	32	2	6	
	60代	415	192	169	158	188	155	121	123	31	53	7	9	
	70代以上	482	226	210	221	175	166	108	107	28	65	10	28	
	無回答	27	11	11	8	12	11	5	8	1	2	0	4	
割合(%)	全体	100.0	46.6	40.3	39.9	39.6	32.9	26.2	24.9	9.7	10.7	2.0	2.7	
	10代	100.0	53.5	40.8	53.5	19.7	26.8	29.6	28.2	21.1	7.0	2.8	1.4	
	20代	100.0	46.7	38.3	41.7	35.6	23.3	37.8	26.1	13.9	3.3	2.8	0.0	
	30代	100.0	48.3	38.7	39.7	36.3	27.0	26.3	26.3	9.7	10.7	3.3	1.7	
	40代	100.0	41.6	37.1	33.9	40.3	33.4	21.3	20.8	13.4	9.7	1.8	1.3	
	50代	100.0	49.5	41.1	37.4	45.8	35.8	27.4	24.6	9.3	10.0	0.6	1.9	
	60代	100.0	46.3	40.7	38.1	45.3	37.3	29.2	29.6	7.5	12.8	1.7	2.2	
	70代以上	100.0	46.9	43.6	45.9	36.3	34.4	22.4	22.2	5.8	13.5	2.1	5.8	
	無回答	100.0	40.7	40.7	29.6	44.4	40.7	18.5	29.6	3.7	7.4	0.0	14.8	

<地区別集計>

地区別にみると、「国内外から観光客が来訪し、まちがにぎやかになった」が多くの地区で最も多くなっています。遠山・下総・大栄地区では、「新聞やテレビ等で取り上げられ、成田の知名度が上がった」が最も多くなっています。

いずれの地区においても、観光客の増加によりまちがにぎやかになったこと、成田市知名度が向上したこと、外国人を多くみるようになり国際的になったことがメリットとしてあげられています。

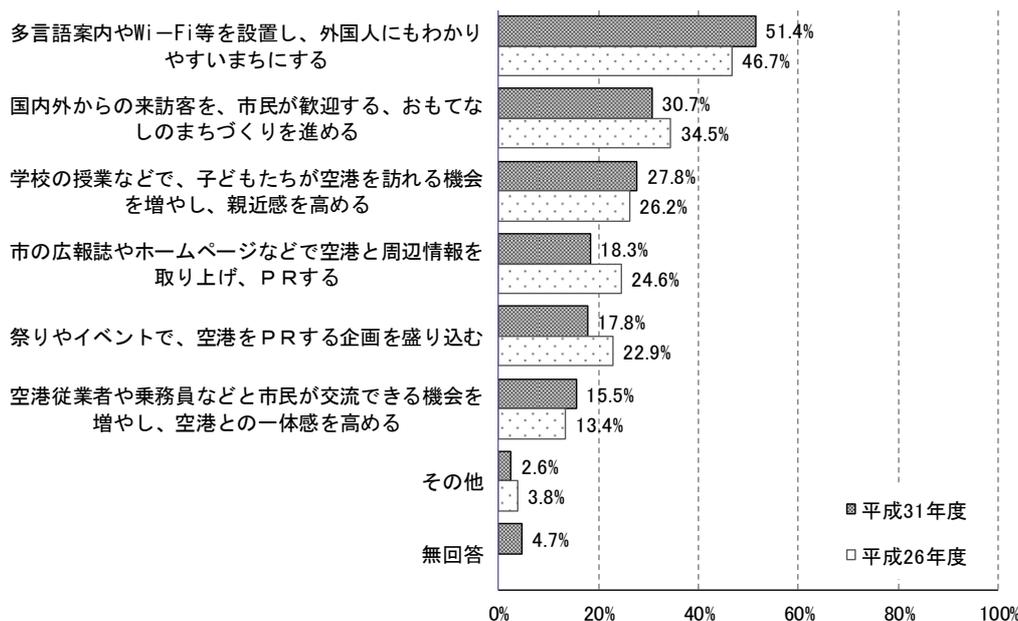


		全体	国内外から観光客が来訪し、まちがにぎやかになった	新聞やテレビ等で取り上げられ、成田の知名度が上がった	市内で外国人を多くみるようになり、国際的になった	空港関連等の企業が立地し、就職する機会が増えた	市街地や道路が整備され、まちが快適になった	空港が近いいため、旅行に行く機会が増えた	商店や飲食店が増え、まちが便利になった	英語教育が充実し、子どもの成長に役立った	メリットはあまり感じない	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,013	877	868	862	716	571	542	210	232	43	58
	成田地区	592	295	218	243	215	183	142	172	60	62	16	19
	公津地区	360	159	137	136	138	101	110	91	37	32	5	6
	八生地区	54	33	26	28	21	19	14	12	8	6	2	3
	中郷地区	27	11	11	13	9	9	7	10	4	6	0	1
	久住地区	85	39	32	37	33	29	20	20	9	14	2	3
	豊住地区	33	13	14	14	16	16	9	4	2	5	0	1
	遠山地区	184	75	79	68	76	44	39	38	14	19	2	1
	ニュータウン地区	515	254	214	208	233	220	163	126	54	36	12	9
	下総地区	120	46	58	39	40	33	27	24	6	22	1	4
	大栄地区	161	65	70	65	63	42	30	33	11	27	2	8
	その他	5	5	1	3	2	3	1	2	1	0	0	0
	無回答	40	18	17	14	16	17	9	10	4	3	1	3
割合(%)	全体	100.0	46.6	40.3	39.9	39.6	32.9	26.2	24.9	9.7	10.7	2.0	2.7
	成田地区	100.0	49.8	36.8	41.0	36.3	30.9	24.0	29.1	10.1	10.5	2.7	3.2
	公津地区	100.0	44.2	38.1	37.8	38.3	28.1	30.6	25.3	10.3	8.9	1.4	1.7
	八生地区	100.0	61.1	48.1	51.9	38.9	35.2	25.9	22.2	14.8	11.1	3.7	5.6
	中郷地区	100.0	40.7	40.7	48.1	33.3	33.3	25.9	37.0	14.8	22.2	0.0	3.7
	久住地区	100.0	45.9	37.6	43.5	38.8	34.1	23.5	23.5	10.6	16.5	2.4	3.5
	豊住地区	100.0	39.4	42.4	42.4	48.5	48.5	27.3	12.1	6.1	15.2	0.0	3.0
	遠山地区	100.0	40.8	42.9	37.0	41.3	23.9	21.2	20.7	7.6	10.3	1.1	0.5
	ニュータウン地区	100.0	49.3	41.6	40.4	45.2	42.7	31.7	24.5	10.5	7.0	2.3	1.7
	下総地区	100.0	38.3	48.3	32.5	33.3	27.5	22.5	20.0	5.0	18.3	0.8	3.3
	大栄地区	100.0	40.4	43.5	40.4	39.1	26.1	18.6	20.5	6.8	16.8	1.2	5.0
	その他	100.0	100.0	20.0	60.0	40.0	60.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	100.0	45.0	42.5	35.0	40.0	42.5	22.5	25.0	10.0	7.5	2.5	7.5

## (2) 成田空港の魅力を高め、地域で支えていくための取り組み

問 30 成田空港の魅力を高め、地域で支えていくためには、どのような取り組みが望ましいとお考えですか。あてはまる番号**2つ以内**を○で囲んでください。

成田空港の魅力を高め、地域で支えていくための、望ましい取り組みは、「多言語案内やWi-Fi等を設置し、外国人にもわかりやすいまちにする」が51.4%と最も多く、次いで「国内外からの来訪客を、市民が歓迎する、おもてなしのまちづくりを進める」30.7%、「学校の授業などで、子どもたちが空港を訪れる機会を増やし、親近感を高める」27.8%となっています。平成26年度と比較すると概ね同傾向を示しています。

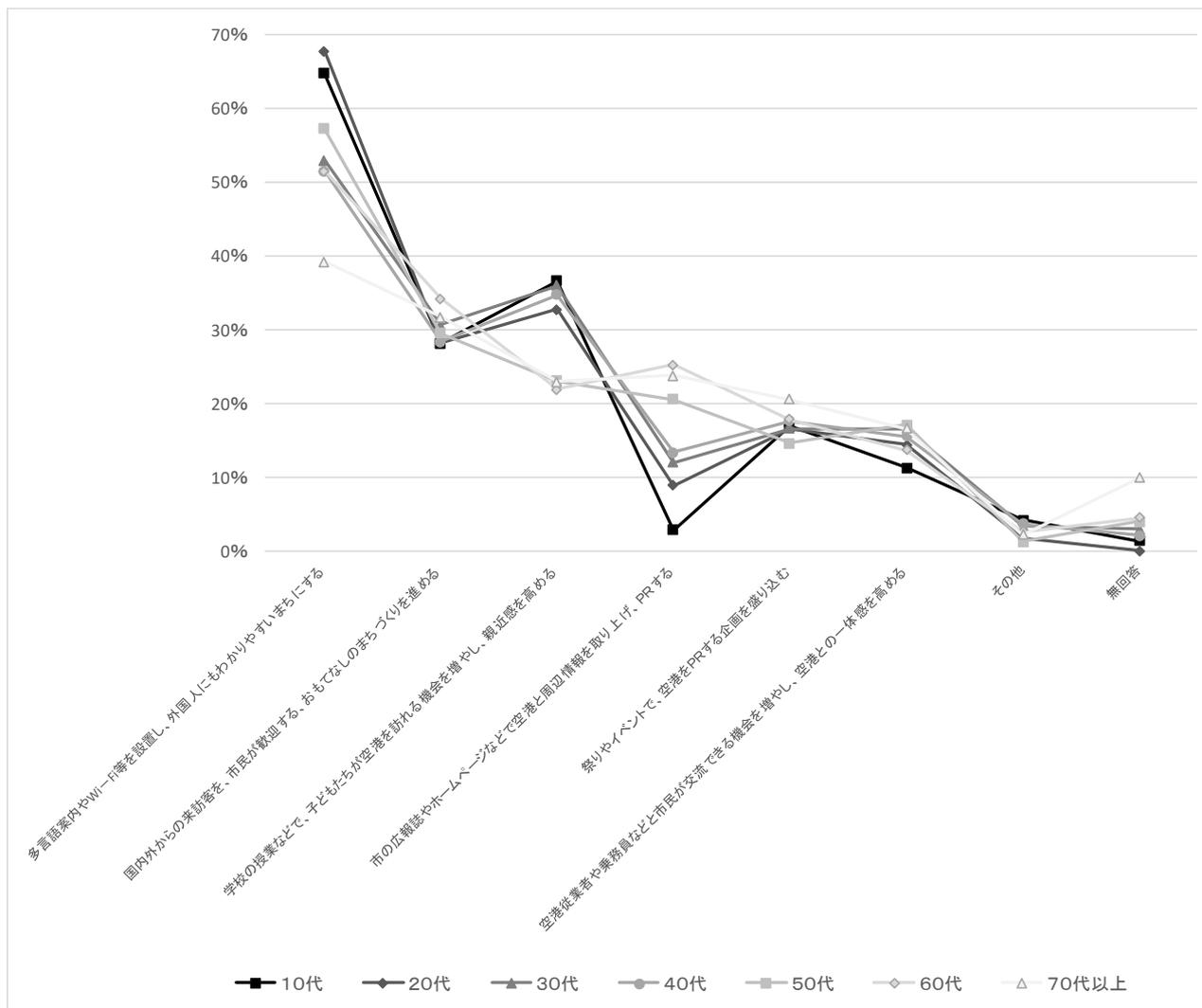


No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	多言語案内やWi-Fi等を設置し、外国人にもわかりやすいまちにする	1,119	51.4	1,950	46.7
2	国内外からの来訪客を、市民が歓迎する、おもてなしのまちづくりを進める	668	30.7	1,439	34.5
3	学校の授業などで、子どもたちが空港を訪れる機会を増やし、親近感を高める	605	27.8	1,092	26.2
4	市の広報誌やホームページなどで空港と周辺情報を取り上げ、PRする	399	18.3	1,028	24.6
5	祭りやイベントで、空港をPRする企画を盛り込む	387	17.8	955	22.9
6	空港従業者や乗務員などと市民が交流できる機会を増やし、空港との一体感を高める	338	15.5	561	13.4
7	その他	56	2.6	159	3.8
8	無回答	102	4.7	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,172	-

※平成26年度の選択肢は、「1. 中心地や人が集まる場所に多言語案内やWi-Fi等を設置し、外国人にもわかりやすいまちにする」「2. 国内外から市内への来訪客を、市民が歓迎し、もてなす地域づくりを進める」「3. 学校の授業などで子どもたちが空港を訪れる機会を増やし、地元意識を高める」「5. 市で行う祭りやイベントで、空港を意識した企画を盛り込み、地元意識を高める」「6. 空港従業者や乗務員などと市民が交流できる機会を増やし、地元意識を高める」となっています。

<年代別集計>

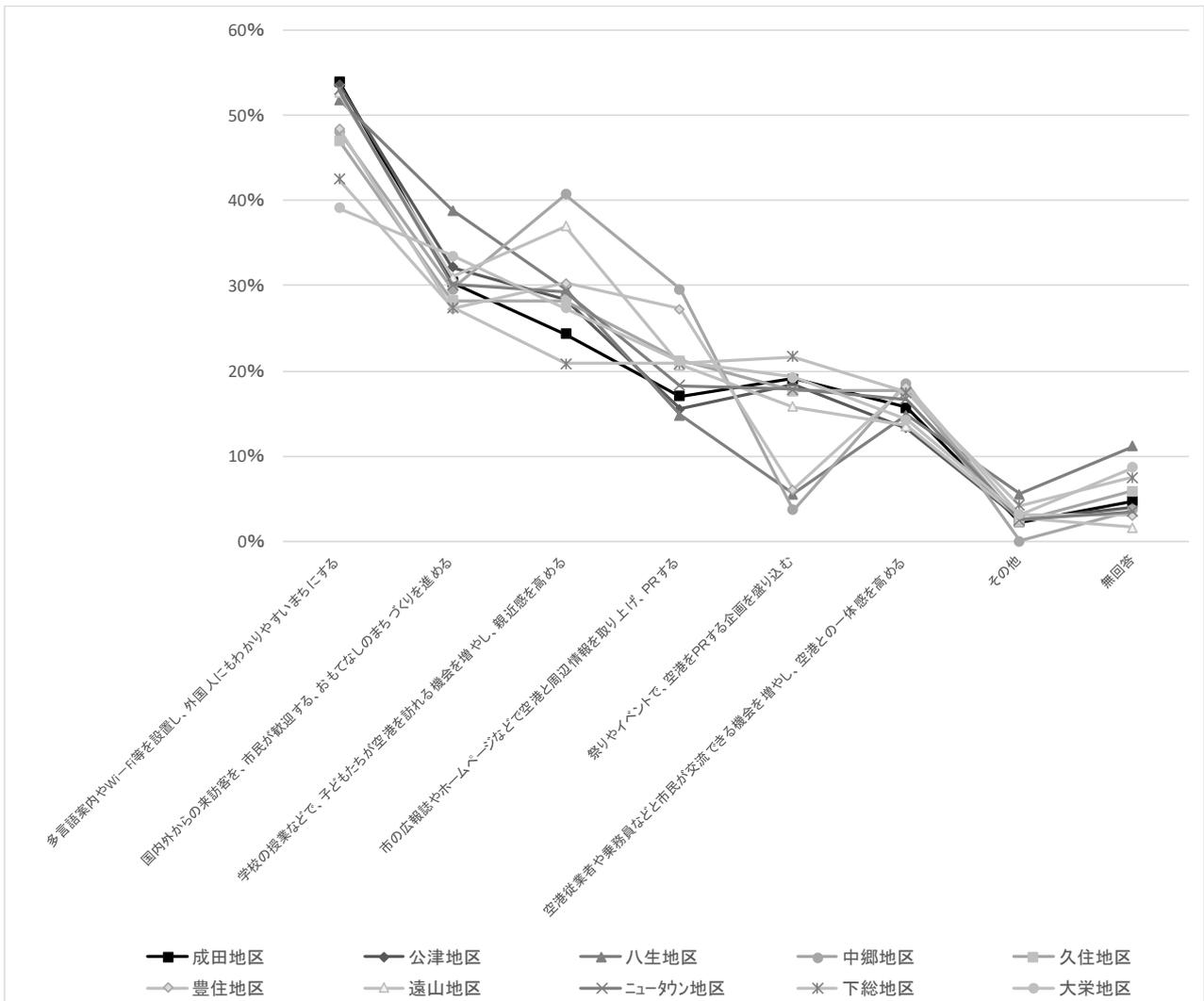
年代別にみると、どの年代においても「多言語案内や Wi-Fi 等を設置し、外国人にもわかりやすいまちにする」が最も多く、同傾向を示しています。「学校の授業などで、子どもたちが空港を訪れる機会を増やし、親近感を高める」は低い年代で多く、「市の広報誌やホームページなどで空港と周辺情報を取り上げ、PRする」は高い年代で多くなっています。



		全体	多言語案内やミーコ等を設置し、外国人にもわかりやすいまちにする	国内外からの来訪客を、市民が歓迎する、おもてなしのまちづくりを進める	学校の授業などで、子どもたちが空港を訪れる機会を増やし、親近感を高める	市の広報誌やホームページなどで空港と周辺情報を取り上げ、PRする	祭りやイベントで、空港をPRする企画を盛り込む	空港従業者や乗務員などと市民が交流できる機会を増やし、空港との一体感を高める	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,119	668	605	399	387	338	56	102
	10代	71	46	20	26	2	12	8	3	1
	20代	180	122	51	59	16	30	26	3	0
	30代	300	159	92	108	36	50	50	10	9
	40代	380	196	108	132	51	67	59	14	8
	50代	321	184	95	74	66	47	55	4	13
	60代	415	214	142	91	105	74	57	11	19
	70代以上	482	189	153	111	115	99	80	11	48
	無回答	27	9	7	4	8	8	3	0	4
割合(%)	全体	100.0	51.4	30.7	27.8	18.3	17.8	15.5	2.6	4.7
	10代	100.0	64.8	28.2	36.6	2.8	16.9	11.3	4.2	1.4
	20代	100.0	67.8	28.3	32.8	8.9	16.7	14.4	1.7	0.0
	30代	100.0	53.0	30.7	36.0	12.0	16.7	16.7	3.3	3.0
	40代	100.0	51.6	28.4	34.7	13.4	17.6	15.5	3.7	2.1
	50代	100.0	57.3	29.6	23.1	20.6	14.6	17.1	1.2	4.0
	60代	100.0	51.6	34.2	21.9	25.3	17.8	13.7	2.7	4.6
	70代以上	100.0	39.2	31.7	23.0	23.9	20.5	16.6	2.3	10.0
	無回答	100.0	33.3	25.9	14.8	29.6	29.6	11.1	0.0	14.8

<地区別集計>

地区別にみると、どの地区においても「多言語案内や Wi-Fi 等を設置し、外国人にもわかりやすいまちにする」が最も多く、概ね同傾向を示しています。

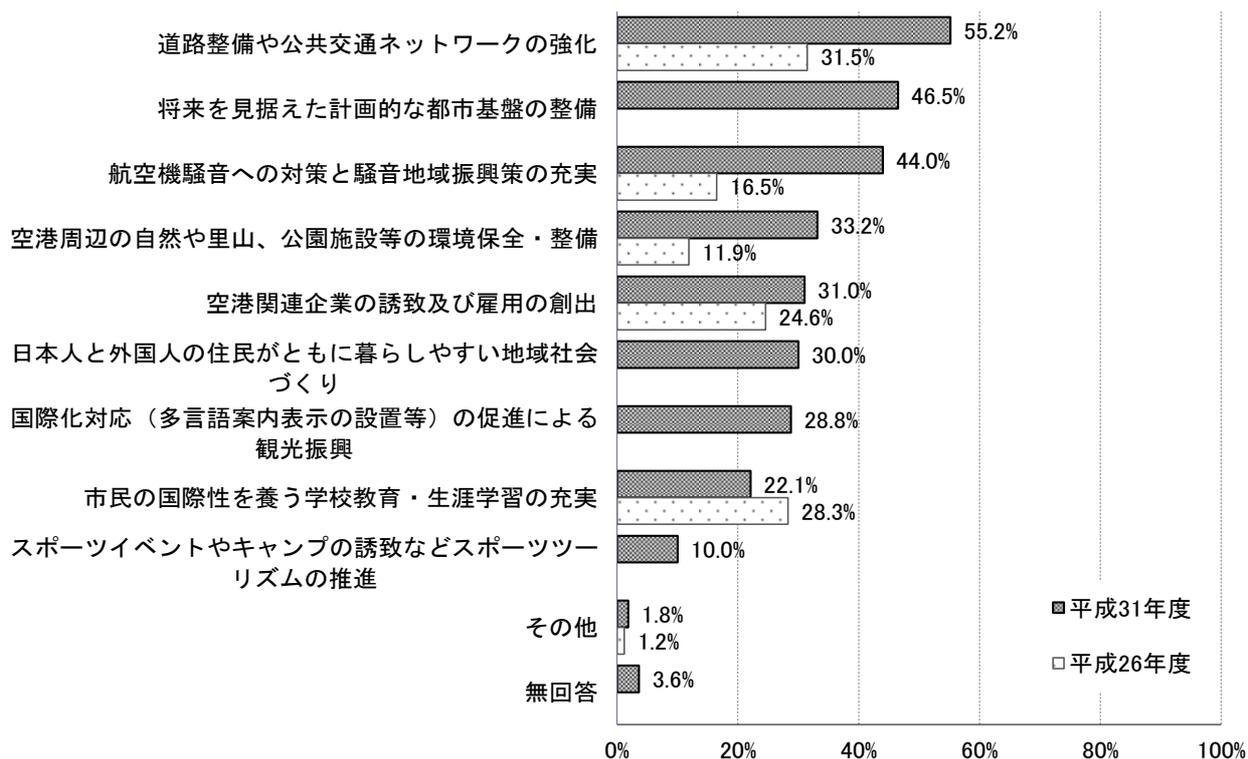


		全体	多言語案内やミーコ等を設置し、外国人にもわかりやすいまちにする	国内外からの来訪客を、市民が歓迎する、おもてなしのまちづくりを進める	学校の授業などで、子どもたちが空港を訪れる機会を増やし、親近感を高める	市の広報誌やホームページなどで空港と周辺情報を取り上げ、PRする	祭りやイベントで、空港をPRする企画を盛り込む	空港従業者や乗務員などと市民が交流できる機会を増やし、空港との一体感を高める	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,119	668	605	399	387	338	56	102
	成田地区	592	320	180	144	101	113	93	13	28
	公津地区	360	193	116	102	56	66	48	9	14
	八生地区	54	28	21	16	8	3	8	3	6
	中郷地区	27	13	8	11	8	1	5	0	1
	久住地区	85	40	24	24	18	15	15	2	5
	豊住地区	33	16	9	10	9	2	6	1	1
	遠山地区	184	97	57	68	38	29	25	5	3
	ニュータウン地区	515	273	155	151	94	92	86	13	18
	下総地区	120	51	33	25	25	26	21	5	9
	大栄地区	161	63	54	44	34	31	23	5	14
	その他	5	5	2	0	0	1	0	0	0
	無回答	40	20	9	10	8	8	8	0	3
割合(%)	全体	100.0	51.4	30.7	27.8	18.3	17.8	15.5	2.6	4.7
	成田地区	100.0	54.1	30.4	24.3	17.1	19.1	15.7	2.2	4.7
	公津地区	100.0	53.6	32.2	28.3	15.6	18.3	13.3	2.5	3.9
	八生地区	100.0	51.9	38.9	29.6	14.8	5.6	14.8	5.6	11.1
	中郷地区	100.0	48.1	29.6	40.7	29.6	3.7	18.5	0.0	3.7
	久住地区	100.0	47.1	28.2	28.2	21.2	17.6	17.6	2.4	5.9
	豊住地区	100.0	48.5	27.3	30.3	27.3	6.1	18.2	3.0	3.0
	遠山地区	100.0	52.7	31.0	37.0	20.7	15.8	13.6	2.7	1.6
	ニュータウン地区	100.0	53.0	30.1	29.3	18.3	17.9	16.7	2.5	3.5
	下総地区	100.0	42.5	27.5	20.8	20.8	21.7	17.5	4.2	7.5
	大栄地区	100.0	39.1	33.5	27.3	21.1	19.3	14.3	3.1	8.7
	その他	100.0	100.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	100.0	50.0	22.5	25.0	20.0	20.0	20.0	0.0	7.5

### (3) 空港を活かしたまちづくりを進めるうえでの今後の取り組み

問 31 成田空港では、新たな滑走路の建設を含めた更なる機能強化が進められていますが、空港を活かしたまちづくりを進めるうえで、今後どのような取り組みが重要になるとお考えですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

空港を活かしたまちづくりで重要な取り組みは、「道路整備や公共交通ネットワークの強化」が55.2%と最も多く、次いで「将来を見据えた計画的な都市基盤の整備」46.5%、「航空機騒音への対策と騒音地域振興策の充実」44.0%となっています。



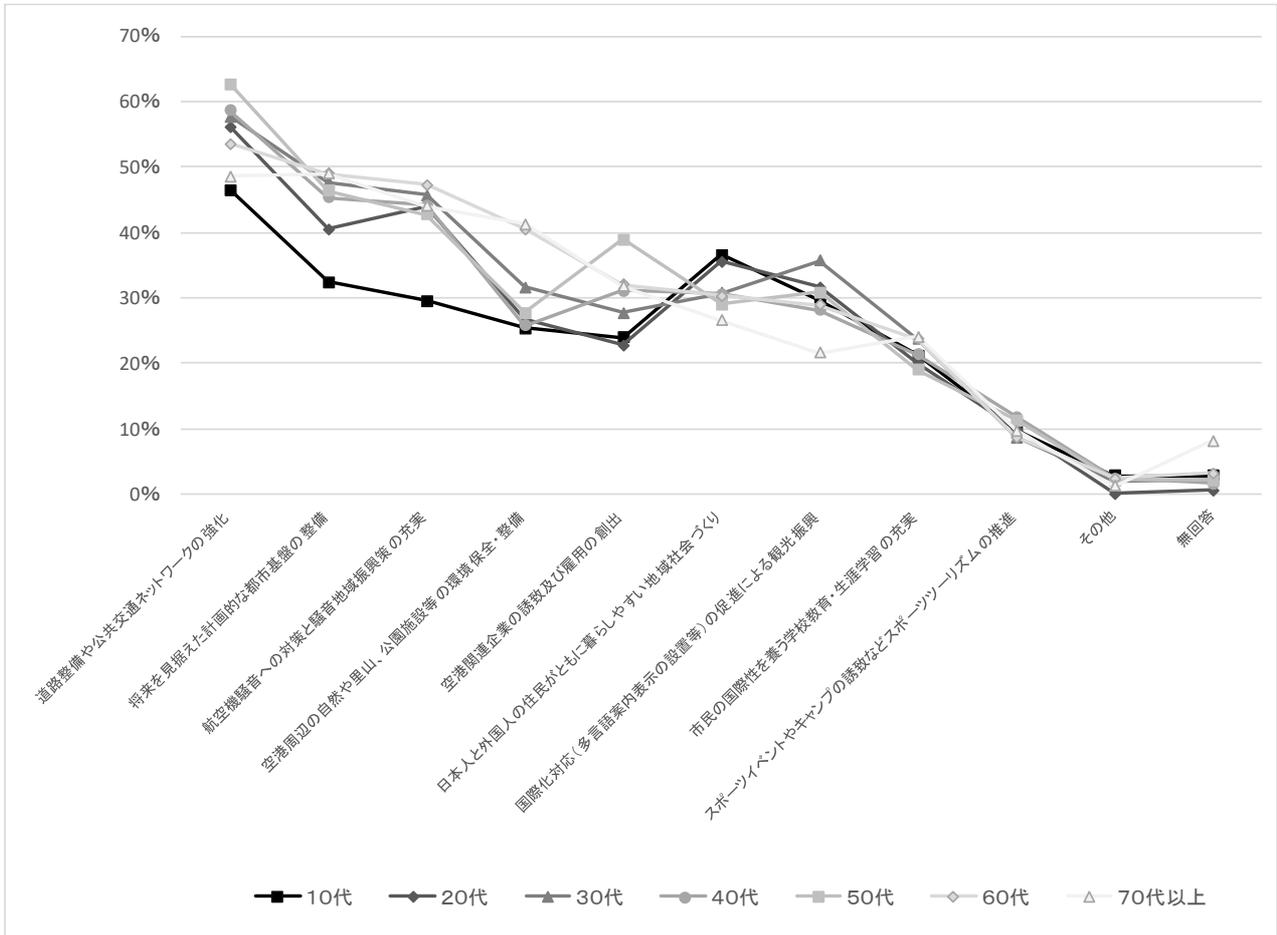
No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	道路整備や公共交通ネットワークの強化	1,201	55.2	1,330	31.5
2	将来を見据えた計画的な都市基盤の整備	1,012	46.5	-	-
3	航空機騒音への対策と騒音地域振興策の充実	957	44.0	695	16.5
4	空港周辺の自然や里山、公園施設等の環境保全・整備	722	33.2	504	11.9
5	空港関連企業の誘致及び雇用の創出	675	31.0	1,040	24.6
6	日本人と外国人の住民がともに暮らしやすい地域社会づくり	653	30.0	-	-
7	国際化対応(多言語案内表示の設置等)の促進による観光振興	626	28.8	-	-
8	市民の国際性を養う学校教育・生涯学習の充実	481	22.1	1,194	28.3
9	スポーツイベントやキャンプの誘致などスポーツツーリズムの推進	218	10.0	-	-
10	その他	40	1.8	52	1.2
11	無回答	79	3.6	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,223	-

※平成 26 年度の選択肢は「1. 空港アクセスや市民の利便性を高める道路整備や公共交通ネットワークの強化」「4. 空港周辺等の自然や里山を守る生活環境の充実」「5. 就労の機会が拡大する空港関連企業の誘致」「8. 国際性や語学を重視した学校教育・生涯学習の充実」となっています。

また、平成 26 年度の調査では、「空港利用客や市民の利便性を高める商業サービス施設の充実」が 1,218 人 (28.8%)、「空港と共生し、地域で生活していくためのコミュニティの充実」が 649 人 (15.4%)、「空港を身近に感じ、体験できる公園、レクリエーション施設の整備」が 521 人 (12.3%)、「空港利用客や市民の健康を支える高度医療体制の充実」が 513 人 (12.1%) となっています。

<年代別集計>

年代別にみると、「道路整備や公共交通ネットワークの強化」が最も多く、概ね同傾向を示しています。「空港周辺の自然や里山、公園施設等の環境保全・整備」においては、60代以上で多くなっています。また、低い年代で「日本人と外国人の住民がともに暮らしやすい地域社会づくり」が多くなっています。

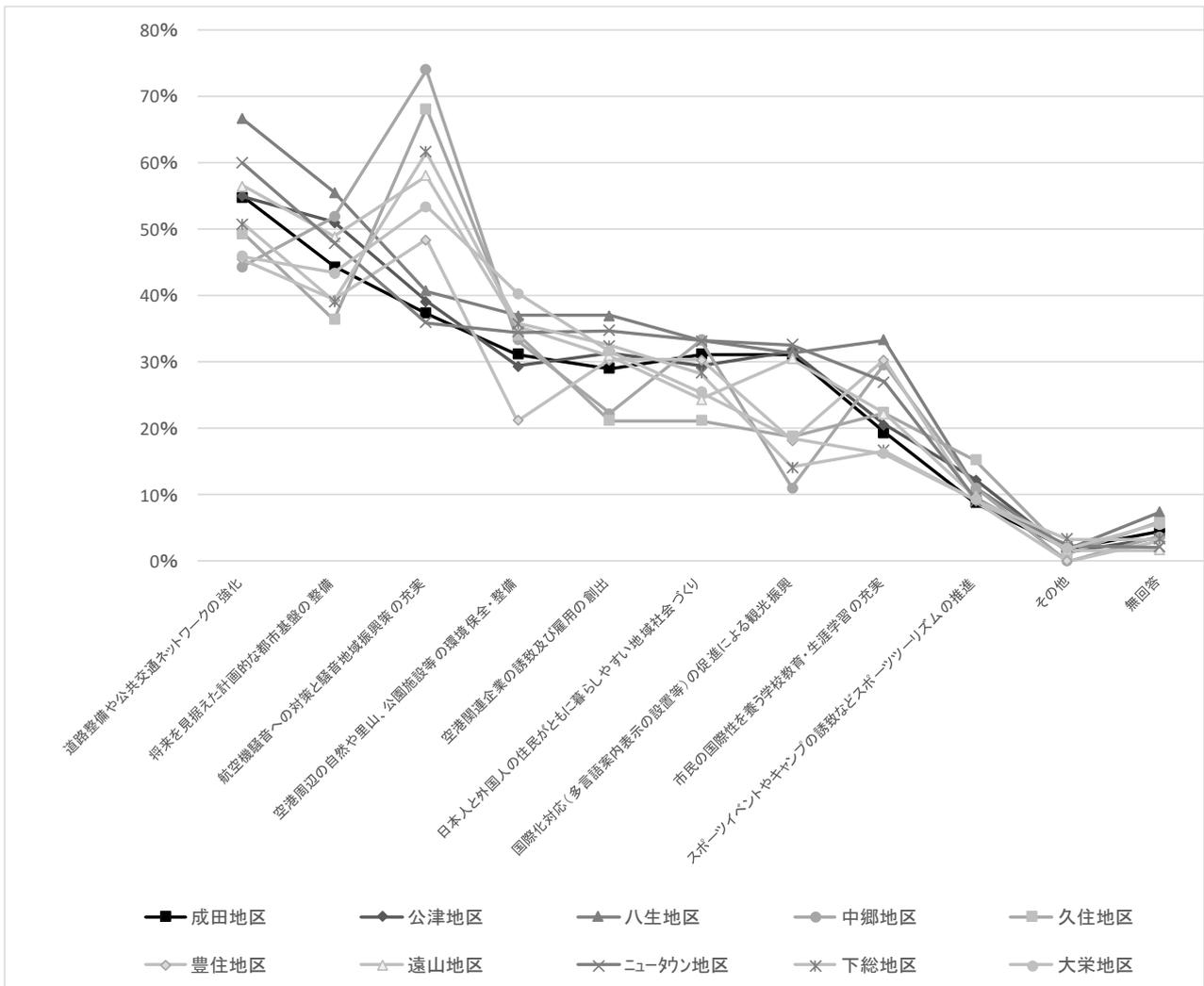


		全体	道路整備や公共交通ネットワークの強化	将来を見据えた計画的な都市基盤の整備	航空機騒音への対策と騒音地域振興策の充実	空港周辺の自然や里山、公園施設等の環境保全・整備	空港関連企業の誘致及び雇用の創出	日本人と外国人の住民がともに暮らしやすい地域社会づくり	国際化対応(多言語案内表示の設置等)の促進による観光振興	市民の国際性を養う学校教育・生涯学習の充実	スポーツイベントやキャンプの誘致などスポーツツーリズムの推進	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,201	1,012	957	722	675	653	626	481	218	40	79
	10代	71	33	23	21	18	17	26	21	15	7	2	2
	20代	180	101	73	79	48	41	64	57	36	18	0	1
	30代	300	173	143	137	95	83	92	107	71	26	6	7
	40代	380	223	172	168	98	118	116	107	81	45	9	6
	50代	321	201	149	137	89	125	93	99	61	36	7	7
	60代	415	222	203	196	168	133	126	120	98	36	10	13
	70代以上	482	234	236	212	199	153	128	104	116	47	6	39
	無回答	27	14	13	7	7	5	8	11	3	3	0	4
割合(%)	全体	100.0	55.2	46.5	44.0	33.2	31.0	30.0	28.8	22.1	10.0	1.8	3.6
	10代	100.0	46.5	32.4	29.6	25.4	23.9	36.6	29.6	21.1	9.9	2.8	2.8
	20代	100.0	56.1	40.6	43.9	26.7	22.8	35.6	31.7	20.0	10.0	0.0	0.6
	30代	100.0	57.7	47.7	45.7	31.7	27.7	30.7	35.7	23.7	8.7	2.0	2.3
	40代	100.0	58.7	45.3	44.2	25.8	31.1	30.5	28.2	21.3	11.8	2.4	1.6
	50代	100.0	62.6	46.4	42.7	27.7	38.9	29.0	30.8	19.0	11.2	2.2	2.2
	60代	100.0	53.5	48.9	47.2	40.5	32.0	30.4	28.9	23.6	8.7	2.4	3.1
	70代以上	100.0	48.5	49.0	44.0	41.3	31.7	26.6	21.6	24.1	9.8	1.2	8.1
	無回答	100.0	51.9	48.1	25.9	25.9	18.5	29.6	40.7	11.1	11.1	0.0	14.8

<地区別集計>

地区別にみると、成田・公津・八生・ニュータウン地区において「道路整備や公共交通ネットワークの強化」が最も多くなっています。また、その他の地区において「航空機騒音への対策と騒音地域振興策の充実」が最も多く、空港周辺地域で、飛行機騒音の対策への取り組みが望ましいと考えている方が多いことがわかります。

「国際化対応（多言語案内表示の設置等）の促進による観光振興」は、成田・公津・八生・遠山・ニュータウン地区で多くなっています。

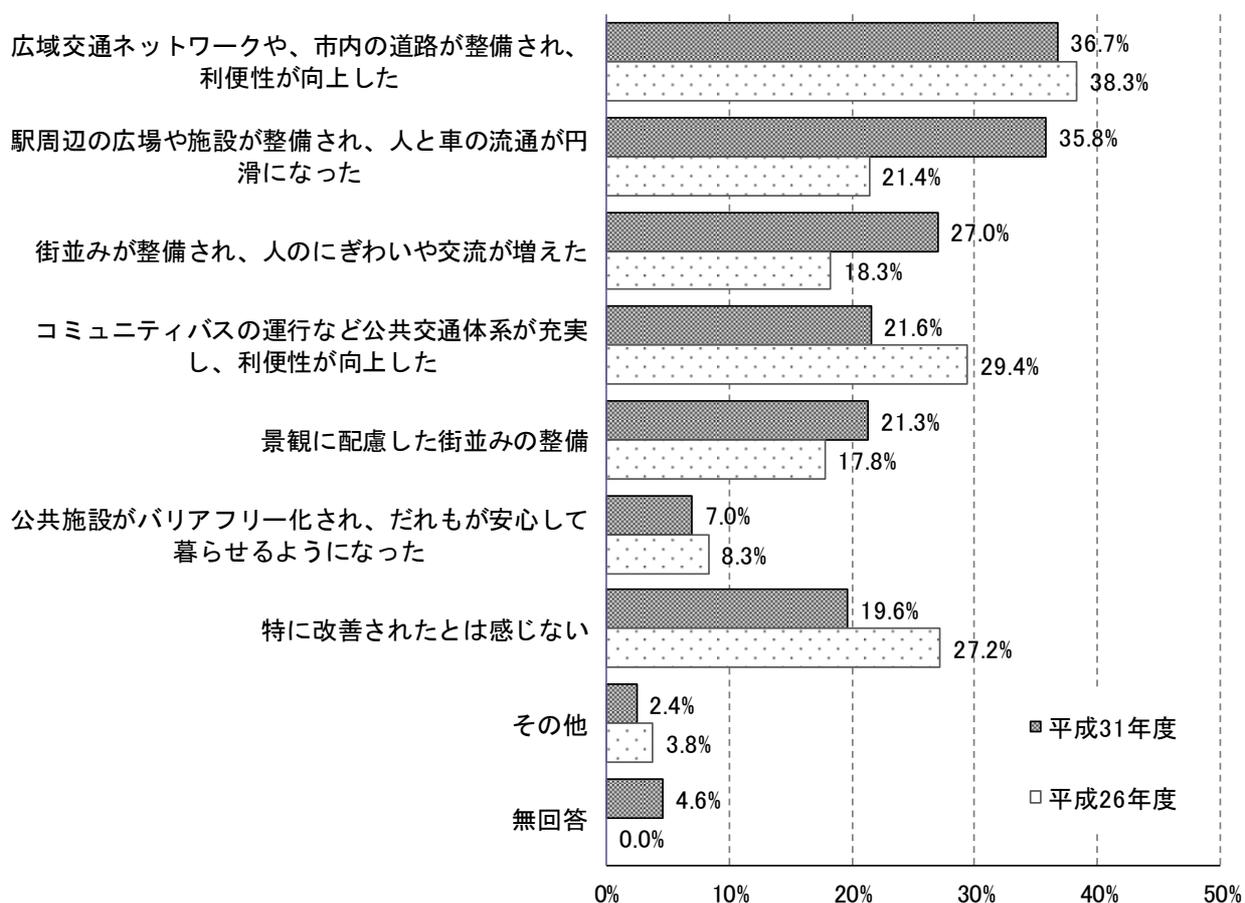


		全体	道路整備や公共交通ネットワークの強化	将来を見据えた計画的な都市基盤の整備	航空機騒音への対策と騒音地域振興策の充実	空港周辺の自然や里山、公園施設等の環境保全・整備	空港関連企業の誘致及び雇用の創出	日本人と外国人の住民がともに暮らしやすい地域社会づくり	国際化対応(多言語案内表示の設置等)の促進による観光振興	市民の国際性を養う学校教育・生涯学習の充実	スポーツイベントやキャンプの誘致などスポーツツーリズムの推進	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,201	1,012	957	722	675	653	626	481	218	40	81
	成田地区	592	325	263	221	185	172	185	184	115	52	11	27
	公津地区	360	198	184	141	106	113	106	114	74	44	5	13
	八生地区	54	36	30	22	20	20	18	17	18	6	1	4
	中郷地区	27	12	14	20	9	6	9	3	8	3	0	1
	久住地区	85	42	31	58	29	18	18	16	19	13	1	5
	豊住地区	33	15	13	16	7	10	10	6	10	3	0	1
	遠山地区	184	104	90	107	65	57	45	56	41	18	3	3
	ニュータウン地区	515	309	247	185	178	179	171	168	139	49	12	11
	下総地区	120	61	47	74	43	39	34	17	20	11	4	4
	大栄地区	161	74	70	86	65	51	41	30	26	15	3	9
	その他	5	3	2	5	2	1	1	3	3	0	0	0
	無回答	40	22	21	22	13	9	15	12	8	4	0	3
割合(%)	全体	100.0	55.2	46.5	44.0	33.2	31.0	30.0	28.8	22.1	10.0	1.8	3.7
	成田地区	100.0	54.9	44.4	37.3	31.3	29.1	31.3	31.1	19.4	8.8	1.9	4.6
	公津地区	100.0	55.0	51.1	39.2	29.4	31.4	29.4	31.7	20.6	12.2	1.4	3.6
	八生地区	100.0	66.7	55.6	40.7	37.0	37.0	33.3	31.5	33.3	11.1	1.9	7.4
	中郷地区	100.0	44.4	51.9	74.1	33.3	22.2	33.3	11.1	29.6	11.1	0.0	3.7
	久住地区	100.0	49.4	36.5	68.2	34.1	21.2	21.2	18.8	22.4	15.3	1.2	5.9
	豊住地区	100.0	45.5	39.4	48.5	21.2	30.3	30.3	18.2	30.3	9.1	0.0	3.0
	遠山地区	100.0	56.5	48.9	58.2	35.3	31.0	24.5	30.4	22.3	9.8	1.6	1.6
	ニュータウン地区	100.0	60.0	48.0	35.9	34.6	34.8	33.2	32.6	27.0	9.5	2.3	2.1
	下総地区	100.0	50.8	39.2	61.7	35.8	32.5	28.3	14.2	16.7	9.2	3.3	3.3
	大栄地区	100.0	46.0	43.5	53.4	40.4	31.7	25.5	18.6	16.1	9.3	1.9	5.6
	その他	100.0	60.0	40.0	100.0	40.0	20.0	20.0	60.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	100.0	55.0	52.5	55.0	32.5	22.5	37.5	30.0	20.0	10.0	0.0	7.5

#### (4) 成田市内の都市基盤改善

問 32 あなたが成田市内における都市基盤について、以前と比べて改善されていると感じているものはどれですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

改善されていると感じる都市基盤は、「広域交通ネットワークや、市内の道路が整備され、利便性が向上した」が36.7%と最も多く、次いで「駅周辺の広場や施設が整備され、人と車の流通が円滑になった」35.8%、「街並みが整備され、人のにぎわいや交流が増えた」27.0%となっています。平成26年度と比較すると、「駅周辺の広場や施設が整備され、人と車の流通が円滑になった」「街並みが整備され、人のにぎわいや交流が増えた」が増加する一方、「特に改善されたと感じない」が減少しており、市民が駅前広場や街並みの改善を実感していることが分かります。

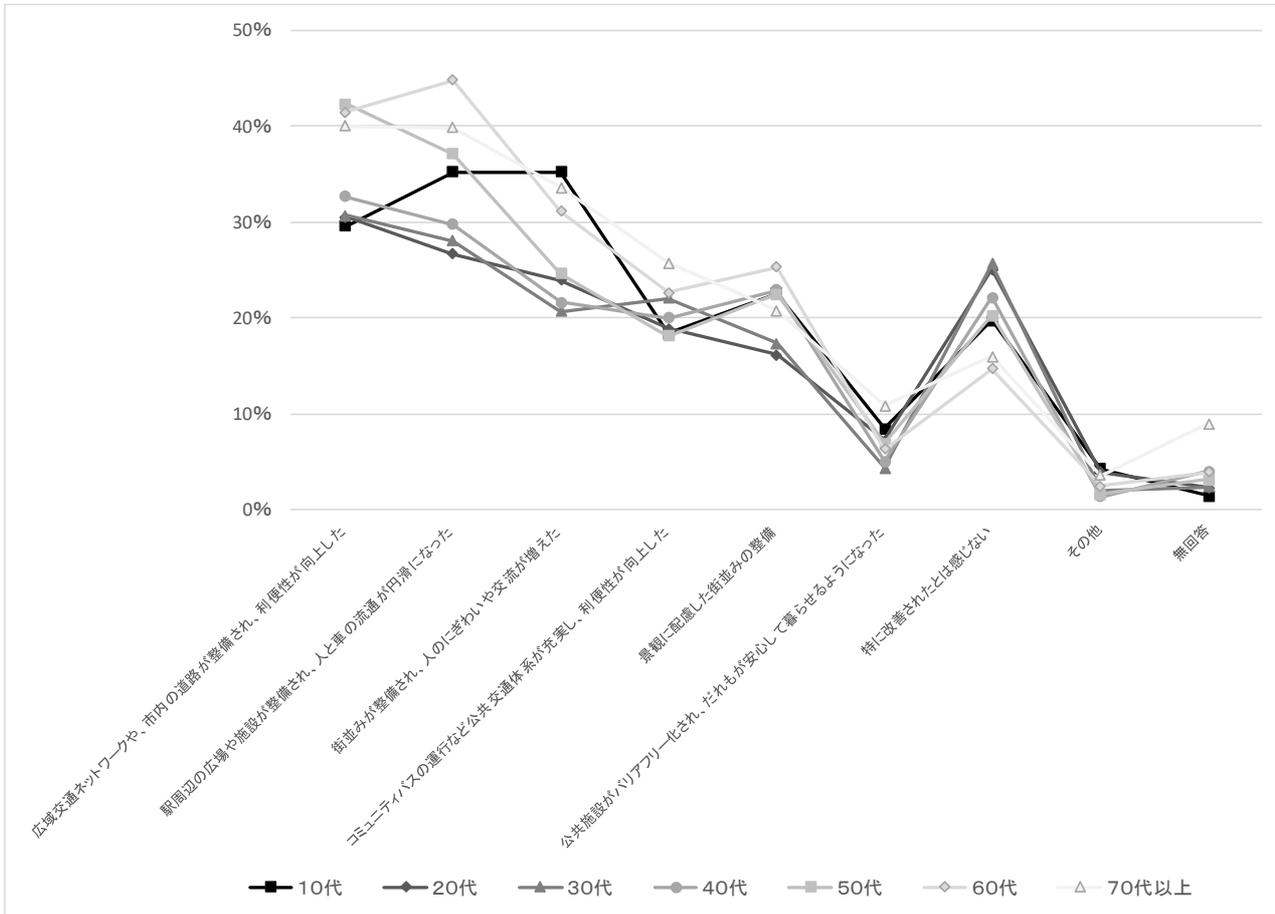


No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	広域交通ネットワークや、市内の道路が整備され、利便性が向上した	799	36.7	1,633	38.3
2	駅周辺の広場や施設が整備され、人と車の流通が円滑になった	779	35.8	914	21.4
3	街並みが整備され、人のにぎわいや交流が増えた	587	27.0	782	18.3
4	コミュニティバスの運行など公共交通体系が充実し、利便性が向上した	469	21.6	1,256	29.4
5	景観に配慮した街並みの整備	464	21.3	760	17.8
6	公共施設がバリアフリー化され、だれもが安心して暮らせるようになった	152	7.0	353	8.3
7	特に改善されたとは感じない	427	19.6	1,160	27.2
8	その他	53	2.4	163	3.8
9	無回答	100	4.6	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,269	-

※平成 26 年度の選択肢は「1. 市内の道路が整備され、市内各地区での利便性が向上した」「6. 市内の公共施設がバリアフリー化され、だれもが安心して暮らせるようになった」となっています。

<年代別集計>

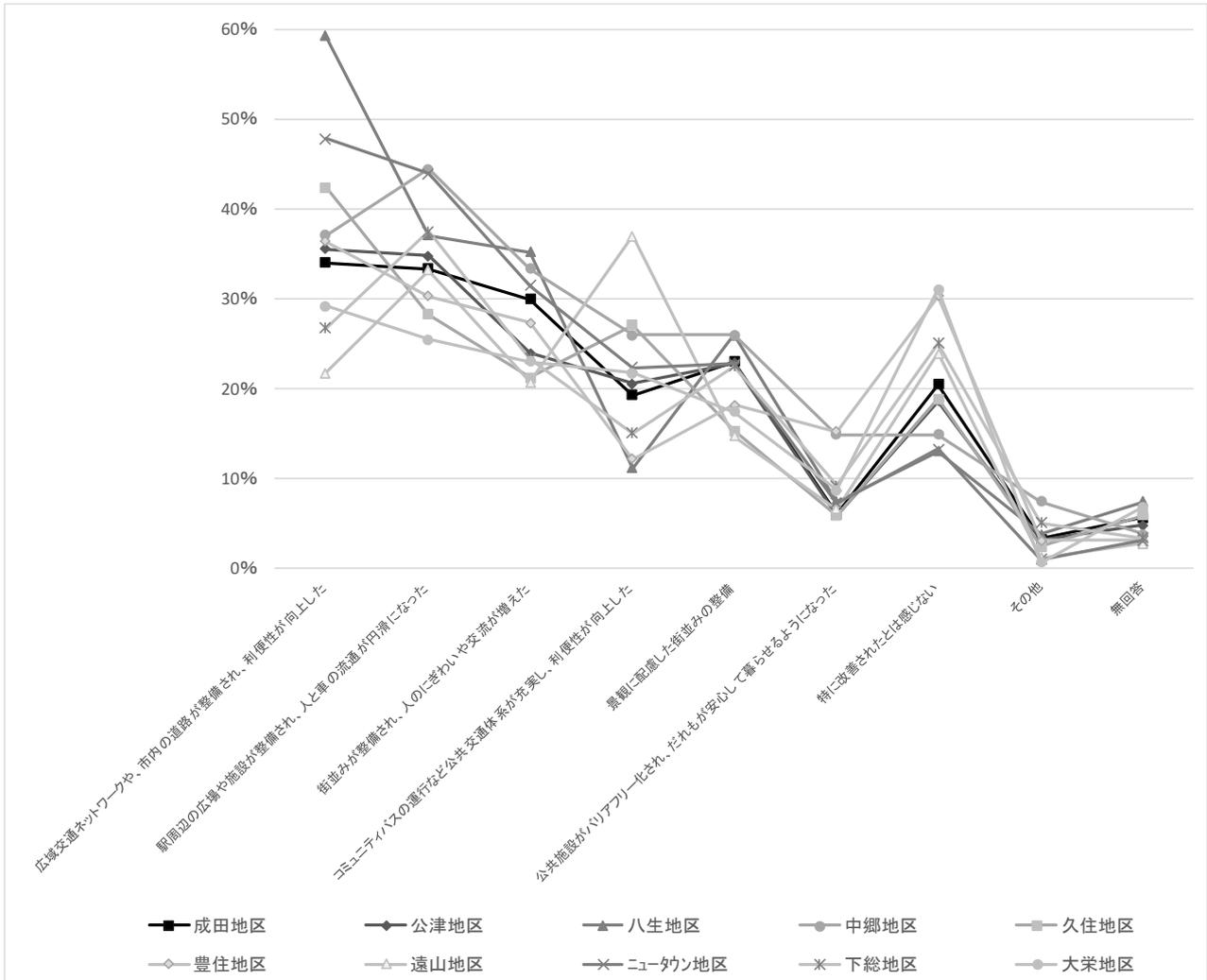
年代別にみると、どの年代においても「広域交通ネットワークや、市内の道路が整備され、利便性が向上した」、「駅周辺の広場や施設が整備され、人と車の流通が円滑になった」が多くなっています。また、「特に改善されたとは感じない」は20代、30代で多くなっています。



		全体	広域交通ネットワークや、市内の道路が整備され、利便性が向上した	駅周辺の広場や施設が整備され、人と車の流通が円滑になった	街並みが整備され、人のにぎわいや交流が増えた	コミュニティバスの運行など公共交通体系が充実し、利便性が向上した	景観に配慮した街並みの整備	公共施設がバリアフリー化され、だれもが安心して暮らせるようになった	特に改善されたとは感じない	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	799	779	587	469	464	152	427	53	100
	10代	71	21	25	25	13	16	6	14	3	1
	20代	180	55	48	43	34	29	13	45	7	4
	30代	300	92	84	62	66	52	13	77	6	7
	40代	380	124	113	82	76	87	19	84	5	15
	50代	321	136	119	79	58	72	22	65	5	10
	60代	415	172	186	129	94	105	26	61	10	16
	70代以上	482	193	192	162	124	100	52	77	17	43
	無回答	27	6	12	5	4	3	1	4	0	4
割合(%)	全体	100.0	36.7	35.8	27.0	21.6	21.3	7.0	19.6	2.4	4.6
	10代	100.0	29.6	35.2	35.2	18.3	22.5	8.5	19.7	4.2	1.4
	20代	100.0	30.6	26.7	23.9	18.9	16.1	7.2	25.0	3.9	2.2
	30代	100.0	30.7	28.0	20.7	22.0	17.3	4.3	25.7	2.0	2.3
	40代	100.0	32.6	29.7	21.6	20.0	22.9	5.0	22.1	1.3	3.9
	50代	100.0	42.4	37.1	24.6	18.1	22.4	6.9	20.2	1.6	3.1
	60代	100.0	41.4	44.8	31.1	22.7	25.3	6.3	14.7	2.4	3.9
	70代以上	100.0	40.0	39.8	33.6	25.7	20.7	10.8	16.0	3.5	8.9
	無回答	100.0	22.2	44.4	18.5	14.8	11.1	3.7	14.8	0.0	14.8

<地区別集計>

地区別にみると、「広域交通ネットワークや、市内の道路が整備され、利便性が向上した」は八生・久住・ニュータウン地区で多く、遠山・下総・大栄地区で少なくなっています。「コミュニティバスの運行など公共交通体系が充実し、利便性が向上した」は、遠山地区で多く、八生・豊住・下総地区で少なくなっています。「特に改善されたと感じない」は豊住・下総・大栄地区で多くなっています。

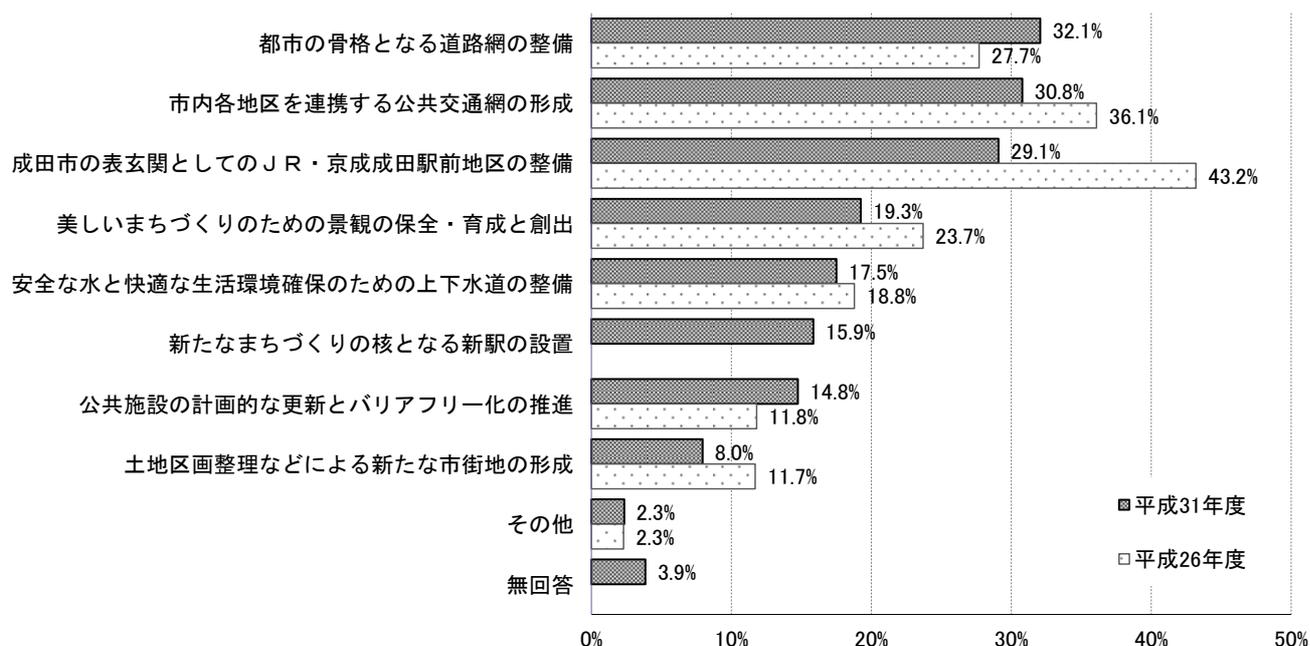


		全体	広域交通ネットワークや、市内の道路が整備され、利便性が向上した	駅周辺の広場や施設が整備され、人と車の流通が円滑になった	街並みが整備され、人のにぎわいや交流が増えた	コミュニティバスの運行など公共交通体系が充実し、利便性が向上した	景観に配慮した街並みの整備	公共施設がバリアフリー化され、だれもが安心して暮らせるようになった	特に改善されたとは感じない	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	799	779	587	469	464	152	427	53	100
	成田地区	592	201	197	177	114	136	35	121	19	33
	公津地区	360	128	125	86	74	82	21	67	11	17
	八生地区	54	32	20	19	6	14	4	7	2	4
	中郷地区	27	10	12	9	7	7	4	4	2	1
	久住地区	85	36	24	18	23	13	5	16	2	5
	豊住地区	33	12	10	9	4	6	5	10	1	1
	遠山地区	184	40	61	38	68	27	12	44	2	5
	ニュータウン地区	515	246	226	162	115	117	37	68	5	16
	下総地区	120	32	45	28	18	27	11	30	6	4
	大栄地区	161	47	41	37	35	28	14	50	1	11
	その他	5	2	2	0	0	2	0	2	0	0
	無回答	40	13	16	4	5	5	4	8	2	3
割合(%)	全体	100.0	36.7	35.8	27.0	21.6	21.3	7.0	19.6	2.4	4.6
	成田地区	100.0	34.0	33.3	29.9	19.3	23.0	5.9	20.4	3.2	5.6
	公津地区	100.0	35.6	34.7	23.9	20.6	22.8	5.8	18.6	3.1	4.7
	八生地区	100.0	59.3	37.0	35.2	11.1	25.9	7.4	13.0	3.7	7.4
	中郷地区	100.0	37.0	44.4	33.3	25.9	25.9	14.8	14.8	7.4	3.7
	久住地区	100.0	42.4	28.2	21.2	27.1	15.3	5.9	18.8	2.4	5.9
	豊住地区	100.0	36.4	30.3	27.3	12.1	18.2	15.2	30.3	3.0	3.0
	遠山地区	100.0	21.7	33.2	20.7	37.0	14.7	6.5	23.9	1.1	2.7
	ニュータウン地区	100.0	47.8	43.9	31.5	22.3	22.7	7.2	13.2	1.0	3.1
	下総地区	100.0	26.7	37.5	23.3	15.0	22.5	9.2	25.0	5.0	3.3
	大栄地区	100.0	29.2	25.5	23.0	21.7	17.4	8.7	31.1	0.6	6.8
	その他	100.0	40.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	無回答	100.0	32.5	40.0	10.0	12.5	12.5	10.0	20.0	5.0	7.5

## (5) 成田市の都市基盤の充実

問 33 成田市の都市基盤を充実させるために、どのような取り組みが望ましいとお考えですか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

都市基盤を充実させるための望ましい取り組みは、「都市の骨格となる道路網の整備」が32.1%と最も多く、次いで「市内各地区を連携する公共交通網の形成」30.8%、「成田市の表玄関としてのJR・京成成田駅前地区の整備」29.1%となっています。

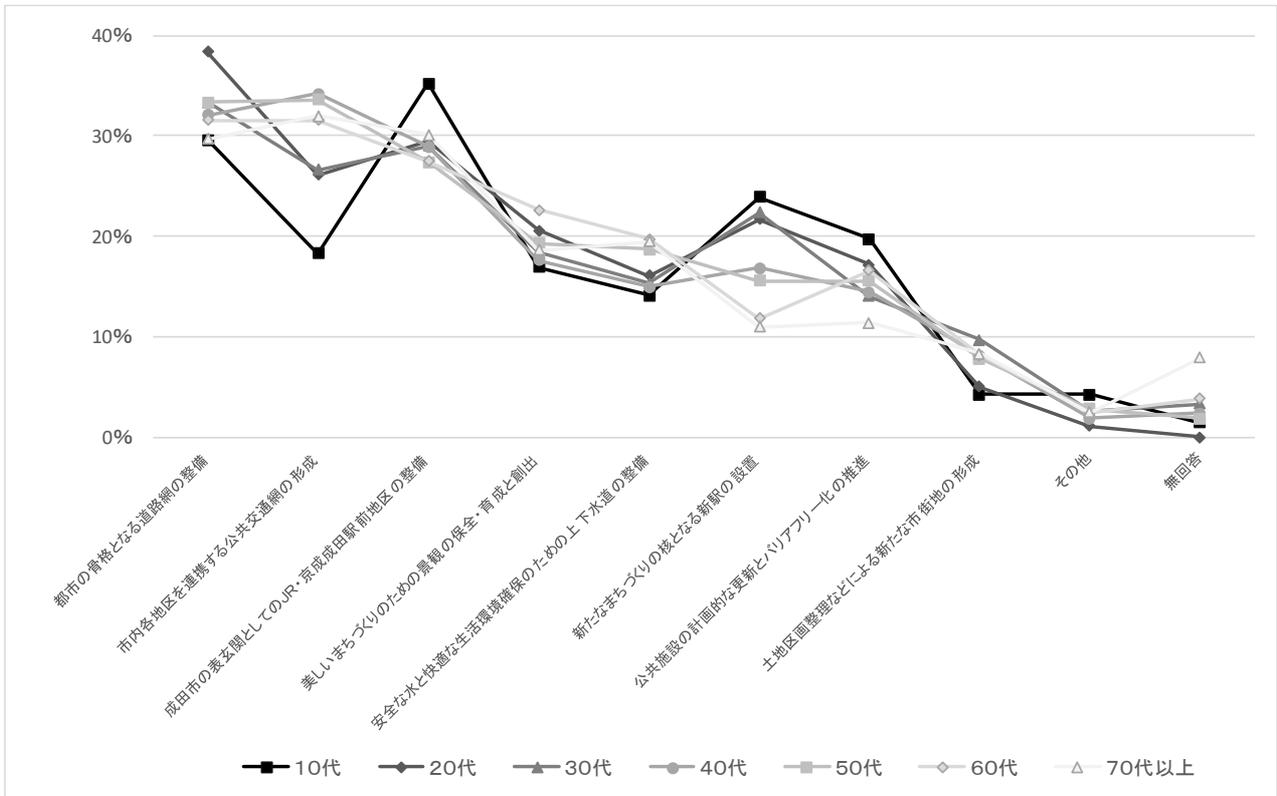


No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	都市の骨格となる道路網の整備	698	32.1	1,170	27.7
2	市内各地区を連携する公共交通網の形成	670	30.8	1,522	36.1
3	成田市の表玄関としてのJR・京成成田駅前地区の整備	633	29.1	1,823	43.2
4	美しいまちづくりのための景観の保全・育成と創出	419	19.3	1,000	23.7
5	安全な水と快適な生活環境確保のための上下水道の整備	381	17.5	794	18.8
6	新たなまちづくりの核となる新駅の設置	345	15.9	-	-
7	公共施設の計画的な更新とバリアフリー化の推進	321	14.8	499	11.8
8	土地区画整理などによる新たな市街地の形成	173	8.0	493	11.7
9	その他	51	2.3	98	2.3
10	無回答	84	3.9	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,219	-

※平成 26 年度の選択肢は、「2. 市内各地を連携する公共交通の整備」「7. 市内の公共施設のバリアフリー化の推進」「8. 区画整理などによる計画的な市街地の形成」となっています。

<年代別集計>

年代別にみると、「成田市の表玄関としてのJR・京成成田駅前地区の整備」、「新たなまちづくりの核となる新駅の設置」が30代以下の低い年代で多くなっている、40代以上で「市内各地区を連携する公共交通網の形成」が最も多くなっています。

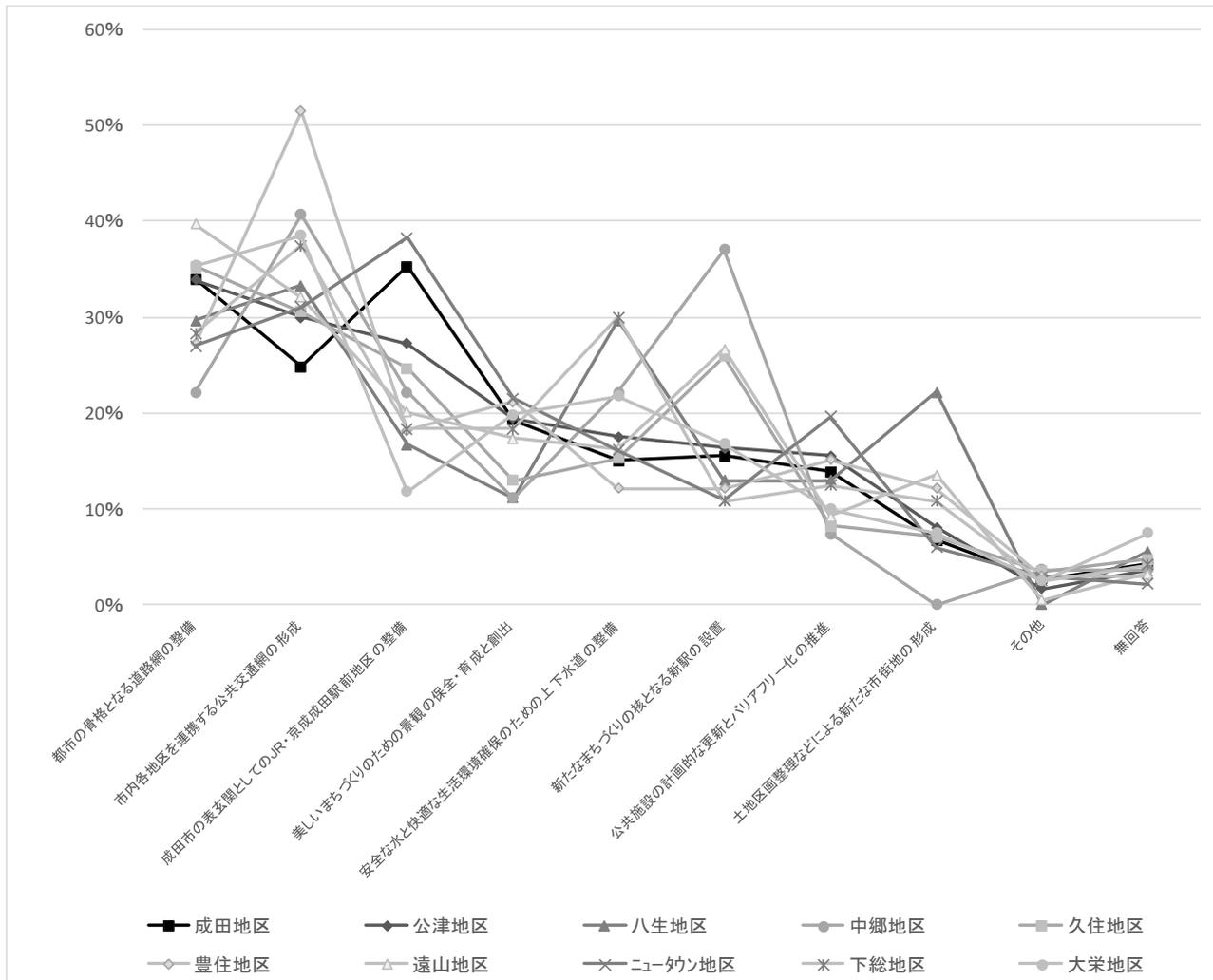


		全体	都市の骨格となる道路網の整備	市内各地区を連携する公共交通網の形成	成田市の表玄関としてのJR・京成成田駅前地区の整備	美しいまちづくりのための景観の保全・育成と創出	安全な水と快適な生活環境確保のための上下水道の整備	新たなまちづくりの核となる新駅の設定	公共施設の計画的な更新とバリアフリー化の推進	土地区画整理などによる新たな市街地の形成	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	698	670	633	419	381	345	321	173	51	84
	10代	71	21	13	25	12	10	17	14	3	3	1
	20代	180	69	47	53	37	29	39	31	9	2	0
	30代	300	100	80	87	55	46	67	42	29	8	10
	40代	380	122	130	110	67	57	64	55	31	7	9
	50代	321	107	108	88	62	60	50	50	25	9	6
	60代	415	131	131	114	94	82	49	69	34	10	16
	70代以上	482	143	154	145	90	94	53	55	40	12	38
	無回答	27	5	7	11	2	3	6	5	2	0	4
割合(%)	全体	100	32.1	30.8	29.1	19.3	17.5	15.9	14.8	8.0	2.3	3.9
	10代	100	29.6	18.3	35.2	16.9	14.1	23.9	19.7	4.2	4.2	1.4
	20代	100	38.3	26.1	29.4	20.6	16.1	21.7	17.2	5.0	1.1	0.0
	30代	100	33.3	26.7	29.0	18.3	15.3	22.3	14.0	9.7	2.7	3.3
	40代	100	32.1	34.2	28.9	17.6	15.0	16.8	14.5	8.2	1.8	2.4
	50代	100	33.3	33.6	27.4	19.3	18.7	15.6	15.6	7.8	2.8	1.9
	60代	100	31.6	31.6	27.5	22.7	19.8	11.8	16.6	8.2	2.4	3.9
	70代以上	100	29.7	32.0	30.1	18.7	19.5	11.0	11.4	8.3	2.5	7.9
	無回答	100	18.5	25.9	40.7	7.4	11.1	22.2	18.5	7.4	0.0	14.8

<地区別集計>

地区別にみると、公津・久住・遠山地区は「都市の骨格となる道路網の整備」、八生・中郷・豊住・下総・大栄地区は「市内各地区を連携する公共交通網の形成」、成田・ニュータウン地区は「成田市の表玄関としてのJ R・京成成田駅前地区の整備」が最も多くなっています。

J R及び京成成田駅の周辺地区では、駅前の整備に関する施策を重要と考えている方が多く、その他の地区については、市内各地を連携する公共交通機関や道路の整備が重要であると考えている方が多いことがわかります

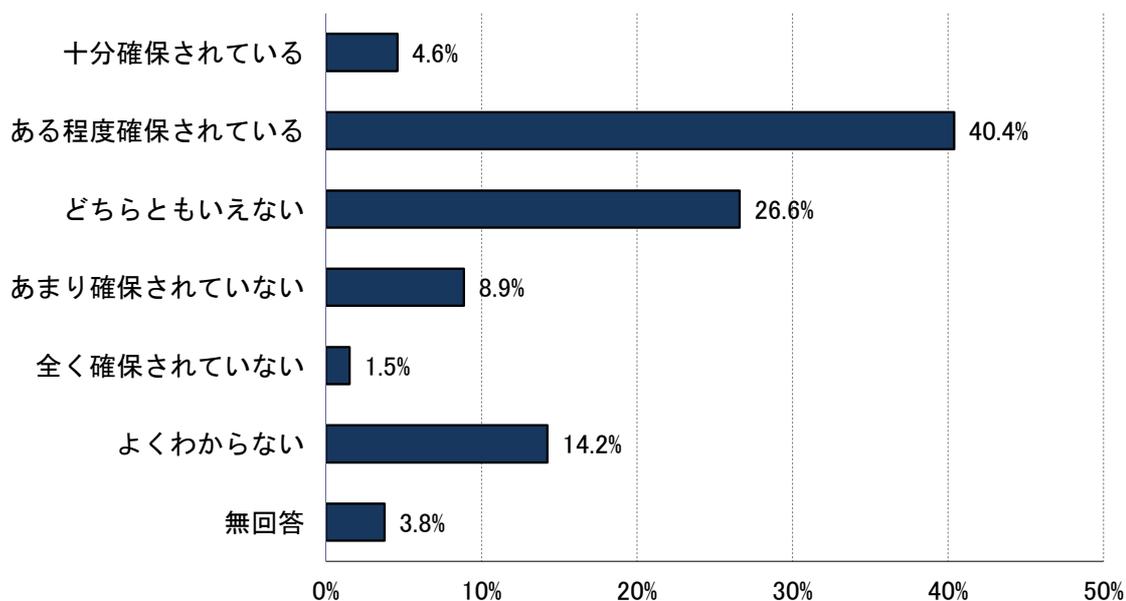


		全体	都市の骨格となる道路網の整備	市内各地区を連携する公共交通網の形成	成田市の表玄関としてのJ・R・京成成田駅前地区の整備	美しいまちづくりのための景観の保全・育成と創出	安全な水と快適な生活環境確保のための上下水道の整備	新たなまちづくりの核となる新駅の設置	公共施設の計画的な更新とバリアフリー化の推進	土地区画整理などによる新たな市街地の形成	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	698	670	633	419	381	345	321	173	51	84
	成田地区	592	201	147	209	114	89	92	82	40	16	25
	公津地区	360	122	108	98	70	63	59	56	29	6	13
	八生地区	54	16	18	9	6	16	7	7	12	0	3
	中郷地区	27	6	11	6	3	6	10	2	0	1	1
	久住地区	85	30	26	21	11	13	22	7	6	3	4
	豊住地区	33	9	17	6	7	4	4	5	4	1	1
	遠山地区	184	73	59	37	32	30	49	17	25	1	6
	ニュータウン地区	515	139	160	197	111	83	56	101	31	15	11
	下総地区	120	34	45	22	22	36	13	15	13	3	5
	大栄地区	161	57	62	19	32	35	27	16	12	4	12
	その他	5	2	1	1	3	1	0	2	0	0	0
	無回答	40	9	16	8	8	5	6	11	1	1	3
割合(%)	全体	100.0	32.1	30.8	29.1	19.3	17.5	15.9	14.8	8.0	2.3	3.9
	成田地区	100.0	34.0	24.8	35.3	19.3	15.0	15.5	13.9	6.8	2.7	4.2
	公津地区	100.0	33.9	30.0	27.2	19.4	17.5	16.4	15.6	8.1	1.7	3.6
	八生地区	100.0	29.6	33.3	16.7	11.1	29.6	13.0	13.0	22.2	0.0	5.6
	中郷地区	100.0	22.2	40.7	22.2	11.1	22.2	37.0	7.4	0.0	3.7	3.7
	久住地区	100.0	35.3	30.6	24.7	12.9	15.3	25.9	8.2	7.1	3.5	4.7
	豊住地区	100.0	27.3	51.5	18.2	21.2	12.1	12.1	15.2	12.1	3.0	3.0
	遠山地区	100.0	39.7	32.1	20.1	17.4	16.3	26.6	9.2	13.6	0.5	3.3
	ニュータウン地区	100.0	27.0	31.1	38.3	21.6	16.1	10.9	19.6	6.0	2.9	2.1
	下総地区	100.0	28.3	37.5	18.3	18.3	30.0	10.8	12.5	10.8	2.5	4.2
	大栄地区	100.0	35.4	38.5	11.8	19.9	21.7	16.8	9.9	7.5	2.5	7.5
	その他	100.0	40.0	20.0	20.0	60.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	100.0	22.5	40.0	20.0	20.0	12.5	15.0	27.5	2.5	2.5	7.5

## (6) 「雇用の場」の確保

問 34 成田市内には、「雇用の場」は確保されていると思いますか。あてはまる番号を一つだけ○で囲んでください。

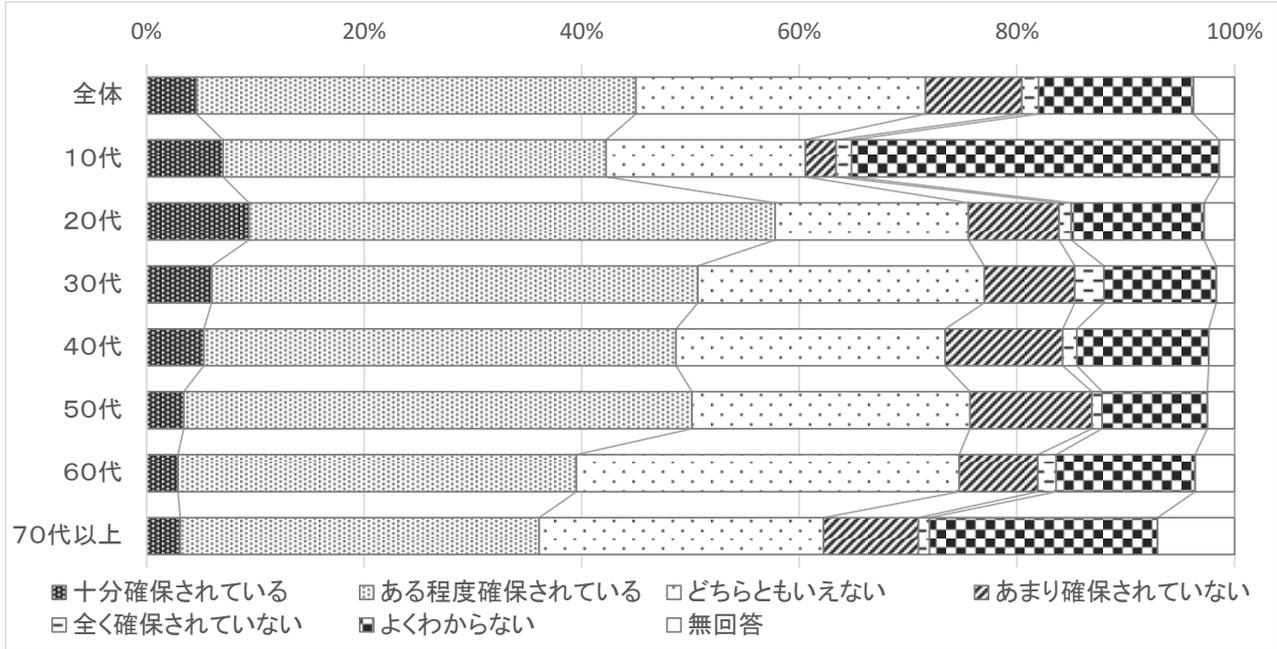
成田市内に「雇用の場」が確保されていると思うかは、「ある程度確保されている」が40.4%と最も多く、次いで「どちらともいえない」26.6%、「よくわからない」14.2%となっています。



No.	選択肢	人数(人)	割合(%)
1	十分確保されている	100	4.6
2	ある程度確保されている	879	40.4
3	どちらともいえない	579	26.6
4	あまり確保されていない	193	8.9
5	全く確保されていない	33	1.5
6	よくわからない	310	14.2
7	無回答	82	3.8
	合計	2,176	100.0

<年代別集計>

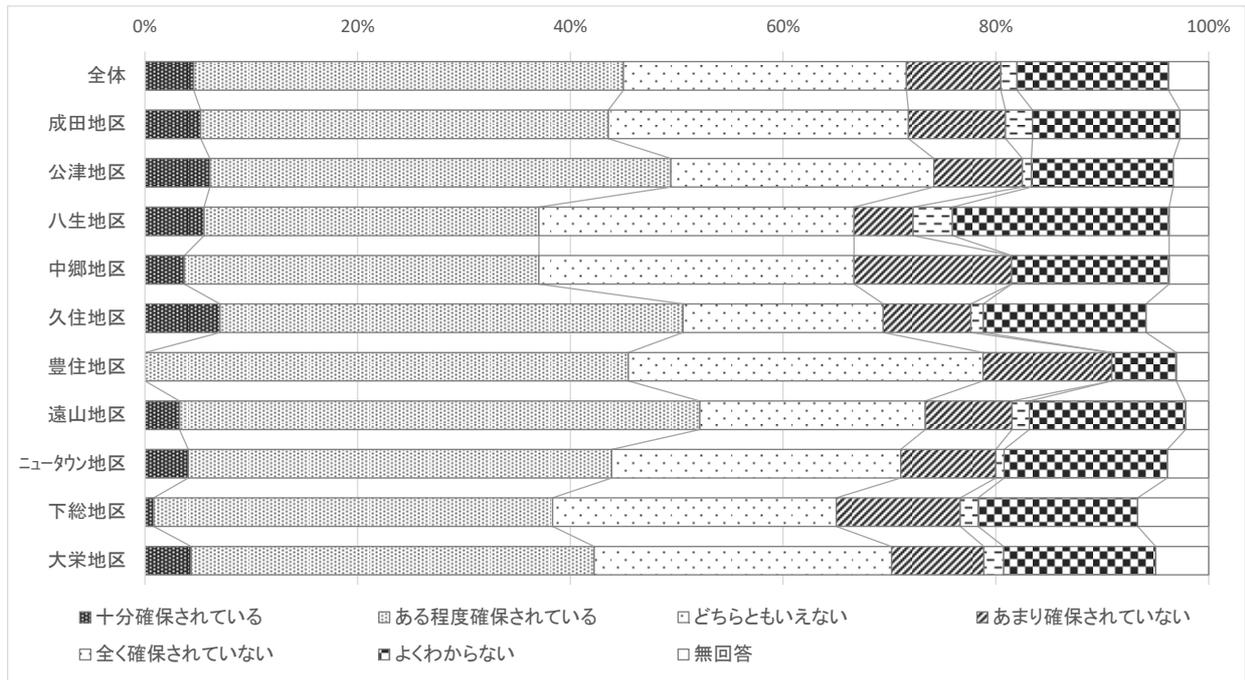
年代別にみると、どの年代においても「ある程度確保されている」が最も多く、概ね同傾向を示しています。現役世代である20～50代において、「十分確保されている」「ある程度確保されている」の計は半数程度となっており、「あまり確保されていない」「まったく確保されていない」の計は1割程度にとどまっています。



		全体	十分確保されている	ある程度確保されている	どちらともいえない	あまり確保されていない	全く確保されていない	よくわからない	無回答
人数(人)	全体	2,176	100	879	579	193	33	310	82
	10代	71	5	25	13	2	1	24	1
	20代	180	17	87	32	15	2	22	5
	30代	300	18	134	79	25	8	31	5
	40代	380	20	165	94	41	5	46	9
	50代	321	11	150	82	36	3	31	8
	60代	415	12	152	146	30	7	53	15
	70代以上	482	15	159	126	42	5	101	34
	無回答	27	2	7	7	2	2	2	5
割合(%)	全体	100.0	4.6	40.4	26.6	8.9	1.5	14.2	3.8
	10代	100.0	7.0	35.2	18.3	2.8	1.4	33.8	1.4
	20代	100.0	9.4	48.3	17.8	8.3	1.1	12.2	2.8
	30代	100.0	6.0	44.7	26.3	8.3	2.7	10.3	1.7
	40代	100.0	5.3	43.4	24.7	10.8	1.3	12.1	2.4
	50代	100.0	3.4	46.7	25.5	11.2	0.9	9.7	2.5
	60代	100.0	2.9	36.6	35.2	7.2	1.7	12.8	3.6
	70代以上	100.0	3.1	33.0	26.1	8.7	1.0	21.0	7.1
	無回答	100.0	7.4	25.9	25.9	7.4	7.4	7.4	18.5

<地区別集計>

地区別でみると、「ある程度確保されている」が3~4割程度となっており、概ね同傾向を示しています。

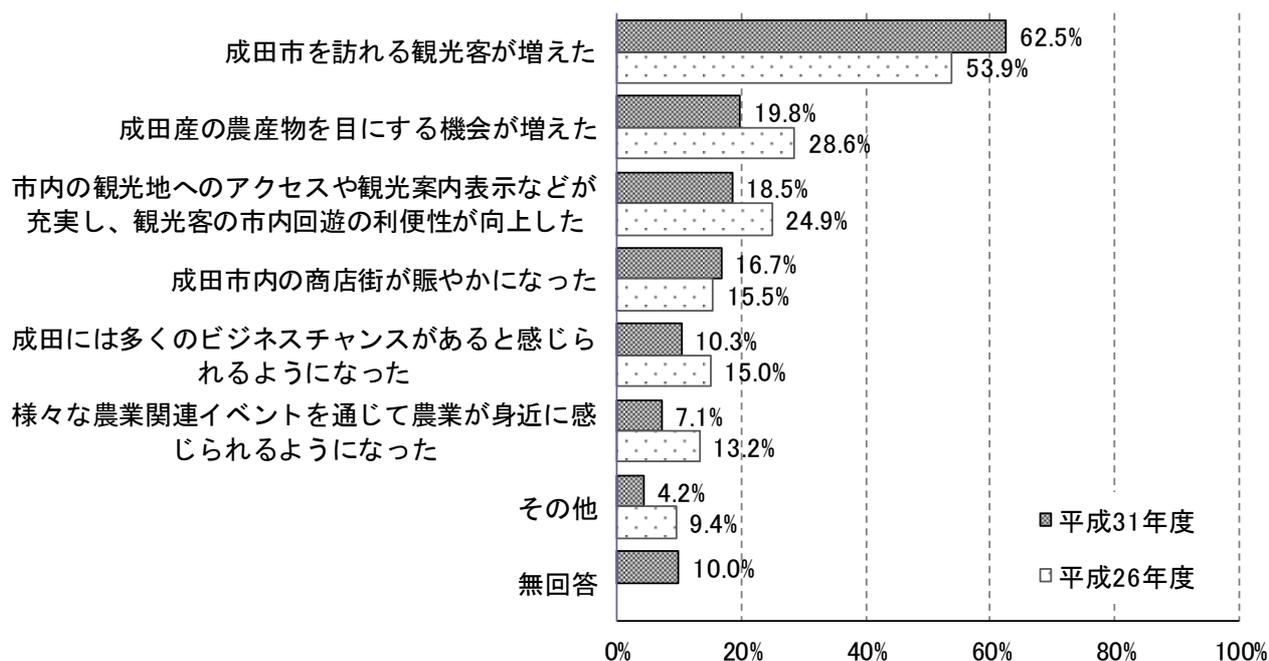


		全体	十分確保されている	ある程度確保されている	どちらともいえない	あまり確保されていない	全く確保されていない	よくわからない	無回答
人数(人)	全体	2,176	100	879	579	193	33	310	82
	成田地区	592	31	227	167	54	15	82	16
	公津地区	360	22	156	89	30	3	48	12
	八生地区	54	3	17	16	3	2	11	2
	中郷地区	27	1	9	8	4	0	4	1
	久住地区	85	6	37	16	7	1	13	5
	豊住地区	33	0	15	11	4	0	2	1
	遠山地区	184	6	90	39	15	3	27	4
	ニュータウン地区	515	21	205	140	46	4	79	20
	下総地区	120	1	45	32	14	2	18	8
	大栄地区	161	7	61	45	14	3	23	8
	その他	5	0	2	2	0	0	1	0
	無回答	40	2	15	14	2	0	2	5
割合(%)	全体	100.0	4.6	40.4	26.6	8.9	1.5	14.2	3.8
	成田地区	100.0	5.2	38.3	28.2	9.1	2.5	13.9	2.7
	公津地区	100.0	6.1	43.3	24.7	8.3	0.8	13.3	3.3
	八生地区	100.0	5.6	31.5	29.6	5.6	3.7	20.4	3.7
	中郷地区	100.0	3.7	33.3	29.6	14.8	0.0	14.8	3.7
	久住地区	100.0	7.1	43.5	18.8	8.2	1.2	15.3	5.9
	豊住地区	100.0	0.0	45.5	33.3	12.1	0.0	6.1	3.0
	遠山地区	100.0	3.3	48.9	21.2	8.2	1.6	14.7	2.2
	ニュータウン地区	100.0	4.1	39.8	27.2	8.9	0.8	15.3	3.9
	下総地区	100.0	0.8	37.5	26.7	11.7	1.7	15.0	6.7
	大栄地区	100.0	4.3	37.9	28.0	8.7	1.9	14.3	5.0
	その他	100.0	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	無回答	100.0	5.0	37.5	35.0	5.0	0.0	5.0	12.5

## (7) 成田市の各産業の状況

問 35 あなたは、成田市の各産業（観光業、農林水産業、商工業）の状況について、どのように感じていますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

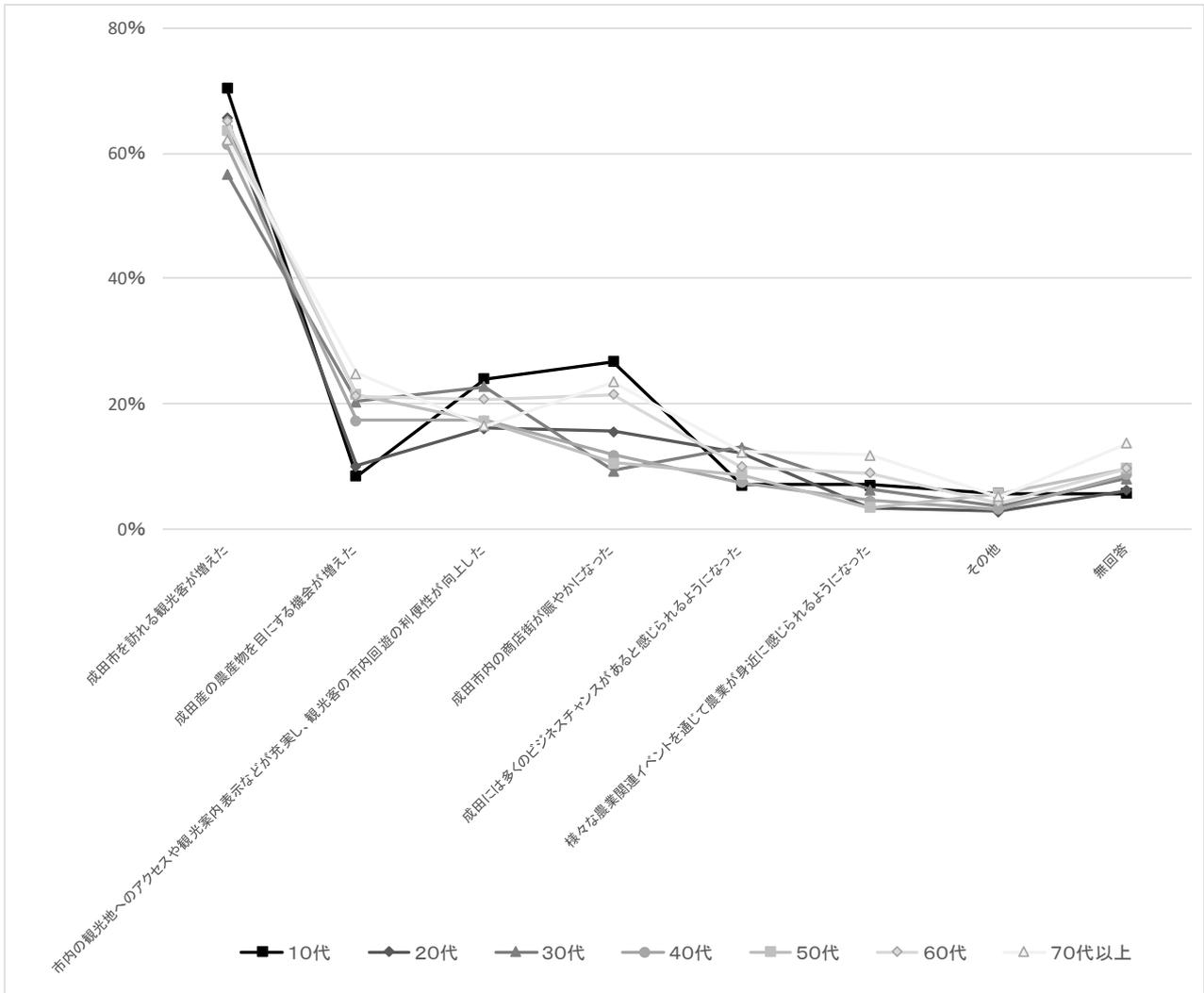
各産業（観光業、農林水産業、商工業）の状況について感じていることは、「成田市を訪れる観光客が増えた」が 62.5%と最も多く、次いで「成田産の農産物を目にする機会が増えた」19.8%、「市内の観光地へのアクセスや観光案内表示などが充実し、観光客の市内回遊の利便性が向上した」18.5%、「市内の観光地へのアクセスや観光案内表示などが充実し、観光客の市内回遊の利便性が向上した」18.5%となっています。



No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	成田市を訪れる観光客が増えた	1,361	62.5	2,176	53.9
2	成田産の農産物を目にする機会が増えた	431	19.8	1,152	28.6
3	市内の観光地へのアクセスや観光案内表示などが充実し、観光客の市内回遊の利便性が向上した	403	18.5	1,005	24.9
4	成田市内の商店街が賑やかになった	364	16.7	627	15.5
5	成田には多くのビジネスチャンスがあると感じられるようになった	225	10.3	607	15.0
6	様々な農業関連イベントを通じて農業が身近に感じられるようになった	154	7.1	534	13.2
7	その他	92	4.2	378	9.4
8	無回答	217	10.0	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,034	-

<年代別集計>

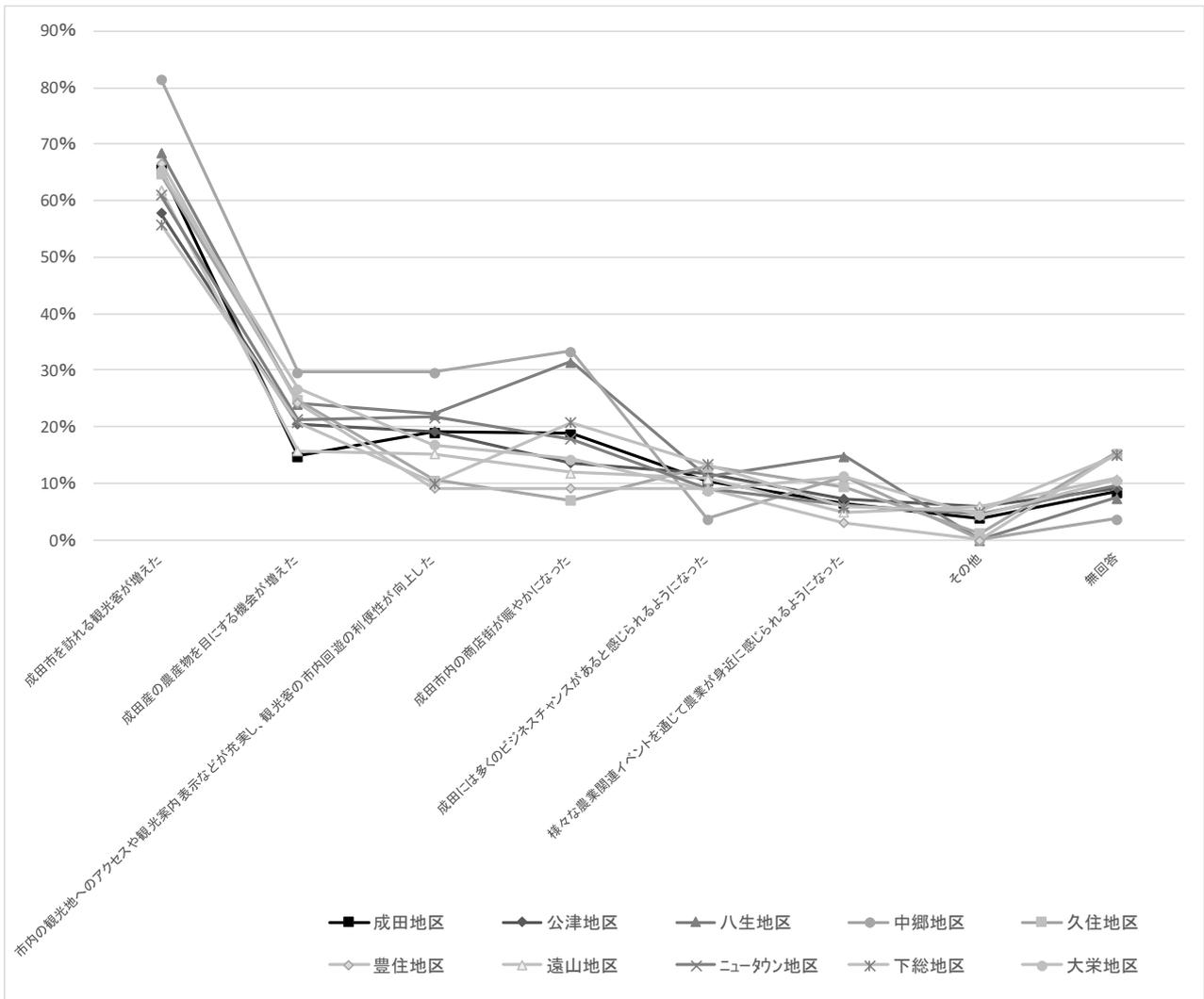
年代別にみると、どの年代においても「成田市を訪れる観光客が増えた」が最も多く、概ね同傾向を示しています。



		全体	成田市を訪れる観光客が増えた	成田産の農産物を目にする機会が増えた	市内の観光地へのアクセスや観光案内表示などが充実し、観光客の市内回遊の利便性が向上した	成田市内の商店街が賑やかになった	成田には多くのビジネスチャンスがあると感じられるようになった	様々な農業関連イベントを通じて農業が身近に感じられるようになった	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,361	431	403	364	225	154	92	217
	10代	71	50	6	17	19	5	5	4	4
	20代	180	118	18	29	28	22	6	5	11
	30代	300	170	61	68	28	39	19	11	24
	40代	380	233	66	66	45	28	17	12	33
	50代	321	204	69	55	34	28	11	18	31
	60代	415	270	88	86	89	41	37	17	40
	70代以上	482	300	120	79	113	59	57	25	66
	無回答	27	16	3	3	8	3	2	0	8
割合(%)	全体	100.0	62.5	19.8	18.5	16.7	10.3	7.1	4.2	10.0
	10代	100.0	70.4	8.5	23.9	26.8	7.0	7.0	5.6	5.6
	20代	100.0	65.6	10.0	16.1	15.6	12.2	3.3	2.8	6.1
	30代	100.0	56.7	20.3	22.7	9.3	13.0	6.3	3.7	8.0
	40代	100.0	61.3	17.4	17.4	11.8	7.4	4.5	3.2	8.7
	50代	100.0	63.6	21.5	17.1	10.6	8.7	3.4	5.6	9.7
	60代	100.0	65.1	21.2	20.7	21.4	9.9	8.9	4.1	9.6
	70代以上	100.0	62.2	24.9	16.4	23.4	12.2	11.8	5.2	13.7
	無回答	100.0	59.3	11.1	11.1	29.6	11.1	7.4	0.0	29.6

<地区別集計>

地区別にみると、どの地区においても「成田市を訪れる観光客が増えた」が最も多く、概ね同傾向を示しています。

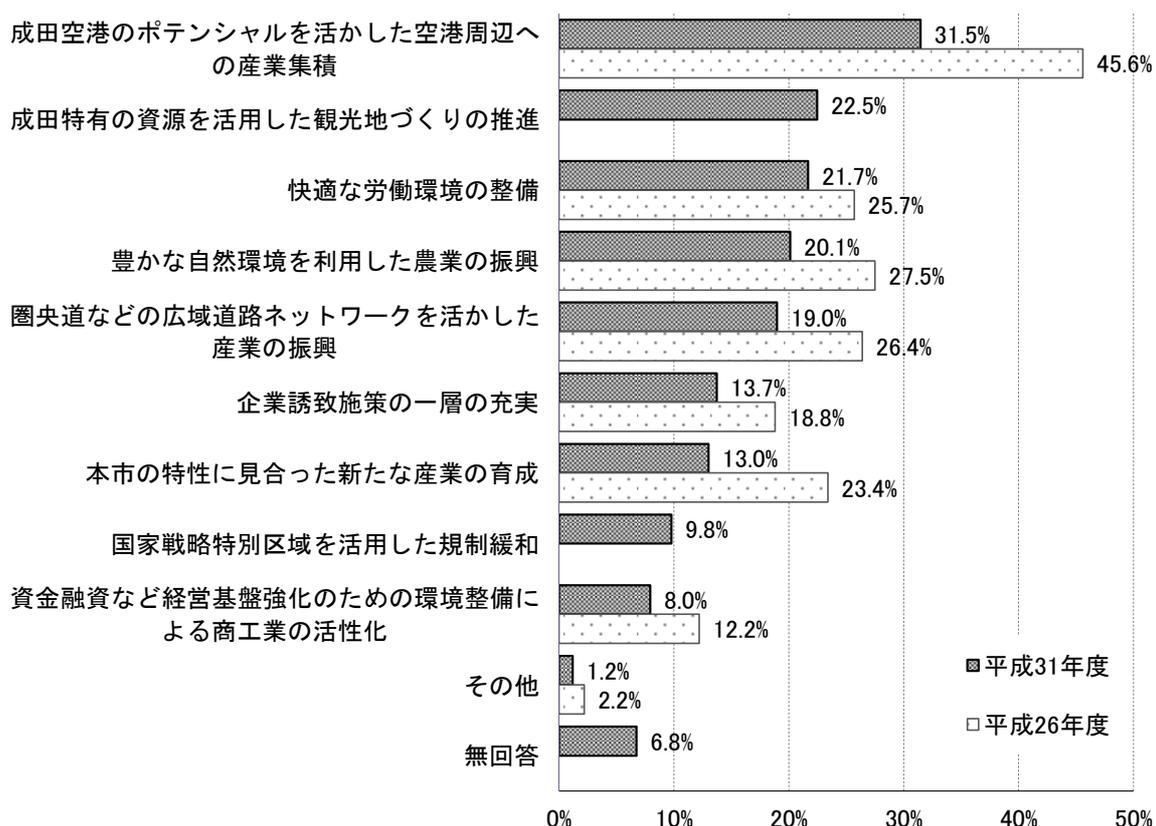


		全体	成田市を訪れる観光客が増えた	成田産の農産物を目にする機会が増えた	市内の観光地へのアクセスや観光案内表示などが充実し、観光客の市内回遊の利便性が向上した	成田市内の商店街が賑やかになった	成田には多くのビジネスチャンスがあると感じられるようになった	様々な農業関連イベントを通じて農業が身近に感じられるようになった	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,361	431	403	364	225	154	92	217
	成田地区	592	389	88	113	111	62	38	23	50
	公津地区	360	208	74	69	49	42	26	21	33
	八生地区	54	37	13	12	17	6	8	0	4
	中郷地区	27	22	8	8	9	1	3	0	1
	久住地区	85	55	21	9	6	11	8	1	13
	豊住地区	33	22	8	3	3	3	1	0	5
	遠山地区	184	114	29	28	22	20	9	11	20
	ニュータウン地区	515	314	110	112	92	47	31	23	50
	下総地区	120	67	25	12	25	16	7	6	18
	大栄地区	161	105	43	27	23	14	18	7	17
	その他	5	4	0	1	1	1	0	0	0
	無回答	40	24	12	9	6	2	5	0	6
割合(%)	全体	100.0	62.5	19.8	18.5	16.7	10.3	7.1	4.2	10.0
	成田地区	100.0	65.7	14.9	19.1	18.8	10.5	6.4	3.9	8.4
	公津地区	100.0	57.8	20.6	19.2	13.6	11.7	7.2	5.8	9.2
	八生地区	100.0	68.5	24.1	22.2	31.5	11.1	14.8	0.0	7.4
	中郷地区	100.0	81.5	29.6	29.6	33.3	3.7	11.1	0.0	3.7
	久住地区	100.0	64.7	24.7	10.6	7.1	12.9	9.4	1.2	15.3
	豊住地区	100.0	66.7	24.2	9.1	9.1	9.1	3.0	0.0	15.2
	遠山地区	100.0	62.0	15.8	15.2	12.0	10.9	4.9	6.0	10.9
	ニュータウン地区	100.0	61.0	21.4	21.7	17.9	9.1	6.0	4.5	9.7
	下総地区	100.0	55.8	20.8	10.0	20.8	13.3	5.8	5.0	15.0
	大栄地区	100.0	65.2	26.7	16.8	14.3	8.7	11.2	4.3	10.6
	その他	100.0	80.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	100.0	60.0	30.0	22.5	15.0	5.0	12.5	0.0	15.0

## (8) 成田市の産業振興

問 36 成田市の産業振興のために、どのようなことに力を入れていくべきとお考えですか。あてはまる番号 **2つ以内** を○で囲んでください。

産業振興のために力を入れていくべきことは、「成田空港のポテンシャルを活かした空港周辺への産業集積」が31.5%と最も多く、次いで「成田特有の資源を活用した観光地づくりの推進」22.5%、「快適な労働環境の整備」21.7%となっています。

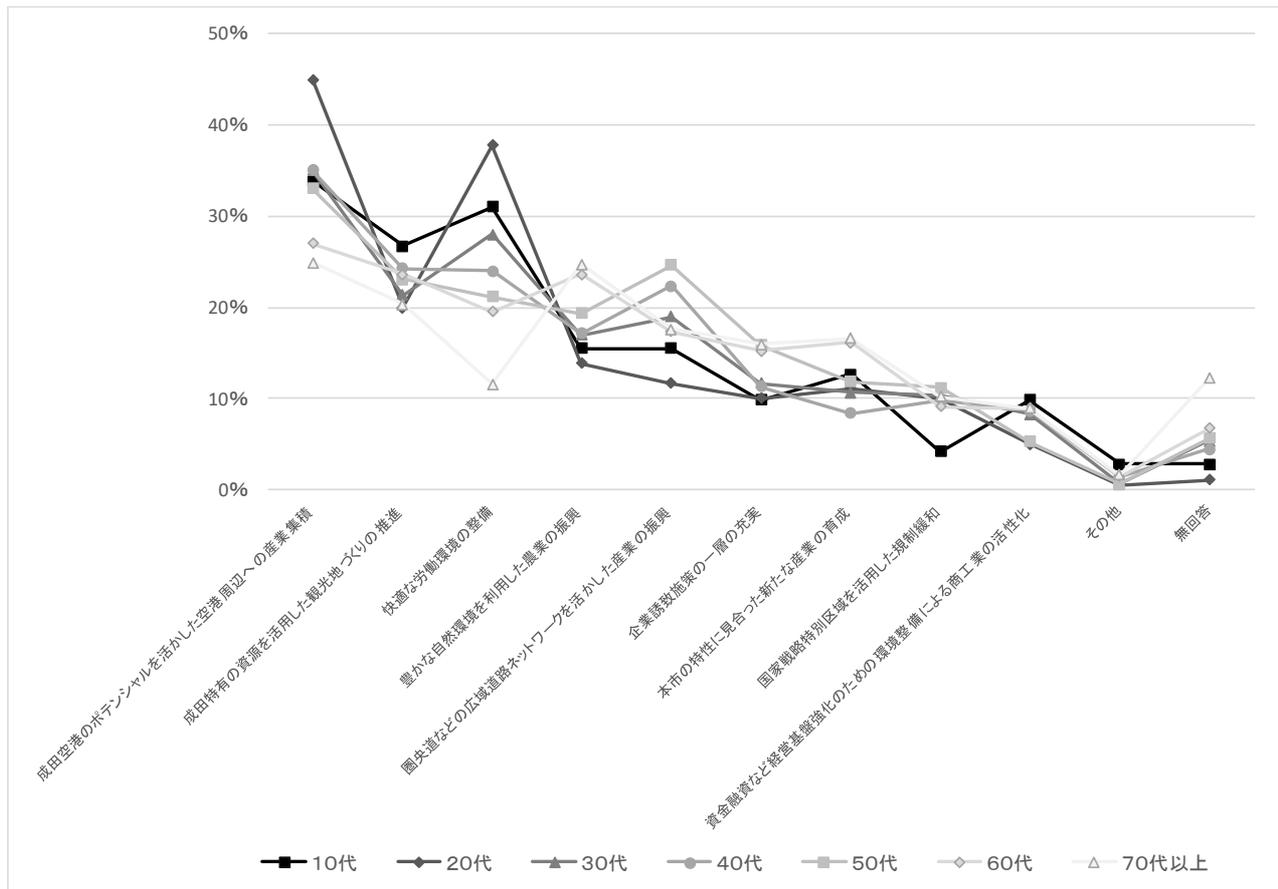


No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	成田空港のポテンシャルを活かした空港周辺への産業集積	685	31.5	1,840	45.6
2	成田特有の資源を活用した観光地づくりの推進	489	22.5	-	-
3	快適な労働環境の整備	472	21.7	1,037	25.7
4	豊かな自然環境を利用した農業の振興	438	20.1	1,109	27.5
5	圏央道などの広域道路ネットワークを活かした産業の振興	413	19.0	1,064	26.4
6	企業誘致施策の一層の充実	299	13.7	758	18.8
7	本市の特性に見合った新たな産業の育成	283	13.0	943	23.4
8	国家戦略特別区域を活用した規制緩和	213	9.8	-	-
9	資金融資など経営基盤強化のための環境整備による商工業の活性化	173	8.0	494	12.2
10	その他	26	1.2	88	2.2
11	無回答	147	6.8	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,034	-

### <年代別集計>

年代別にみると、どの年代においても「成田空港のポテンシャルを活かした空港周辺への産業集積」が多くなっていますが、特に 20 代を筆頭に低い年代で多くなっています。また、「快適な労働環境の整備」においても低い年代で多くなっています。「豊かな自然環境を利用した農業の振興」は高い年代で多く、「圏央道などの広域道路ネットワークを活かした産業の振興」になると 40 代 50 代で多くなっています。

年代が低い方ほど、成田空港のポテンシャルを活かした産業の振興が重要であると考えている方が多いことがわかります。一方、年代が高い方は、豊かな自然環境を活かした産業の振興に力を入れていくべきと考えている方が多いことがわかります。

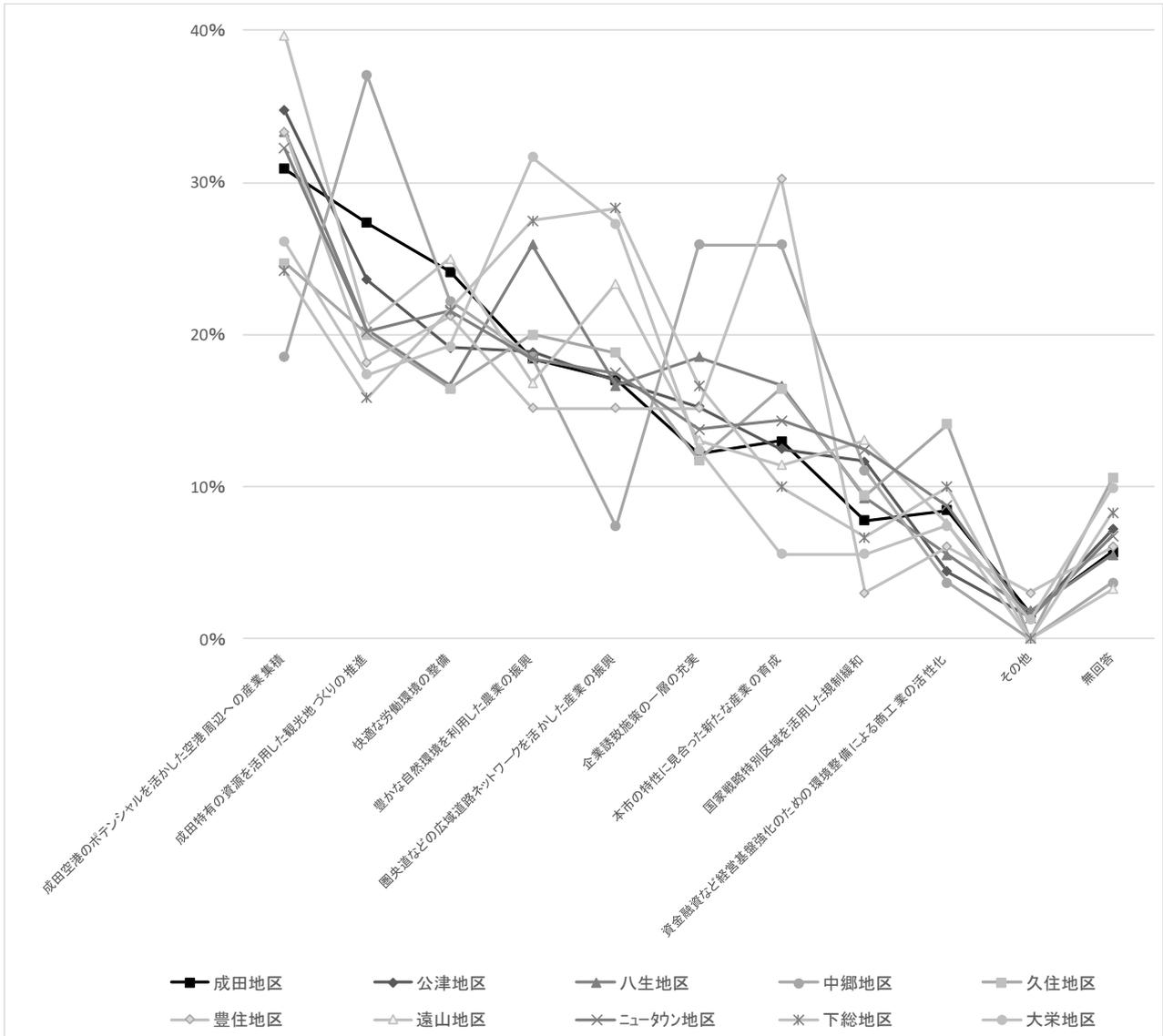


		全体	成田空港のポテンシャルを活かした空港周辺への産業集積	成田特有の資源を活用した観光地づくりの推進	快適な労働環境の整備	豊かな自然環境を利用した農業の振興	圏央道などの広域道路ネットワークを活かした産業の振興	企業誘致施策の一層の充実	本市の特性に見合った新たな産業の育成	国家戦略特別区域を活用した規制緩和	資金融資など経営基盤強化のための環境整備による商工業の活性化	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	685	489	472	438	413	299	283	213	173	26	147
	10代	71	24	19	22	11	11	7	9	3	7	2	2
	20代	180	81	36	68	25	21	18	20	18	9	1	2
	30代	300	105	64	84	51	57	35	32	31	25	2	16
	40代	380	133	92	91	65	85	43	32	37	33	5	17
	50代	321	106	74	68	62	79	51	38	36	17	2	18
	60代	415	112	98	81	98	72	63	67	38	37	6	28
	70代以上	482	120	98	56	119	85	77	80	49	43	8	59
	無回答	27	4	8	2	7	3	5	5	1	2	0	5
割合(%)	全体	100.0	31.5	22.5	21.7	20.1	19.0	13.7	13.0	9.8	8.0	1.2	6.8
	10代	100.0	33.8	26.8	31.0	15.5	15.5	9.9	12.7	4.2	9.9	2.8	2.8
	20代	100.0	45.0	20.0	37.8	13.9	11.7	10.0	11.1	10.0	5.0	0.6	1.1
	30代	100.0	35.0	21.3	28.0	17.0	19.0	11.7	10.7	10.3	8.3	0.7	5.3
	40代	100.0	35.0	24.2	23.9	17.1	22.4	11.3	8.4	9.7	8.7	1.3	4.5
	50代	100.0	33.0	23.1	21.2	19.3	24.6	15.9	11.8	11.2	5.3	0.6	5.6
	60代	100.0	27.0	23.6	19.5	23.6	17.3	15.2	16.1	9.2	8.9	1.4	6.7
	70代以上	100.0	24.9	20.3	11.6	24.7	17.6	16.0	16.6	10.2	8.9	1.7	12.2
	無回答	100.0	14.8	29.6	7.4	25.9	11.1	18.5	18.5	3.7	7.4	0.0	18.5

<地区別集計>

地区別にみると、ほとんどの地区で「成田空港のポテンシャルを活かした空港周辺への産業集積」が最も多くなっています。圏央道が通っている下総・大栄地区で「圏央道などの広域道路ネットワークを活かした産業の振興」が多くなっています。また、両地区では「豊かな自然環境を利用した農業の振興」が多くなっています。

多くの地区で、成田空港を活かした産業振興を重要であると考えている方が多いことがわかります。



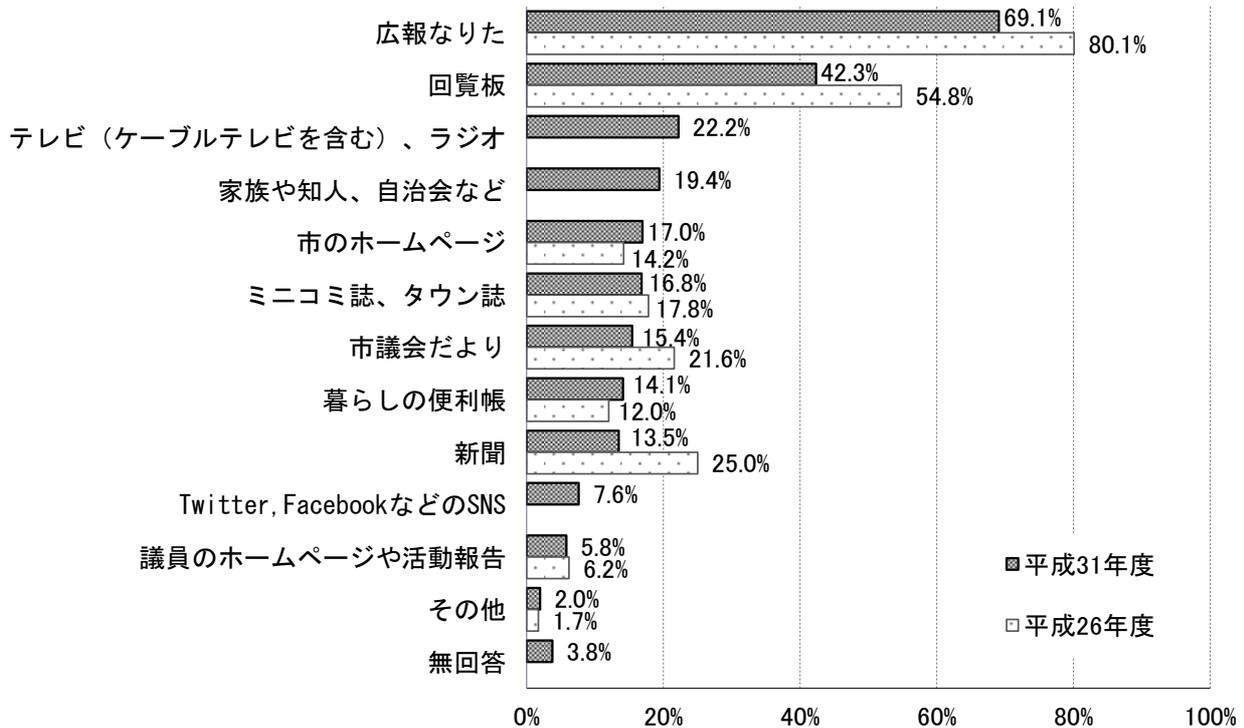
		全体	成田空港のポテンシャルを活かした空港周辺への産業集積	成田特有の資源を活用した観光地づくりの推進	快適な労働環境の整備	豊かな自然環境を利用した農業の振興	圏央道などの広域道路ネットワークを活かした産業の振興	企業誘致施策の一層の充実	本市の特性に見合った新たな産業の育成	国家戦略特別区域を活用した規制緩和	資金融資など経営基盤強化のための環境整備による商工業の活性化	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	685	489	472	438	413	299	283	213	173	26	147
	成田地区	592	183	162	143	109	101	72	77	46	50	10	34
	公津地区	360	125	85	69	68	61	55	45	42	16	5	26
	八生地区	54	18	11	9	14	9	10	9	5	3	1	3
	中郷地区	27	5	10	6	5	2	7	7	3	1	0	1
	久住地区	85	21	17	14	17	16	10	14	8	12	0	9
	豊住地区	33	11	6	7	5	5	5	10	1	2	1	2
	遠山地区	184	73	38	46	31	43	24	21	24	14	0	6
	ニュータウン地区	515	166	104	111	95	90	71	74	64	45	7	35
	下総地区	120	29	19	26	33	34	20	12	8	12	0	10
	大栄地区	161	42	28	31	51	44	20	9	9	12	2	16
	その他	5	1	3	0	2	2	1	0	0	1	0	0
無回答	40	11	6	10	8	6	4	5	3	5	0	5	
割合(%)	全体	100.0	31.5	22.5	21.7	20.1	19.0	13.7	13.0	9.8	8.0	1.2	6.8
	成田地区	100.0	30.9	27.4	24.2	18.4	17.1	12.2	13.0	7.8	8.4	1.7	5.7
	公津地区	100.0	34.7	23.6	19.2	18.9	16.9	15.3	12.5	11.7	4.4	1.4	7.2
	八生地区	100.0	33.3	20.4	16.7	25.9	16.7	18.5	16.7	9.3	5.6	1.9	5.6
	中郷地区	100.0	18.5	37.0	22.2	18.5	7.4	25.9	25.9	11.1	3.7	0.0	3.7
	久住地区	100.0	24.7	20.0	16.5	20.0	18.8	11.8	16.5	9.4	14.1	0.0	10.6
	豊住地区	100.0	33.3	18.2	21.2	15.2	15.2	15.2	30.3	3.0	6.1	3.0	6.1
	遠山地区	100.0	39.7	20.7	25.0	16.8	23.4	13.0	11.4	13.0	7.6	0.0	3.3
	ニュータウン地区	100.0	32.2	20.2	21.6	18.4	17.5	13.8	14.4	12.4	8.7	1.4	6.8
	下総地区	100.0	24.2	15.8	21.7	27.5	28.3	16.7	10.0	6.7	10.0	0.0	8.3
	大栄地区	100.0	26.1	17.4	19.3	31.7	27.3	12.4	5.6	5.6	7.5	1.2	9.9
	その他	100.0	20.0	60.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
無回答	100.0	27.5	15.0	25.0	20.0	15.0	10.0	12.5	7.5	12.5	0.0	12.5	

## 5. 自治体経営について

### (1) 成田市に関する情報の入手手段

問 37 あなたは、成田市に関する情報を何によって知ることが多いですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

成田市に関する情報の入手手段は、「広報なりた」が 69.1%と最も多く、次いで「回覧板」42.3%、「テレビ（ケーブルテレビを含む）、ラジオ」22.2%となっています。

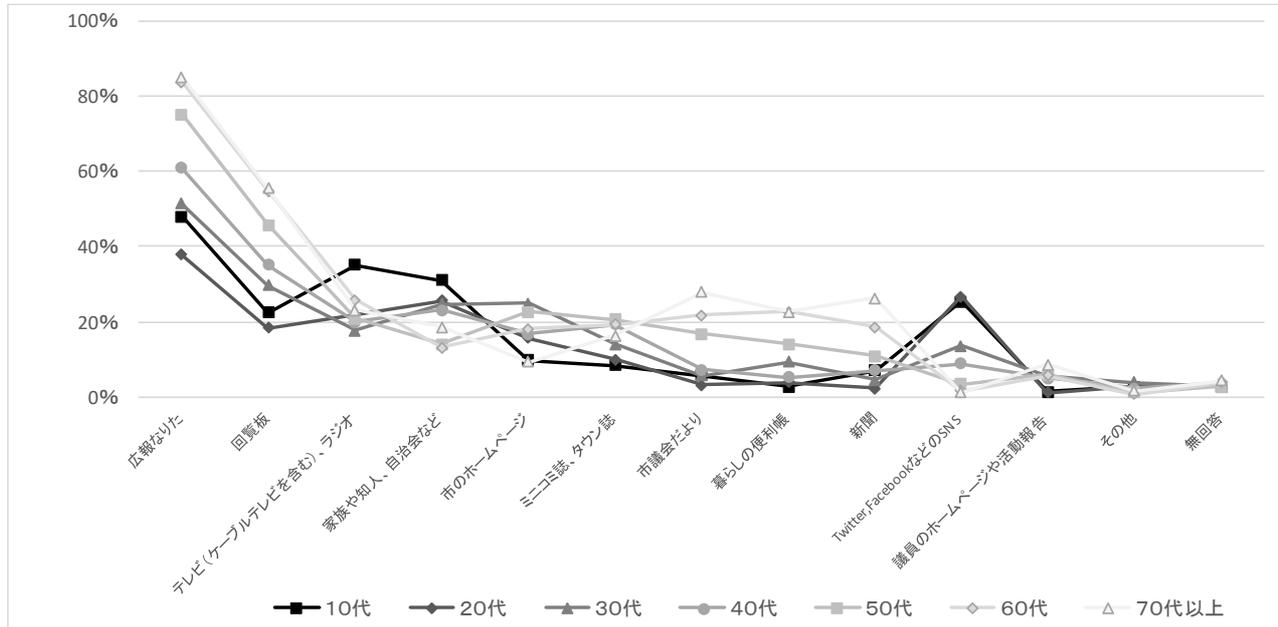


No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	広報なりた	1,503	69.1	3,510	80.1
2	回覧板	921	42.3	2,402	54.8
3	テレビ(ケーブルテレビを含む)、ラジオ	483	22.2	-	-
4	家族や知人、自治会など	422	19.4	-	-
5	市のホームページ	369	17.0	621	14.2
6	ミニコミ誌、タウン誌	366	16.8	782	17.8
7	市議会だより	336	15.4	946	21.6
8	暮らしの便利帳	307	14.1	524	12.0
9	新聞	293	13.5	1,095	25.0
10	Twitter, Facebook などの SNS	166	7.6	-	-
11	議員のホームページや活動報告	126	5.8	271	6.2
12	その他	43	2.0	74	1.7
13	無回答	82	3.8	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,384	-

※平成 26 年度は、選択肢No.3. が「成田ケーブルテレビ」と「一般のテレビ、ラジオ」に、選択肢No.4. が「家族や知人、近所の人の話」と「自治会などの会合」に分かれています。

<年代別集計>

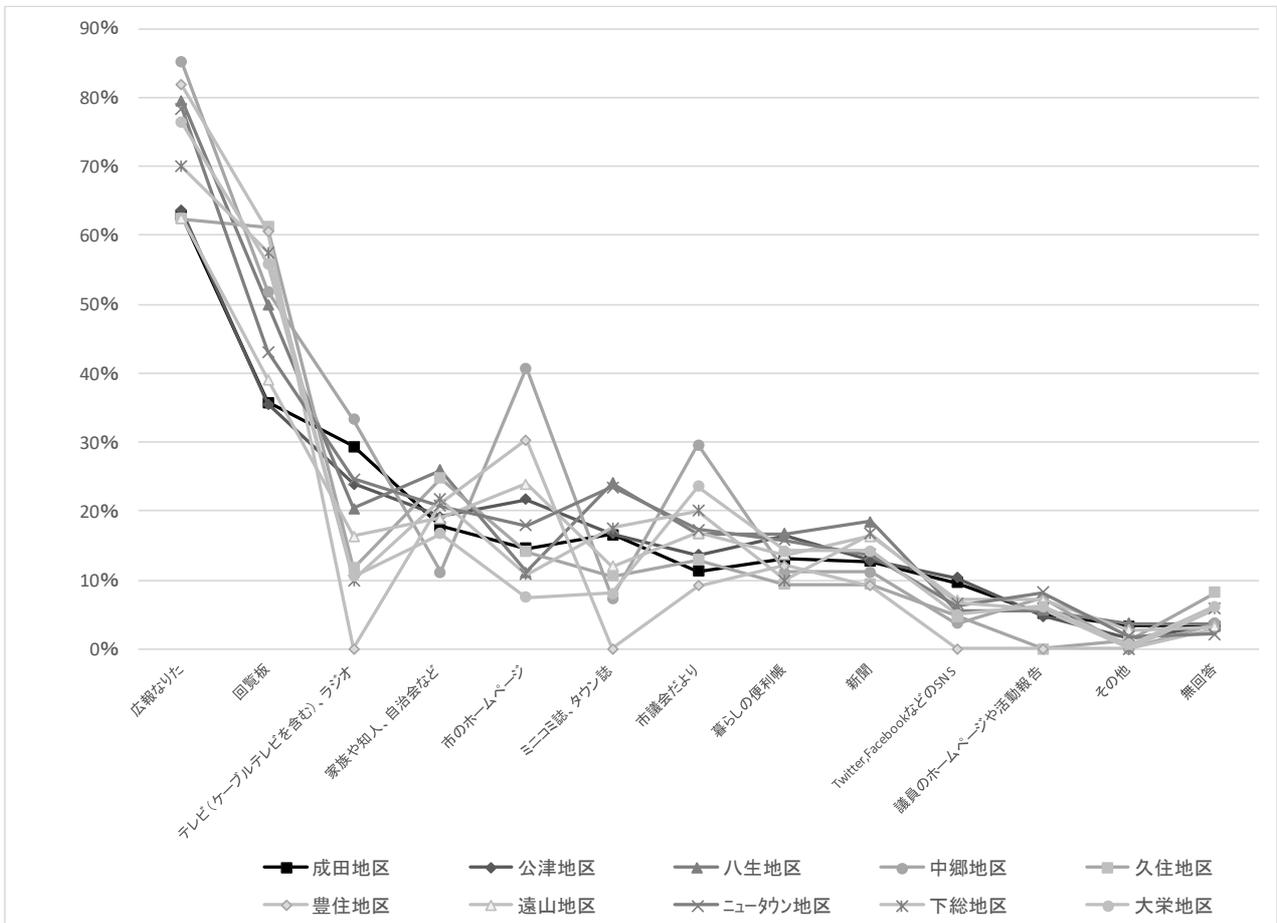
年代別にみると、どの年代においても「広報なりた」が最も多くなっています。「広報なりた」及び「回覧板」は特に年代が高いほど多くなる傾向にあります。20代以下においては、「回覧板」より「テレビ（ケーブルテレビを含む）、ラジオ」「Twitter, Facebook などの SNS」「家族や知人、自治会など」が多く2割以上を占めています。



		全体	広報なりた	回覧板	テレビ(ケーブルテレビを含む)、ラジオ	家族や知人、自治会など	市のホームページ	ミニミニ誌、タウン誌	市議会だより	暮らしの便利帳	新聞	Twitter, Facebook などの SNS	議員のホームページや活動報告	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,503	921	483	422	369	366	336	307	293	166	126	43	82
	10代	71	34	16	25	22	7	6	4	2	5	18	1	2	2
	20代	180	68	33	39	46	28	18	6	7	4	48	2	5	6
	30代	300	154	89	53	74	75	42	17	28	14	41	17	12	9
	40代	380	231	133	76	88	64	73	28	20	27	34	19	9	14
	50代	321	241	147	67	45	73	66	54	45	35	11	19	4	9
	60代	415	347	227	107	55	75	80	90	94	77	7	24	3	16
	70代以上	482	410	267	111	90	45	79	134	109	127	6	42	8	21
	無回答	27	18	9	5	2	2	2	3	2	4	1	2	0	5
割合(%)	全体	100.0	69.1	42.3	22.2	19.4	17.0	16.8	15.4	14.1	13.5	7.6	5.8	2.0	3.8
	10代	100.0	47.9	22.5	35.2	31.0	9.9	8.5	5.6	2.8	7.0	25.4	1.4	2.8	2.8
	20代	100.0	37.8	18.3	21.7	25.6	15.6	10.0	3.3	3.9	2.2	26.7	1.1	2.8	3.3
	30代	100.0	51.3	29.7	17.7	24.7	25.0	14.0	5.7	9.3	4.7	13.7	5.7	4.0	3.0
	40代	100.0	60.8	35.0	20.0	23.2	16.8	19.2	7.4	5.3	7.1	8.9	5.0	2.4	3.7
	50代	100.0	75.1	45.8	20.9	14.0	22.7	20.6	16.8	14.0	10.9	3.4	5.9	1.2	2.8
	60代	100.0	83.6	54.7	25.8	13.3	18.1	19.3	21.7	22.7	18.6	1.7	5.8	0.7	3.9
	70代以上	100.0	85.1	55.4	23.0	18.7	9.3	16.4	27.8	22.6	26.3	1.2	8.7	1.7	4.4
	無回答	100.0	66.7	33.3	18.5	7.4	7.4	7.4	11.1	7.4	14.8	3.7	7.4	0.0	18.5

<地区別集計>

地区別にみると、どの地区においても「広報なりた」が最も多く、次いで「回覧板」が多く、同傾向を示しています。

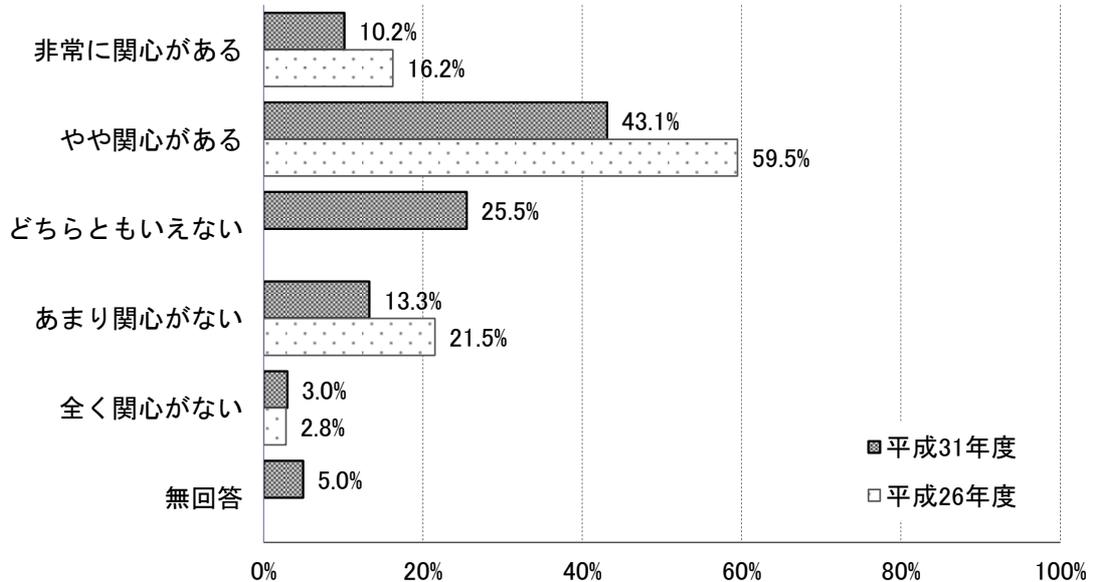


		全体	広報なりた	回覧板	テレビ(ケーブルテレビを含む)、ラジオ	家族や知人、自治会など	市のホームページ	ミニコミ誌、タウン誌	市議会だより	暮らしの便利帳	新聞	Twitter、FacebookなどのSNS	議員のホームページや活動報告	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,503	921	483	422	369	366	336	307	293	166	126	43	82
	成田地区	592	372	212	174	105	86	98	67	77	75	57	30	20	20
	公津地区	360	229	128	86	69	78	60	49	59	46	37	17	5	12
	八生地区	54	43	27	11	14	6	13	9	9	10	3	3	2	2
	中郷地区	27	23	14	9	3	11	2	8	3	3	1	2	0	1
	久住地区	85	53	52	10	21	12	9	11	8	8	4	0	1	7
	豊住地区	33	27	20	0	7	10	0	3	4	3	0	0	0	1
	遠山地区	184	115	72	30	35	44	22	31	25	30	13	13	5	6
	ニュータウン地区	515	404	222	127	107	92	121	89	81	70	32	42	9	11
	下総地区	120	84	69	12	26	13	21	24	12	20	8	7	0	7
	大栄地区	161	123	90	17	27	12	13	38	23	23	8	10	1	10
	その他	5	4	2	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0
	無回答	40	26	13	7	8	4	5	7	6	4	3	2	0	5
割合(%)	全体	100.0	69.1	42.3	22.2	19.4	17.0	16.8	15.4	14.1	13.5	7.6	5.8	2.0	3.8
	成田地区	100.0	62.8	35.8	29.4	17.7	14.5	16.6	11.3	13.0	12.7	9.6	5.1	3.4	3.4
	公津地区	100.0	63.6	35.6	23.9	19.2	21.7	16.7	13.6	16.4	12.8	10.3	4.7	1.4	3.3
	八生地区	100.0	79.6	50.0	20.4	25.9	11.1	24.1	16.7	16.7	18.5	5.6	5.6	3.7	3.7
	中郷地区	100.0	85.2	51.9	33.3	11.1	40.7	7.4	29.6	11.1	11.1	3.7	7.4	0.0	3.7
	久住地区	100.0	62.4	61.2	11.8	24.7	14.1	10.6	12.9	9.4	9.4	4.7	0.0	1.2	8.2
	豊住地区	100.0	81.8	60.6	0.0	21.2	30.3	0.0	9.1	12.1	9.1	0.0	0.0	0.0	3.0
	遠山地区	100.0	62.5	39.1	16.3	19.0	23.9	12.0	16.8	13.6	16.3	7.1	7.1	2.7	3.3
	ニュータウン地区	100.0	78.4	43.1	24.7	20.8	17.9	23.5	17.3	15.7	13.6	6.2	8.2	1.7	2.1
	下総地区	100.0	70.0	57.5	10.0	21.7	10.8	17.5	20.0	10.0	16.7	6.7	5.8	0.0	5.8
	大栄地区	100.0	76.4	55.9	10.6	16.8	7.5	8.1	23.6	14.3	14.3	5.0	6.2	0.6	6.2
	その他	100.0	80.0	40.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	100.0	65.0	32.5	17.5	20.0	10.0	12.5	17.5	15.0	10.0	7.5	5.0	0.0	12.5

## (2) 市政に対する関心度

問 38 あなたは、市政にどの程度関心をお持ちですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

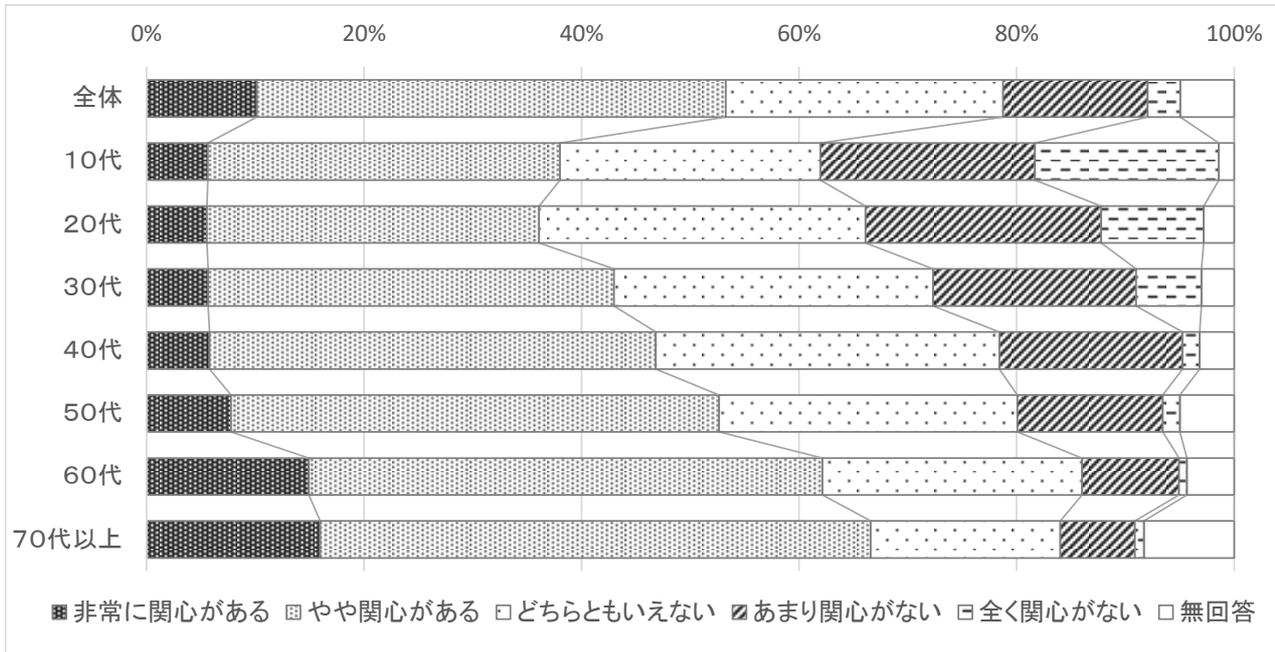
市政に対する関心度は、「やや関心がある」が43.1%と最も多く、次いで「どちらともいえない」25.5%、「あまり関心がない」13.3%となっています。



No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	非常に関心がある	221	10.2	709	16.2
2	やや関心がある	938	43.1	2,602	59.5
3	どちらともいえない	555	25.5	-	-
4	あまり関心がない	289	13.3	941	21.5
5	全く関心がない	65	3.0	121	2.8
6	無回答	108	5.0	-	-
	合計	2,176	100.0	4,373	100.0

<年代別集計>

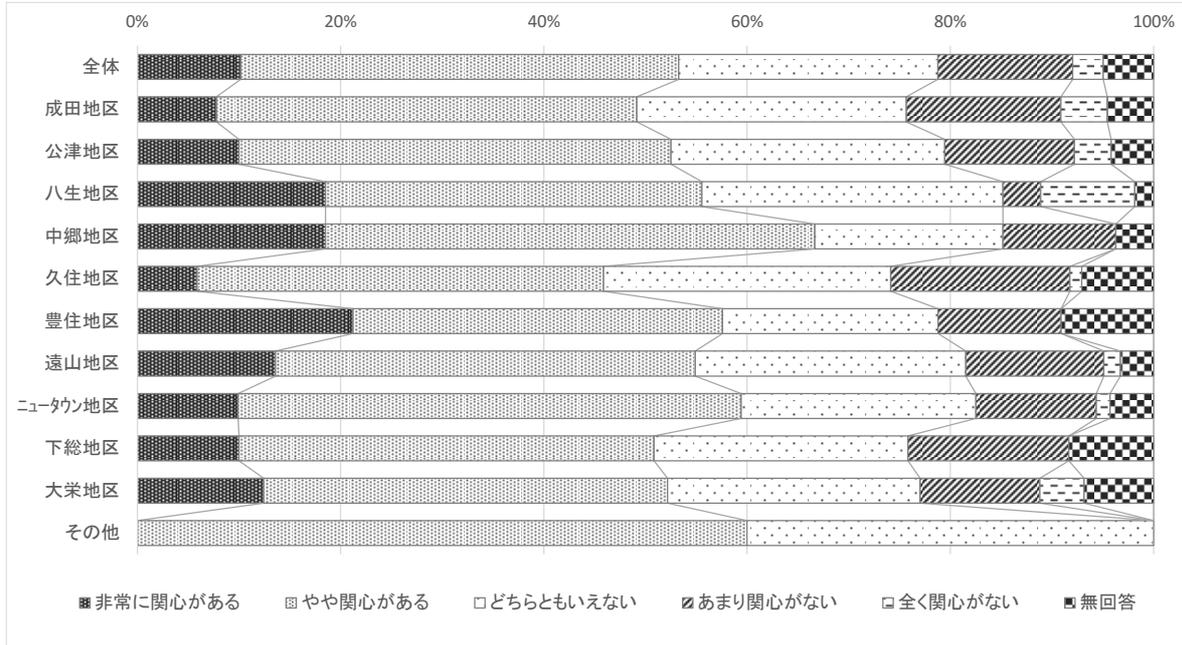
年代別にみると、「非常に関心がある」「やや関心がある」割合は、20代以下では4割を切っており、年代が上がるほど高くなり60代以上では6割以上となっています。



		全体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	全く関心がない	無回答
人数(人)	全体	2,176	221	938	555	289	65	108
	10代	71	4	23	17	14	12	1
	20代	180	10	55	54	39	17	5
	30代	300	17	112	88	56	18	9
	40代	380	22	156	120	64	6	12
	50代	321	25	144	88	43	5	16
	60代	415	62	196	99	37	3	18
	70代以上	482	77	244	84	33	4	40
無回答	27	4	8	5	3	0	7	
割合(%)	全体	100.0	10.2	43.1	25.5	13.3	3.0	5.0
	10代	100.0	5.6	32.4	23.9	19.7	16.9	1.4
	20代	100.0	5.6	30.6	30.0	21.7	9.4	2.8
	30代	100.0	5.7	37.3	29.3	18.7	6.0	3.0
	40代	100.0	5.8	41.1	31.6	16.8	1.6	3.2
	50代	100.0	7.8	44.9	27.4	13.4	1.6	5.0
	60代	100.0	14.9	47.2	23.9	8.9	0.7	4.3
	70代以上	100.0	16.0	50.6	17.4	6.8	0.8	8.3
無回答	100.0	14.8	29.6	18.5	11.1	0.0	25.9	

<地区別集計>

地区別にみると、概ね同傾向を示しています。ほとんどの地区で「非常に関心がある」「やや関心がある」の計が半数以上となり、「あまり関心がない」「全く関心がない」が1～2割となっています。



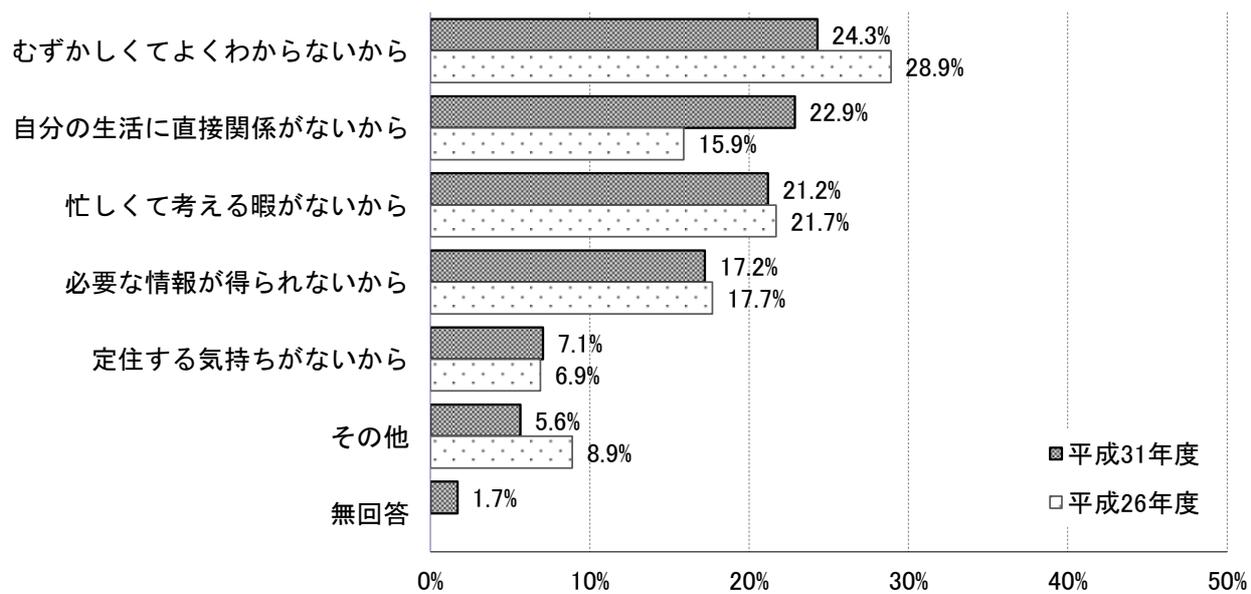
		全体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	全く関心がない	無回答
人数(人)	全体	2,176	221	938	555	289	65	108
	成田地区	592	46	245	157	90	27	27
	公津地区	360	36	153	97	46	13	15
	八生地区	54	10	20	16	2	5	1
	中郷地区	27	5	13	5	3	0	1
	久住地区	85	5	34	24	15	1	6
	豊住地区	33	7	12	7	4	0	3
	遠山地区	184	25	76	49	25	3	6
	ニュータウン地区	515	51	255	119	61	7	22
	下総地区	120	12	49	30	19	0	10
	大栄地区	161	20	64	40	19	7	11
	その他	5	0	3	2	0	0	0
無回答	40	4	14	9	5	2	6	
割合(%)	全体	100.0	10.2	43.1	25.5	13.3	3.0	5.0
	成田地区	100.0	7.8	41.4	26.5	15.2	4.6	4.6
	公津地区	100.0	10.0	42.5	26.9	12.8	3.6	4.2
	八生地区	100.0	18.5	37.0	29.6	3.7	9.3	1.9
	中郷地区	100.0	18.5	48.1	18.5	11.1	0.0	3.7
	久住地区	100.0	5.9	40.0	28.2	17.6	1.2	7.1
	豊住地区	100.0	21.2	36.4	21.2	12.1	0.0	9.1
	遠山地区	100.0	13.6	41.3	26.6	13.6	1.6	3.3
	ニュータウン地区	100.0	9.9	49.5	23.1	11.8	1.4	4.3
	下総地区	100.0	10.0	40.8	25.0	15.8	0.0	8.3
	大栄地区	100.0	12.4	39.8	24.8	11.8	4.3	6.8
	その他	100.0	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
無回答	100.0	10.0	35.0	22.5	12.5	5.0	15.0	

### (3) 市政に関心がない（または少ない）理由

◆問38で「4」または「5」と答えた方におうかがいします。

問38-① その理由は何ですか。あてはまる番号を**1つだけ**○で囲んでください。

市政に関心がない（または少ない）理由は、「むずかしくてよくわからないから」が24.3%と最も多く、次いで「自分の生活に直接関係がないから」22.9%、「忙しくて考える暇がないから」21.2%となっています。

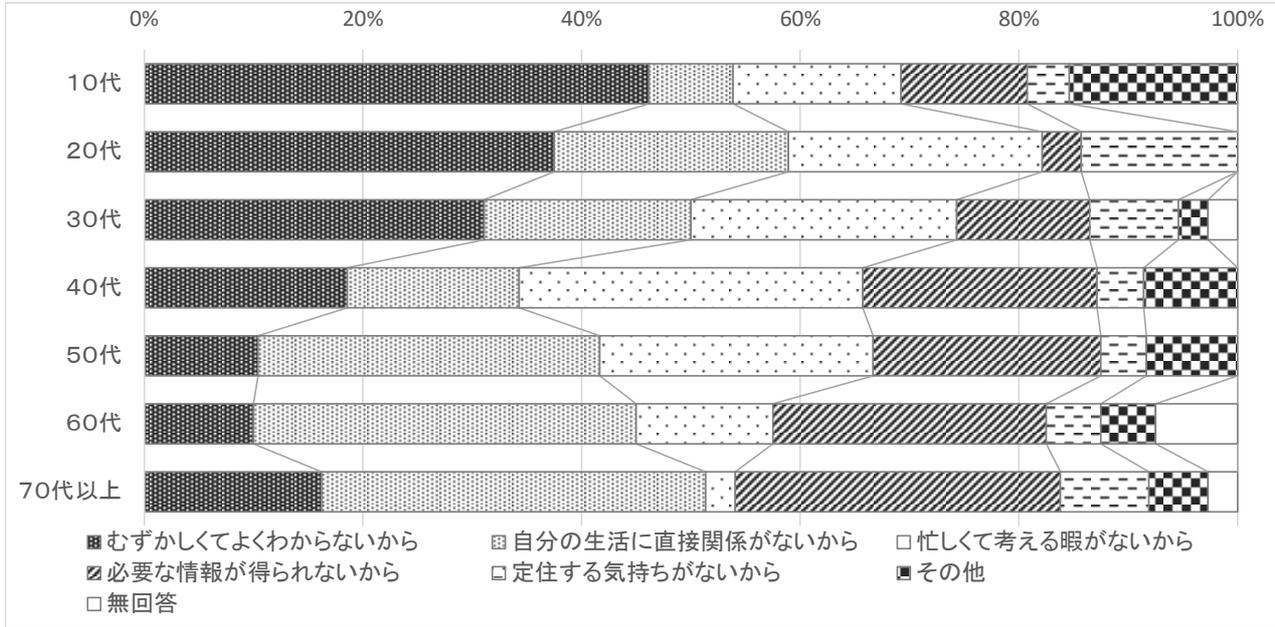


No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	むずかしくてよくわからないから	86	24.3	295	28.9
2	自分の生活に直接関係がないから	81	22.9	162	15.9
3	忙しくて考える暇がないから	75	21.2	222	21.7
4	必要な情報が得られないから	61	17.2	181	17.7
5	定住する気持ちがないから	25	7.1	71	6.9
6	その他	20	5.6	91	8.9
7	無回答	6	1.7	-	-
	合計	354	100.0	1022	100.0

<年代別集計>

年代別にみると、30代以下で「むずかしくてよくわからないから」、40代で「忙しくて考える暇がないから」、50代以上で「自分の生活に直接関係がないから」が最も多くなっています。

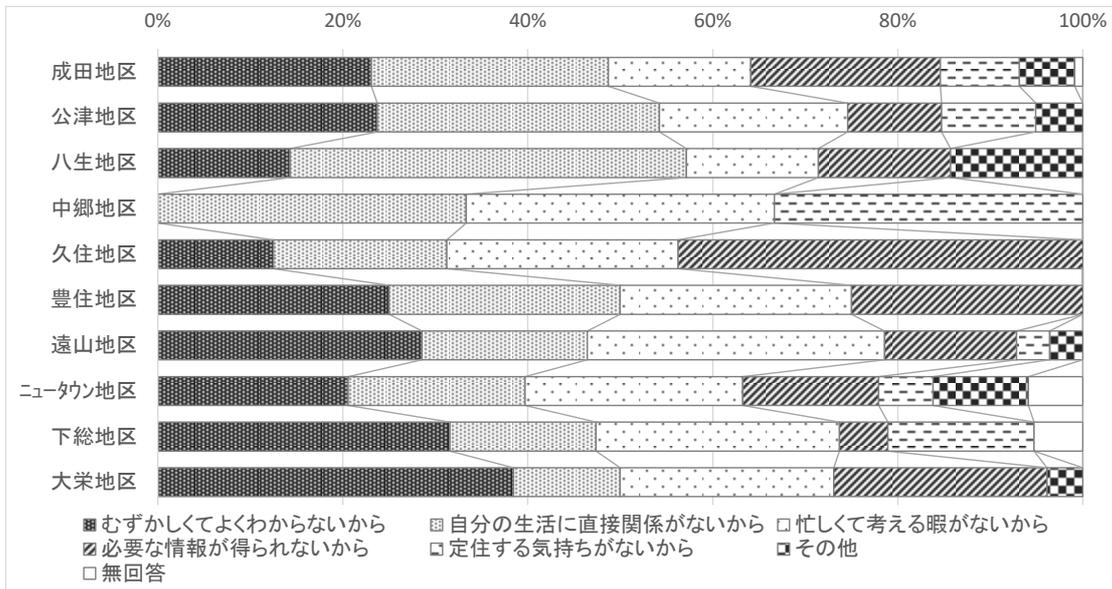
低い年代の市政への関心の低さの原因は、成田市政に対して難しいと感じていること、日々の忙しさにあることがわかります。



		全体	むずかしくてよくわからないから	自分の生活に直接関係がないから	忙しくて考える暇がないから	必要な情報が得られないから	定住する気持ちがないから	その他	無回答
人数(人)	全体	354	86	81	75	61	25	20	6
	10代	26	12	2	4	3	1	4	0
	20代	56	21	12	13	2	8	0	0
	30代	74	23	14	18	9	6	2	2
	40代	70	13	11	22	15	3	6	0
	50代	48	5	15	12	10	2	4	0
	60代	40	4	14	5	10	2	2	3
	70代以上	37	6	13	1	11	3	2	1
	無回答	3	2	0	0	1	0	0	0
割合(%)	全体	100.0	24.3	22.9	21.2	17.2	7.1	5.6	1.7
	10代	100.0	46.2	7.7	15.4	11.5	3.8	15.4	0.0
	20代	100.0	37.5	21.4	23.2	3.6	14.3	0.0	0.0
	30代	100.0	31.1	18.9	24.3	12.2	8.1	2.7	2.7
	40代	100.0	18.6	15.7	31.4	21.4	4.3	8.6	0.0
	50代	100.0	10.4	31.3	25.0	20.8	4.2	8.3	0.0
	60代	100.0	10.0	35.0	12.5	25.0	5.0	5.0	7.5
	70代以上	100.0	16.2	35.1	2.7	29.7	8.1	5.4	2.7
	無回答	100.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0

<地区別集計>

地区別にみると、成田・公津・八生地区等では「自分の生活に直接関係がないから」、遠山・ニュータウン地区等では「忙しくて考える暇がないから」、下総・大栄地区では「むずかしくてよくわからないから」が最も多くなっています。市政を身近に感じられる工夫を検討する必要があります。

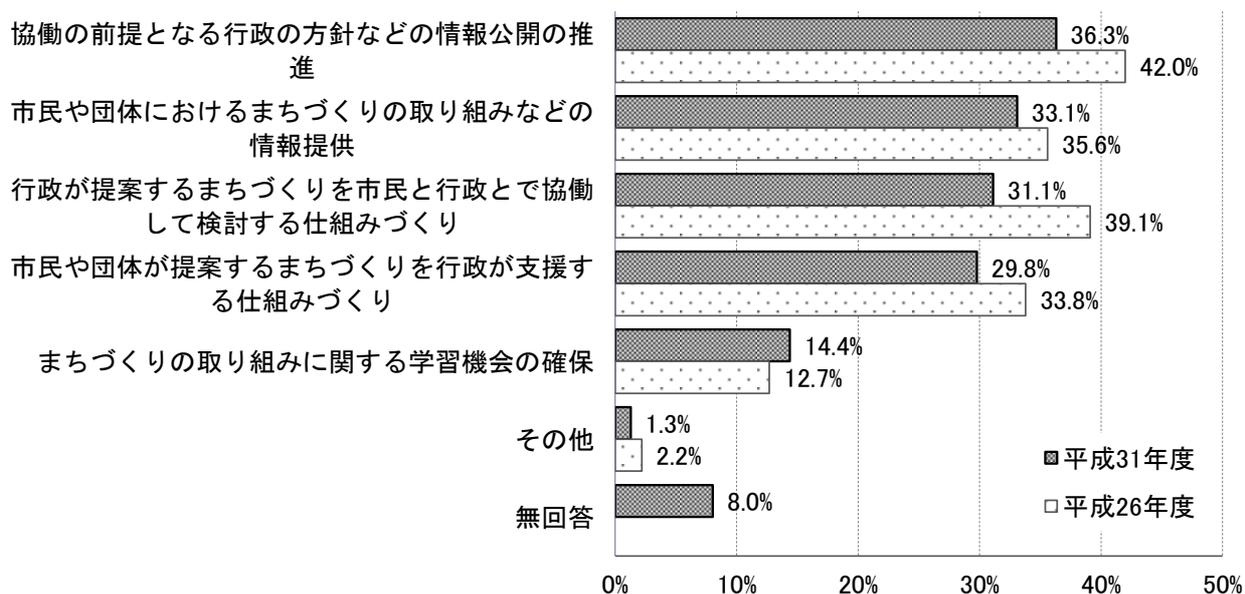


		全体	むずかしくてよくわからないから	自分の生活に直接関係がないから	忙しくて考える暇がないから	必要情報が得られないから	定住する気持ちがないから	その他	無回答
人数(人)	全体	354	86	81	75	61	25	20	6
	成田地区	117	27	30	18	24	10	7	1
	公津地区	59	14	18	12	6	6	3	0
	八生地区	7	1	3	1	1	0	1	0
	中郷地区	3	0	1	1	0	1	0	0
	久住地区	16	2	3	4	7	0	0	0
	豊住地区	4	1	1	1	1	0	0	0
	遠山地区	28	8	5	9	4	1	1	0
	ニュータウン地区	68	14	13	16	10	4	7	4
	下総地区	19	6	3	5	1	3	0	1
	大栄地区	26	10	3	6	6	0	1	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	7	3	1	2	1	0	0	0
	割合(%)	全体	100.0	24.3	22.9	21.2	17.2	7.1	5.6
成田地区		100.0	23.1	25.6	15.4	20.5	8.5	6.0	0.9
公津地区		100.0	23.7	30.5	20.3	10.2	10.2	5.1	0.0
八生地区		100.0	14.3	42.9	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0
中郷地区		100.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
久住地区		100.0	12.5	18.8	25.0	43.8	0.0	0.0	0.0
豊住地区		100.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
遠山地区		100.0	28.6	17.9	32.1	14.3	3.6	3.6	0.0
ニュータウン地区		100.0	20.6	19.1	23.5	14.7	5.9	10.3	5.9
下総地区		100.0	31.6	15.8	26.3	5.3	15.8	0.0	5.3
大栄地区		100.0	38.5	11.5	23.1	23.1	0.0	3.8	0.0
その他		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答		100.0	42.9	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0

#### (4) 成田市の市民と行政の協働のまちづくりの推進

問 39 成田市では、市民と行政がともに考え行動する、協働のまちづくりを推進したいと考えています。協働のまちづくりの推進にあたって、どのような取り組みが必要だと思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

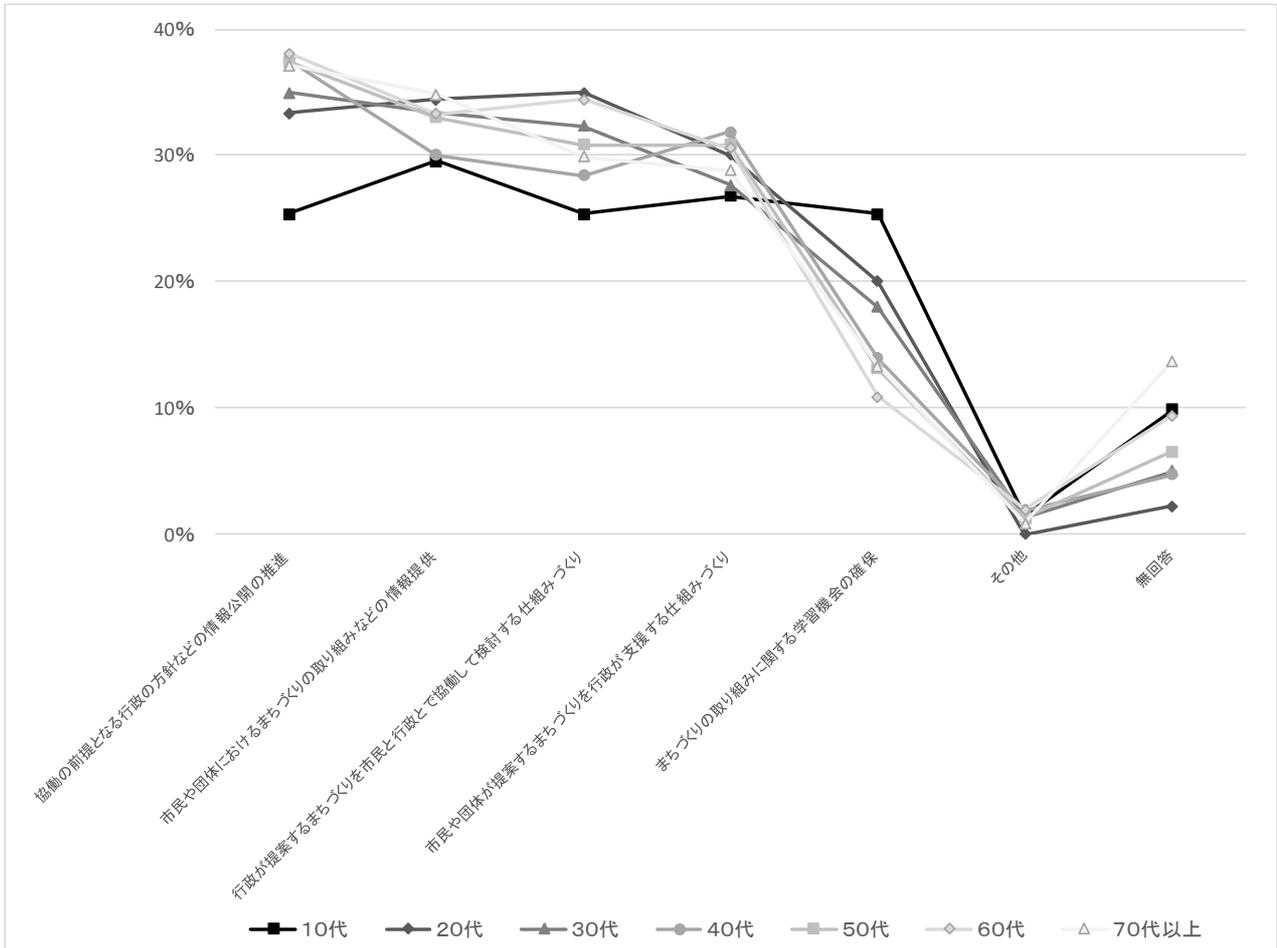
協働のまちづくりの推進にあたって必要な取り組みは、「協働の前提となる行政の方針などの情報公開の推進」が36.3%と最も多く、次いで「市民や団体におけるまちづくりの取り組みなどの情報提供」33.1%、「行政が提案するまちづくりを市民と行政とで協働して検討する仕組みづくり」31.1%となっています。平成26年度と比較すると、「まちづくりの取り組みに関する学習機会の確保」以外すべての項目で減少しています。



No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	協働の前提となる行政の方針などの情報公開の推進	790	36.3	1,776	42.0
2	市民や団体におけるまちづくりの取り組みなどの情報提供	720	33.1	1,504	35.6
3	行政が提案するまちづくりを市民と行政とで協働して検討する仕組みづくり	677	31.1	1,653	39.1
4	市民や団体が提案するまちづくりを行政が支援する仕組みづくり	648	29.8	1,426	33.8
5	まちづくりの取り組みに関する学習機会の確保	313	14.4	535	12.7
6	その他	28	1.3	91	2.2
7	無回答	175	8.0	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,224	-

<年代別集計>

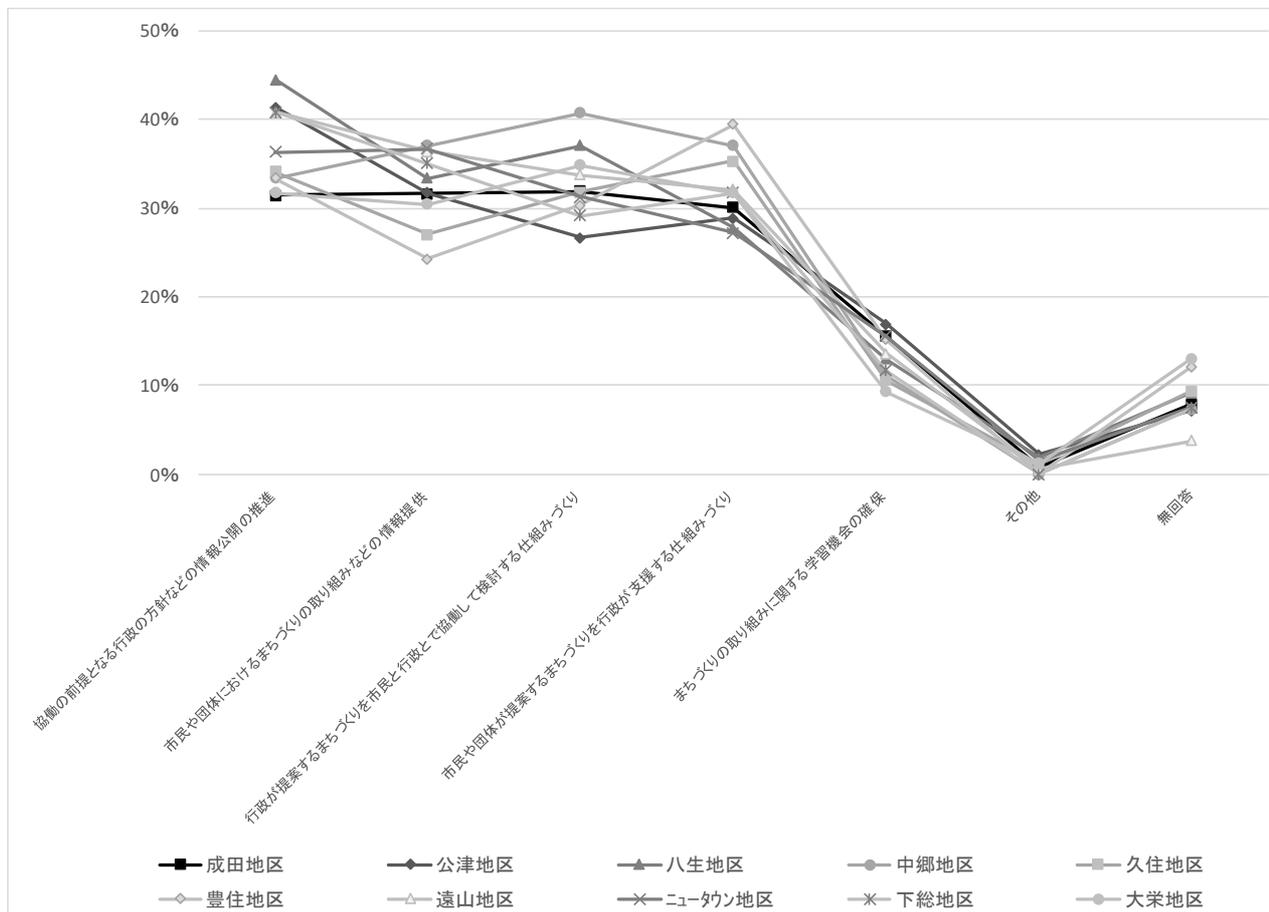
年代別にみると、どの年代においても「協働の前提となる行政の方針などの情報公開の推進」「市民や団体におけるまちづくりの取り組みなどの情報提供」「行政が提案するまちづくりを市民と行政とで協働して検討する仕組みづくり」「市民や団体が提案するまちづくりを行政が支援する仕組みづくり」が3割程度となっています。



		全体	協働の前提となる行政の方針などの情報公開の推進	市民や団体におけるまちづくりの取り組みなどの情報提供	行政が提案するまちづくりを市民と行政とで協働して検討する仕組みづくり	市民や団体が提案するまちづくりを行政が支援する仕組みづくり	まちづくりの取り組みに関する学習機会の確保	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	790	720	677	648	313	28	175
	10代	71	18	21	18	19	18	1	7
	20代	180	60	62	63	54	36	0	4
	30代	300	105	100	97	83	54	4	15
	40代	380	143	114	108	121	53	7	18
	50代	321	120	106	99	99	42	4	21
	60代	415	158	138	143	127	45	8	39
	70代以上	482	179	168	144	139	64	4	66
	無回答	27	7	11	5	6	1	0	5
割合(%)	全体	100.0	36.3	33.1	31.1	29.8	14.4	1.3	8.0
	10代	100.0	25.4	29.6	25.4	26.8	25.4	1.4	9.9
	20代	100.0	33.3	34.4	35.0	30.0	20.0	0.0	2.2
	30代	100.0	35.0	33.3	32.3	27.7	18.0	1.3	5.0
	40代	100.0	37.6	30.0	28.4	31.8	13.9	1.8	4.7
	50代	100.0	37.4	33.0	30.8	30.8	13.1	1.2	6.5
	60代	100.0	38.1	33.3	34.5	30.6	10.8	1.9	9.4
	70代以上	100.0	37.1	34.9	29.9	28.8	13.3	0.8	13.7
	無回答	100.0	25.9	40.7	18.5	22.2	3.7	0.0	18.5

<地区別集計>

地区別による大きな相違はなく、いずれの地区においても、「協働の前提となる行政の方針などの情報公開の推進」「市民や団体におけるまちづくりの取り組みなどの情報提供」「行政が提案するまちづくりを市民と行政とで協働して検討する仕組みづくり」「市民や団体が提案するまちづくりを行政が支援する仕組みづくり」が多くなっており、「まちづくりの取り組みに関する学習機会の確保」はどの地区でも2割未満となっています。



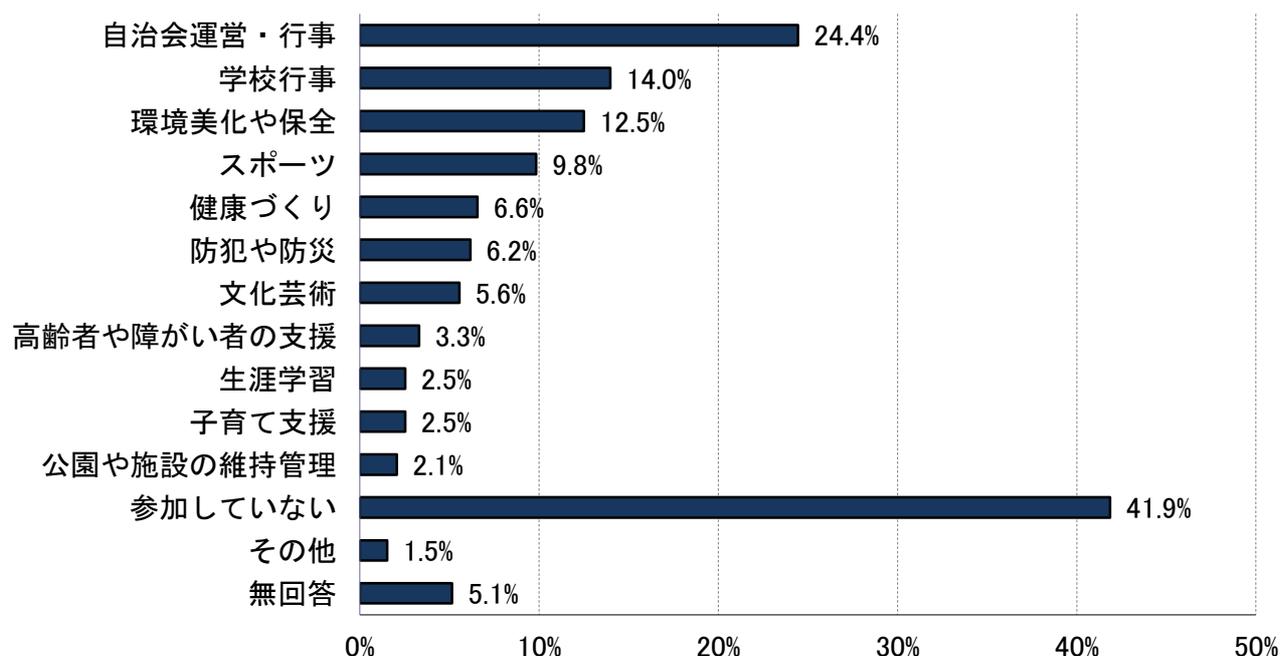
		全体	協働の前提となる行政の方針などの情報公開の推進	市民や団体におけるまちづくりの取り組みなどの情報提供	行政が提案するまちづくりを市民と行政とで協働して検討する仕組みづくり	市民や団体が提案するまちづくりを行政が支援する仕組みづくり	まちづくりの取り組みに関する学習機会の確保	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	790	720	677	648	313	28	175
	成田地区	592	186	187	189	178	92	5	47
	公津地区	360	149	114	96	104	61	8	26
	八生地区	54	24	18	20	15	7	1	5
	中郷地区	27	9	10	11	10	3	0	2
	久住地区	85	29	23	27	30	9	1	8
	豊住地区	33	11	8	10	13	5	0	4
	遠山地区	184	75	67	62	59	25	1	7
	ニュータウン地区	515	187	189	161	140	80	8	39
	下総地区	120	49	42	35	38	14	0	9
	大栄地区	161	51	49	56	51	15	2	21
	その他	5	2	1	3	1	0	0	0
	無回答	40	18	12	7	9	2	2	7
割合(%)	全体	100.0	36.3	33.1	31.1	29.8	14.4	1.3	8.0
	成田地区	100.0	31.4	31.6	31.9	30.1	15.5	0.8	7.9
	公津地区	100.0	41.4	31.7	26.7	28.9	16.9	2.2	7.2
	八生地区	100.0	44.4	33.3	37.0	27.8	13.0	1.9	9.3
	中郷地区	100.0	33.3	37.0	40.7	37.0	11.1	0.0	7.4
	久住地区	100.0	34.1	27.1	31.8	35.3	10.6	1.2	9.4
	豊住地区	100.0	33.3	24.2	30.3	39.4	15.2	0.0	12.1
	遠山地区	100.0	40.8	36.4	33.7	32.1	13.6	0.5	3.8
	ニュータウン地区	100.0	36.3	36.7	31.3	27.2	15.5	1.6	7.6
	下総地区	100.0	40.8	35.0	29.2	31.7	11.7	0.0	7.5
	大栄地区	100.0	31.7	30.4	34.8	31.7	9.3	1.2	13.0
	その他	100.0	40.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	100.0	45.0	30.0	17.5	22.5	5.0	5.0	17.5

## (5) 現在参加している地域活動

問 40 あなたが現在参加している地域活動は何ですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

現在地域活動に「参加していない」が41.9%となっています。

「参加している」方の地域活動の種類は、「自治会運営・行事」が24.4%と最も多く、次いで「学校行事」14.0%、「環境美化や保全」12.5%となっています。

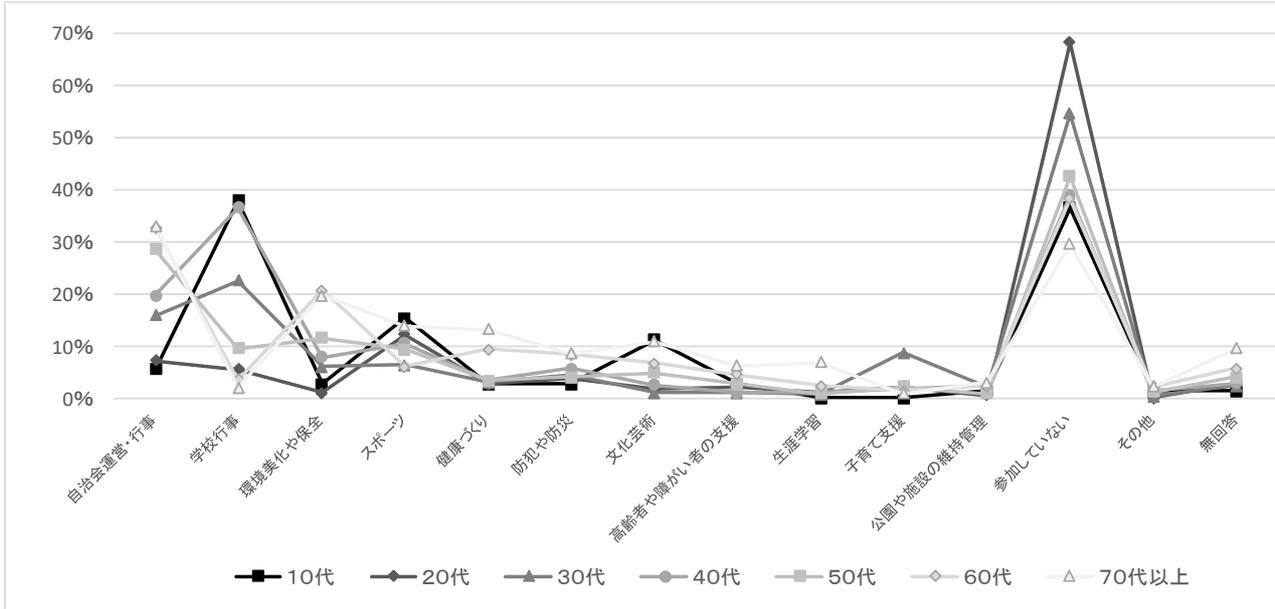


No.	選択肢	人数(人)	割合(%)
1	自治会運営・行事	532	24.4
2	学校行事	304	14.0
3	環境美化や保全	272	12.5
4	スポーツ	214	9.8
5	健康づくり	143	6.6
6	防犯や防災	134	6.2
7	文化芸術	121	5.6
8	高齢者や障がい者の支援	72	3.3
9	生涯学習	55	2.5
10	子育て支援	55	2.5
11	公園や施設の維持管理	45	2.1
12	参加していない	911	41.9
13	その他	33	1.5
14	無回答	112	5.1
	合計	2,176	100.0

<年代別集計>

年代別にみると、10代では「学校行事」、70代では「自治会運営・行事」が最も多く3割程度となっています。その他の年代では「参加していない」が最も多く、特に20代では6割以上、30代でも半数以上と多くなっています。

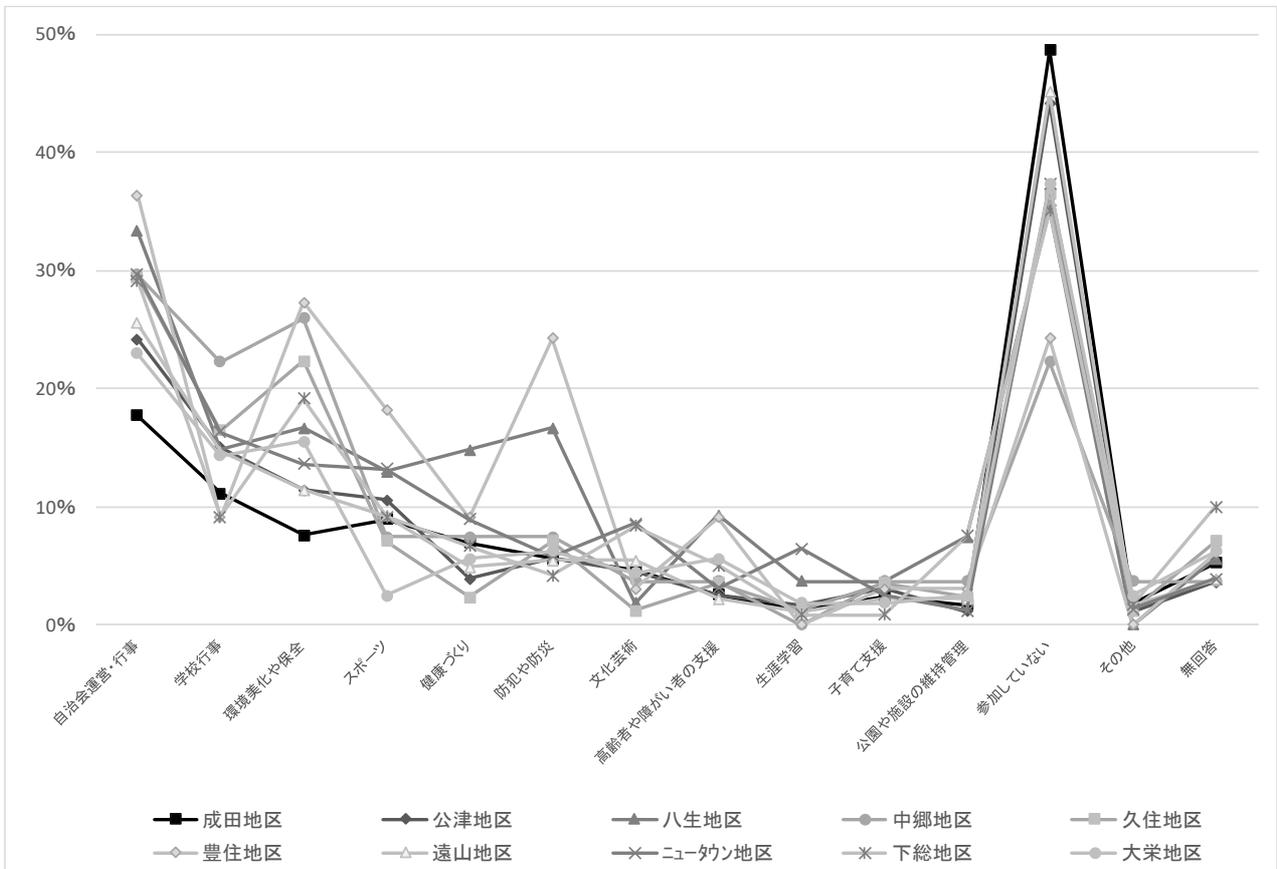
10代では学校行事をはじめ地域活動に参加している割合は多いが、20代になると参加しない割合が多くなります。30代40代の子育て世代で再び学校行事に参加する方が増え、50代以上になると「自治会運営・行事」に参加する方が増えることがわかります。



		全体	自治会運営・行事	学校行事	環境美化や保全	スポーツ	健康づくり	防犯や防災	文化芸術	高齢者や障がい者の支援	生涯学習	子育て支援	公園や施設の維持管理	参加していない	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	532	304	272	214	143	134	121	72	55	55	45	911	33	112
	10代	71	4	27	2	11	2	2	8	2	0	0	1	26	1	1
	20代	180	13	10	2	22	5	7	3	4	2	4	1	123	0	5
	30代	300	48	68	18	19	9	13	3	3	2	26	6	164	1	7
	40代	380	75	139	30	40	13	22	10	4	5	7	9	148	6	11
	50代	321	92	31	37	30	11	13	16	9	3	7	3	137	4	13
	60代	415	136	15	86	25	39	35	28	19	10	6	10	159	9	24
	70代以上	482	160	10	95	67	64	41	53	30	33	4	15	143	11	46
無回答	27	4	4	2	0	0	1	0	0	1	0	0	11	1	5	
割合(%)	全体	100.0	24.4	14.0	12.5	9.8	6.6	6.2	5.6	3.3	2.5	2.5	2.1	41.9	1.5	5.1
	10代	100.0	5.6	38.0	2.8	15.5	2.8	2.8	11.3	2.8	0.0	0.0	1.4	36.6	1.4	1.4
	20代	100.0	7.2	5.6	1.1	12.2	2.8	3.9	1.7	2.2	1.1	2.2	0.6	68.3	0.0	2.8
	30代	100.0	16.0	22.7	6.0	6.3	3.0	4.3	1.0	1.0	0.7	8.7	2.0	54.7	0.3	2.3
	40代	100.0	19.7	36.6	7.9	10.5	3.4	5.8	2.6	1.1	1.3	1.8	2.4	38.9	1.6	2.9
	50代	100.0	28.7	9.7	11.5	9.3	3.4	4.0	5.0	2.8	0.9	2.2	0.9	42.7	1.2	4.0
	60代	100.0	32.8	3.6	20.7	6.0	9.4	8.4	6.7	4.6	2.4	1.4	2.4	38.3	2.2	5.8
	70代以上	100.0	33.2	2.1	19.7	13.9	13.3	8.5	11.0	6.2	6.8	0.8	3.1	29.7	2.3	9.5
無回答	100.0	14.8	14.8	7.4	0.0	0.0	3.7	0.0	3.7	0.0	3.7	0.0	40.7	3.7	18.5	

<地区別集計>

地区別にみると、概ね同傾向を示しています。ほとんどの地区において「参加していない」が3~4割を占め最も多く、地域活動に参加していない方が多くいることがわかります。

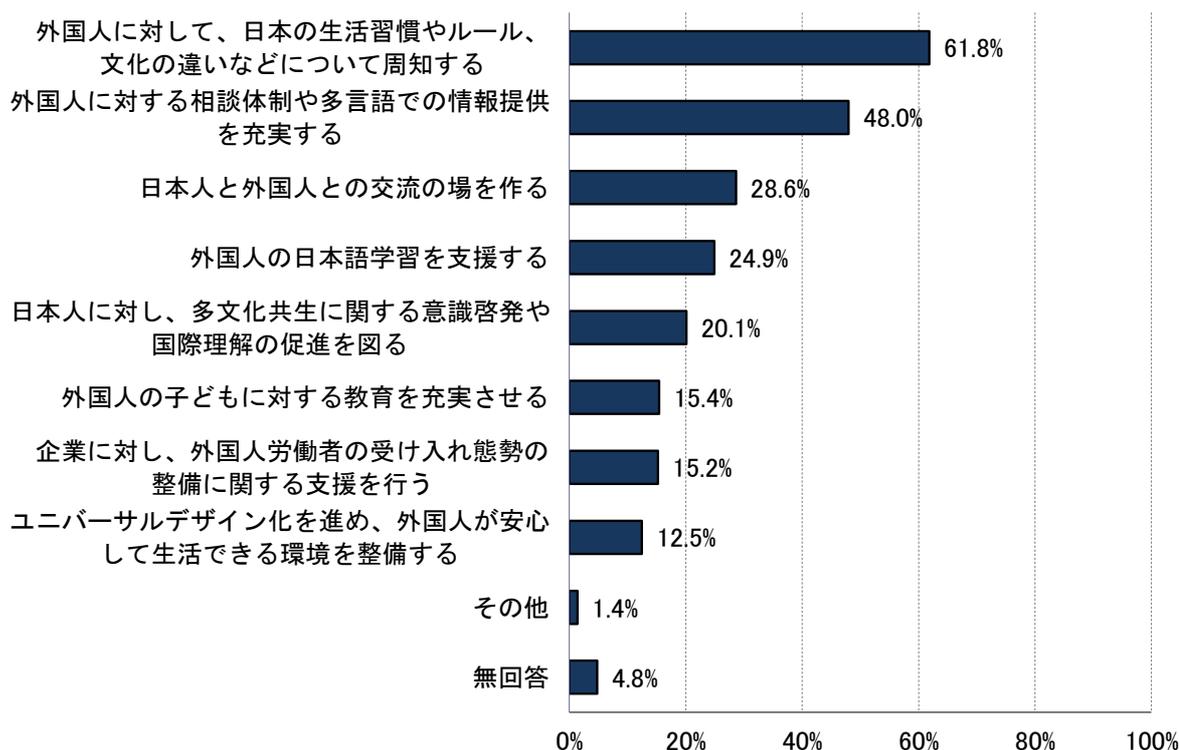


		全体	自治会運営・行事	学校行事	環境美化や保全	スポーツ	健康づくり	防犯や防災	文化芸術	高齢者や障がい者の支援	生涯学習	子育て支援	公園や施設の維持管理	参加していない	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	532	304	272	214	143	134	121	72	55	55	45	911	33	112
	成田地区	592	105	66	45	53	41	33	27	15	7	14	10	288	11	31
	公津地区	360	87	54	41	38	14	20	16	9	6	11	4	159	4	13
	八生地区	54	18	8	9	7	8	9	1	5	2	2	4	19	0	3
	中郷地区	27	8	6	7	2	2	2	1	1	0	1	1	6	1	1
	久住地区	85	25	14	19	6	2	6	1	3	1	3	2	31	1	6
	豊住地区	33	12	3	9	6	3	8	1	3	0	1	1	8	0	2
	遠山地区	184	47	27	21	17	9	10	10	4	2	4	4	83	3	7
	ニュータウン地区	515	153	84	70	68	46	30	44	16	33	13	6	192	7	20
	下総地区	120	35	11	23	11	8	5	10	6	1	1	9	42	2	12
	大栄地区	161	37	23	25	4	9	10	7	9	3	3	4	60	4	10
	その他	5	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	0	0
	無回答	40	4	7	3	2	1	1	2	1	0	2	0	19	0	7
	割合(%)	全体	100.0	24.4	14.0	12.5	9.8	6.6	6.2	5.6	3.3	2.5	2.5	2.1	41.9	1.5
成田地区		100.0	17.7	11.1	7.6	9.0	6.9	5.6	4.6	2.5	1.2	2.4	1.7	48.6	1.9	5.2
公津地区		100.0	24.2	15.0	11.4	10.6	3.9	5.6	4.4	2.5	1.7	3.1	1.1	44.2	1.1	3.6
八生地区		100.0	33.3	14.8	16.7	13.0	14.8	16.7	1.9	9.3	3.7	3.7	7.4	35.2	0.0	5.6
中郷地区		100.0	29.6	22.2	25.9	7.4	7.4	7.4	3.7	3.7	0.0	3.7	3.7	22.2	3.7	3.7
久住地区		100.0	29.4	16.5	22.4	7.1	2.4	7.1	1.2	3.5	1.2	3.5	2.4	36.5	1.2	7.1
豊住地区		100.0	36.4	9.1	27.3	18.2	9.1	24.2	3.0	9.1	0.0	3.0	3.0	24.2	0.0	6.1
遠山地区		100.0	25.5	14.7	11.4	9.2	4.9	5.4	5.4	2.2	1.1	2.2	2.2	45.1	1.6	3.8
ニュータウン地区		100.0	29.7	16.3	13.6	13.2	8.9	5.8	8.5	3.1	6.4	2.5	1.2	37.3	1.4	3.9
下総地区		100.0	29.2	9.2	19.2	9.2	6.7	4.2	8.3	5.0	0.8	0.8	7.5	35.0	1.7	10.0
大栄地区		100.0	23.0	14.3	15.5	2.5	5.6	6.2	4.3	5.6	1.9	1.9	2.5	37.3	2.5	6.2
その他		100.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0
無回答		100.0	10.0	17.5	7.5	5.0	2.5	2.5	5.0	2.5	0.0	5.0	0.0	47.5	0.0	17.5

## (6) 日本人と外国人の住民がともに暮らしやすい社会

問 41 日本人と外国人の住民がともに暮らしやすい社会にしていくために、行政はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。あてはまる番号 3 つ以内を○で囲んでください。

日本人と外国人の住民がともに暮らしやすい社会にしていくため、行政が力を入れるべき取り組みは、「外国人に対して、日本の生活習慣やルール、文化の違いなどについて周知する」が61.8%と最も多く、次いで「外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する」48.0%、「日本人と外国人との交流の場を作る」28.6%となっています。

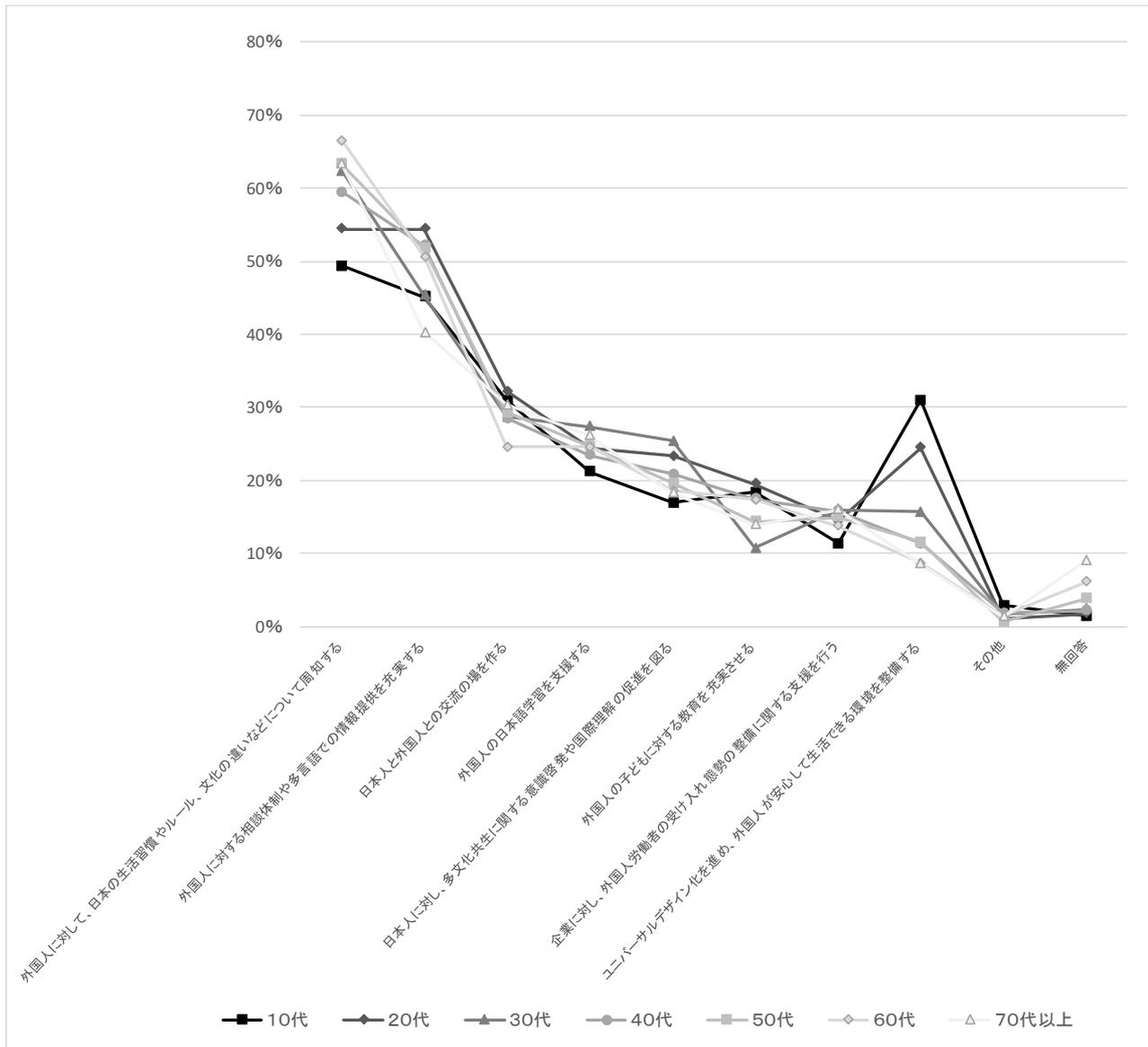


No.	選択肢	人数(人)	割合(%)
1	外国人に対して、日本の生活習慣やルール、文化の違いなどについて周知する	1,345	61.8
2	外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する	1,044	48.0
3	日本人と外国人との交流の場を作る	623	28.6
4	外国人の日本語学習を支援する	542	24.9
5	日本人に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解の促進を図る	438	20.1
6	外国人の子どもに対する教育を充実させる	335	15.4
7	企業に対し、外国人労働者の受け入れ態勢の整備に関する支援を行う	331	15.2
8	ユニバーサルデザイン化を進め、外国人が安心して生活できる環境を整備する	271	12.5
9	その他	30	1.4
10	無回答	104	4.8
	合計	2,176	100.0

<年代別集計>

年代別にみると、「外国人に対して、日本の生活習慣やルール、文化の違いなどについて周知する」「外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する」が多く、概ね同傾向を示しています。また、「ユニバーサルデザイン化を進め、外国人が安心して生活できる環境を整備する」において、低い年代で多くなっています。

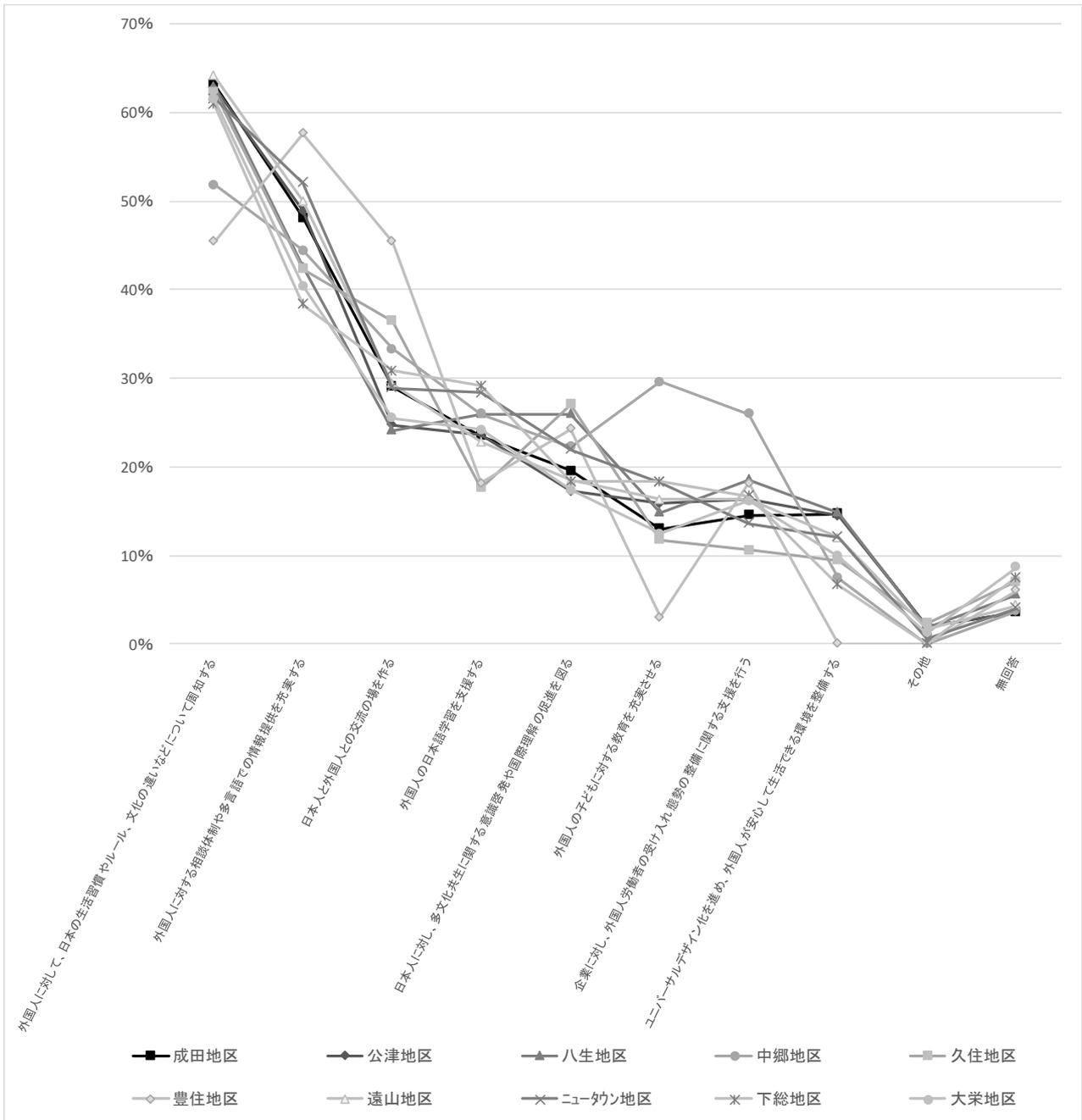
どの年代においても、外国人の生活における情報提供や相談体制の充実に力を入れるべきと考えていることがわかります。



		全体	外国人に対して、日本の生活習慣やルール、文化の違いなどについて周知する	外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する	日本人と外国人との交流の場を作る	外国人の日本語学習を支援する	日本人に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解の促進を図る	外国人の子どもに対する教育を充実させる	企業に対し、外国人労働者の受け入れ態勢の整備に関する支援を行う	ユニバーサルデザイン化を進め、外国人が安心して生活できる環境を整備する	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	1,345	1,044	623	542	438	335	331	271	30	104
	10代	71	35	32	22	15	12	13	8	22	2	1
	20代	180	98	98	58	44	42	35	26	44	2	3
	30代	300	187	136	86	82	76	32	48	47	5	7
	40代	380	226	198	108	89	79	66	60	43	7	8
	50代	321	203	166	94	79	63	46	48	37	2	12
	60代	415	276	210	102	102	77	72	57	36	6	25
	70代以上	482	305	194	146	126	88	67	77	41	6	43
	無回答	27	15	10	7	5	1	4	7	1	0	5
割合(%)	全体	100.0	61.8	48.0	28.6	24.9	20.1	15.4	15.2	12.5	1.4	4.8
	10代	100.0	49.3	45.1	31.0	21.1	16.9	18.3	11.3	31.0	2.8	1.4
	20代	100.0	54.4	54.4	32.2	24.4	23.3	19.4	14.4	24.4	1.1	1.7
	30代	100.0	62.3	45.3	28.7	27.3	25.3	10.7	16.0	15.7	1.7	2.3
	40代	100.0	59.5	52.1	28.4	23.4	20.8	17.4	15.8	11.3	1.8	2.1
	50代	100.0	63.2	51.7	29.3	24.6	19.6	14.3	15.0	11.5	0.6	3.7
	60代	100.0	66.5	50.6	24.6	24.6	18.6	17.3	13.7	8.7	1.4	6.0
	70代以上	100.0	63.3	40.2	30.3	26.1	18.3	13.9	16.0	8.5	1.2	8.9
	無回答	100.0	55.6	37.0	25.9	18.5	3.7	14.8	25.9	3.7	0.0	18.5

<地区別集計>

地区別にみると、概ね同傾向を示しています。



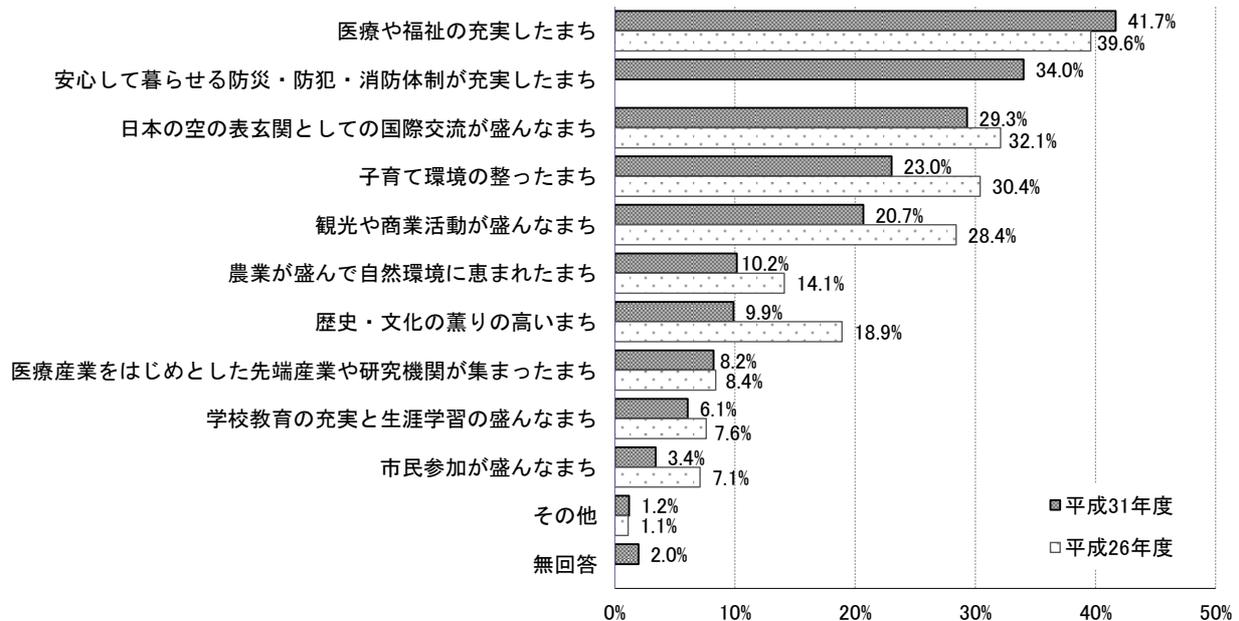
		全体	外国人に対して、日本の生活習慣やルール、文化の違いなどについて周知する	外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する	日本人と外国人との交流の場を作る	外国人の日本語学習を支援する	日本人に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解の促進を図る	外国人の子どもに対する教育を充実させる	企業に対し、外国人労働者の受け入れ態勢の整備に関する支援を行う	ユニバーサルデザイン化を進め、外国人が安心して生活できる環境を整備する	その他	無回答	
人数(人)	全体	2,176	1,345	1,044	623	542	438	335	331	271	30	104	
	成田地区	592	374	285	172	139	116	77	86	87	12	21	
	公津地区	360	226	176	89	85	62	57	59	52	7	13	
	八生地区	54	34	23	13	14	14	8	10	8	1	3	
	中郷地区	27	14	12	9	7	6	8	7	2	0	1	
	久住地区	85	53	36	31	15	23	10	9	8	2	6	
	豊住地区	33	15	19	15	6	8	1	6	0	0	2	
	遠山地区	184	118	92	54	42	34	30	30	22	3	8	
	ニュータウン地区	515	317	268	149	146	113	94	70	62	3	21	
	下総地区	120	73	46	37	35	22	22	20	8	0	9	
	大栄地区	161	99	65	41	39	28	20	26	16	2	14	
	その他	5	4	4	0	1	1	1	1	1	2	0	0
	無回答	40	18	18	13	13	11	7	7	4	0	6	
割合(%)	全体	100.0	61.8	48.0	28.6	24.9	20.1	15.4	15.2	12.5	1.4	4.8	
	成田地区	100.0	63.2	48.1	29.1	23.5	19.6	13.0	14.5	14.7	2.0	3.5	
	公津地区	100.0	62.8	48.9	24.7	23.6	17.2	15.8	16.4	14.4	1.9	3.6	
	八生地区	100.0	63.0	42.6	24.1	25.9	25.9	14.8	18.5	14.8	1.9	5.6	
	中郷地区	100.0	51.9	44.4	33.3	25.9	22.2	29.6	25.9	7.4	0.0	3.7	
	久住地区	100.0	62.4	42.4	36.5	17.6	27.1	11.8	10.6	9.4	2.4	7.1	
	豊住地区	100.0	45.5	57.6	45.5	18.2	24.2	3.0	18.2	0.0	0.0	6.1	
	遠山地区	100.0	64.1	50.0	29.3	22.8	18.5	16.3	16.3	12.0	1.6	4.3	
	ニュータウン地区	100.0	61.6	52.0	28.9	28.3	21.9	18.3	13.6	12.0	0.6	4.1	
	下総地区	100.0	60.8	38.3	30.8	29.2	18.3	18.3	16.7	6.7	0.0	7.5	
	大栄地区	100.0	61.5	40.4	25.5	24.2	17.4	12.4	16.1	9.9	1.2	8.7	
	その他	100.0	80.0	80.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	
	無回答	100.0	45.0	45.0	32.5	32.5	27.5	17.5	17.5	10.0	0.0	15.0	

## 6. 成田市の発展方向について

### (1) 今後の成田市のまち

問 42 今後、成田市がどのようなまちになってほしいと思いますか。あてはまる番号**2つ以内**を○で囲んでください。

今後のまちへの希望については、「医療や福祉の充実したまち」が41.7%と最も多く、次いで「安心して暮らせる防災・防犯・消防体制が充実したまち」34.0%、「日本の空の表玄関としての国際交流が盛んなまち」29.3%となっています。

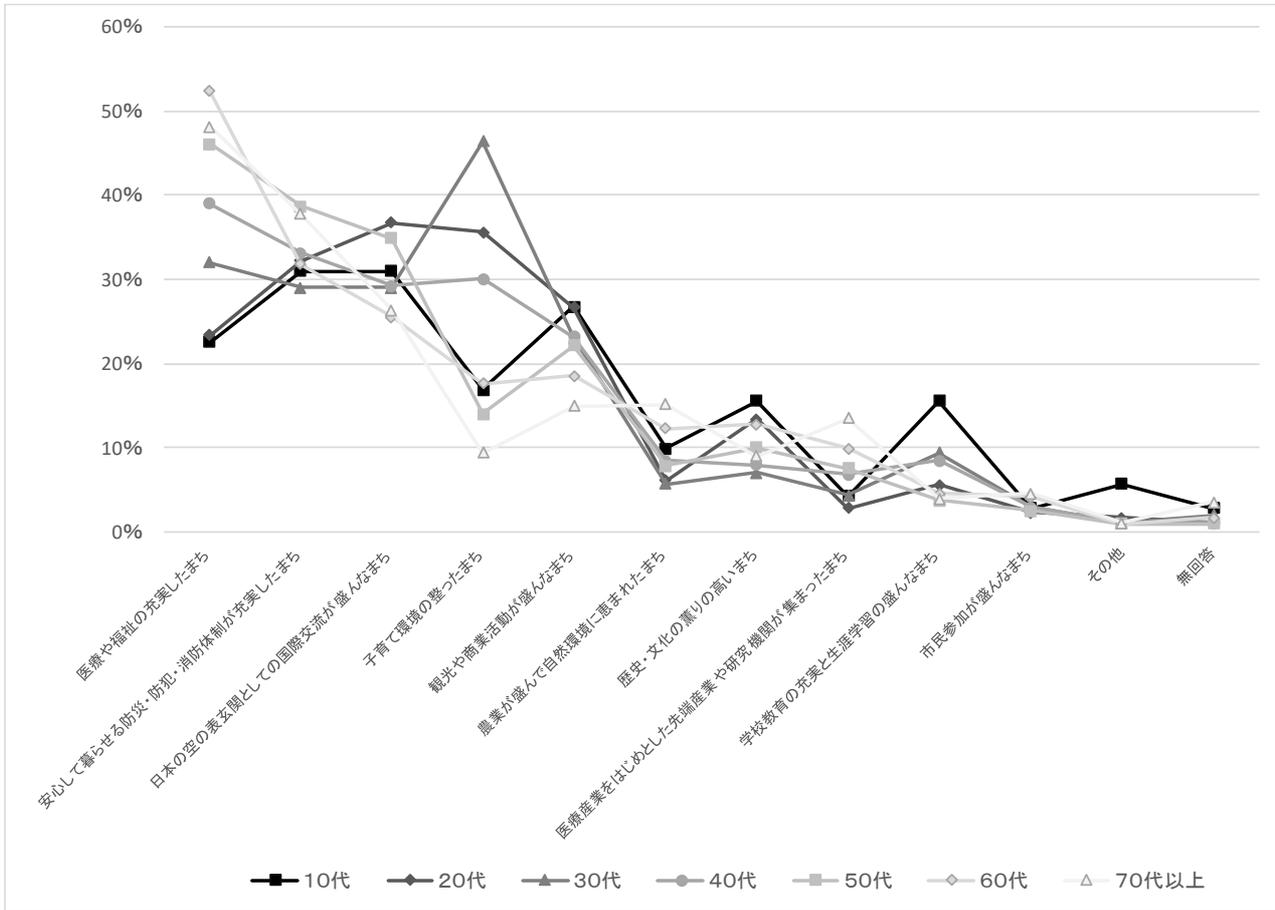


No.	選択肢	平成 31 年度		平成 26 年度	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	医療や福祉の充実したまち	907	41.7	1,687	39.6
2	安心して暮らせる防災・防犯・消防体制が充実したまち	740	34.0	-	-
3	日本の空の表玄関としての国際交流が盛んなまち	638	29.3	1,367	32.1
4	子育て環境の整ったまち	501	23.0	1,296	30.4
5	観光や商業活動が盛んなまち	450	20.7	1,207	28.4
6	農業が盛んで自然環境に恵まれたまち	221	10.2	600	14.1
7	歴史・文化の薫りの高いまち	215	9.9	805	18.9
8	医療産業をはじめとした先端産業や研究機関が集まったまち	179	8.2	357	8.4
9	学校教育の充実と生涯学習の盛んなまち	132	6.1	324	7.6
10	市民参加が盛んなまち	74	3.4	301	7.1
12	その他	26	1.2	45	1.1
11	無回答	43	2.0	-	-
	回答者数	2,176	100.0	4,257	-

※平成26年度の選択肢は、「1. 安心して長生きできる医療や福祉の充実したまち」「3. 日本の表玄関としての国際交流が盛んなまち」「4. 安心して子育てのできる子育て環境の充実したまち」「7. 伝統や歴史的資源を保全・活用する歴史・文化の薫りの高いまち」「8. 先端産業や研究機関が集まったまち」「9. 学校教育の充実と生涯教育の盛んなまち」「10. 市民のアイデアや活動を活かした市民参加が盛んなまち」となっています。

<年代別集計>

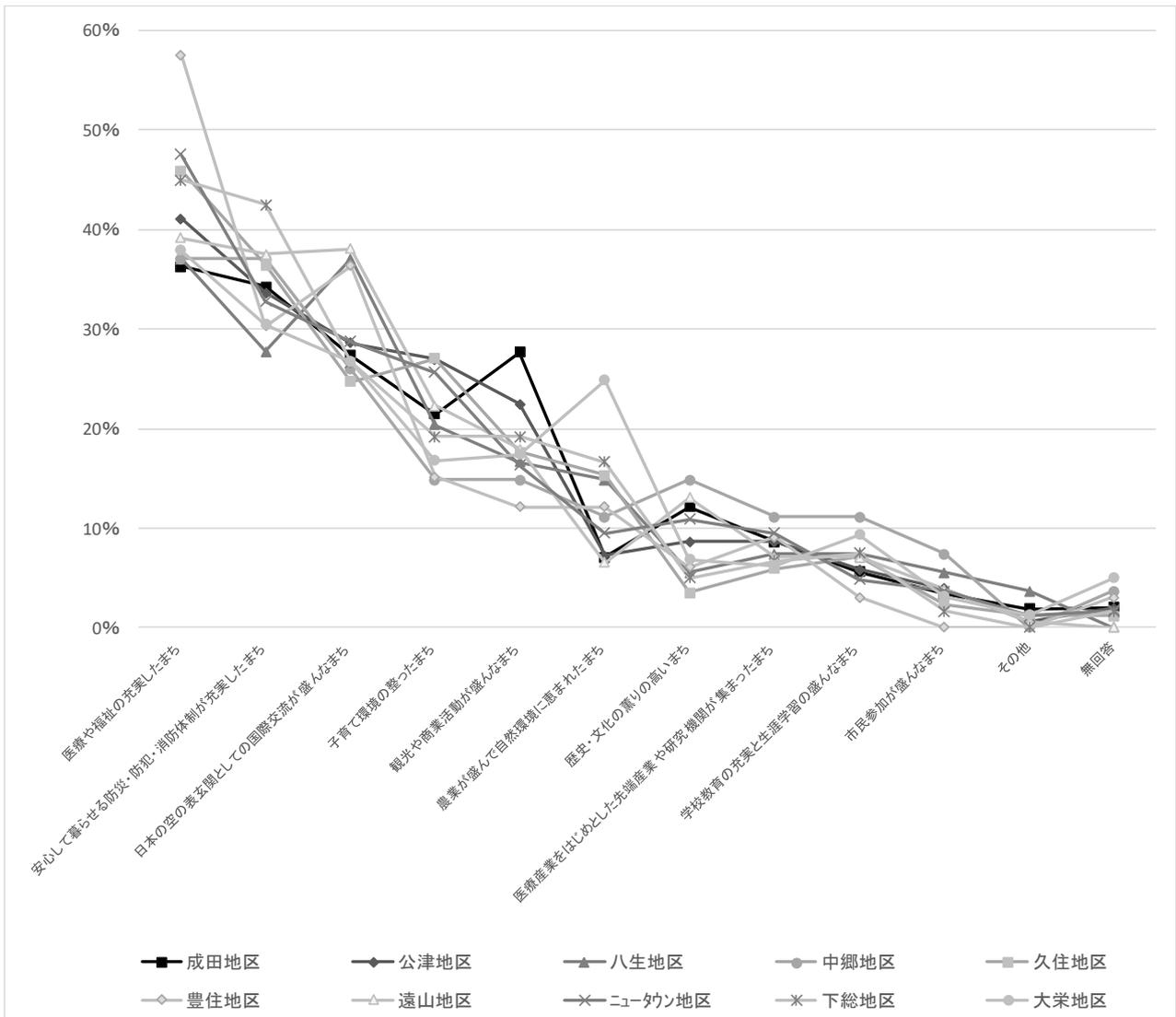
年代別にみると、20代以下で「日本の空の表玄関としての国際交流が盛んなまち」、30代で「子育て環境の整ったまち」、40代以上で「医療や福祉の充実したまち」が、最も多くなっています。



		全体	医療や福祉の充実したまち	安心して暮らせる防災・防犯・消防体制が充実したまち	日本の空の表玄関としての国際交流が盛んなまち	子育て環境の整ったまち	観光や商業活動が盛んなまち	農業が盛んで自然環境に恵まれたまち	歴史・文化の薫りの高いまち	医療産業をはじめとした先端産業や研究機関が集まったまち	学校教育の充実と生涯学習の盛んなまち	市民参加が盛んなまち	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	907	740	638	501	450	221	215	179	132	74	26	43
	10代	71	16	22	22	12	19	7	11	3	11	2	4	2
	20代	180	42	58	66	64	48	11	24	5	10	4	3	2
	30代	300	96	87	87	139	69	17	21	13	28	9	3	6
	40代	380	148	126	111	114	88	32	30	26	32	11	4	4
	50代	321	148	124	112	45	71	25	32	24	12	8	3	3
	60代	415	217	132	106	73	77	51	53	41	19	17	4	7
	70代以上	482	232	182	127	45	72	73	43	65	19	22	5	17
	無回答	27	8	9	7	9	6	5	1	2	1	1	0	2
割合(%)	全体	100.0	41.7	34.0	29.3	23.0	20.7	10.2	9.9	8.2	6.1	3.4	1.2	2.0
	10代	100.0	22.5	31.0	31.0	16.9	26.8	9.9	15.5	4.2	15.5	2.8	5.6	2.8
	20代	100.0	23.3	32.2	36.7	35.6	26.7	6.1	13.3	2.8	5.6	2.2	1.7	1.1
	30代	100.0	32.0	29.0	29.0	46.3	23.0	5.7	7.0	4.3	9.3	3.0	1.0	2.0
	40代	100.0	38.9	33.2	29.2	30.0	23.2	8.4	7.9	6.8	8.4	2.9	1.1	1.1
	50代	100.0	46.1	38.6	34.9	14.0	22.1	7.8	10.0	7.5	3.7	2.5	0.9	0.9
	60代	100.0	52.3	31.8	25.5	17.6	18.6	12.3	12.8	9.9	4.6	4.1	1.0	1.7
	70代以上	100.0	48.1	37.8	26.3	9.3	14.9	15.1	8.9	13.5	3.9	4.6	1.0	3.5
	無回答	100.0	29.6	33.3	25.9	33.3	22.2	18.5	3.7	7.4	3.7	3.7	0.0	7.4

<地区別集計>

地区別にみると、どの地区においても「医療や福祉の充実したまち」が最も多く、概ね同傾向を示しています。



		全体	医療や福祉の充実したまち	安心して暮らせる防災・防犯・消防体制が充実したまち	日本の空の表玄関としての国際交流が盛んなまち	子育て環境の整ったまち	観光や商業活動が盛んなまち	農業が盛んで自然環境に恵まれたまち	歴史・文化の薫りの高いまち	医療産業をはじめとした先端産業や研究機関が集まったまち	学校教育の充実と生涯学習の盛んなまち	市民参加が盛んなまち	その他	無回答
人数(人)	全体	2,176	907	740	638	501	450	221	215	179	132	74	26	43
	成田地区	592	215	203	162	127	164	42	72	51	33	20	11	12
	公津地区	360	148	121	103	97	81	26	31	31	21	14	2	7
	八生地区	54	20	15	20	11	9	8	3	4	4	3	2	0
	中郷地区	27	10	10	7	4	4	3	4	3	3	2	0	1
	久住地区	85	39	31	21	23	15	13	3	5	6	2	1	1
	豊住地区	33	19	10	12	5	4	4	2	3	1	0	0	1
	遠山地区	184	72	69	70	41	33	12	24	13	13	7	1	0
	ニュータウン地区	515	245	169	148	132	84	49	56	49	25	19	6	9
	下総地区	120	54	51	32	23	23	20	6	8	9	2	0	2
	大栄地区	161	61	49	43	27	28	40	11	10	15	5	2	8
	その他	5	3	2	1	2	0	1	1	1	0	0	0	0
無回答	40	21	10	19	9	5	3	2	2	2	0	1	2	
割合(%)	全体	100.0	41.7	34.0	29.3	23.0	20.7	10.2	9.9	8.2	6.1	3.4	1.2	2.0
	成田地区	100.0	36.3	34.3	27.4	21.5	27.7	7.1	12.2	8.6	5.6	3.4	1.9	2.0
	公津地区	100.0	41.1	33.6	28.6	26.9	22.5	7.2	8.6	8.6	5.8	3.9	0.6	1.9
	八生地区	100.0	37.0	27.8	37.0	20.4	16.7	14.8	5.6	7.4	7.4	5.6	3.7	0.0
	中郷地区	100.0	37.0	37.0	25.9	14.8	14.8	11.1	14.8	11.1	11.1	7.4	0.0	3.7
	久住地区	100.0	45.9	36.5	24.7	27.1	17.6	15.3	3.5	5.9	7.1	2.4	1.2	1.2
	豊住地区	100.0	57.6	30.3	36.4	15.2	12.1	12.1	6.1	9.1	3.0	0.0	0.0	3.0
	遠山地区	100.0	39.1	37.5	38.0	22.3	17.9	6.5	13.0	7.1	7.1	3.8	0.5	0.0
	ニュータウン地区	100.0	47.6	32.8	28.7	25.6	16.3	9.5	10.9	9.5	4.9	3.7	1.2	1.7
	下総地区	100.0	45.0	42.5	26.7	19.2	19.2	16.7	5.0	6.7	7.5	1.7	0.0	1.7
	大栄地区	100.0	37.9	30.4	26.7	16.8	17.4	24.8	6.8	6.2	9.3	3.1	1.2	5.0
	その他	100.0	60.0	40.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	100.0	52.5	25.0	47.5	22.5	12.5	7.5	5.0	5.0	5.0	0.0	2.5	5.0	



(参考資料)

市民意識調査票



# 成田市市民意識調査

## 調査へのご協力をお願い

市民の皆様には、平素より市政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

この調査は、成田市総合計画「NARITA みらいプラン」第2期基本計画を策定するにあたりまして、市民の皆様の意識や生活環境、まちづくりに対するご意見などを幅広くお伺いし、今後の市政運営への基礎資料として活用するために実施するものです。

この調査の対象者は、市内にお住まいの15歳以上の方の中から、5,000人を無作為に選ばせていただきました。なお、本調査は無記名で行い、ご回答いただきました内容は全て統計的に処理し、調査目的以外に使用することは一切ありません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

2019年4月

成田市長 小泉 一成

### 【調査票記入にあたってのお願い】

1. 質問には、あて名に書かれたご本人がお答えください。なお、ご本人がやむを得ない事情によりお答えできない場合は、ご家族の方がお答えください。
2. 記入の方法は、該当する番号を選んで○で囲んでください。なお、回答数が指定されている場合は、指定された数だけ選んで、その番号を○で囲んでください。
3. お答えに該当するものがない場合は、「その他（ ）」に具体的に記入してください。なお、「その他（ ）」には、ご意見やご感想を記入されても結構です。
4. 記入後の調査票は、同封の封筒に入れ、切手を貼らずに4月22日（月）までに郵便ポストに投函してください。

※ 返信用封筒に記載されている番号・バーコード等は、郵便局が集配のために使用するものです。個人を特定するものではありませんので、ご安心ください。

### 【お問い合わせ先】

成田市企画政策部企画政策課 企画調整係

〒286-8585 成田市花崎町760番地

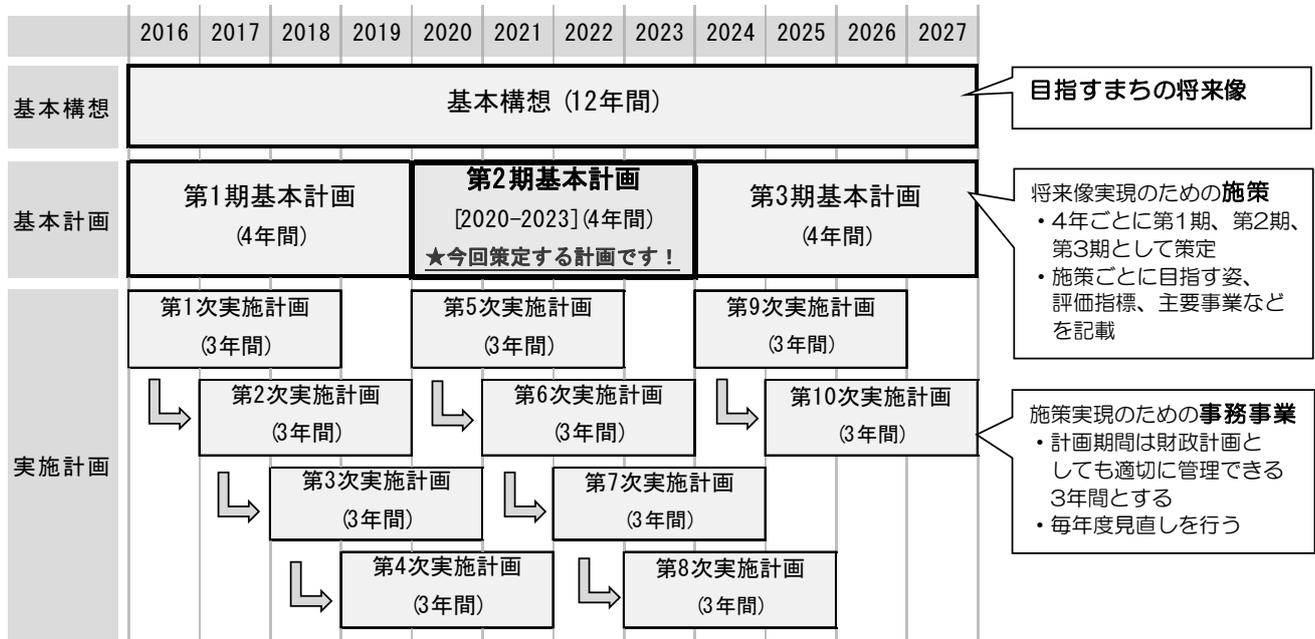
(電話) 0476-20-1500 (FAX) 0476-24-1006

(メール) kikaku@city.narita.chiba.jp

# 成田市総合計画「NARITA みらいプラン」とは

成田市総合計画「NARITA みらいプラン」は、本市におけるまちづくりの最上位に位置付けられる大変重要な計画であり、目指すまちの将来像とその実現のための施策を取りまとめています。

## 成田市総合計画「NARITA みらいプラン」の構成と期間



## 基本構想

### 将来都市像 (12年後に実現を目指すまちの姿)

住んでよし 働いてよし 訪れてよしの 生涯を完結できる空の港まち なりた

### まちづくりの基本姿勢 (次の3つの方向性を掲げてまちづくりを推進します)

#### 1. 若者や子育て世代に魅力のあるまちづくり

(子育て支援や観光振興など、若者が集う活気あふれるまちづくりを推進します。)

#### 2. 医療・福祉の充実したまちづくり

(生涯を通じて、健康で生き生きと安心して暮らせるまちづくりを推進します。)

#### 3. 空港とともに発展するまちづくり

(まちの活性化と豊かな暮らしを目指し、国際空港の立地を活用したまちづくりを推進します。)

「NARITA みらいプラン」の詳しい内容は  
成田市ホームページで見られます！  
<https://www.city.narita.chiba.jp/shisei/page002400.html>



それでは、次のページからアンケートのご回答をお願いいたします

■はじめに、あなたのことについて、おうかがいします。

問1 あなたの性別と年齢、お住まいのご住所について、あてはまる番号をそれぞれ1つずつ○で囲んでください。

○性別

1. 男性                      2. 女性

○年齢

1. 10代                      2. 20代                      3. 30代                      4. 40代  
5. 50代                      6. 60代                      7. 70代以上

○お住まいのご住所（地区がわからない場合はご住所（番地は結構です）を記入してください）

1. 成田地区                      2. 公津地区                      3. 八生地区                      4. 中郷地区  
5. 久住地区                      6. 豊住地区                      7. 遠山地区                      8. ニュータウン地区  
9. 下総地区                      10. 大栄地区  
11. 地区がわからない場合→成田市（                      ） 【例：成田市（花崎町）】

問2 あなたの職業について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

1. 自営業    2. 農林水産業  
3. 会社員、公務員、団体職員                      4. パート、アルバイト、派遣社員  
5. 専業主婦（主夫）                                      6. 学生  
7. 無職（年金生活を含む）                              8. その他（具体的に                                      ）

問3 あなたの家族構成について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

1. ひとり暮らし（単身世帯）                      2. 夫婦のみ                                      3. 親と子（2世代）  
4. 親と子と孫など（3世代以上）                      5. その他

問4 あなたの住んでいる住宅について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

1. 持家（一戸建て）  
2. 持家（分譲マンションなど集合住宅）  
3. 民間の賃貸住宅（アパート・賃貸マンションを含む）  
4. 公営の賃貸住宅（UR都市機構賃貸住宅を含む）  
5. 社宅、寮、官舎など  
6. その他（具体的に                                      ）

問5 あなたは、心配ごとや困っていることはありますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 健康のこと                                      2. 老後のこと                                      3. 仕事や職場のこと  
4. 結婚のこと                                      5. お金のこと                                      6. 子どもの保育や教育のこと  
7. 親等の介護のこと                                      8. 近所づきあいのこと                                      9. 住宅のこと  
10. 交通手段が不便なこと                              11. 災害や犯罪のこと                                      12. ゴミのこと  
13. その他（具体的に                                      ）

問6 あなたは、生まれてからずっと成田市に住んでいますか。それとも、成田市外から転入してきましたか。当てはまる番号を1つだけ〇で囲んでください。

1. 生まれてから、ずっと成田市に住んでいる
2. 成田市外から転入してきた

◆問6で「2」と答えた方におうかがいします。

問6ー① あなたは、成田市に住むようになってからどれくらいになりますか。あてはまる番号を1つだけ〇で囲んでください。

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 1年未満        | 2. 1年以上～3年未満   |
| 3. 3年以上～5年未満   | 4. 5年以上～10年未満  |
| 5. 10年以上～20年未満 | 6. 20年以上～30年未満 |
| 7. 30年以上       |                |

問6ー② 成田市に転入する前はどこに住んでいましたか。あてはまる番号を1つだけ〇で囲んでください。

- |                            |                      |         |
|----------------------------|----------------------|---------|
| 1. 印旛郡市                    | 2. 香取郡市              | 3. 山武郡市 |
| 4. 千葉県内のその他の市町村（市町村名：<br>） |                      |         |
| 5. 東京都                     | 6. 茨城県               | 7. 埼玉県  |
| 8. 神奈川県                    | 9. 国内のその他（道府県名：<br>） |         |
| 10. 外国（国名：<br>）            |                      |         |

■住みごころについておうかがいします。

問7 あなたにとって、現在の成田市の住みごころはいかがですか。あてはまる番号を1つだけ〇で囲んでください。

1. 大変満足している
2. おおむね満足している
3. どちらともいえない
4. やや不満である
5. 非常に不満である
6. よくわからない

問8 あなたは、成田市に住み続けたいですか。あてはまる番号を1つだけ〇で囲んでください。

1. ずっと住み続けたい
2. 当分は住んでいたたい
3. どちらともいえない
4. やがては移りたい
5. すぐにでも移りたい
6. よくわからない

◆問8で「1」または「2」と答えた方におうかがいします。

問8-① 住み続けたい理由は何ですか。あてはまる番号を**1つだけ**○で囲んでください。

1. 住み慣れていて愛着がある
2. 道路、上下水道など生活環境が整っている
3. 気候、豊かな緑など自然環境がよい
4. 交通の便がよい
5. 買い物、レジャーなどが便利
6. 子どもの教育環境がよい
7. 医療、福祉施設が整っている
8. 文化、スポーツ施設が整っている
9. 仕事の関係や学校の都合
10. その他（具体的に

)

◆問8で「4」または「5」と答えた方におうかがいします。

問8-② 市外に移り住みたい理由は何ですか。あてはまる番号を**1つだけ**○で囲んでください。

1. 道路、上下水道など生活環境が整っていない
2. 気候、緑など自然環境がよくない
3. 交通の便が悪い
4. 買い物、レジャーなどが不便
5. 子どもの教育環境が整っていない
6. 医療、福祉施設が整っていない
7. 文化、スポーツ施設が整っていない
8. 将来は故郷に帰りたい
9. 仕事の関係や学校の都合
10. その他（具体的に

)

問9 あなたは、成田市に誇りや愛着を持っていますか。あてはまる番号を**1つだけ**○で囲んでください。

- |               |             |              |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. はっきりと持っている | 2. 漠然と持っている | 3. どちらともいえない |
| 4. ほとんど持っていない | 5. 全く持っていない | 6. よくわからない   |

問10 成田らしいもの、成田で誇れるものは何ですか。あてはまる番号**3つ以内**を○で囲んでください。

1. 成田空港やホテル群、外国人観光客の多さなど国際的なイメージ
2. 新勝寺、宗吾霊堂など歴史・伝統・文化
3. 利根川や印旛沼などの水辺環境や、田園風景などの豊かな緑
4. 住宅や公園、商業施設などの整った住環境
5. 保健福祉施設や文化施設、スポーツ施設など充実した公共公益施設
6. 祭りの活気や表参道など新勝寺周辺のにぎわい
7. 成田市民の人情や気質、市民同士のふれあい
8. 新鮮な農産物や地元の特産品
9. 充実した福祉サービスや医療体制
10. 安心して暮らせる防災・防犯・消防体制
11. 安心して子育てできる環境や学校教育
12. その他（具体的に

)

問1 1 本市の基本施策に対する、①現状の満足度と②今後のまちづくりにおける重要度について、5段階の評価をお願いします。（各基本施策について、①と②にそれぞれ1つだけ○をつけてください。）

満足度・重要度 項目（主な取り組み）	① 現状の満足度					② 今後の重要度				
	5 満足	4 やや満足	3 どちらとも 言えない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも 言えない	2 あまり重要 ではない	1 重要では ない
<b>【1. 安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）】</b>										
<b>1 災害などに強いまちをつくる</b> （自主防災組織の結成・活動支援、建築物の耐震化の促進、急傾斜地等の崩壊対策、消防体制の整備、応急手当普及の推進、災害時の医療救護活動体制の構築 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>2 犯罪や事故などが起こりにくいまちをつくる</b> （防犯灯や防犯カメラの整備、 <u>パトロール車や自主防犯活動団体による巡回活動</u> 、消費生活センターの運営 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>3 空港と共生する生活環境を整える</b> （寝室内窓や空調機の設置などの航空機騒音対策、航空機騒音の測定 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>4 空港周辺地域の振興を図る</b> （空港周辺地域の生活環境の保全、共同利用施設や防音集会所の維持管理 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>5 住みやすく快適な生活環境を整える</b> （都市公園等の整備、市営住宅の維持管理、 <u>空き家対策の推進</u> 、里山や水辺環境の保全 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>6 水の安定供給と汚水処理の適正化を図る</b> （老朽化した配水場や水道管の更新、下水道等汚水処理施設の整備及び維持管理 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>7 ごみ処理の適正化と環境衛生の向上に努める</b> （成田富里いずみ清掃工場、八富成田斎場の管理運営、 <u>いずみ聖地公園の拡張</u> 、環境美化の啓発など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>8 地球環境にやさしいまちをつくる</b> （環境保全に関する取り組み、公害対策、住宅用省エネルギー設備や雨水貯留槽設備の設置促進など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目（主な取り組み）	① 現状の満足度					② 今後の重要度				
	5 満足	4 やや満足	3 どちらとも 言えない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも 言えない	2 あまり重要 ではない	1 重要では ない
<b>【2. 健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）】</b>										
<b>9 子どもの健やかな成長を支援する</b> （子ども医療費助成、病児・病後児保育の実施、家庭児童相談等による虐待等の防止、産前・産後ケア等の母子保健 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>10 安定した子育てを支える基盤を整える</b> （ <u>保育園及び児童ホームの整備や、国家戦略特区による小規模保育の拡充等の、子育て環境の充実</u> 、保育士への「なりた手当」支給等の処遇改善 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>11 高齢者の生きがいづくりを支援する</b> （高齢者教養講座の開設、シルバー人材センターの支援 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>12 高齢者が安心して生活できる体制を整える</b> （ <u>高齢者のオンデマンド交通移送サービス</u> 、地域包括支援センターの体制整備、介護と在宅医療サービスの充実、独居高齢者見守り支援 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>13 障がいのある人の自立した生活を支援する</b> （障がい福祉サービスの提供、障がいのある人の自立や社会参加の促進 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>14 生活の安定を確保して自立・就労を支援する</b> （社会福祉協議会の支援、生活困窮者の自立支援、母子・父子家庭への支援、災害時の避難行動要支援者の支援 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>15 社会保障制度を安定的に運用する</b> （国民健康保険制度・後期高齢者医療制度の運営、 <u>年金事務所成田分室の開設</u> 、国民年金制度に関する相談など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>16 子どもから高齢者までみんなの健康づくりを支援する</b> （健康相談、予防接種、健康診査 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>17 地域医療体制の充実を図る</b> （ <u>国際医療福祉大学医学部附属病院の開設</u> 、看護師等就学資金貸付、急病診療所の運営、在宅医療と介護の連携、骨髄ドナー登録の推進など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目（主な取り組み）	① 現状の満足度					② 今後の重要度				
	5 満足	4 やや満足	3 どちらとも 言えない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも 言えない	2 あまり重要 ではない	1 重要では ない
<b>【3. 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）】</b>										
<b>18 成田の未来をつくる義務教育を推進する</b> （学校サポート教員・健康推進教員の配置、 <u>特別教室への空調機設置</u> 、教育用コンピュータ等の整備、就学援助費の支給など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>19 学校・家庭・地域が一体となった教育体制をつくる</b> （学校支援地域本部の設置、家庭教育学級の開催 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>20 幼児教育を推進する</b> （大栄幼稚園の管理運営、私立幼稚園の支援 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>21 青少年を健全に育成する</b> （放課後子ども教室の開設、青少年育成団体の活動支援、成人式の開催 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>22 市民が学び成果を生かすまちづくりを推進する</b> （生涯大学院や図書館の運営、公民館講座教室等の開催 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>23 成田の地域文化や伝統を学ぶ</b> （ <u>文化芸術センター等での文化芸術の活動・鑑賞機会の提供</u> 、日本遺産の魅力発信、文化財の保護・啓発など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>24 スポーツに親しめる環境をつくる</b> （スポーツ大会・教室等の開催、 <u>運動公園やスポーツ広場等の充実</u> 、スポーツフェスティバルの開催など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>25 国際理解を促進する</b> （ <u>多文化共生の推進</u> 、外国人英語講師の配置、日本語教育補助員の配置 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>26 国際交流を推進する</b> （国際交流イベントの開催、友好・姉妹都市との交流、国際子ども絵画交流展の開催など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目（主な取り組み）	① 現状の満足度					② 今後の重要度				
	5 満足	4 やや満足	3 どちらとも 言えない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも 言えない	2 あまり重要 ではない	1 重要では ない
<b>【4. 空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる（空港・都市基盤）】</b>										
<b>27 空港を生かしたまちづくりを推進する</b> （ <u>空港の機能強化に向けた取り組み、国家戦略特区を活用した規制緩和、先端産業の集積に向けた取り組み、訪日外国人に対する市内観光の促進や誘致活動</u> など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>28 空港を活用し新たな成田の魅力を開発する</b> （ <u>スポーツツーリズムの推進、事前キャンプの誘致、成田ブランドの推進</u> など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>29 地域特性を生かした土地利用と快適な市街地形成を図る</b> （ <u>表参道街並み景観の整備、新たな都市基盤の整備</u> など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>30 道路ネットワークと交通環境を整える</b> （ <u>ニュータウン中央線など幹線道路の整備、鉄道の新駅設置への取り組み、コミュニティバスの運行、など</u> ）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>31 大学を活用したまちづくりを推進する</b> （ <u>国際医療福祉大学との連携、明治大学・成田社会人大学の運営</u> など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>【5. 活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）】</b>										
<b>32 成田特有の観光資源の更なる活用を図る</b> （ <u>「うなりくん」や御案内人・市川海老蔵丈による本市の魅力発信、成田伝統芸能まつりの開催</u> など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>33 魅力ある国際性豊かな観光地づくりを推進する</b> （ <u>トランジットツアーの実施、案内看板の外国語表記、効果的な観光情報発信</u> など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>34 豊かな農林水産資源を次世代に引き継ぐ</b> （ <u>農道・排水路の整備、市民農園の貸付、農産物の輸出支援への取り組み</u> など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>35 安定した農業経営を支援する</b> （ <u>新規就農者への支援、農地集積・集約化の促進、農業用施設・機械の整備支援、農畜産物のブランド化への支援</u> など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

満足度・重要度 項目（主な取り組み）	① 現状の満足度					② 今後の重要度				
	5 満足	4 やや満足	3 どちらとも 言えない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも 言えない	2 あまり重要 ではない	1 重要では ない
<b>36 商工業の活性化を図る</b> （ <u>新生成田市場の整備</u> 、産業まつりの開催、 <u>中小企業に対する経営支援や若手人材の確保</u> 、企業誘致の促進 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>37 市民が快適に働くことのできる労働環境を整える</b> （ <u>働き方改革の推進</u> 、資格取得のための講座開催、マザーズコーナーでの就業支援、雇用促進奨励金の交付 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>【6. 市民サービスを充実させ、持続可能な自治体運営を行う（自治体経営）】</b>										
<b>38 人権が尊重され男女が共に参画する社会をつくる</b> （女性のためのDV相談など各種相談の実施、男女共同参画講座の開催 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>39 コミュニティ活動を活性化</b> <b>する</b> （地域団体のコミュニティ活動への支援、コミュニティセンターや、豊住ふれあい健康館・中郷ふるさと交流館の運営 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>40 市民との協働の仕組みをつくる</b> （市民と行政が連携した協働のまちづくり、ワークショップの開催などによる市政への市民参加機会の拡充 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>41 市民満足度を重視した行政サービスの向上を図る</b> （ <u>総合窓口の設置や日曜開庁の実施</u> 、証明書のコンビニ交付、 <u>パスポートの窓口交付</u> 、行政評価の実施など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>42 効率的・効果的な行政運営に努める</b> （公共施設の統廃合や長寿命化、学校の跡地利活用、行政改革の推進 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>43 情報の共有化によるまちづくりを推進する</b> （広報なりたの発行、ホームページの運営やSNSの活用、市長への手紙・市政モニター制度の運用、ケーブルテレビの視聴エリア拡大 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>44 広域連携を推進し、地域の一体的発展に努める</b> （広域事務組合での共同事務処理、空港周辺自治体との連携 など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

■住環境について、おうかがいします。

問12 あなたのご家庭では、大地震などの災害に備えて、どのようなことをしていますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 家屋の耐震診断・補強をした
2. ブロック塀の点検・撤去をした
3. 家具などを固定した
4. 消火器の点検をしている
5. 非常食や飲料水などを備蓄している
6. 貴重品などの持ち出し品を準備している
7. 懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している
8. 避難場所や連絡方法を決めている
9. 防災訓練に参加している
10. 防災メールに登録をしている
11. 特に何もしていない
12. その他（具体的に

)

問13 大地震や風水害などの災害に備えて、どのようなことが重要だと思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 建築物の防火・耐震の強化
2. 行政からの的確な防災情報の提供
3. 災害に強いライフラインや道路の整備
4. がけ地の崩壊防止対策や河川などの治水対策
5. 災害時の避難場所の整備や避難経路の確保
6. 地域とのつながりや助け合いの体制
7. 消防救急体制の整備
8. その他（具体的に

)

問14 あなたの身の回りの犯罪等に関して、何か不安を感じることはありますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 空き巣などの犯罪
2. ひったくり、自転車窃盗などの犯罪
3. 連れ去り、誘拐などの子どもへの犯罪
4. 振り込め詐欺、架空請求などの詐欺
5. チカン、わいせつなどの性犯罪
6. 夫婦間や親子間など家庭内の虐待や暴力
7. 悪質リフォーム、霊感商法、押売りなどの悪徳商法
8. 個人情報の流出などプライバシー保護への不安
9. 消費期限や産地の偽装など食への不安
10. その他（具体的に

)

問15 防犯対策についてどのようなことが重要だと思いますか。あてはまる番号**2つ以内**を○で囲んでください。

1. 市民一人ひとりの防犯意識の向上
2. 地域住民による自主的な防犯活動
3. 少年犯罪などを未然に防ぐための青少年教育や指導の強化
4. 取り締まりやパトロールの強化
5. 防犯に配慮した生活環境の整備（防犯灯や防犯カメラの設置など）
6. 防犯情報の提供（犯罪発生状況や不審者情報など）
7. その他（具体的に

)

問16 環境を保全するために、あなたが普段取り組んでいることは、次のうちどのようなことですか。あてはまる番号**すべて**を○で囲んでください。

1. 常にエコバッグを持ち歩く
2. 日用品は詰め替え用を使うなど、ごみの発生抑制・減量を心がけている
3. 蛇口をこまめに閉めるなど、節水を心がけている
4. エアコンの使用や設定温度に気を使うなど、節電を心がけている
5. 家の周囲に草木を植えるように心がけている
6. 自動車などの利用を控え、なるべく公共交通を利用する
7. エコマークなど環境ラベルのついた商品や再生品を購入するように心がけている
8. 太陽光発電などの住宅用省エネルギー設備を設置している
9. ごみの分別（雑がみ・プラスチック製容器包装など）について理解し、リサイクルを心がけている
10. 特に何も心がけていない
11. その他（具体的に

)

問17 自然環境を保護し、緑豊かなまちをつくるために、市民と行政が取り組むべきことは、次のうちどれですか。あてはまる番号**2つ以内**を○で囲んでください。

1. 街路樹や公園整備などにより緑豊かな市街地を形成する
2. 商店街等での植栽や家庭でのガーデニングなどの緑化に取り組む
3. 耕作放棄地や遊休農地を活用した景観づくりの取り組みを進める
4. 条例や法規制などにより良好な山林や里山を保全する
5. 大気、水質、土壌における有害物質の対策を講じる
6. ごみの不法投棄への監視を強化する
7. 雨水利用や河川環境の保全を推進する
8. 環境ボランティアの支援、育成を図る
9. その他（具体的に

)

■保健・医療・福祉について、おうかがいします。

問18 あなたは、普段の生活の中で、健康のためにどのようなことに取り組んでいますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 定期的な運動や規則正しい食生活など、健康的な日常生活を心がけている
2. 定期的に健康診査や各種検診を受けている
3. 予防接種は積極的に受けるようにしている
4. 講演会などの健康に関するイベントに参加している
5. 健康に関しての不安や疑問について、電話相談などを利用している
6. 特に何も行っていない
7. その他（具体的に

)

問19 成田市における医療サービスのさらなる向上のために、あなたはどのようなことに力を入れていく必要があるとお考えですか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 医師・看護師不足の解消
2. 救急医療体制の整備
3. 在宅医療の充実
4. 医療と介護サービスの連携
5. かかりつけ医・かかりつけ歯科医の普及
6. 最先端医療の研究促進
7. 献血運動やドナー登録の推進
8. 成田空港を活かした国際的な医療サービスの充実
9. その他（具体的に

)

問20 障がいのある人もない人も、ともに暮らしやすい社会を築くために、あなたはどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 障がいのある人への市民や地域の理解、偏見の解消
2. 障がいについて学ぶ学校教育体制の推進
3. 市や民間事業所における障がいのある人の雇用推進
4. 地域における相談支援窓口の充実
5. 障がいのある人が利用しやすい福祉サービスの充実
6. 障がいのある人を支援する専門職の確保、育成
7. 専門的に対応できる医療機関の充実
8. 障がいのある人が利用しやすい公共施設や交通機関の整備
9. その他（具体的に

)

問21 高齢化が進むなかで、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 健康相談や保健サービスの充実
2. 高齢者が安心して生活できる住環境の整備
3. 福祉活動を担うボランティアの育成と支援体制の整備
4. ヘルパー派遣やデイサービスなど在宅サービスの充実
5. 老人ホームなど入所施設の整備
6. 仲間とふれあえるスポーツ・レクリエーション活動の充実
7. 高齢者が生きがいを持って働ける機会の確保
8. 高齢者の知識、経験、技能を社会に還元する機会の確保
9. 地域医療体制の整備
10. 医療と介護サービスの連携
11. その他（具体的に

)

問22 あなたにとって、理想の子どもの数（結婚や妊娠・出産、子育てに関する希望が叶うとした場合の子どもの数）は何人ですか。あてはまる番号を一つだけ○で囲んでください。

- |             |       |         |
|-------------|-------|---------|
| 1. 子どもは持たない | 2. 1人 | 3. 2人   |
| 4. 3人       | 5. 4人 | 6. 5人以上 |

問23 あなたにとって、現在のお子様も含めて、現状で予定している子どもの数は何人ですか。あてはまる番号を一つだけ○で囲んでください。

- |             |       |         |
|-------------|-------|---------|
| 1. 子どもは持たない | 2. 1人 | 3. 2人   |
| 4. 3人       | 5. 4人 | 6. 5人以上 |

問24 子どもを育てていく上で、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 一時保育の充実や保育時間の延長
2. 保育園や児童ホームなどの整備
3. 児童館など子どもが室内で遊べる施設の整備
4. 公園など子どもが屋外でも安心して遊べる施設の充実
5. 子育てに関する情報交換や相談体制の充実
6. 隣近所の協力や助け合い意識の醸成
7. 子育て中の女性が働ける職場の確保や在宅ワークの支援
8. 母子保健や医療の充実
9. 男性が育児参加しやすい環境づくり
10. 子どもへの犯罪・事故を防ぐ施策
11. その他（具体的に

)

■教育・文化について、おうかがいします。

問25 小・中・義務教育学校における教育において、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 校舎や体育館など、学校施設の整備
2. 不登校や非行・いじめなど、子どもの問題への適切な対応
3. 特別な支援が必要な子どもへの適切な対応
4. 一人ひとりの学力や興味に応じた指導
5. 文化活動やスポーツ活動の充実
6. 心の教育（道徳や体験活動など）の充実
7. 将来の進路や職業について考えさせる指導
8. 英語教育や国際理解等を重視した教育
9. ICT（情報通信技術）を活用した教育
10. 地域の人による学校生活への支援
11. その他（具体的に )

問26 最近1年くらいの間に、あなたが行った学習やスポーツはどのようなものですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 絵画、音楽など文化芸術に関する学習
2. 文学、歴史、経済などに関する学習
3. 国際問題、環境問題など社会問題の学習
4. 子育て、料理、健康づくりなど家庭生活に役立つ学習
5. 英会話などの語学学習
6. 資格取得など職業上必要な知識・技能の習得
7. 手話や介護など福祉活動に必要な知識・技能の習得
8. ウォーキング、ダンス、体操などの比較的軽いスポーツ
9. 野球やサッカーなどのスポーツ活動や、各種スポーツ教室
10. キャンプ、登山などの体験活動
11. その他（具体的に )

問27 あなたは、スポーツの振興を進めるうえで、どのようなことに力を入れるべきであるとお考えですか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 全国大会・国際大会などのスポーツイベントの誘致によるスポーツツーリズムの推進
2. 国内外のトップアスリートをはじめとした各種スポーツ合宿・キャンプの誘致
3. 市民が利用しやすいスポーツ施設の一層の充実
4. スポーツ指導者の発掘・育成
5. 幅広い年代や立場の人が気軽に参加できるスポーツ大会・教室などの充実
6. その他（具体的に )

問28 2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を間近に控えていますが、開催を契機とした地域活性化やレガシー（遺産）の創出につなげる取組みとして、市はどのようなことに力を入れるべきであるとお考えですか。あてはまる番号3つ以内を○で囲んでください。

1. 選手や観光客を受け入れるための、交通機関や観光施設等の多言語対応やWi-Fi等の整備
2. 飲食店や小売店舗等のキャッシュレス決済対応
3. 選手や観光客をもてなす語学ボランティアの育成
4. 心のバリアフリーや、おもてなしのまちづくり
5. ホームページやSNS等での成田の魅力発信によるさらなる観光PR
6. ホストタウンの相手国であるアメリカとアイルランドとの継続的交流
7. 国際大会等の開催が可能なスポーツ施設等の整備
8. 障がい者が滞在・生活しやすいユニバーサルデザインを取り入れた施設等の整備
9. 日本の伝統文化、芸術の継承・保全と情報発信
10. 受動喫煙対策の推進
11. 治安対策や感染症の予防・防止対策
12. その他（具体的に

■空港・都市基盤について、おうかがいします。

問29 成田空港が立地することについて、どのようなメリットがあると思いますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 商店や飲食店が増え、まちが便利になった
2. 国内外から観光客が来訪し、まちがにぎやかになった
3. 市街地や道路が整備され、まちが快適になった
4. 空港関連等の企業が立地し、就職する機会が増えた
5. 市内で外国人を多くみるようになり、国際的になった
6. 英語教育が充実し、子どもの成長に役立った
7. 新聞やテレビ等で取り上げられ、成田の知名度が上がった
8. 空港が近いので、旅行に行く機会が増えた
9. メリットはあまり感じない
10. その他（具体的に

問30 成田空港の魅力を高め、地域で支えていくためには、どのような取組みが望ましいとお考えですか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 国内外からの来訪客を、市民が歓迎する、おもてなしのまちづくりを進める
2. 多言語案内やWi-Fi等を設置し、外国人にもわかりやすいまちにする
3. 祭りやイベントで、空港をPRする企画を盛り込む
4. 学校の授業などで、子どもたちが空港を訪れる機会を増やし、親近感を高める
5. 空港従業者や乗務員などと市民が交流できる機会を増やし、空港との一体感を高める
6. 市の広報誌やホームページなどで空港と周辺情報を取り上げ、PRする
7. その他（具体的に

問31 成田空港では、新たな滑走路の建設を含めた更なる機能強化が進められていますが、空港を活かしたまちづくりを進めるうえで、今後どのような取り組みが重要になると思いますか。  
あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 道路整備や公共交通ネットワークの強化
2. 将来を見据えた計画的な都市基盤の整備
3. 空港関連企業の誘致及び雇用の創出
4. 航空機騒音への対策と騒音地域振興策の充実
5. 国際化対応（多言語案内表示の設置等）の促進による観光振興
6. 空港周辺の自然や里山、公園施設等の環境保全・整備
7. 市民の国際性を養う学校教育・生涯学習の充実
8. 日本人と外国人の住民がともに暮らしやすい地域社会づくり
9. スポーツイベントやキャンプの誘致などスポーツツーリズムの推進
10. その他（具体的に

)

問32 あなたが成田市内における都市基盤について、以前と比べて改善されていると感じているものはどれですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 広域交通ネットワークや、市内の道路が整備され、利便性が向上した
2. 街並みが整備され、人のにぎわいや交流が増えた
3. コミュニティバスの運行など公共交通体系が充実し、利便性が向上した
4. 駅周辺の広場や施設が整備され、人と車の流通が円滑になった
5. 公共施設がバリアフリー化され、だれもが安心して暮らせるようになった
6. 景観に配慮した街並みの整備
7. 特に改善されたとは感じない
8. その他（具体的に

)

問33 成田市の都市基盤を充実させるために、どのような取り組みが望ましいとお考えですか。  
あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 都市の骨格となる道路網の整備
2. 新たなまちづくりの核となる新駅の設置
3. 市内各地区を連携する公共交通網の形成
4. 安全な水と快適な生活環境確保のための上下水道の整備
5. 土地区画整理などによる新たな市街地の形成
6. 成田市の表玄関としてのJR・京成成田駅前地区の整備
7. 公共施設の計画的な更新とバリアフリー化の推進
8. 美しいまちづくりのための景観の保全・育成と創出
9. その他（具体的に

)

■産業振興について、おうかがいします。

問34 成田市内には、「雇用の場」は確保されていると思いますか。あてはまる番号を一つだけ○で囲んでください。

- |                |                |              |
|----------------|----------------|--------------|
| 1. 十分確保されている   | 2. ある程度確保されている | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり確保されていない | 5. 全く確保されていない  | 6. よくわからない   |

問35 あなたは、成田市の各産業（観光業、農林水産業、商工業）の状況について、どのように感じていますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 成田市を訪れる観光客が増えた
2. 市内の観光地へのアクセスや観光案内表示などが充実し、観光客の市内回遊の利便性が向上した
3. 成田産の農産物を目にする機会が増えた
4. 様々な農業関連イベントを通じて農業が身近に感じられるようになった
5. 成田市内の商店街が賑やかになった
6. 成田には多くのビジネスチャンスがあると感じられるようになった
7. その他（具体的に )

問36 成田市の産業振興のために、どのようなことに力を入れていくべきとお考えですか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 成田空港のポテンシャルを活かした空港周辺への産業集積
2. 国家戦略特別区域を活用した規制緩和
3. 豊かな自然環境を利用した農業の振興
4. 資金融資など経営基盤強化のための環境整備による商工業の活性化
5. 本市の特性に見合った新たな産業の育成
6. 圏央道などの広域道路ネットワークを活かした産業の振興
7. 企業誘致施策の一層の充実
8. 快適な労働環境の整備
9. 成田特有の資源を活用した観光地づくりの推進
10. その他（具体的に )

■自治体経営について、おうかがいします。

問37 あなたは、成田市に関する情報を何によって知ることが多いですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

- |   |                        |
|---|------------------------|
| 1. 広報なりた  | 2. 暮らしの便利帳             |
| 3. 市のホームページ                                       | 4. 回覧板                 |
| 5. 市議会だより   | 6. 議員のホームページや活動報告      |
| 7. 家族や知人、自治会など                                    | 8. テレビ（ケーブルテレビを含む）、ラジオ |
| 9. 新聞   | 10. ミニコミ誌、タウン誌         |
| 11. Twitter, Facebook などのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス） |                        |
| 12. その他（具体的に )                                    |                        |

問38 あなたは、市政にどの程度関心をお持ちですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

- |             |            |              |
|-------------|------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. やや関心がある | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり関心がない | 5. 全く関心がない |              |

◆問38で「4」または「5」と答えた方におうかがいします。

問38-① その理由は何ですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

1. 自分の生活に直接関係がないから
2. 忙しくて考える暇がないから
3. むずかしくてよくわからないから
4. 必要な情報が得られないから
5. 定住する気持ちがないから
6. その他（具体的に

)

問39 成田市では、市民と行政がともに考え行動する、協働のまちづくりを推進したいと考えています。

協働のまちづくりの推進にあたって、どのような取り組みが必要だと思えますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 協働の前提となる行政の方針などの情報公開の推進
2. 市民や団体におけるまちづくりの取り組みなどの情報提供
3. まちづくりの取り組みに関する学習機会の確保
4. 行政が提案するまちづくりを市民と行政とで協働して検討する仕組みづくり
5. 市民や団体が提案するまちづくりを行政が支援する仕組みづくり
6. その他（具体的に

)

問40 あなたが現在参加している地域活動は何ですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

- |                 |           |               |
|-----------------|-----------|---------------|
| 1. 自治会運営・行事     | 2. 防犯や防災  | 3. 文化芸術       |
| 4. スポーツ         | 5. 学校行事   | 6. 健康づくり      |
| 7. 環境美化や保全      | 8. 生涯学習   | 9. 公園や施設の維持管理 |
| 10. 高齢者や障がい者の支援 | 11. 子育て支援 | 12. 参加していない   |
| 13. その他（具体的に    |           |               |

)

問41 日本人と外国人の住民がともに暮らしやすい社会にしていくために、行政はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。あてはまる番号3つ以内を○で囲んでください。

1. 外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する
2. 外国人に対して、日本の生活習慣やルール、文化の違いなどについて周知する
3. 外国人の日本語学習を支援する
4. 外国人の子どもに対する教育を充実させる
5. 日本人と外国人との交流の場を作る
6. ユニバーサルデザイン化を進め、外国人が安心して生活できる環境を整備する
7. 企業に対し、外国人労働者の受け入れ態勢の整備に関する支援を行う
8. 日本人に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解の促進を図る
9. その他（具体的に

)

■最後に、成田市の発展方向について、おうかがいします。

問42 今後、成田市がどのようなまちになってほしいと思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 観光や商業活動が盛んなまち
2. 日本の空の表玄関としての国際交流が盛んなまち
3. 医療産業をはじめとした先端産業や研究機関が集まったまち
4. 農業が盛んで自然環境に恵まれたまち
5. 子育て環境の整ったまち
6. 医療や福祉の充実したまち
7. 安心して暮らせる防災・防犯・消防体制が充実したまち
8. 学校教育の充実と生涯学習の盛んなまち
9. 歴史・文化の薫りの高いまち
10. 市民参加が盛んなまち
11. その他（具体的に \_\_\_\_\_ )

■今後の成田市のまちづくりに関して、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

お忙しいところ多数の質問にお答えいただきまして、ご協力ありがとうございました。

## 成田市市民意識調査報告書

発 行 成田市

編 集 企画政策部企画政策課

〒286-8585

成田市花崎町 760 番地

TEL 0476 (20) 1500

発 行 日 令和元年 10 月

登録番号 成企 19-027